

令和7年度（2025年度）

高齢福祉・介護保険サービス意向調査

報 告 書

令和8年（2026年）3月

中 野 区

はじめに

令和 7 年（2025 年）には、いわゆる団塊の世代のすべての人が後期高齢者（75 歳以上）となり、中野区においても高齢化率が上昇することが予想されるため、さらに創意工夫をした高齢者支援のあり方が求められています。

本調査は、令和 6 年（2024 年）3 月に策定した中野区高齢者保健福祉計画・第 9 期介護保険事業計画が改定時期を迎えるため、高齢者の健康福祉サービスの利用実態や今後の利用意向を把握するために実施したものです。

今回の調査結果につきましては、計画の改定のみならず、今後の健康福祉に関する区の事業や施策の見直し、改善に反映させるなど、活用を図っていきたいと考えています。

最後になりましたが、本調査にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

令和 8 年（2026 年）3 月
中野区健康福祉部
中野区地域支えあい推進部

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的.....	3
2. 調査の内容.....	3
3. 調査の設計.....	4
4. 報告書を読む際の留意点.....	4

II 調査結果の分析

高齢者調査

1. 回答者の属性.....	9
1.1. アンケートの回答者.....	9
1.2. 居住地域.....	10
1.3. 性別.....	11
1.4. 年齢.....	11
1.5. 家族構成.....	12
1.6. 要支援認定.....	12
1.6.1. 介護・介助の必要性.....	13
1.6.2. 介護・介助が必要になった主な原因.....	14
1.6.3. 介護、介助を行っている人.....	15
1.7. 世帯の昨年の合計収入.....	16
1.7.1. 現在の預貯金額.....	17
1.7.2. 暮らしの状況.....	21
1.8. 居住形態.....	23
2. からだを動かすことについて.....	25
2.1. 機能評価.....	25
2.1.1. 運動器機能.....	25
2.1.2. 転倒リスク.....	26
2.1.3. 閉じこもり傾向.....	27
2.2. 外出の回数.....	29
2.2.1. 外出が減っている理由.....	30
2.3. 外出する際の移動手段.....	31
3. 食べることについて.....	32
3.1. 機能評価.....	32
3.1.1. 低栄養.....	32
3.1.2. 口腔機能.....	33
3.2. 歯磨きの状況.....	35

3.3. 歯の数と入れ歯の利用状況.....	36
3.3.1. 噛み合わせの状況.....	37
3.3.2. 毎日入れ歯の手入れをしているか.....	38
3.4. 食事をともにする機会.....	39
4. 毎日の生活について.....	41
4.1. 機能評価.....	41
4.1.1. 認知機能.....	41
4.1.2. I A D L（手段的自立度）.....	47
4.1.3. 知的能動性.....	49
4.1.4. 社会的役割.....	51
4.2. 趣味の有無.....	53
4.3. 生きがいの有無.....	54
5. 地域での活動について.....	55
5.1. 会・グループ等への参加頻度.....	55
5.1.1. 地域活動に参加していない理由.....	56
5.2. 地域住民の有志による活動に参加者として参加してみたいか.....	57
5.3. 地域住民の有志による活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか.....	58
5.4. 地域のひとから頼りにされているか.....	59
5.5. 現在の就労状態.....	60
6. たすけあいについて.....	61
6.1. 心配事や愚痴を聞いてくれる人.....	61
6.2. 心配事や愚痴を聞いてあげる人.....	62
6.3. 看病や世話をしてくれる人.....	63
6.4. 看病や世話をしてあげる人.....	64
6.5. 何かあったときに相談する相手.....	65
6.6. 孤独の状況.....	67
7. 健康について.....	69
7.1. 健康状態.....	69
7.2. 幸福度.....	71
7.3. 毎日の生活に充実感がない.....	76
7.4. これまで楽しんでやれていたことが楽しめない.....	77
7.5. 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる.....	78
7.6. 自分が役に立つ人間だとは思えない.....	79
7.7. わけもなく疲れたような感じがする.....	80
7.8. 機能評価.....	81
7.8.1. うつ傾向.....	81
7.9. 飲酒の状況.....	82
7.10. 喫煙の状況.....	83
7.11. 現在治療中、または後遺症のある病気.....	84

8. 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	86
8.1. 家族を含めた認知症の症状の有無.....	86
8.2. 認知症の相談窓口を知っているか.....	87
9. 成年後見制度について.....	88
9.1. 成年後見制度の認知度.....	88
9.1.1. 成年後見制度の利用意向.....	90
9.1.2. 成年後見制度を利用したくない理由.....	92
10. その他.....	95
10.1. 健康福祉行政全体への意見・要望（自由回答）.....	95

介護サービス利用調査

1. 要支援・要介護認定者本人について.....	101
1.1. アンケートの回答者.....	101
1.2. 居住地域.....	102
1.3. 家族構成.....	103
1.3.1. 家族の人数.....	103
1.3.2. 同居家族の内訳.....	103
1.3.3. 日中、ひとりになることの有無.....	104
1.4. 性別.....	105
1.5. 年齢.....	105
1.6. 要介護度.....	105
1.6.1. 介護・介助が必要になった原因.....	106
1.7. 住まいの種類.....	108
1.7.1. 生活する部屋は2階以上にあるか.....	109
1.7.2. エレベーターの設置.....	111
1.8. 介護を受けたい場所.....	112
1.8.1. 施設等への入所・入居の検討状況.....	114
1.8.2. 施設等への入所・入居を検討した理由.....	115
1.9. 現在抱えている傷病.....	116
1.10. 内容を知らない又はわからない介護保険サービス.....	118
1.11. 介護保険サービス利用の有無（令和7年10月）.....	119
1.12. 介護保険サービス.....	121
1.12.1. 介護保険サービスの利用状況（令和7年10月）.....	121
1.12.2. ケアプランへの不満.....	123
1.12.3. 介護保険サービスを利用していない理由.....	125
1.13. 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス.....	127
1.14. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	129
1.15. 訪問診療の利用の有無.....	130
1.16. 訪問歯科診療、訪問薬剤師の利用の有無.....	131

1. 17. 地域包括支援センターへの相談の有無.....	132
1. 18. 家族・親族からの介護の頻度.....	133
2. 主な介護者について.....	135
2. 1. 主な介護者.....	135
2. 2. 主な介護者の性別.....	135
2. 3. 主な介護者の年齢.....	136
2. 4. 介護を理由として、過去 1 年間の間に仕事を辞めた介助者の有無.....	137
2. 5. 主な介護者が行っている介護.....	138
2. 6. 主な介護者が不安に感じる介護.....	140
2. 7. 主な介護者の現在の勤務形態.....	141
2. 8. 主な介護者の就労形態の調整.....	143
2. 9. 仕事と介護の両立に効果がある支援.....	145
2. 10. 今後の介護の見通し.....	148

ケアマネジャー調査

1. 回答者の属性.....	151
1. 1. 所属する事業所の所在地.....	151
1. 2. 所属する事業所が提供するサービス（複数回答）.....	151
1. 3. 年代.....	157
1. 4. 勤務体系.....	158
1. 5. ケアマネジャーとしての従事期間.....	158
1. 6. ケアマネジャー受験資格と当該職種の従事年数.....	159
1. 7. 過去 3 年間で、所属事業所を変った回数.....	161
1. 8. 給付管理件数.....	161
1. 9. 作成する居宅サービス計画の件数.....	163
1. 10. 介護予防サービス計画の受託または作成人数.....	163
2. ケアプラン・介護予防について.....	165
2. 1. 作成するケアプランの件数について.....	165
2. 2. 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割.....	166
2. 3. 地域の自主グループをどのくらい知っているか.....	167
2. 4. ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか.....	169
2. 5. ケアプランに盛り込んでいる地域資源.....	171
2. 6. ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題（自由回答）.....	173
2. 7. 供給不足のため、利用者に提供できないサービス.....	174
2. 8. 供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合.....	177
2. 9. 介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか.....	178
2. 10. 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業.....	179
2. 11. 生活に張りを持ってもらうために効果的なもの.....	180
2. 12. ケアマネジメントを行う際に工夫していること（自由回答）.....	181

2. 13. 要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援	182
3. 連携について	184
3. 1. 地域包括支援センターとの連携	184
3. 2. 信頼できる地域包括支援センターの有無	185
3. 3. 主治医との連携	186
3. 4. 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源	187
3. 5. 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携	189
3. 6. サービス担当者会議を開催する上での問題点	190
4. 困難な事例への対応について	191
4. 1. ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース	191
4. 2. 要介護者や家族からの相談への対応	193
4. 3. 相談への対応に苦慮した時の相談先	195
4. 4. 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数	197
4. 5. 高齢者虐待対応について強化すべきこと	198
5. 介護予防について	199
5. 1. 充実すべき区の介護予防事業	199
6. 成年後見制度について	201
6. 1. 成年後見制度が必要と思われるが使っていない人数	201
6. 2. 成年後見制度を活用する上での課題	202
7. 認知症に関する課題について	203
7. 1. 「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ	203
7. 2. 認知症高齢者に関して必要な施策	204
8. 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について	206
8. 1. 人生会議（ACP）という言葉や意味を知っているか	206
8. 2. 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験の有無	207
8. 3. 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点	208
9. 在宅介護の可能性の拡大について	209
9. 1. 要介護者等が居宅や地域での生活を続けるために充実すべき点	209
10. 業務遂行上の問題について	211
10. 1. 業務遂行上の問題について	211
10. 2. 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて	214
11. その他	215
11. 1. 介護保険制度に関する意見（自由回答）	215

Ⅲ 調査票と単純集計

1. 高齢者調査	219
2. 介護サービス利用調査	239
3. ケアマネジャー調査	253

I 調査の概要

1. 調査の目的

高齢者、要支援・要介護認定者の健康福祉・介護保険サービスの利用実態や今後の利用意向等及び、ケアマネジャーの実態や業務遂行状況等を把握することを目的とする。

2. 調査の内容

① 高齢者調査

- (1) 回答者の属性
- (2) からだを動かすことについて
- (3) 食えることについて
- (4) 毎日の生活について
- (5) 地域での活動について
- (6) たすけあいについて
- (7) 健康について
- (8) 認知症にかかる相談窓口の把握について
- (9) 成年後見制度について
- (10) 自由回答

② 介護サービス利用調査

- (1) 要支援・要介護認定者本人について
- (2) 主な介護者について

③ ケアマネジャー調査

- (1) 回答者の属性
- (2) ケアプラン・介護予防について
- (3) 連携について
- (4) 困難な事例への対応について
- (5) 介護予防について
- (6) 成年後見制度について
- (7) 認知症に関する課題について
- (8) 人生会議について
- (9) その他
- (10) 自由回答

3. 調査の設計

調査は、以下の①～③は郵送による配布・回収とインターネットによる回答を併用して実施した。

① 高齢者調査

- ・調査対象：基準日（令和7年10月1日）現在で65歳以上の区民（介護予防・日常生活支援総合事業対象者及び要支援1・2認定者を含む）。ただし、要介護認定者を除く。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：3,000人
- ・有効回収数：1,810（回収率60.3%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和7年11月14日～12月5日

② 介護サービス利用調査

- ・調査対象：要支援1から要介護5までの認定を受けている区民。ただし、施設入所者を除く。
- ・調査地域：中野区全域
- ・調査標本数：3,000人
- ・有効回収数：1,687人（回収率56.2%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和7年11月14日～12月5日

③ ケアマネジャー調査

- ・調査対象：区内及び隣接区の居宅介護支援事業所で区民のケアプランを10件以上扱っている事業所に所属するケアマネジャー
- ・調査地域：中野区全域及び隣接区
- ・調査標本数：250人
- ・有効回収数：141人（回収率56.4%）
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・調査期間：令和7年11月14日～12月5日

4. 報告書を読む際の留意点

- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。なお、単数回答形式の場合、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- アンケート選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。
- 文中の割合の表記は、下記のとおりである。

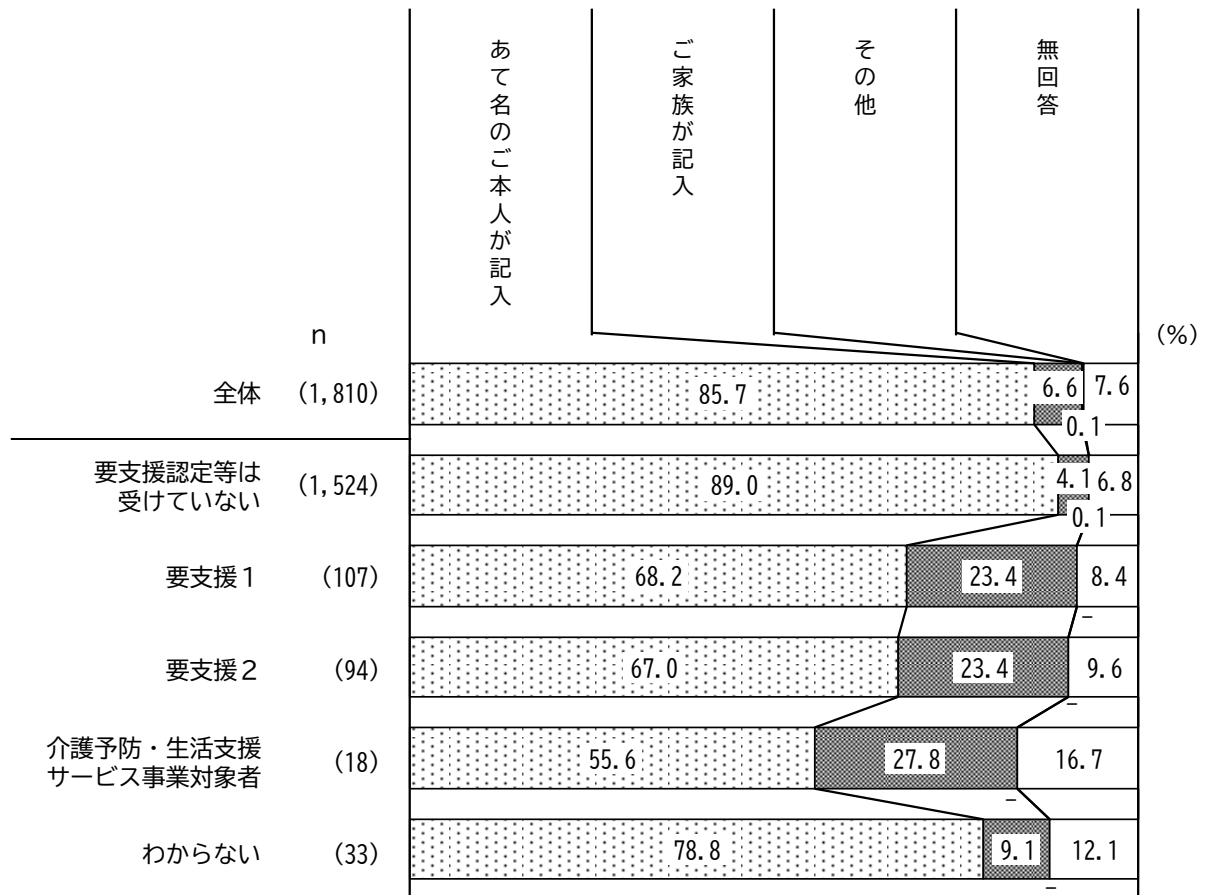
表記	約4割 (4割)	4割台前半	4割半ば	4割台後半	約5割 (5割)
範囲	39.0～41.9% (40.0%)	42.0～43.9%	44.0～46.9%	47.0～48.9%	49.0～51.9% (50.0%)

Ⅱ 調査結果の分析

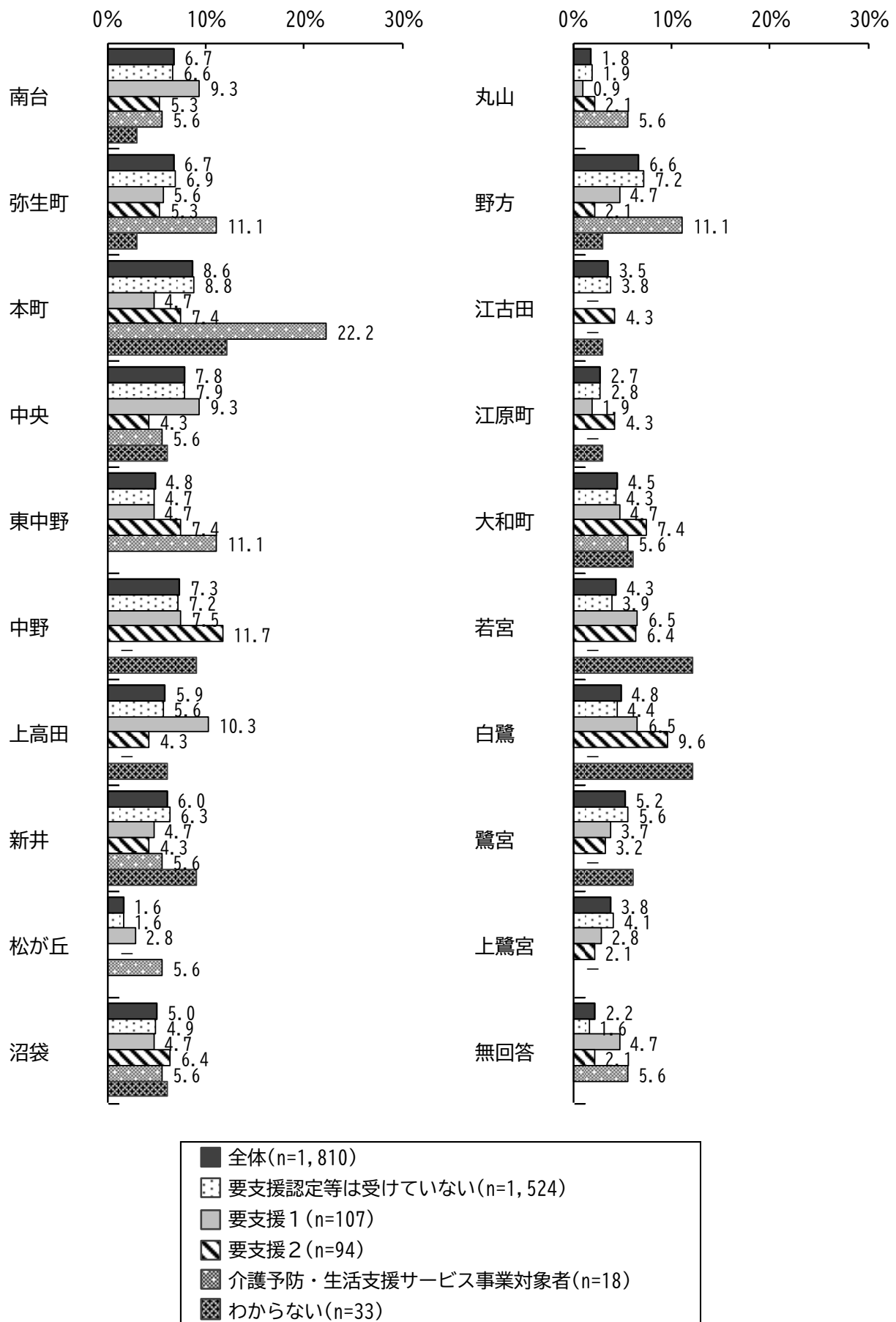
高齢者調査

1. 回答者の属性

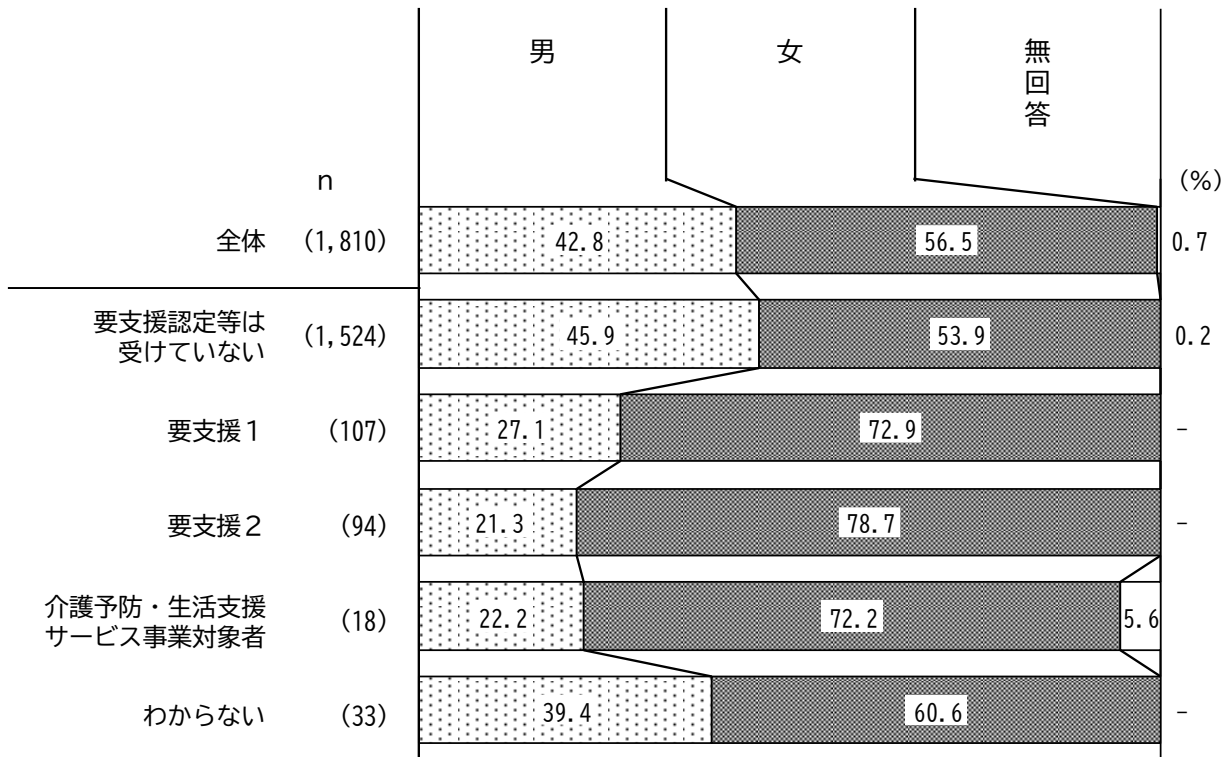
1.1. アンケートの回答者



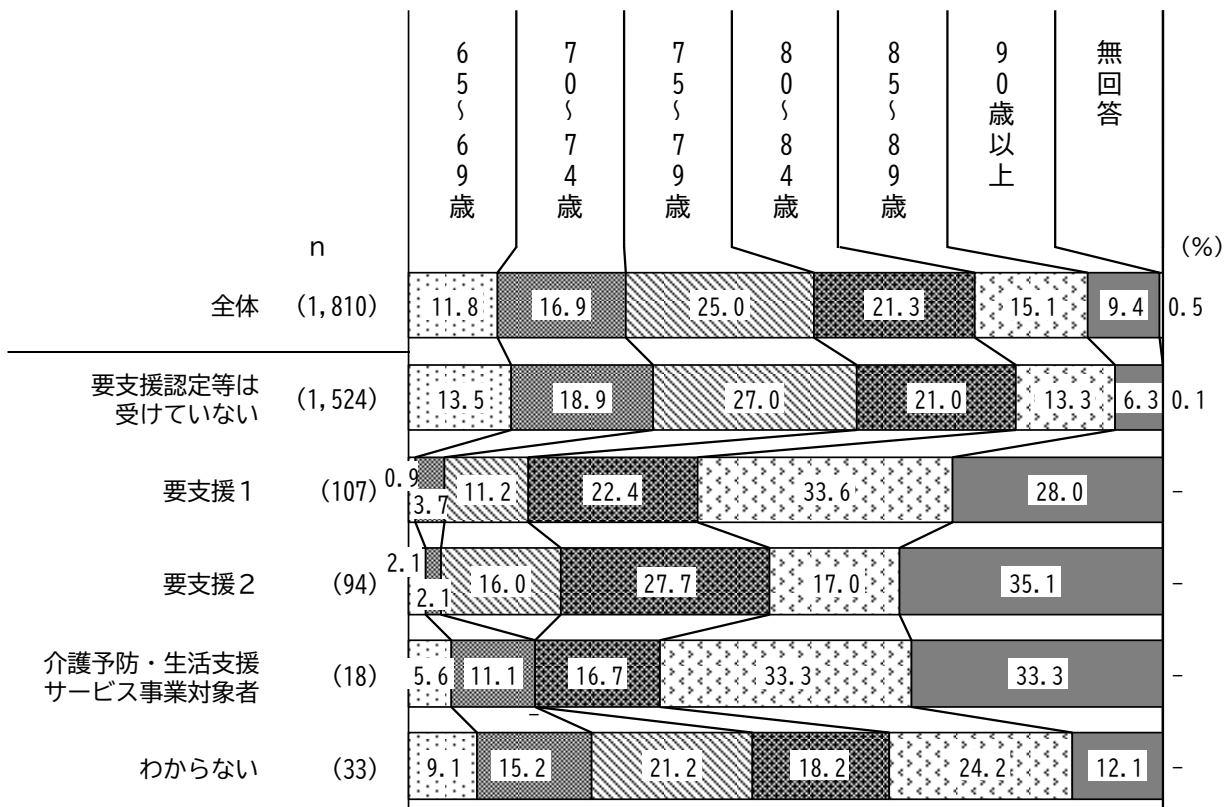
1.2. 居住地域



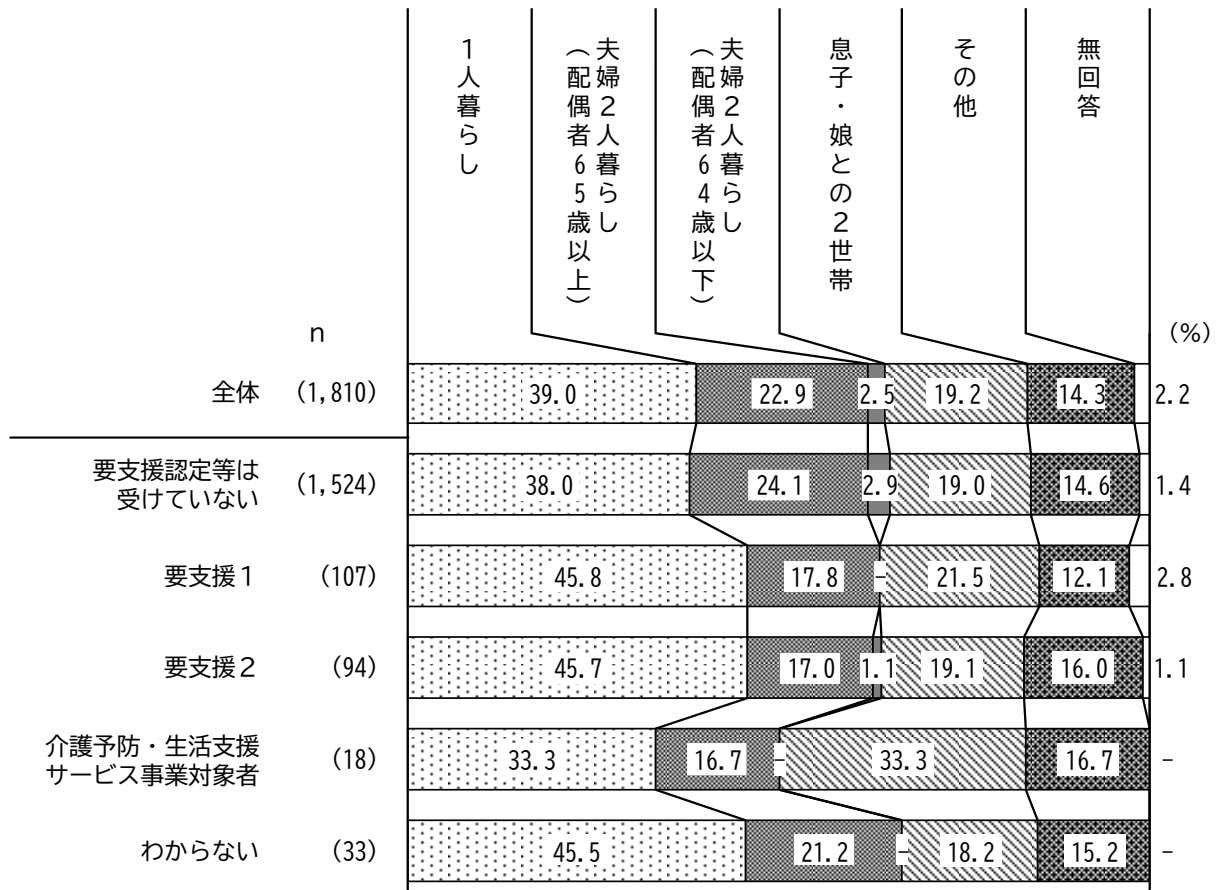
1.3. 性別



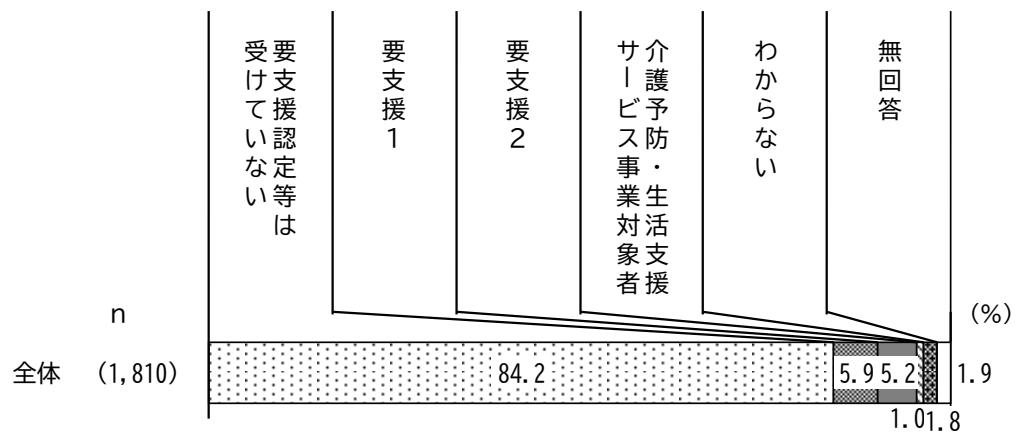
1.4. 年齢



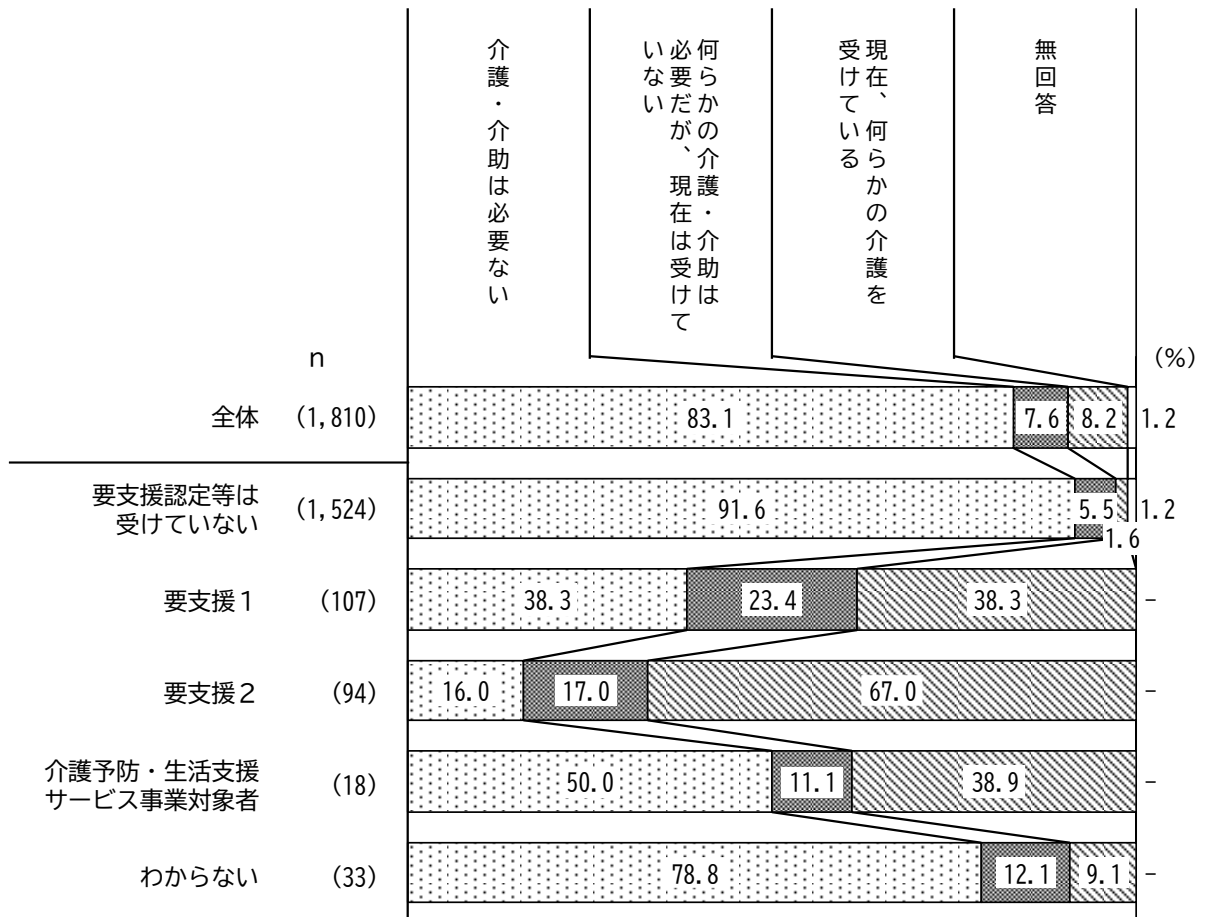
1.5. 家族構成



1.6. 要支援認定

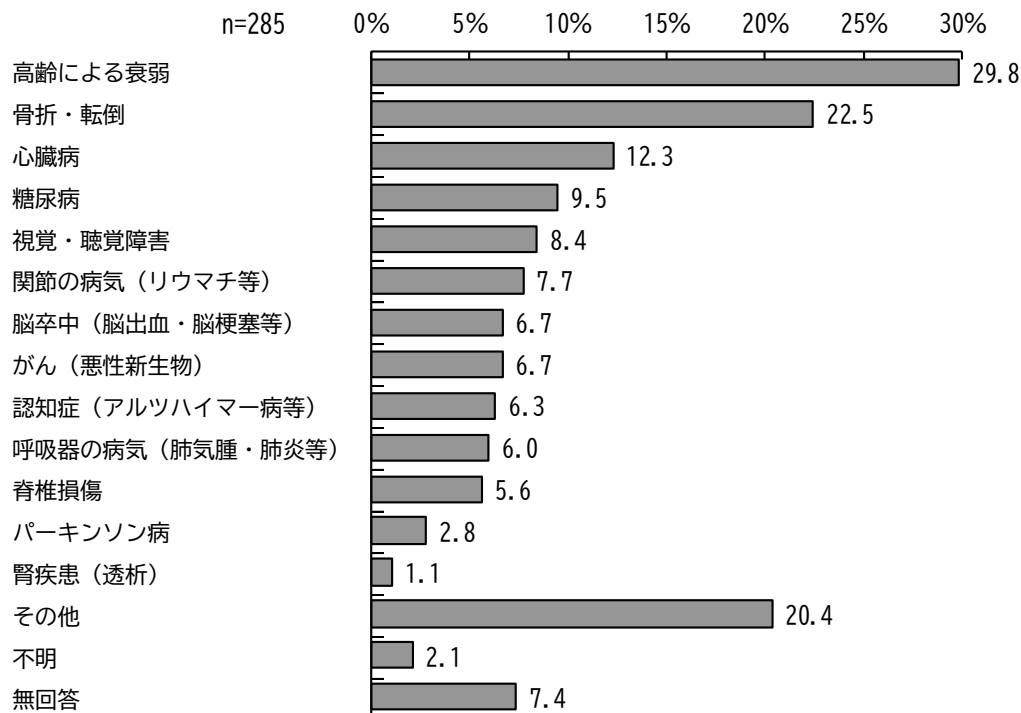


1.6.1. 介護・介助の必要性



1.6.2. 介護・介助が必要になった主な原因

(※「1.6.1. 介護・介助の必要性」において、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方)



【状態別】介護・介助が必要になった主な原因

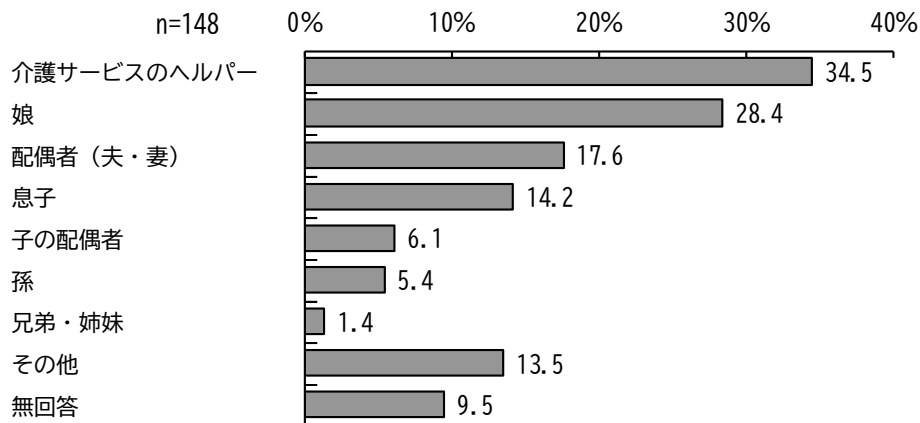
単位：%

	有効回答数 (件)	高齢による衰弱	骨折・転倒	心臓病	糖尿病	視覚・聴覚障害	関節の病気 (リウマチ等)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	がん (悪性新生物)
全体	285	29.8	22.5	12.3	9.5	8.4	7.7	6.7	6.7
要支援認定等は受けていない	109	22.9	12.8	11.0	9.2	11.0	6.4	6.4	6.4
要支援1	66	36.4	21.2	15.2	13.6	4.5	3.0	9.1	6.1
要支援2	79	32.9	38.0	12.7	6.3	7.6	11.4	5.1	3.8
介護予防・生活支援サービス事業対象者	9	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	-	33.3
わからない	7	57.1	14.3	14.3	-	28.6	14.3	-	-

	有効回答数 (件)	認知症 (アルツハイマー病等)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	脊椎損傷	パーキンソン病	腎疾患 (透析)	その他	不明	無回答
全体	285	6.3	6.0	5.6	2.8	1.1	20.4	2.1	7.4
要支援認定等は受けていない	109	9.2	8.3	3.7	0.9	-	22.0	1.8	11.9
要支援1	66	1.5	7.6	7.6	3.0	-	21.2	1.5	4.5
要支援2	79	5.1	3.8	8.9	3.8	1.3	20.3	1.3	3.8
介護予防・生活支援サービス事業対象者	9	11.1	-	-	11.1	11.1	11.1	11.1	-
わからない	7	14.3	-	-	-	-	-	-	14.3

1.6.3. 介護、介助を行っている人

(※「1.6.1. 介護・介助の必要性」において、「現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方)

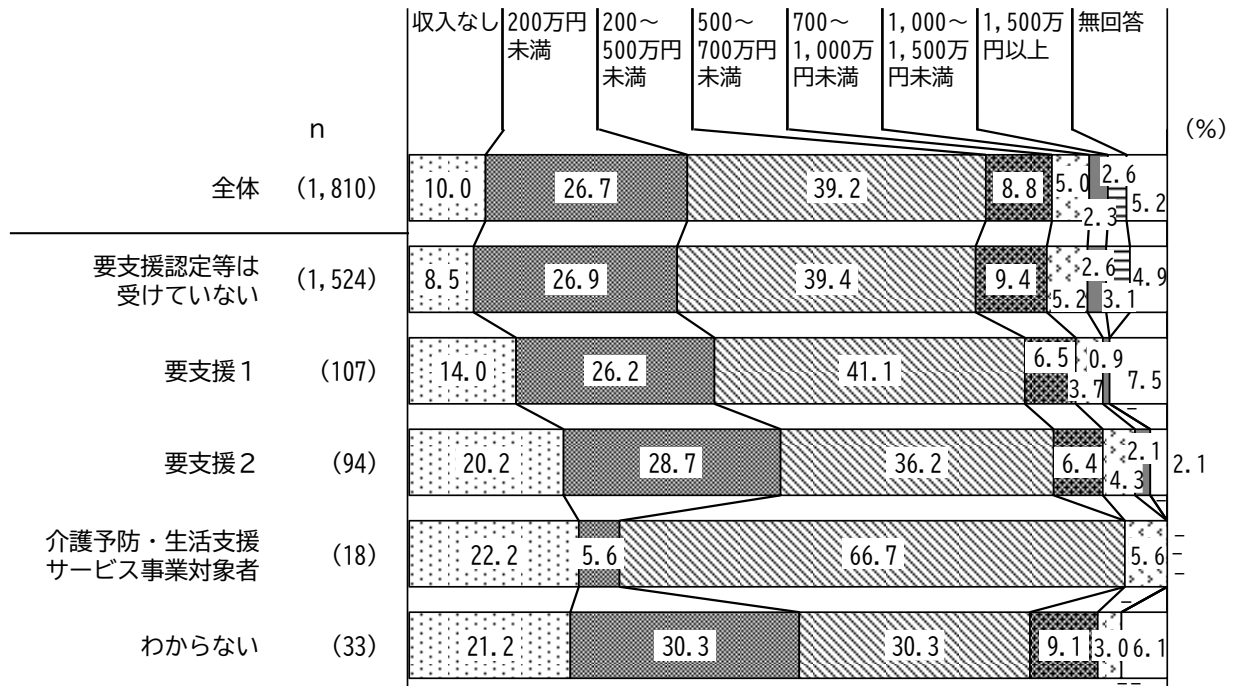


【状態別】介護、介助を行っている人

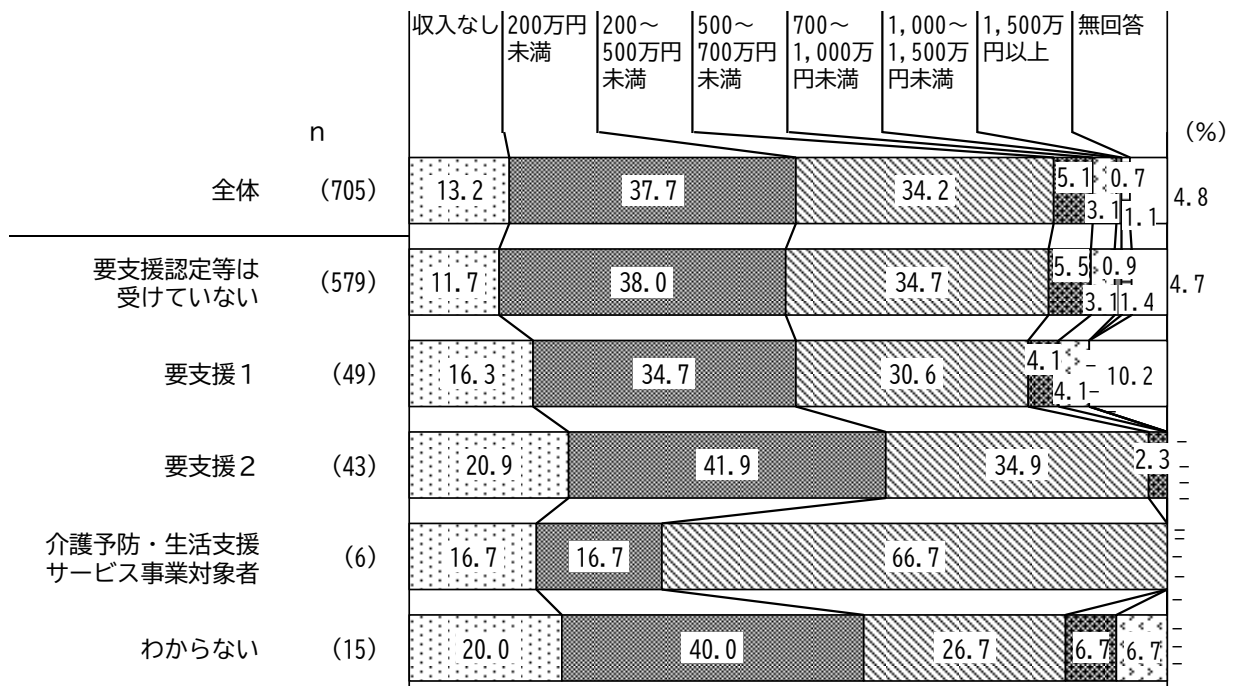
単位：%

	有効回答数(件)	介護サービスのヘルパー	娘	配偶者(夫・妻)	息子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	148	34.5	28.4	17.6	14.2	6.1	5.4	1.4	13.5	9.5
要支援認定等は受けていない	25	4.0	28.0	36.0	16.0	12.0	8.0	-	12.0	8.0
要支援1	41	36.6	46.3	9.8	12.2	4.9	7.3	-	12.2	4.9
要支援2	63	46.0	23.8	17.5	12.7	3.2	4.8	-	11.1	14.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	7	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	42.9	-
わからない	3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-

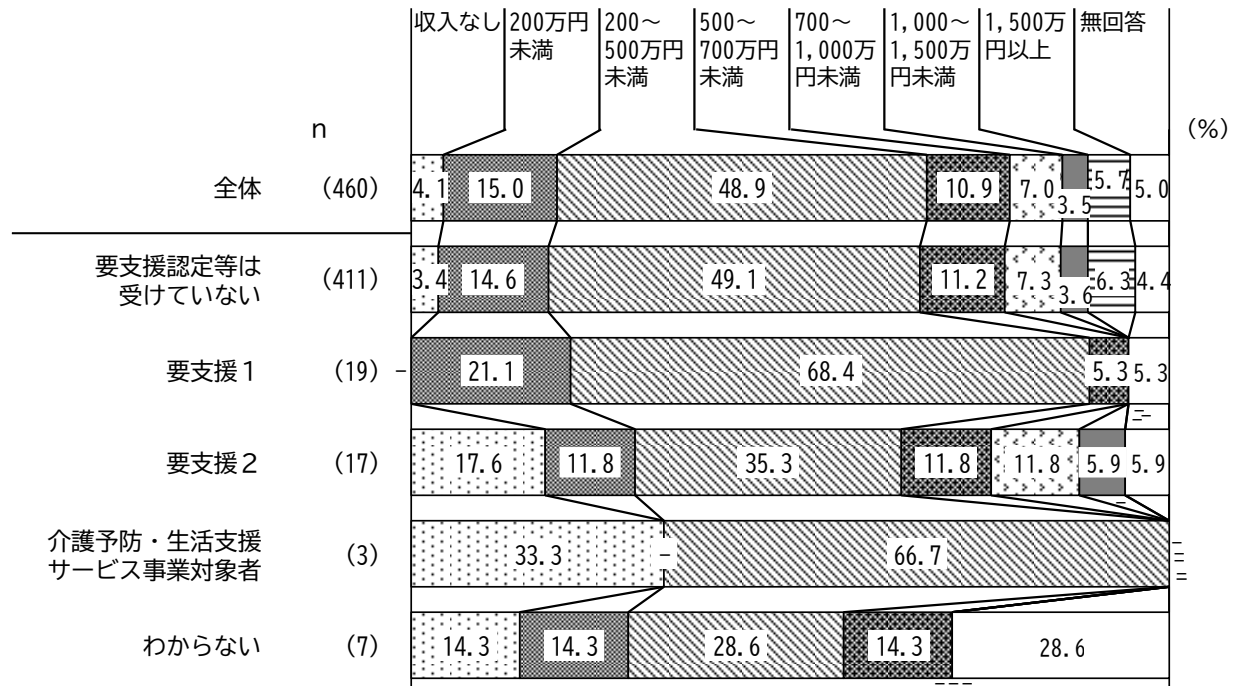
1.7. 世帯の昨年の合計収入



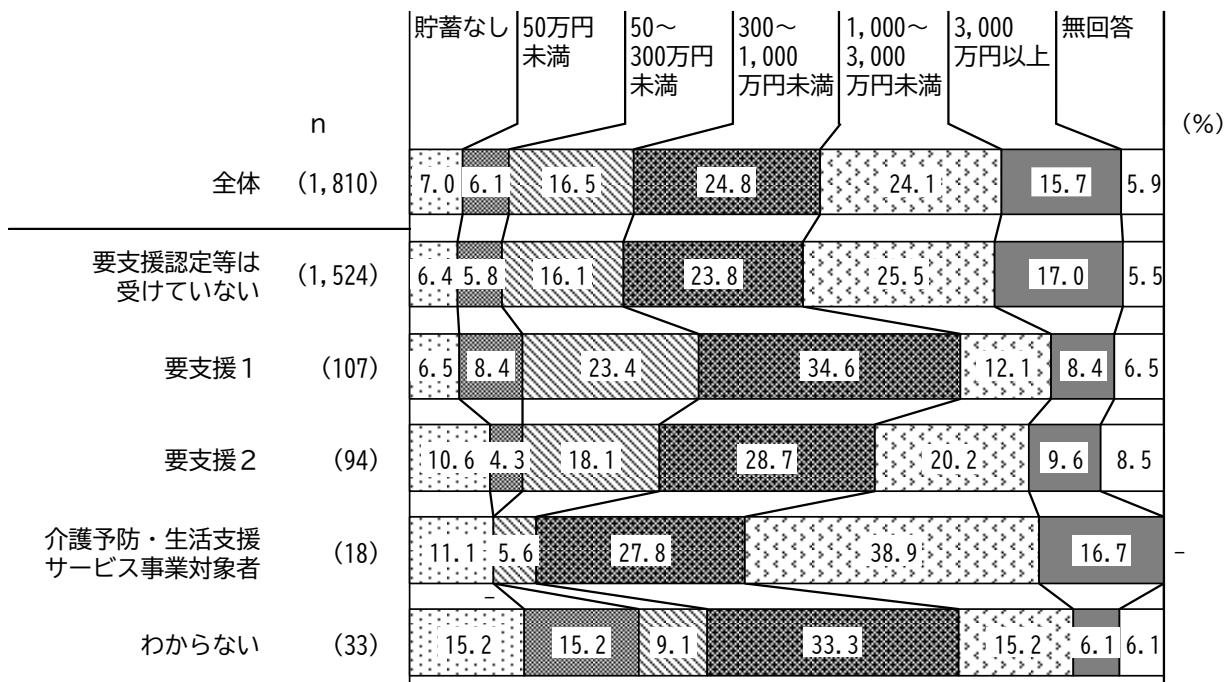
【状態別（1人暮らし）】世帯の昨年の合計収入



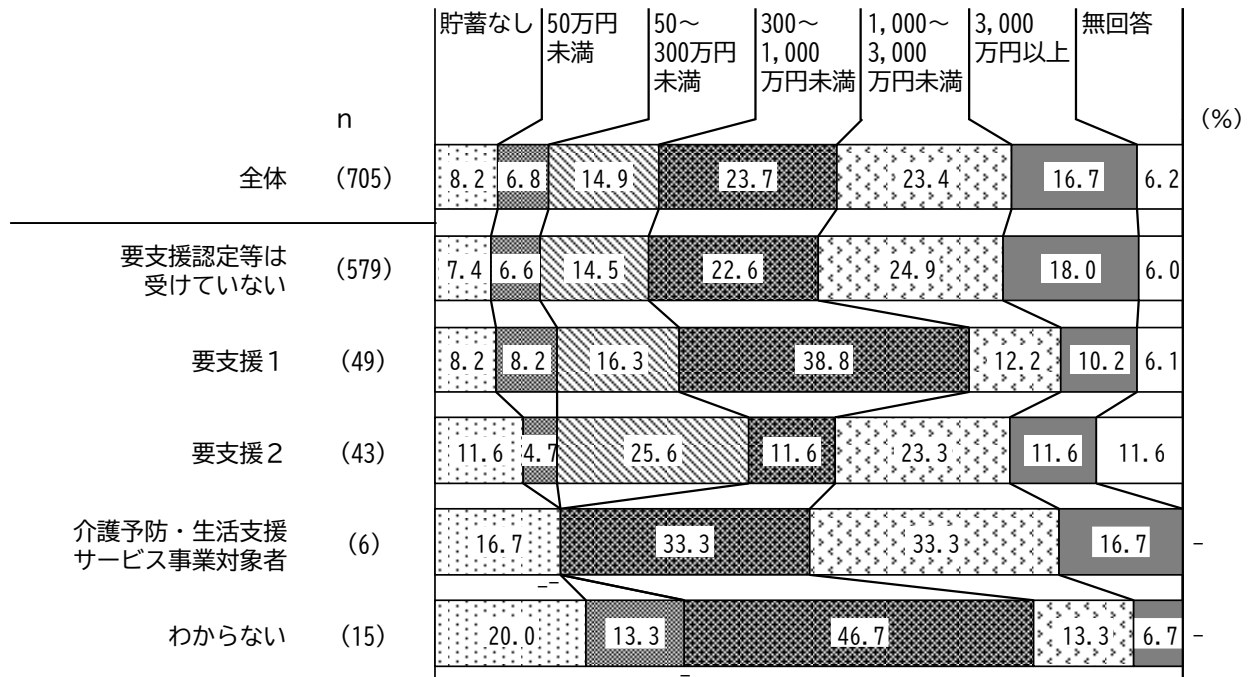
【状態別（夫婦2人暮らし）】世帯の昨年の合計収入



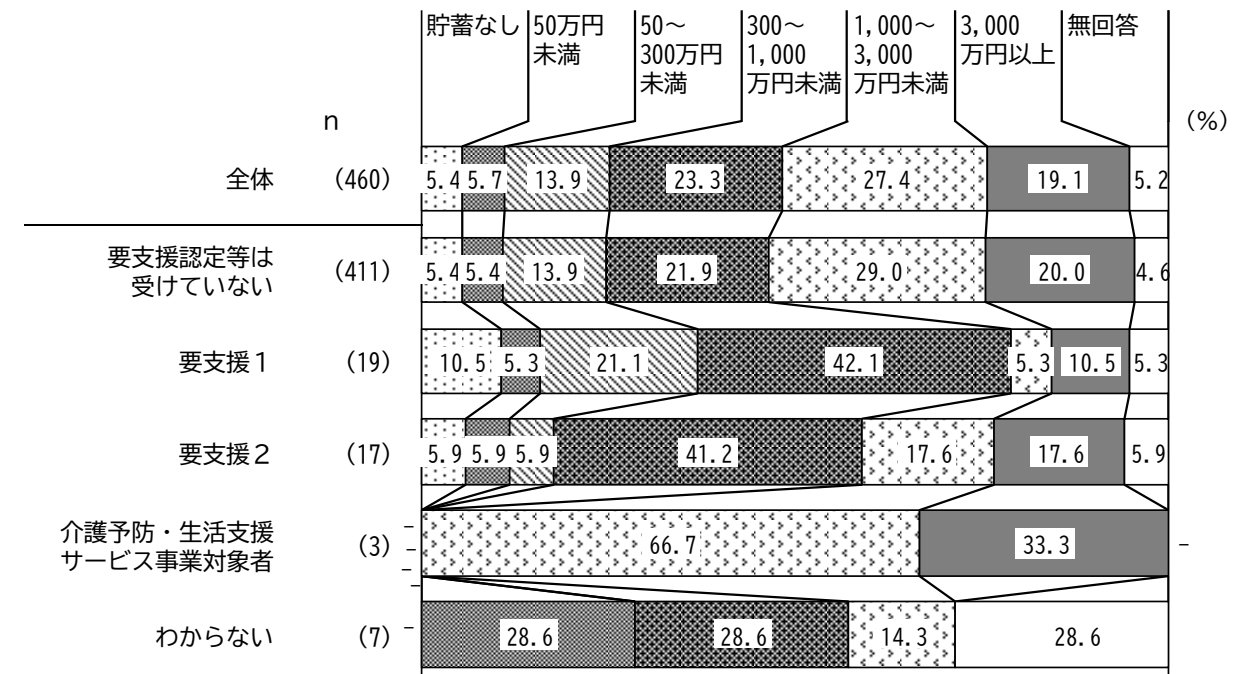
1.7.1. 現在の預貯金額



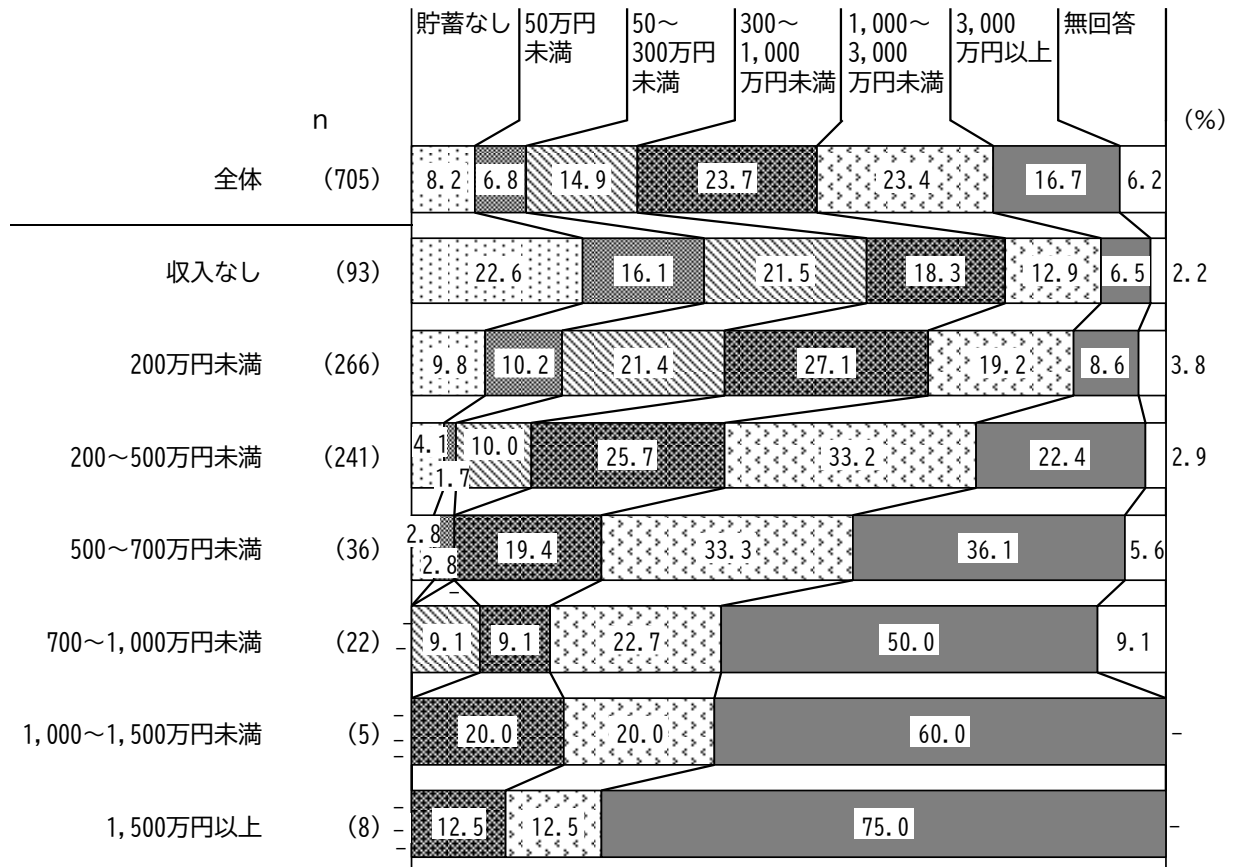
【状態別（1人暮らし）】現在の預貯金額



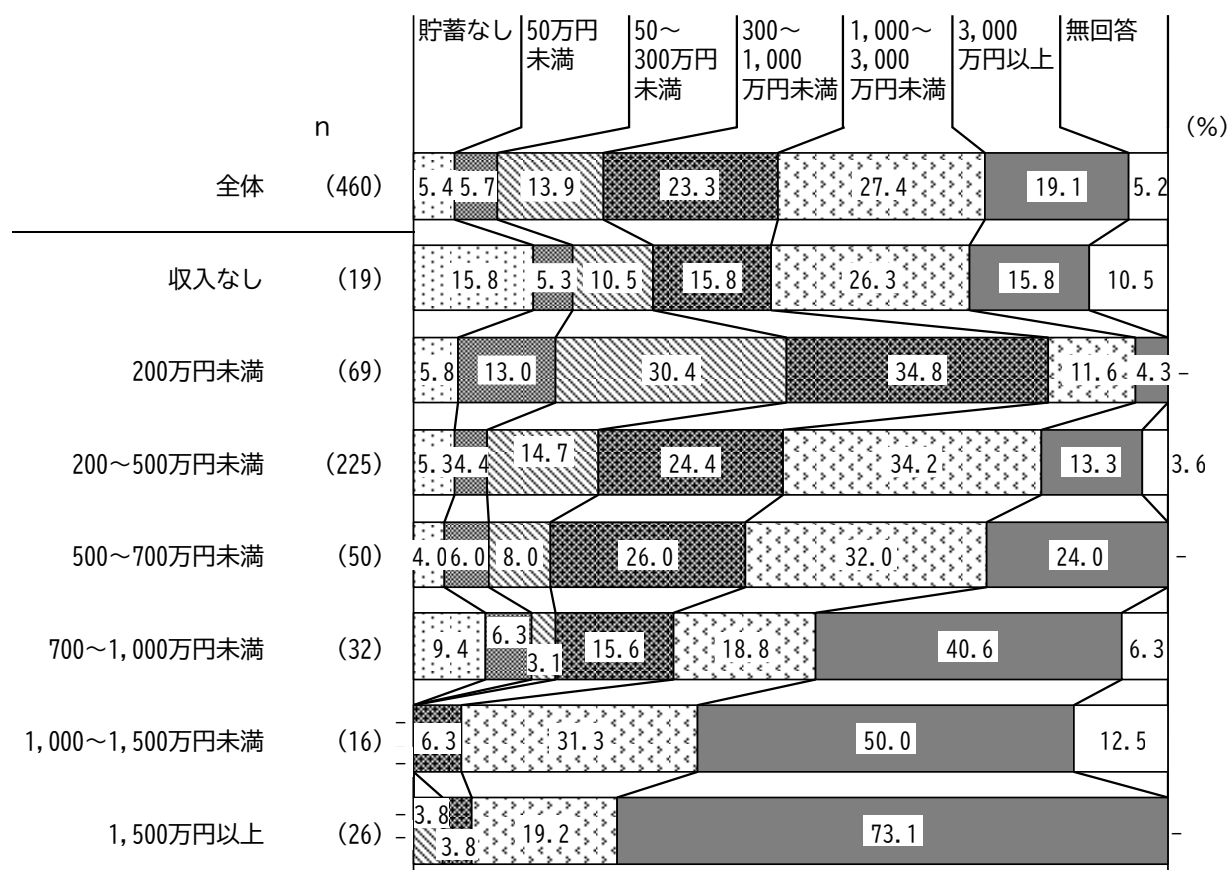
【状態別（夫婦2人暮らし）】現在の預貯金額



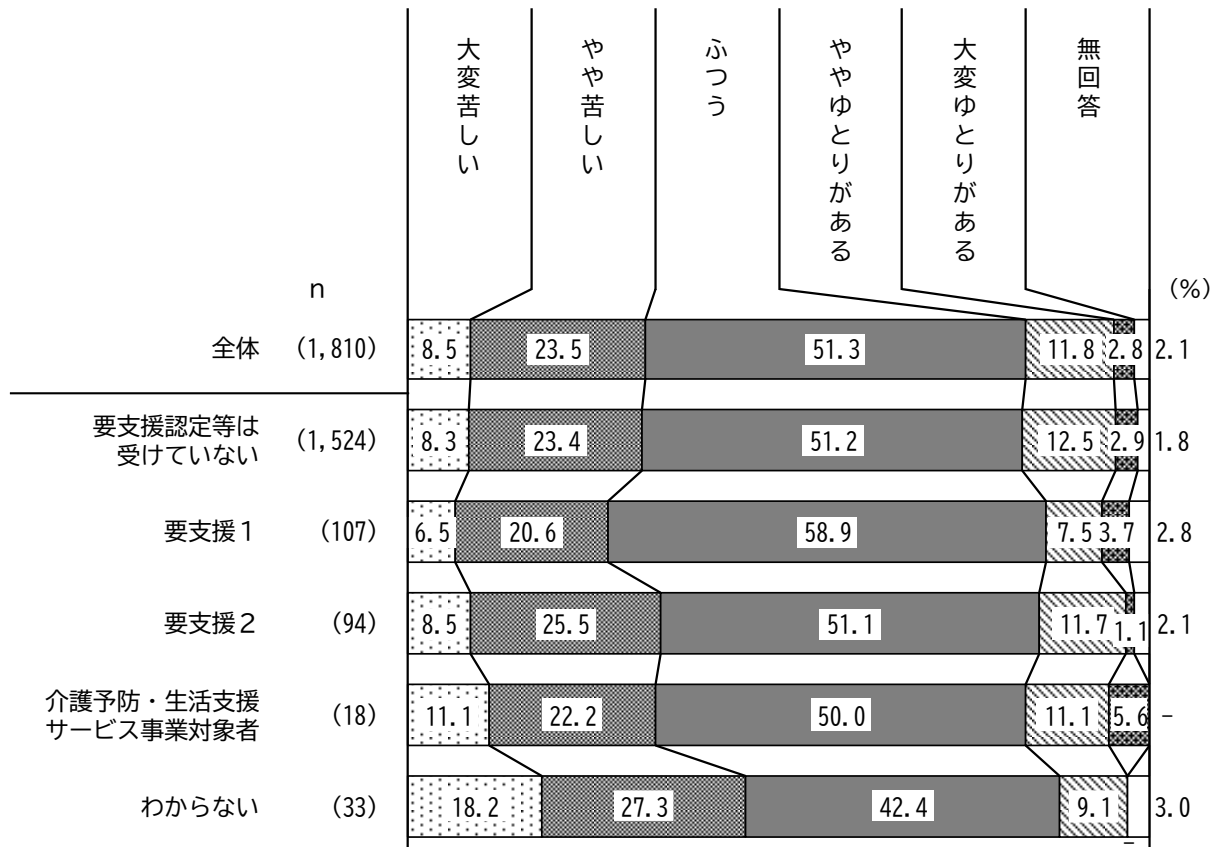
【収入別（1人暮らし）】現在の預貯金額



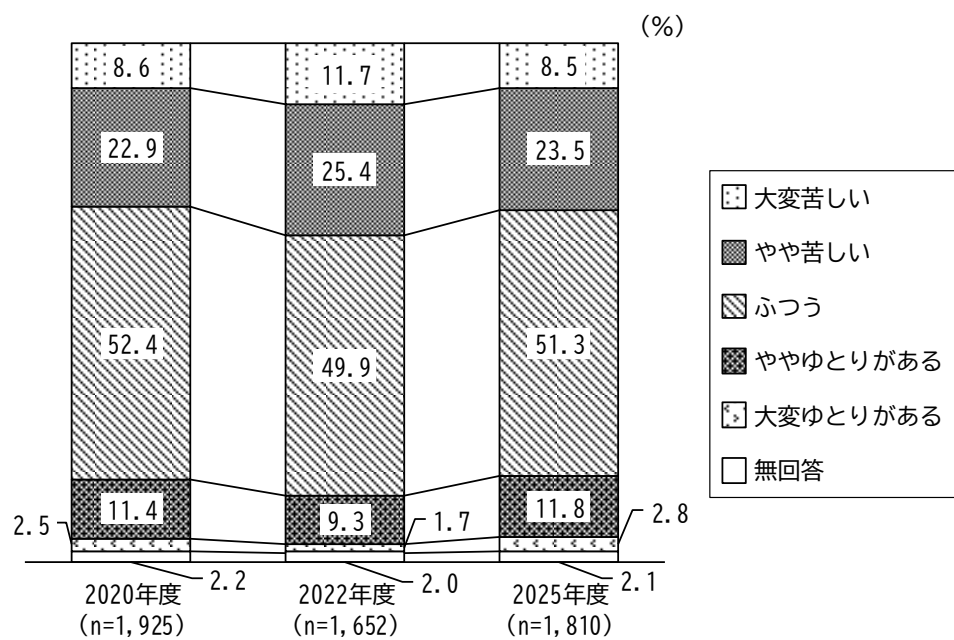
【収入別（夫婦2人暮らし）】現在の預貯金額



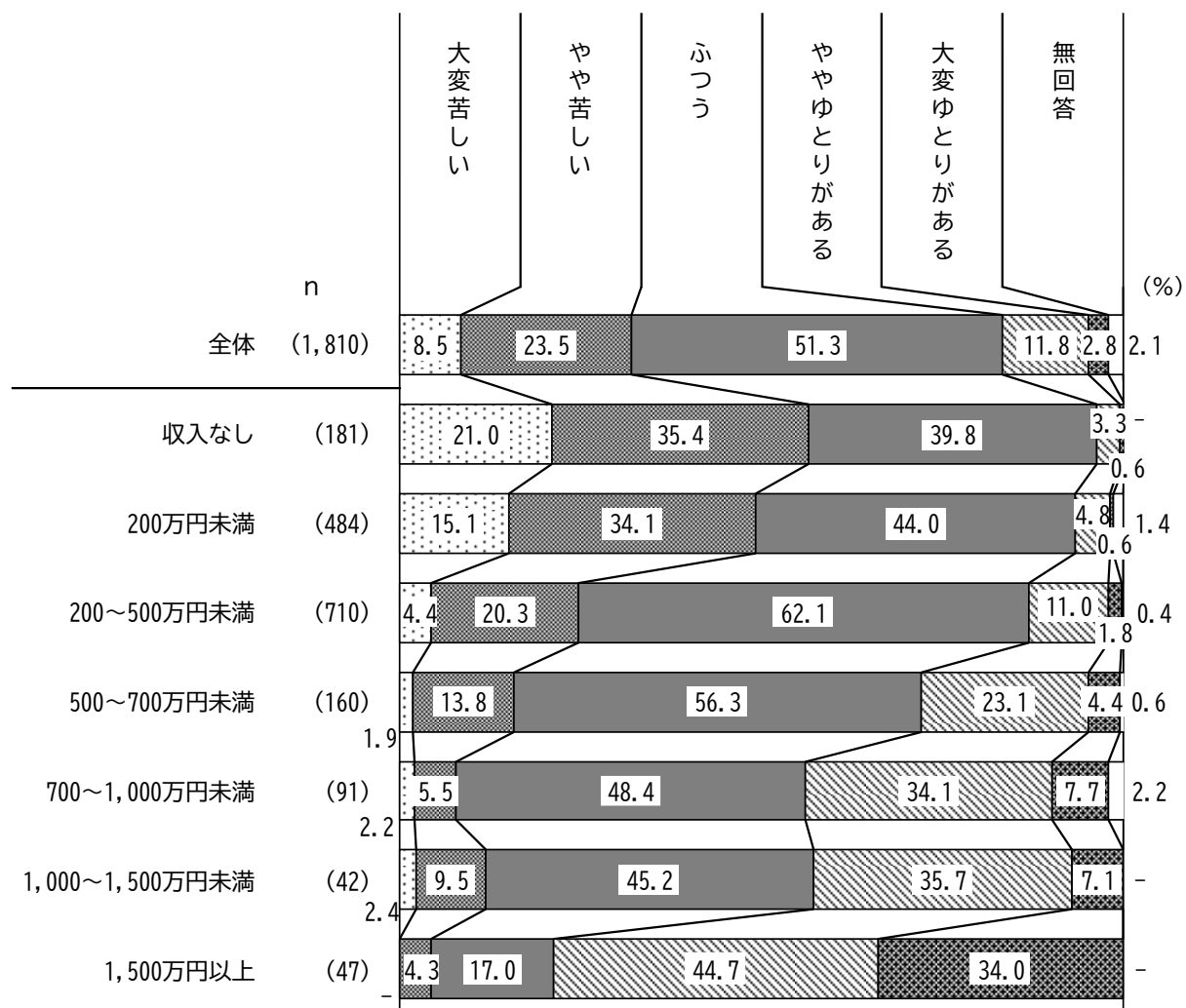
1.7.2. 暮らしの状況



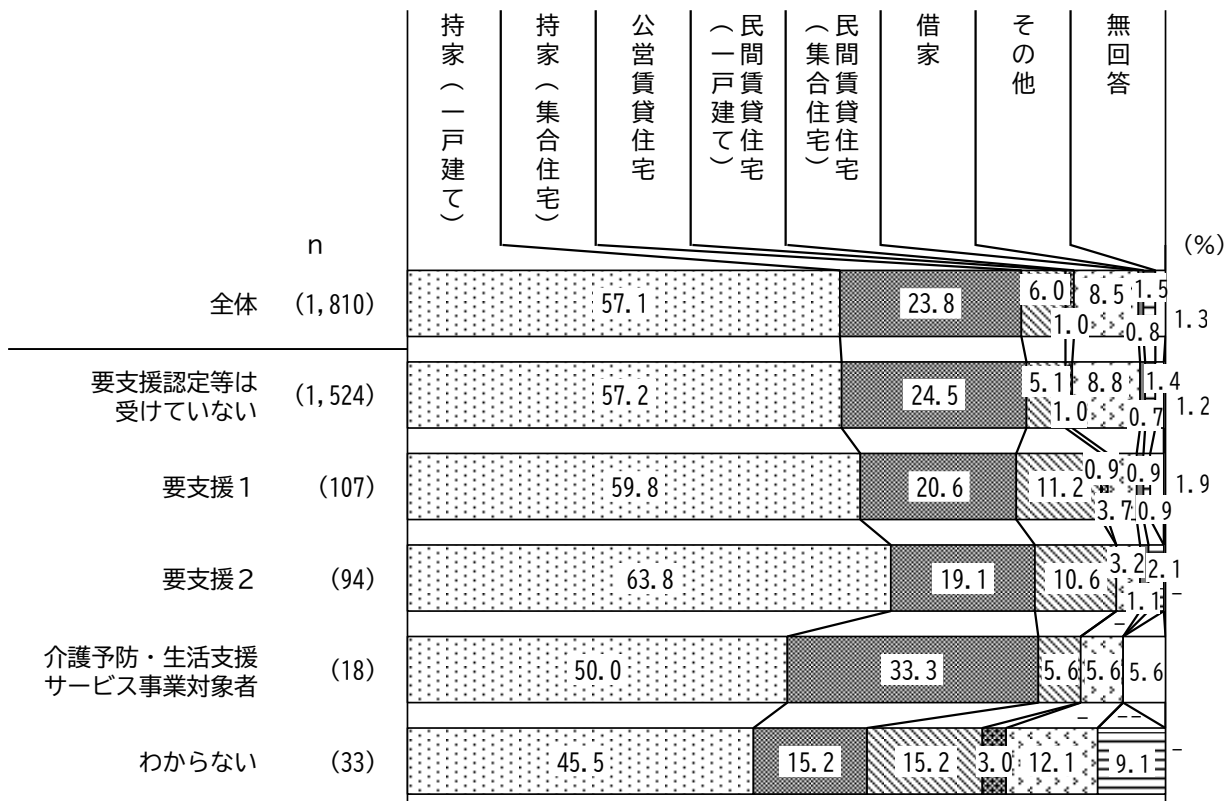
【経年比較】暮らしの状況



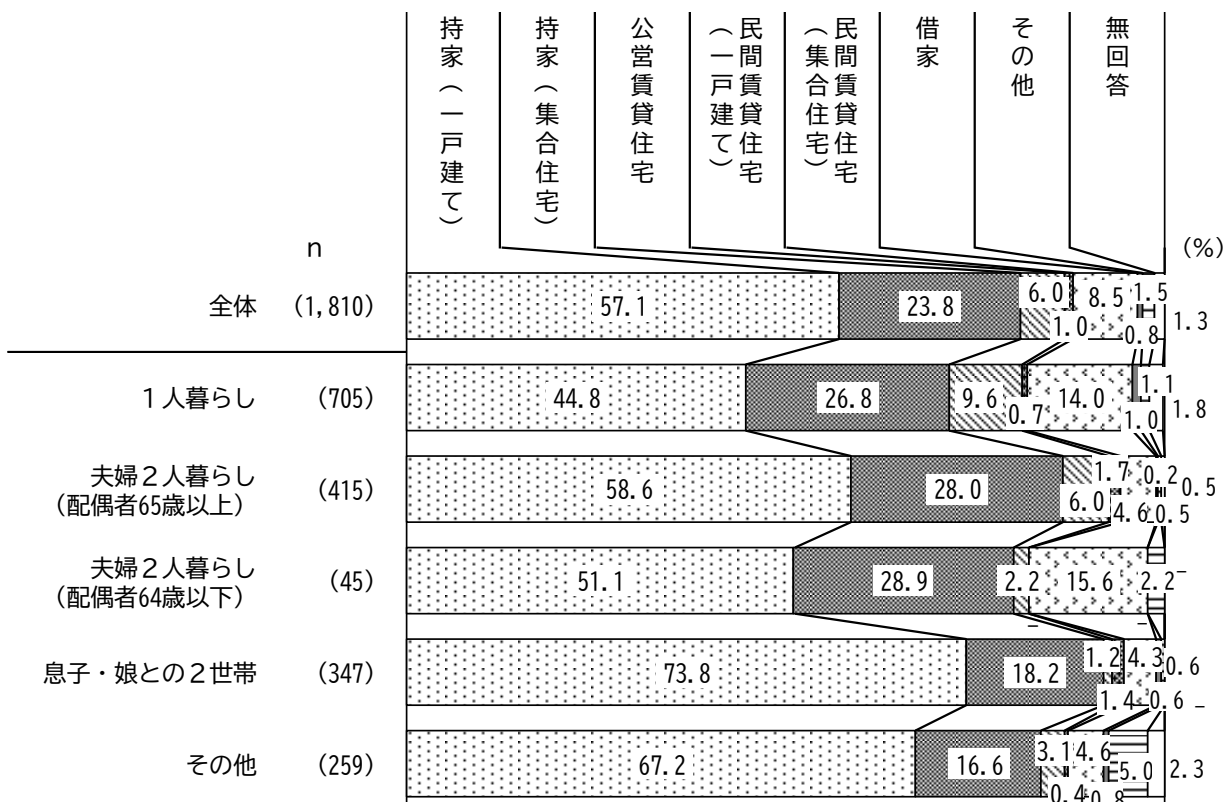
【収入別】暮らしの状況



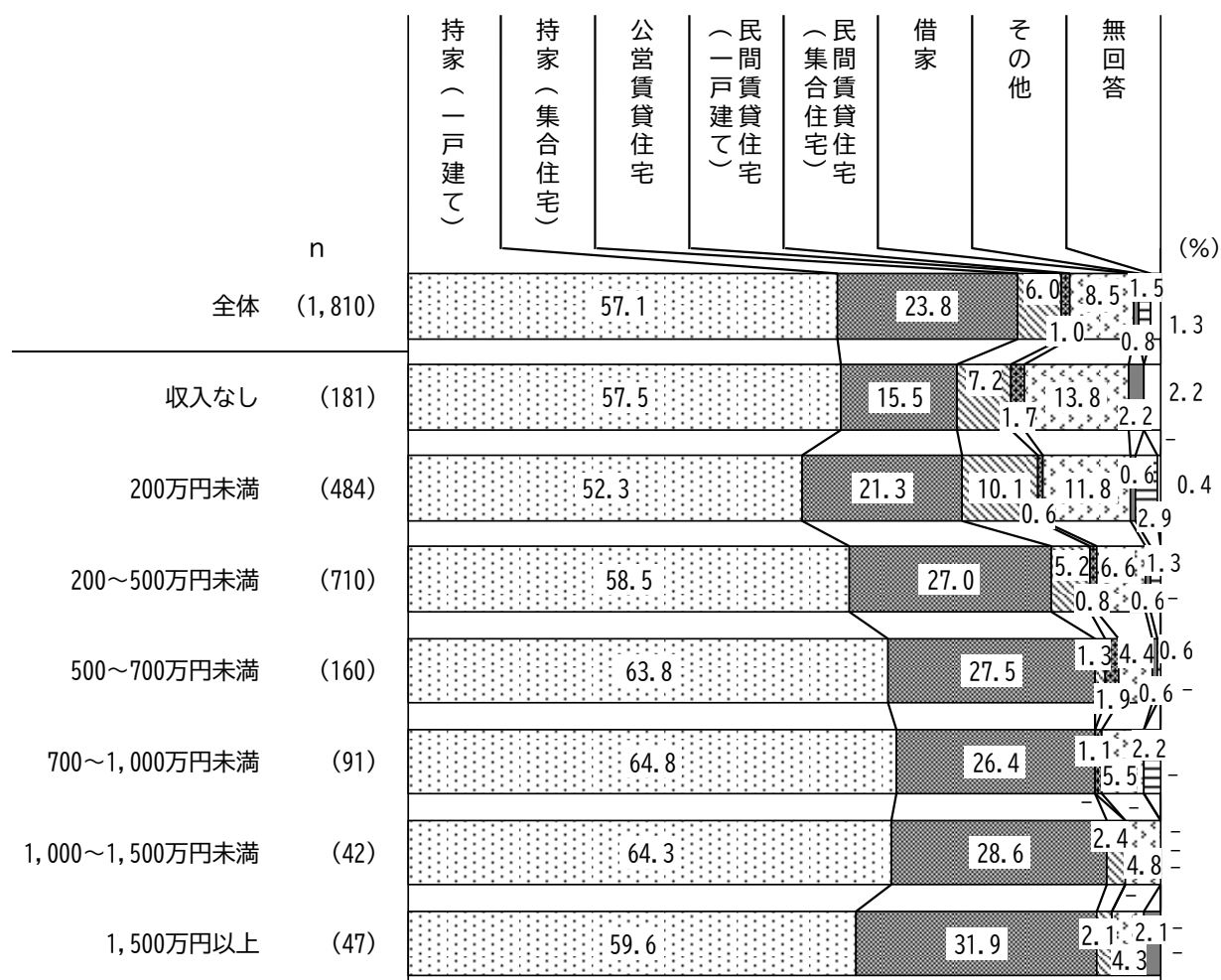
1.8. 居住形態



【家族構成別】居住形態



【収入別】居住形態



2. からだを動かすことについて

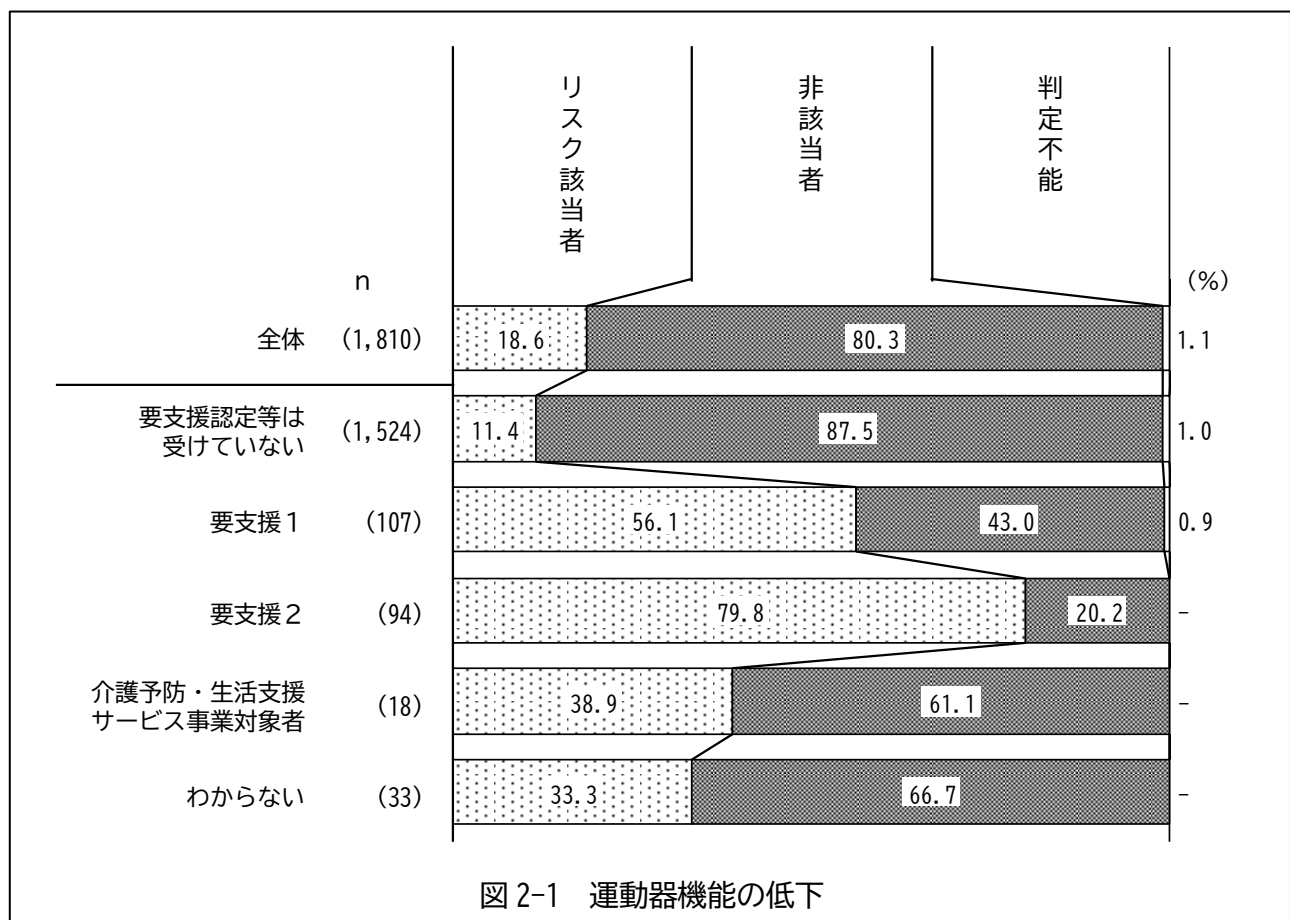
2.1. 機能評価

2.1.1. 運動器機能

◇以下の設問を抽出し、5 項目のうち 3 項目以上に該当する人を運動器の機能低下リスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 11	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問 12	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問 13	15 分位続けて歩いていますか	3. できない
問 14	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1 度ある
問 15	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

◆ 運動器機能の低下リスク該当者は 1 割台後半



全体では、運動器機能低下のリスク該当者は 1 割台後半となっている。

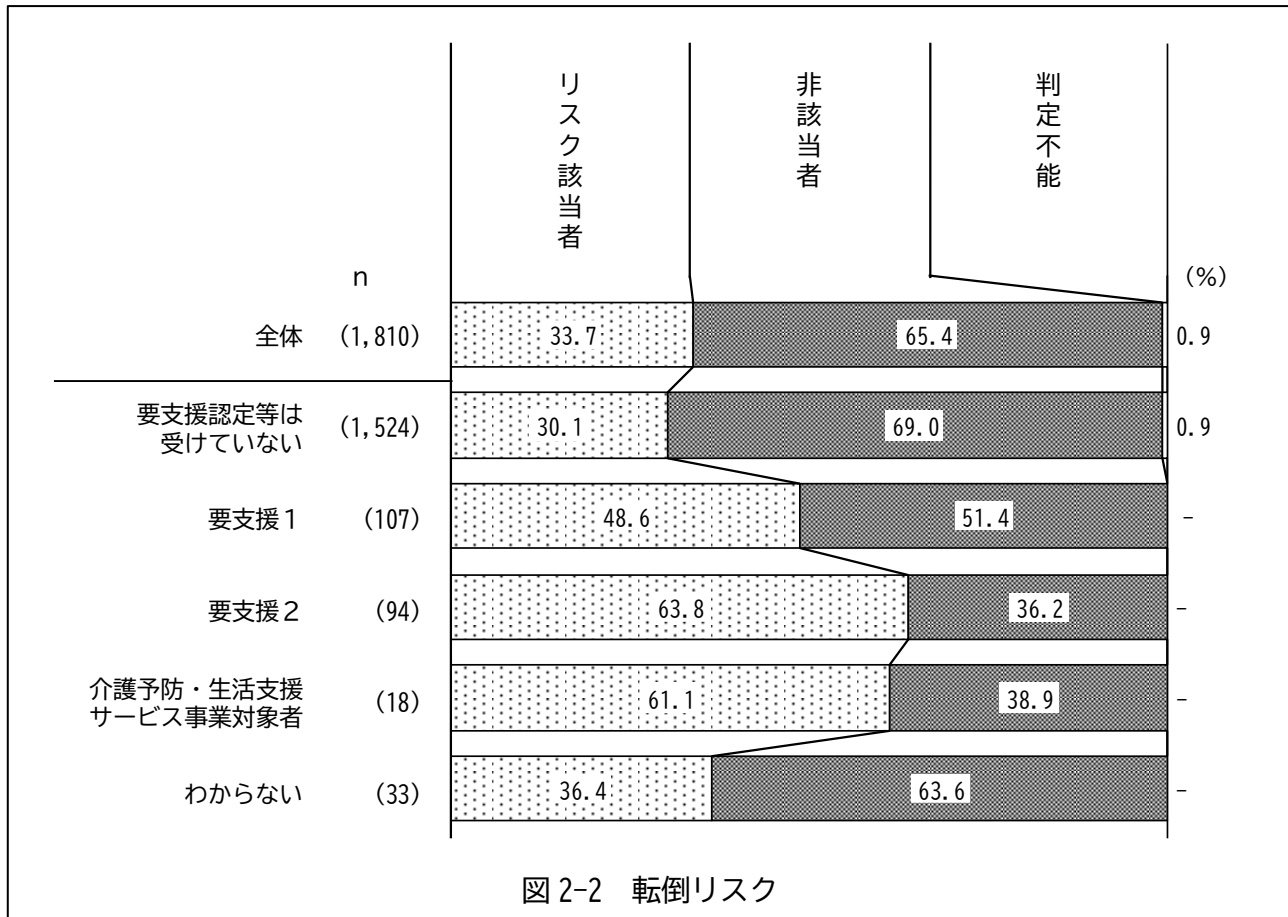
状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援 2 に向かって、段階的に高くなっている。

2.1.2. 転倒リスク

◇以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 14	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1 度ある

◆ 転倒リスク該当者は 3 割台前半



全体では、転倒リスクの該当者は 3 割台前半となっている。

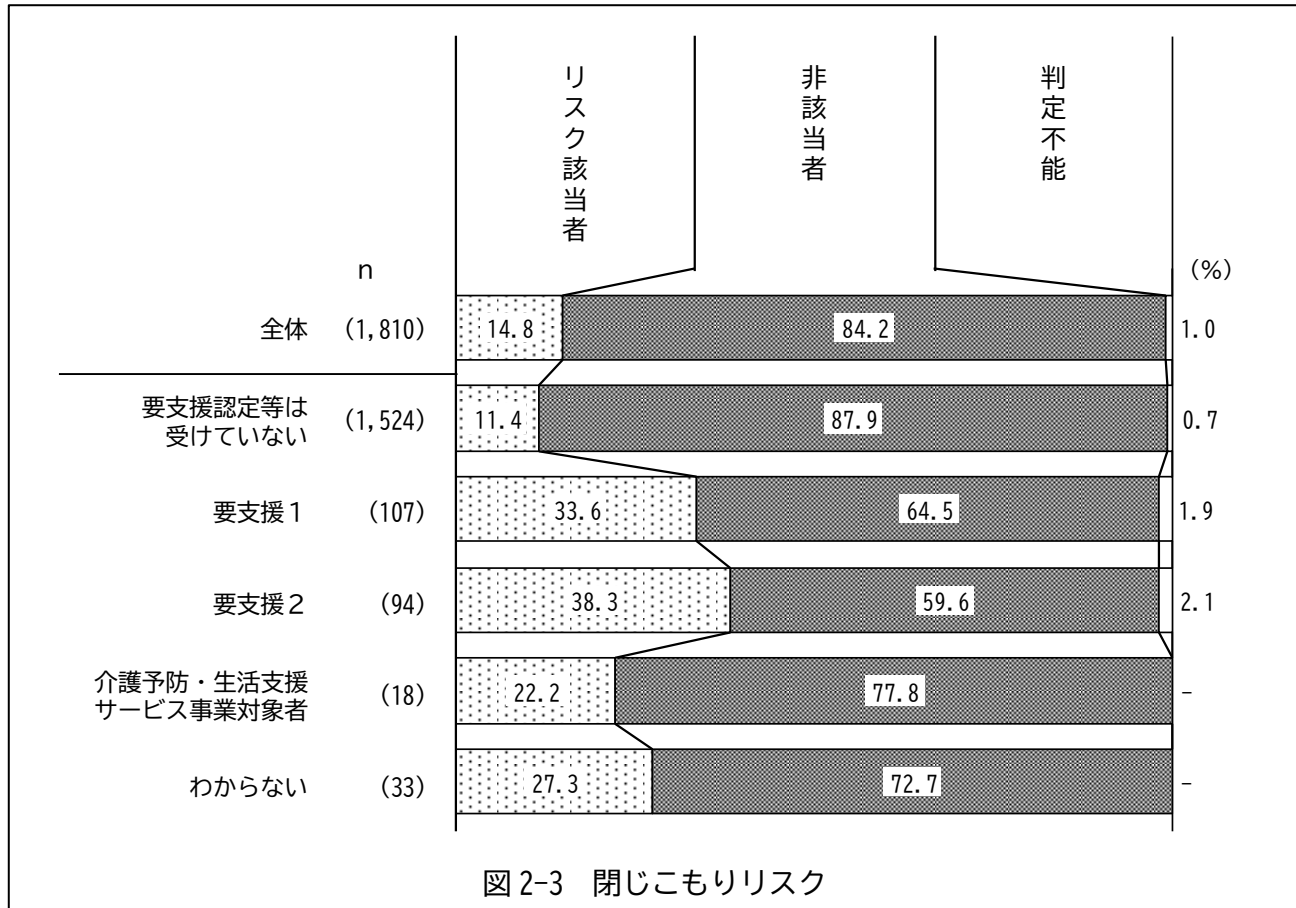
状態別では、リスク該当者の割合は、要支援 2 が 6 割台前半、介護予防・生活支援サービス事業対象者が約 6 割で高くなっている。

2.1.3. 閉じこもり傾向

◇以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 16	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

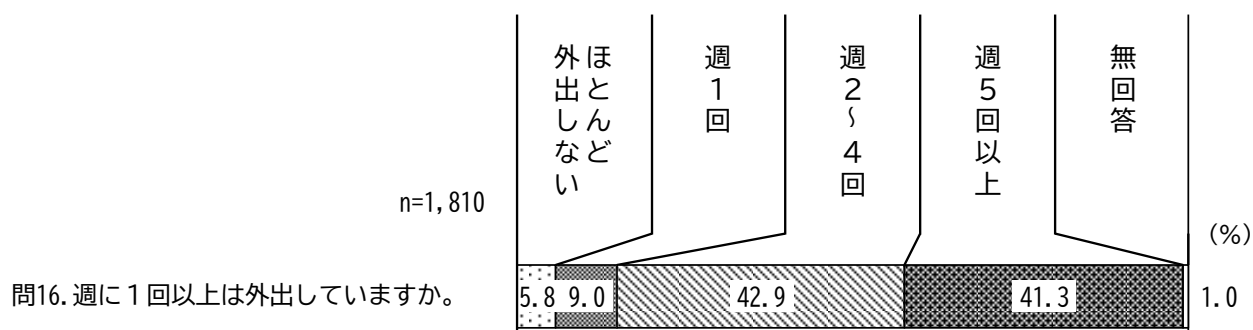
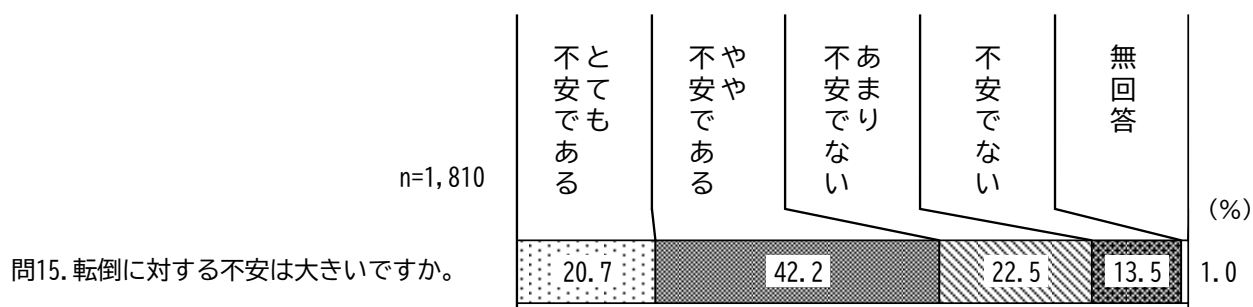
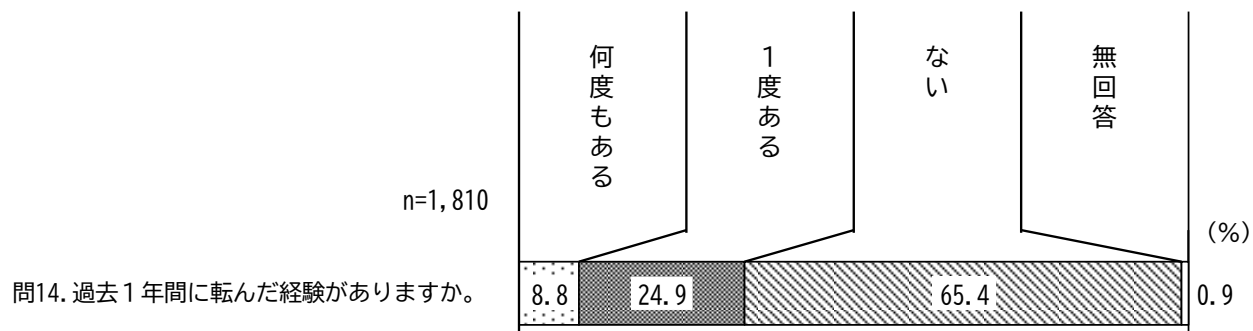
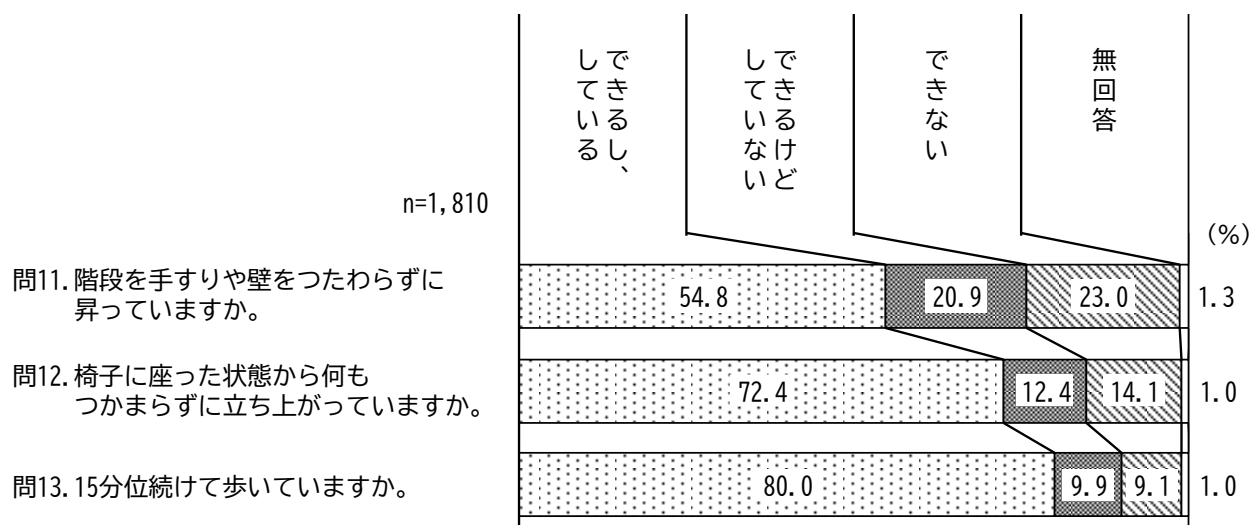
◆ 閉じこもりのリスク該当者は1割台半ば



全体では、閉じこもりリスクの該当者は1割台半ばとなっている。

状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、段階的に高くなっている。

※問 11～16 設問ごとの結果
(全員の方に)

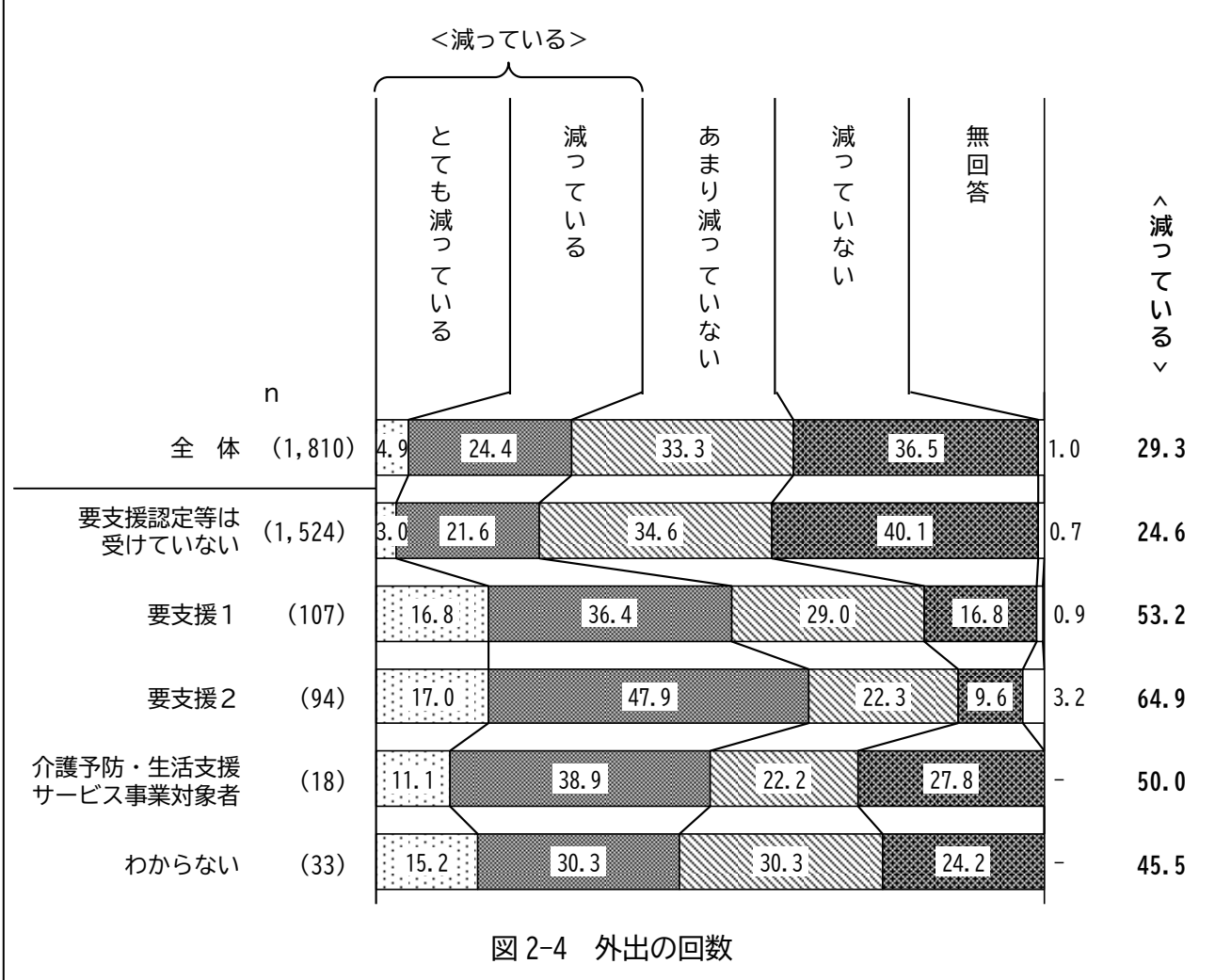


2.2. 外出の回数

◆ <減っている>が約3割

(全員の方に)

問 17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)



要支援認定等を受けていない人は「減っていない」が約4割で最も高くなっている。

一方、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者では「減っている」が最も高く、「とても減っている」と合わせると、いずれも半数以上を占めている。

2.2.1. 外出が減っている理由

◆ 「足腰などの痛み」が約5割

(問17で「とても減っている」「減っている」に○をつけた方に)
問17-1 外出が減っている理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

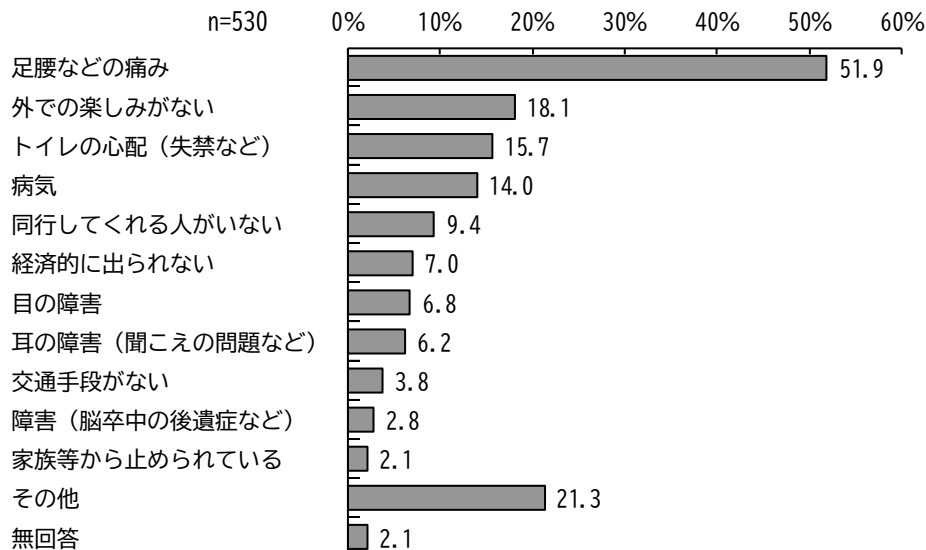


図2-5 外出が減っている理由

「足腰などの痛み」が約5割で最も高くなっている。

「その他」の内容としては、「気が向かない」や「気候のため (熱中症)」などが挙げられている。

【状態別】外出が減っている理由

単位：%

	有効回答数 (件)	足腰などの痛み	外での楽しみがない	トイレの心配 (失禁など)	病気	同行してくれる人がいない	経済的に出られない	目の障害
全体	530	51.9	18.1	15.7	14.0	9.4	7.0	6.8
要支援認定等は受けていない	375	47.2	19.2	13.3	13.3	4.8	8.0	5.3
要支援1	57	61.4	15.8	31.6	12.3	19.3	1.8	7.0
要支援2	61	67.2	11.5	19.7	11.5	29.5	4.9	13.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	9	55.6	22.2	-	44.4	-	22.2	11.1
わからない	15	53.3	26.7	13.3	13.3	13.3	6.7	20.0

	有効回答数 (件)	耳の障害 (聞こえの問題など)	交通手段がない	障害 (脳卒中の後遺症など)	家族等から止められている	その他	無回答
全体	530	6.2	3.8	2.8	2.1	21.3	2.1
要支援認定等は受けていない	375	5.6	1.9	2.9	1.9	23.5	1.9
要支援1	57	5.3	8.8	1.8	1.8	19.3	1.8
要支援2	61	9.8	8.2	3.3	4.9	18.0	1.6
介護予防・生活支援サービス事業対象者	9	11.1	-	-	-	-	-
わからない	15	13.3	13.3	-	-	20.0	6.7

2.3. 外出する際の移動手段

◆ 「徒歩」が8割台前半

(全員の方に)

問 18 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

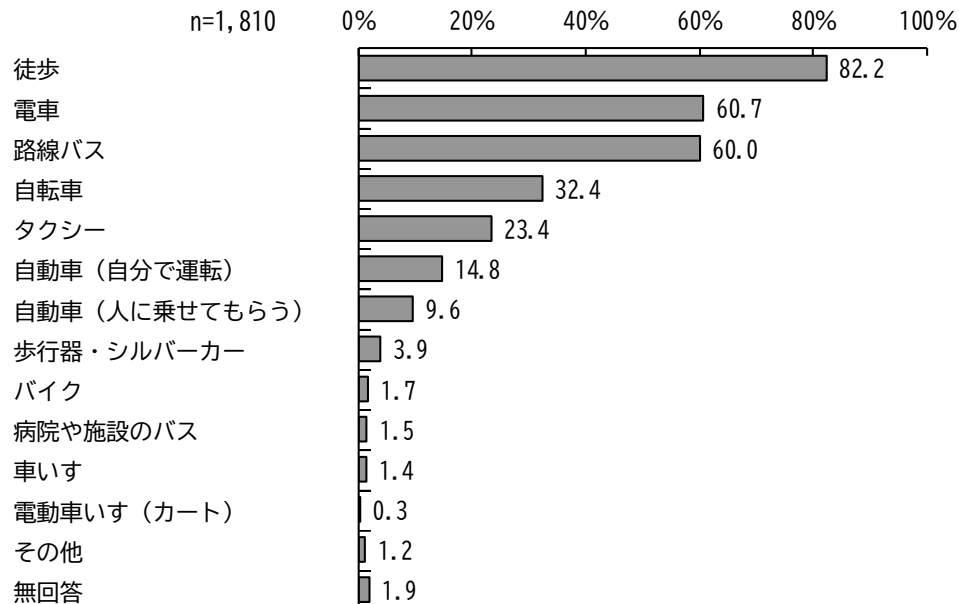


図 2-6 外出する際の移動手段

「徒歩」が8割台前半と最も高くなっている。

【状態別】外出する際の移動手段

単位：%

	有効回答数(件)	徒歩	電車	路線バス	自転車	タクシー	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)
全体	1,810	82.2	60.7	60.0	32.4	23.4	14.8	9.6
要支援認定等は受けていない	1,524	85.8	66.0	62.7	36.7	20.0	17.3	8.5
要支援1	107	72.9	39.3	55.1	7.5	46.7	1.9	11.2
要支援2	94	44.7	17.0	30.9	3.2	43.6	-	20.2
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	72.2	27.8	55.6	11.1	38.9	-	16.7
わからない	33	78.8	54.5	60.6	18.2	36.4	6.1	15.2

	有効回答数(件)	歩行器・シルバーカー	バイク	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	その他	無回答
全体	1,810	3.9	1.7	1.5	1.4	0.3	1.2	1.9
要支援認定等は受けていない	1,524	1.3	1.8	0.5	0.2	0.1	0.6	1.6
要支援1	107	15.9	0.9	8.4	2.8	0.9	3.7	1.9
要支援2	94	34.0	-	9.6	14.9	4.3	5.3	3.2
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	5.6	5.6	-	16.7	-	5.6	-
わからない	33	-	-	3.0	-	-	3.0	3.0

3. 食べるについて

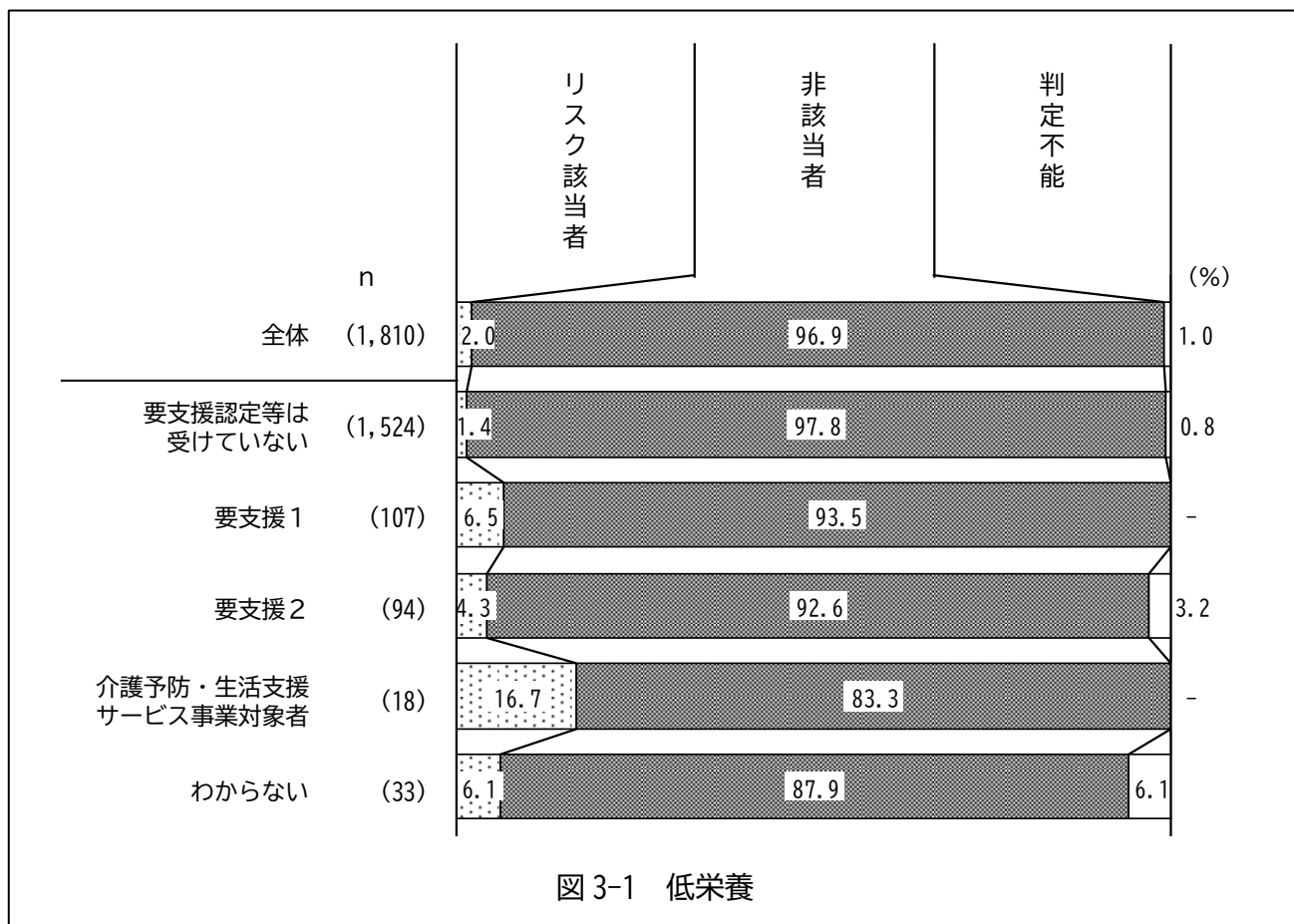
3.1. 機能評価

3.1.1. 低栄養

◇以下の設問を抽出し、2 項目の両方に該当する人を低栄養のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する状態・選択肢
問 19	身長・体重	BMI 18.5 未満
問 25	6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい

◆ 低栄養のリスク該当者は 2%



全体では、低栄養のリスク該当者は 2%となっている。

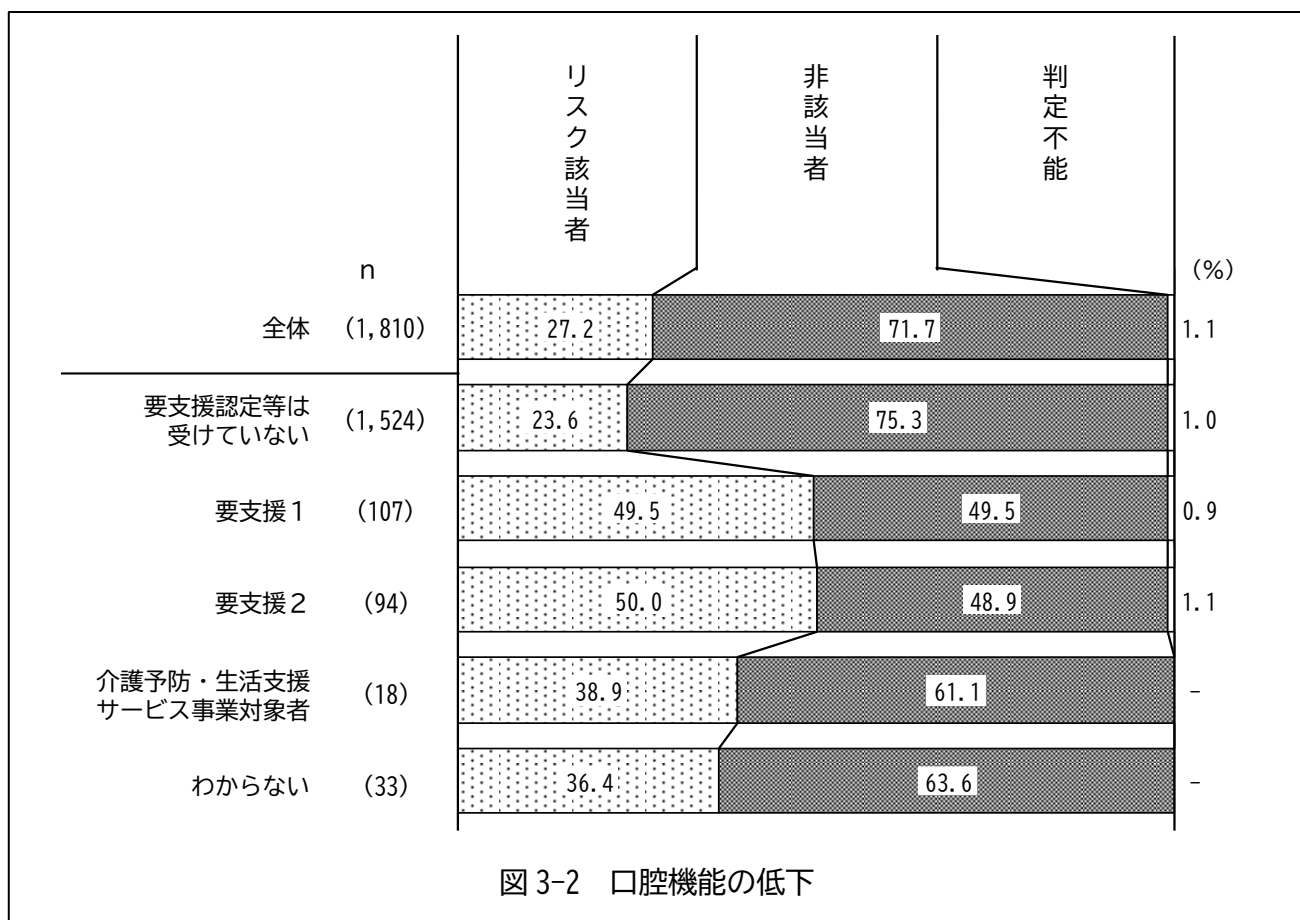
状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者でやや高く、1 割台半ばとなっている。

3.1.2. 口腔機能

◇以下の設問を抽出し、3 項目のうち 2 項目以上に該当する人を口腔機能低下のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 20	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 21	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問 22	口の渇きが気になりますか	1. はい

◆ 口腔機能の低下リスク該当者は 2 割台後半

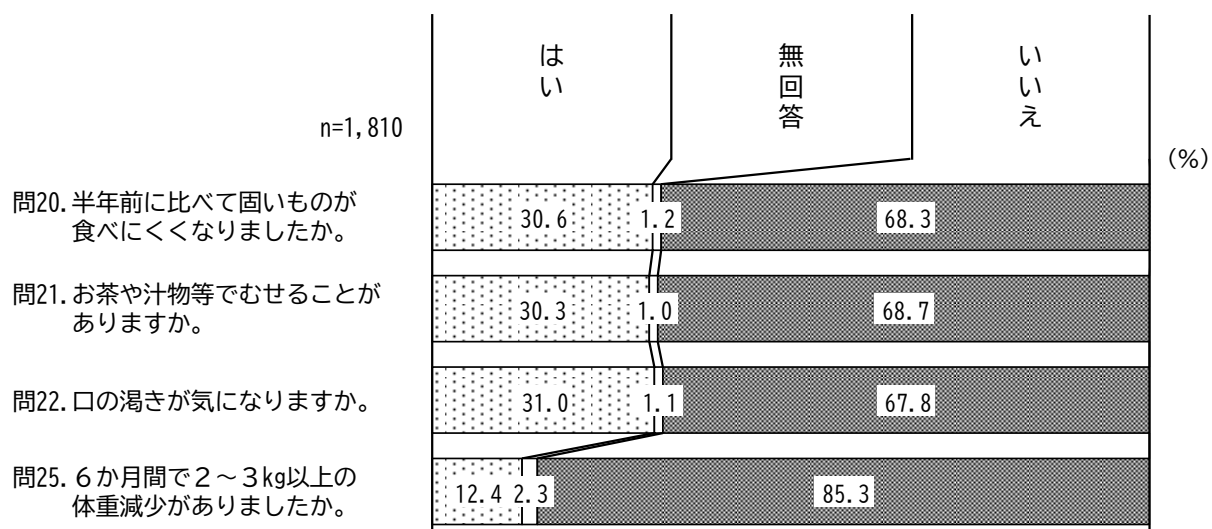
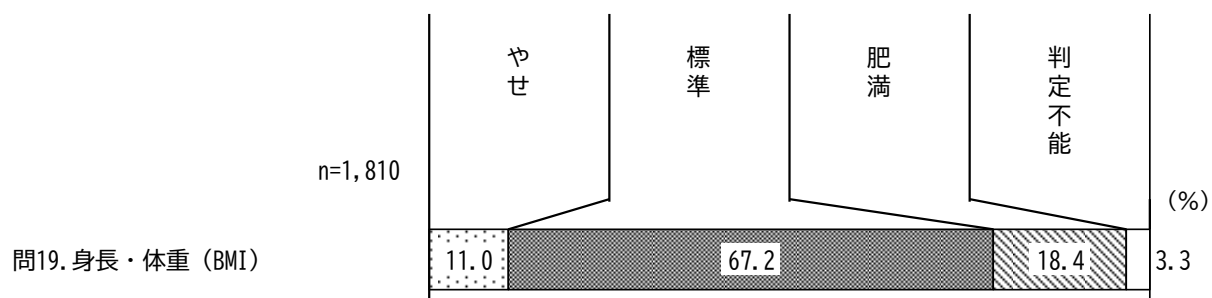


全体では、口腔機能低下のリスク該当者は 2 割台後半となっている。

状態別では、リスク該当者の割合は、要支援認定等を受けていない人から要支援 2 に向かって、段階的に高くなっている。

また、要支援 1・2 はともに 5 割程度を占めている。

※問 19～問 22、問 25 設問ごとの結果
(全員の方に)



3.2. 歯磨きの状況

◆ 「はい」が9割台前半

(全員の方に)

問 23 歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日していますか。（○は1つ）

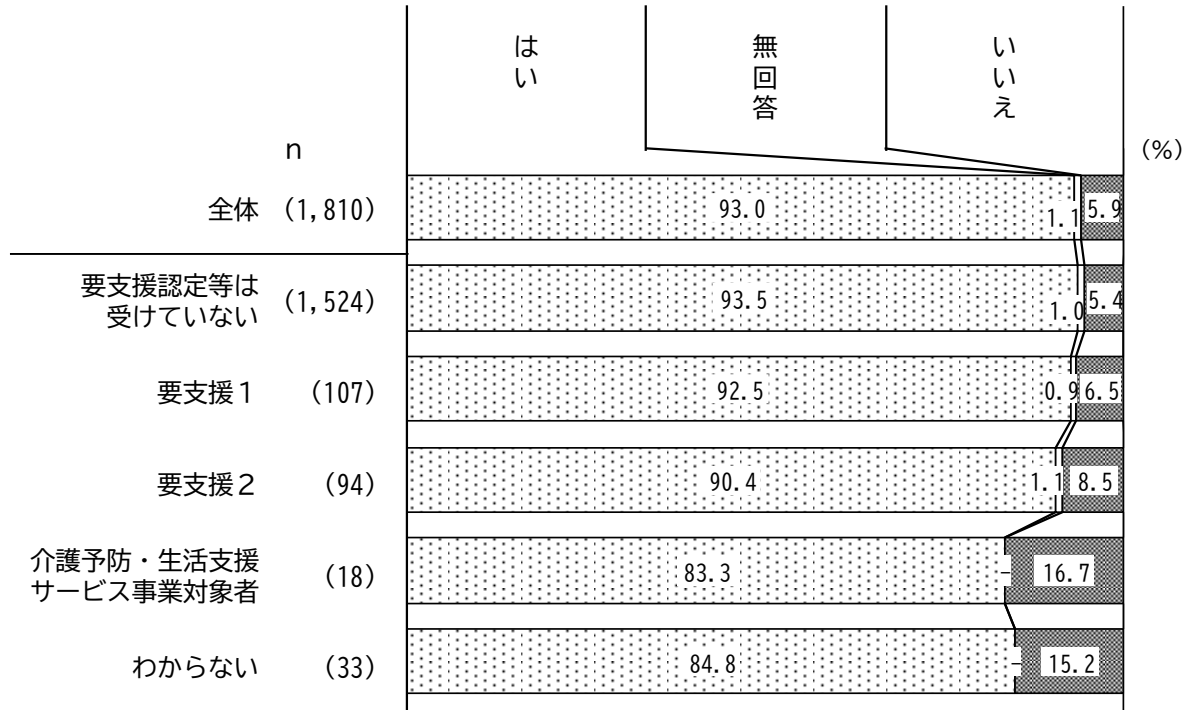


図 3-3 歯磨きの状況

「はい」が9割台前半となっている。

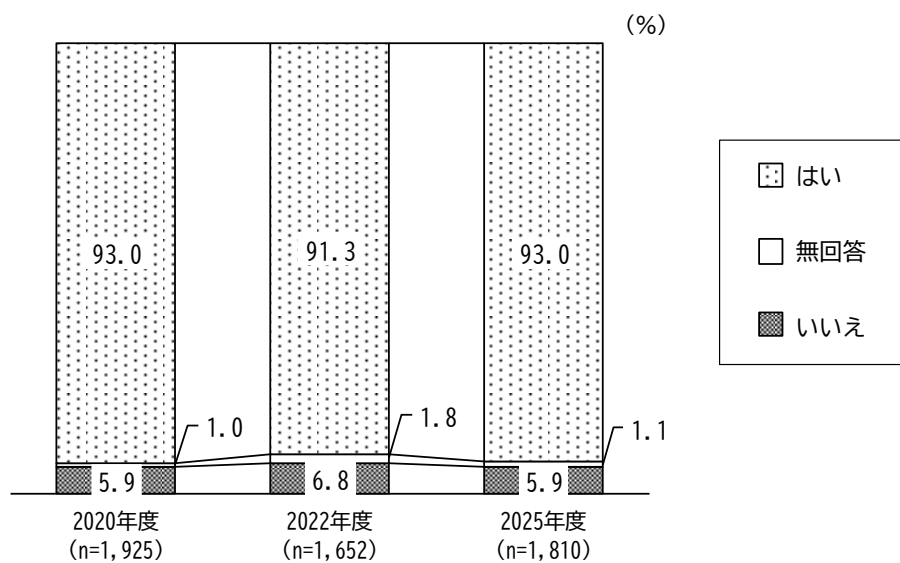


図 3-4 【経年比較】歯磨きの状況

経年比較では、大きな差異はみられない。

3.3. 歯の数と入れ歯の利用状況

◆ 「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 3 割台後半

(全員の方に)

問 24 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (○は 1 つ)

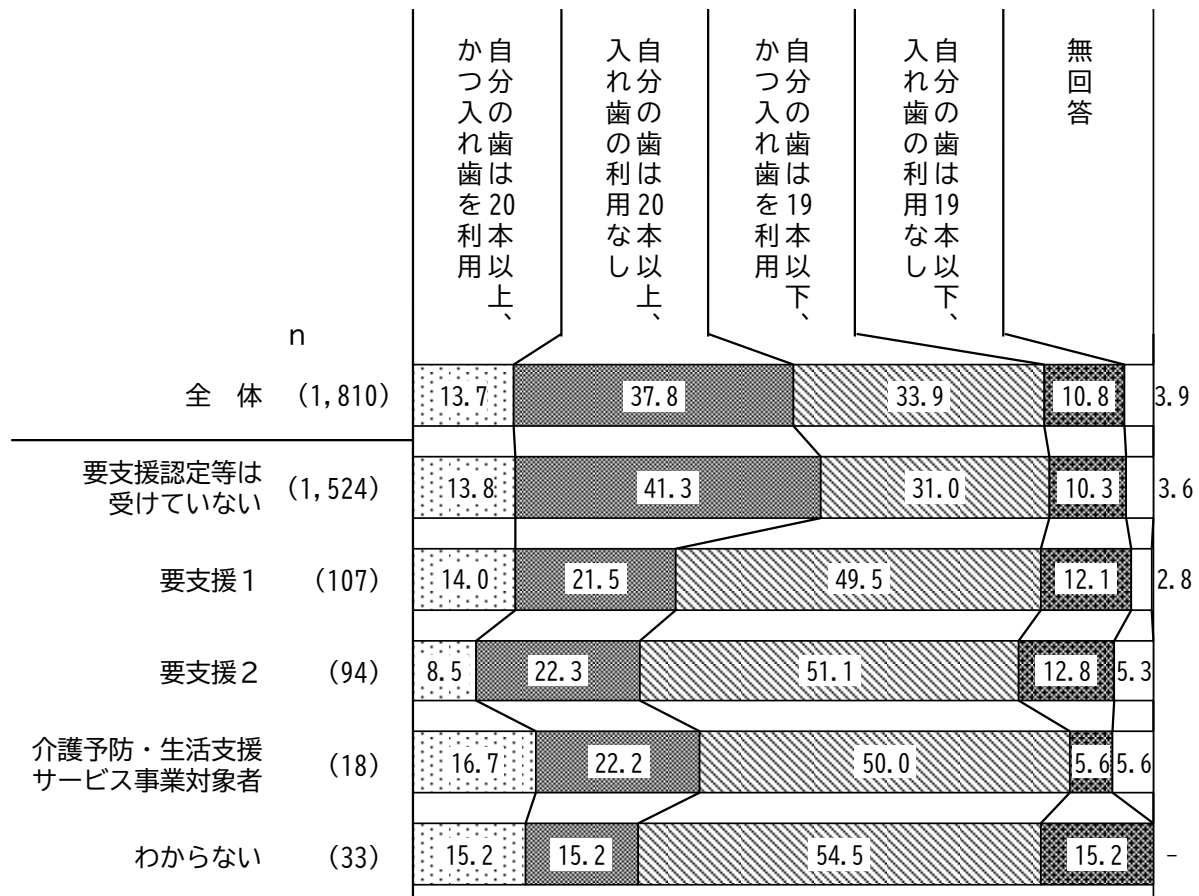


図 3-5 歯の数と入れ歯の利用状況

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 3 割台後半で最も高くなっている。

状態別では、要支援 1・2 及び介護予防・生活支援サービス事業対象者は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が約 5 割を占めている。

3.3.1. 噛み合わせの状況

◆ 「はい」が約7割

(全員の方に)

問 24-1 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

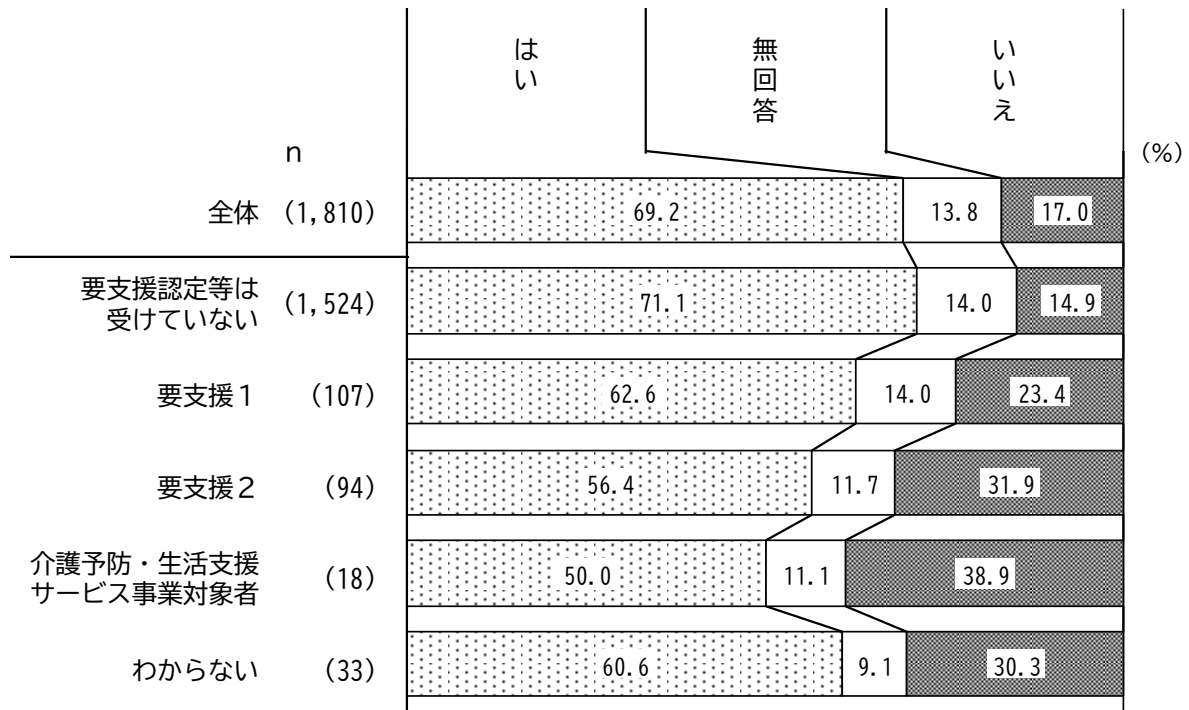


図 3-6 噛み合わせの状況

全体では、「はい」が約7割を占めている。

状態別では、「いいえ」は介護予防・生活支援サービス事業対象者で3割台後半、要支援2で約3割と高くなっている。

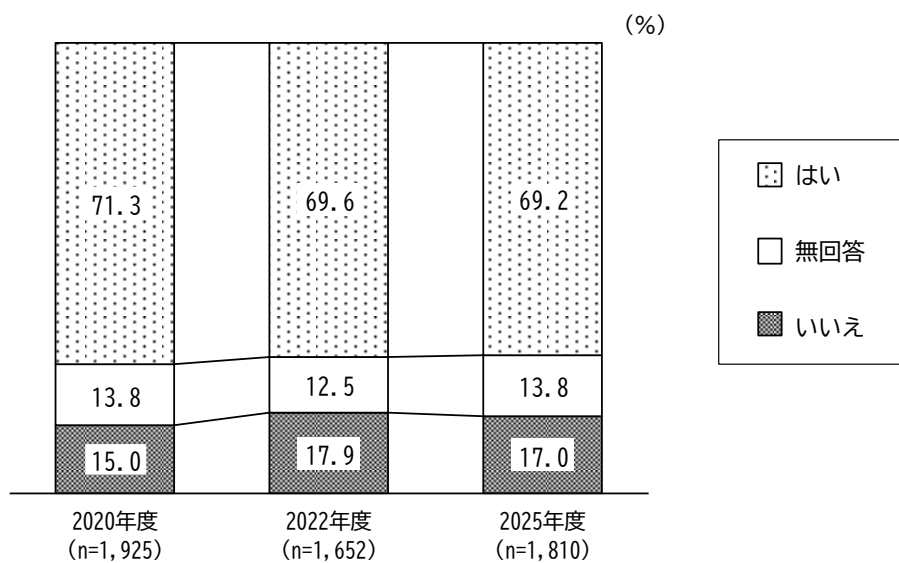


図 3-7 【経年比較】噛み合わせの状況

経年比較では、大きな差異はみられない。

3.3.2. 毎日入れ歯の手入れをしているか

◆ 「はい」が約9割

(問 24 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」に○をつけた方に)

問 24-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

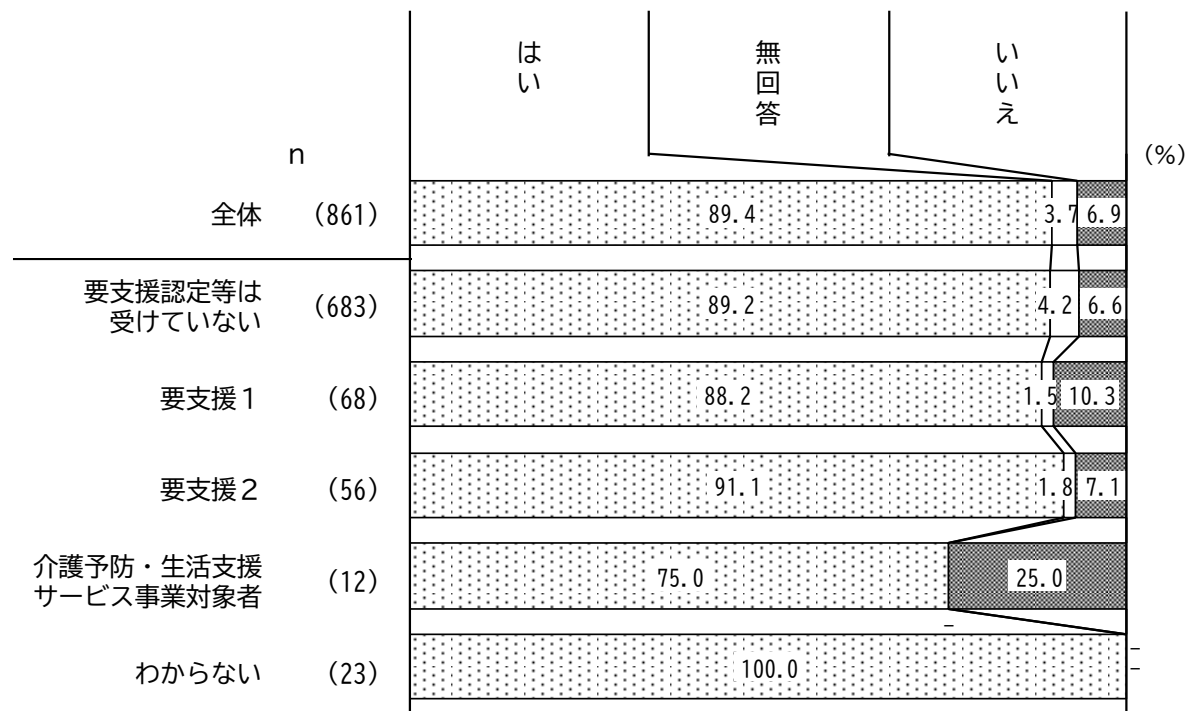


図 3-8 毎日入れ歯の手入れをしているか

全体では、「はい」が約9割を占めている。

状態別では、要支援1で「いいえ」が約1割を占めている。

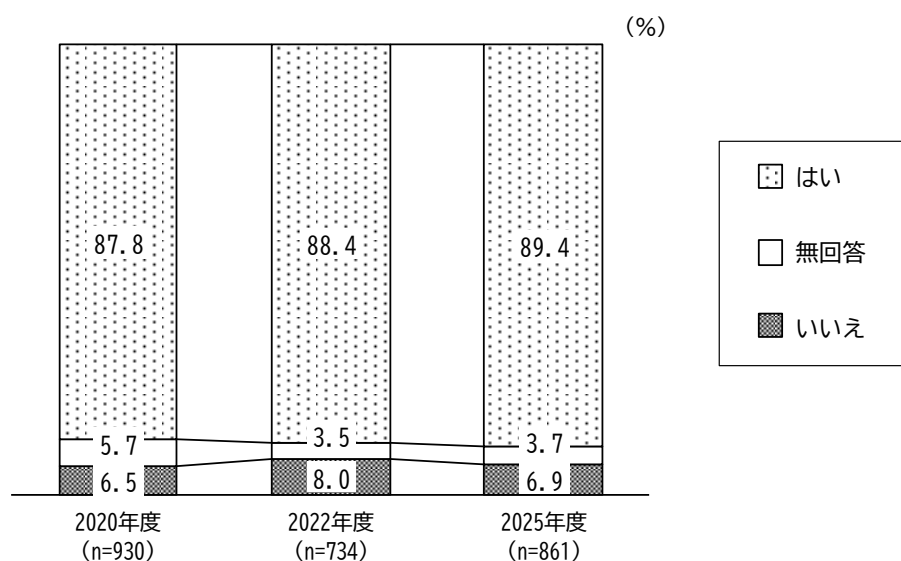


図 3-9 【経年比較】毎日入れ歯の手入れをしているか

経年比較では、大きな差異はみられない。

3.4. 食事をともしする機会

◆ 「毎日ある」が4割台前半

(全員の方に)

問 26 どなたかと食事をともしする機会がありますか。(○は1つ)

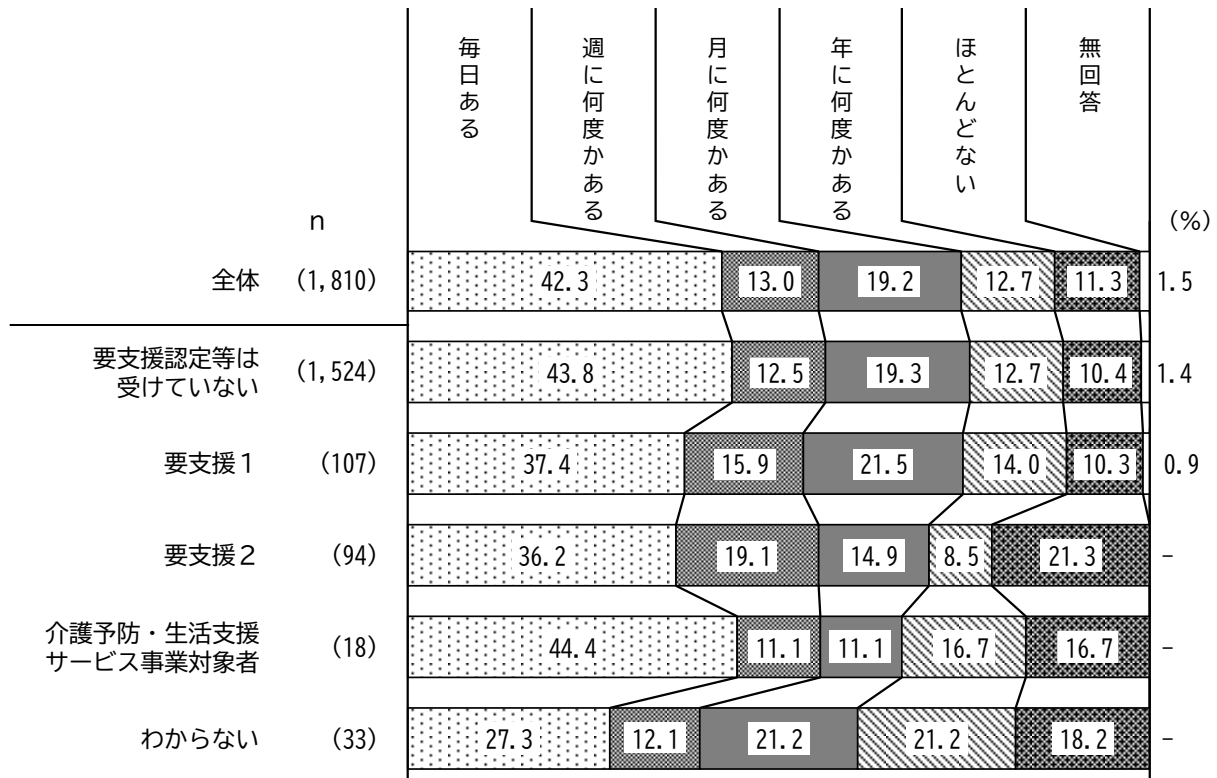


図 3-10 食事をともしする機会

全体では、「毎日ある」が4割台前半で最も高くなっている。
状態別では、要支援2は「ほとんどない」が約2割を占めている。

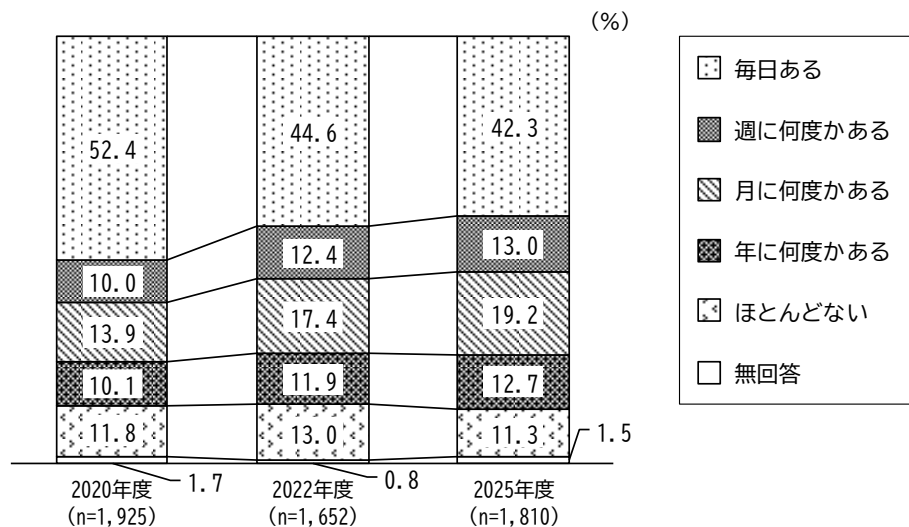
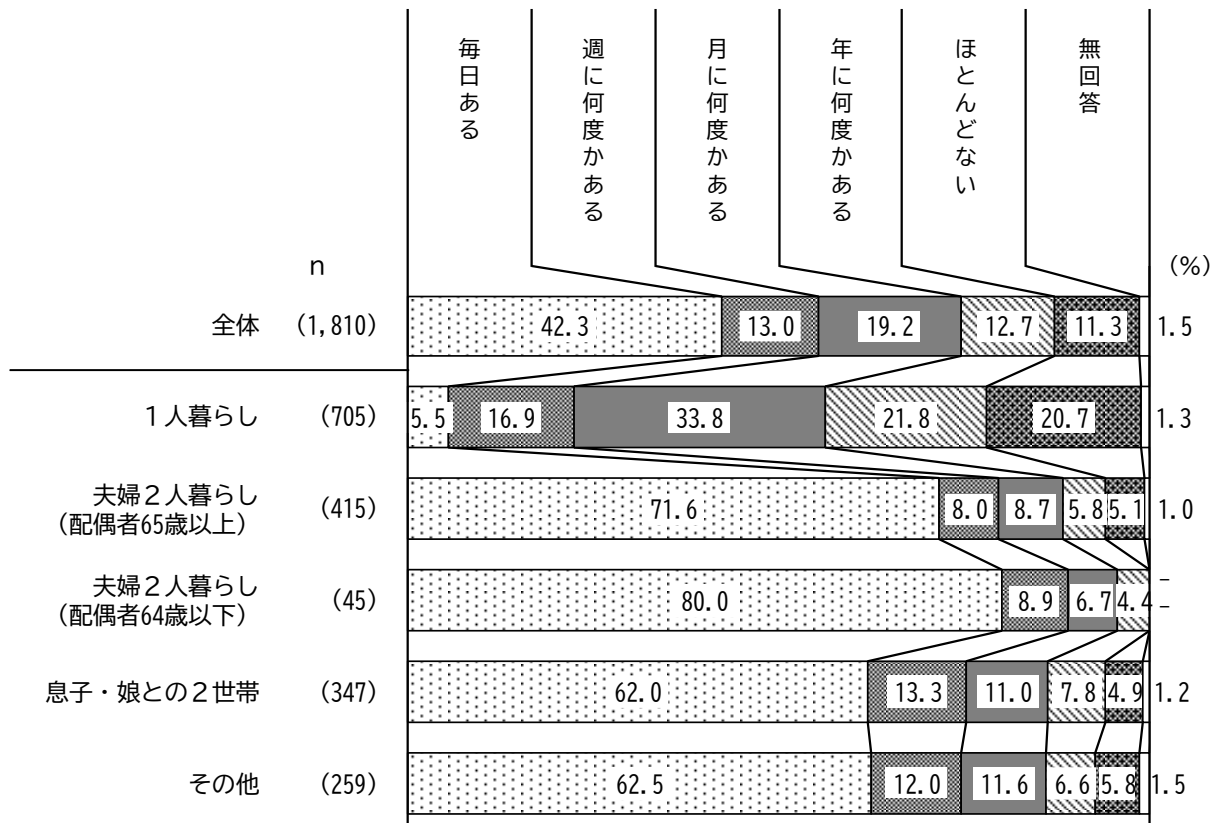


図 3-11 【経年比較】食事をともしする機会

経年比較では、2022年度と比べて「毎日ある」が2.3ポイント減少している。

【家族構成別】食事をともしめる機会



家族構成別では、1人暮らし以外では「毎日ある」が6割を超えている。一方、1人暮らしでは「月に何度かある」が3割台前半、「年に何度かある」と「ほとんどない」が約2割で他より高くなっている。

4. 毎日の生活について

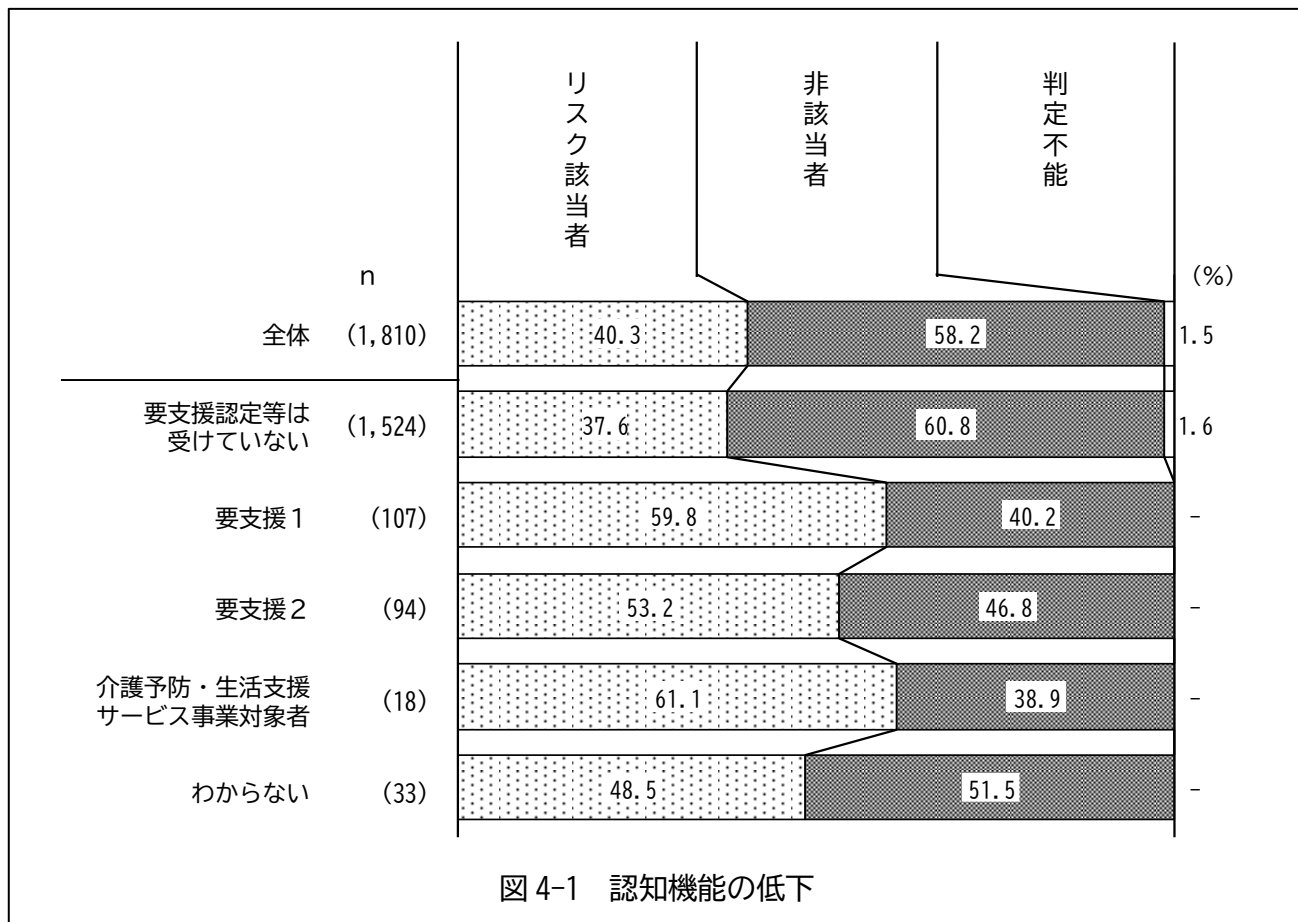
4.1. 機能評価

4.1.1. 認知機能

◇以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知機能低下のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 27	物忘れが多いと感じますか	1. はい

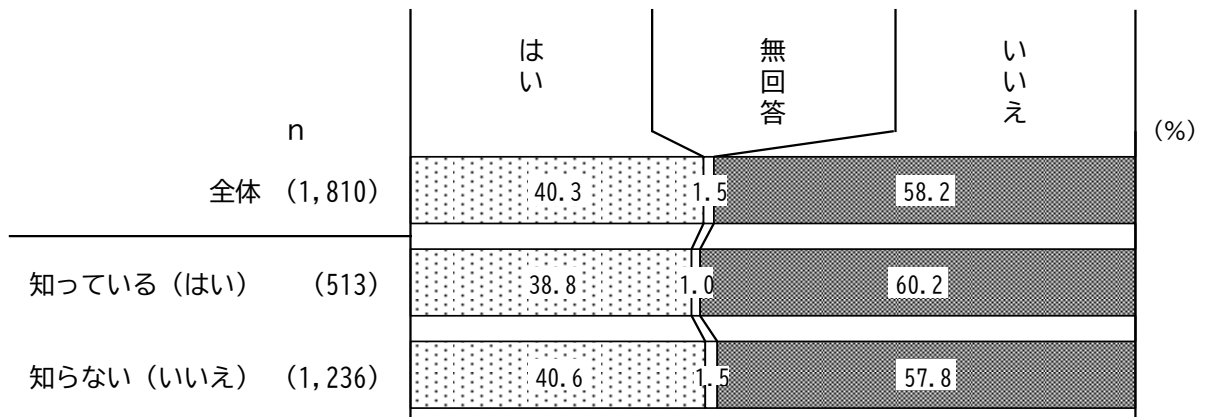
◆ 認知機能低下のリスク該当者は約 4 割



全体では、認知機能低下のリスク該当者は約 4 割となっている。

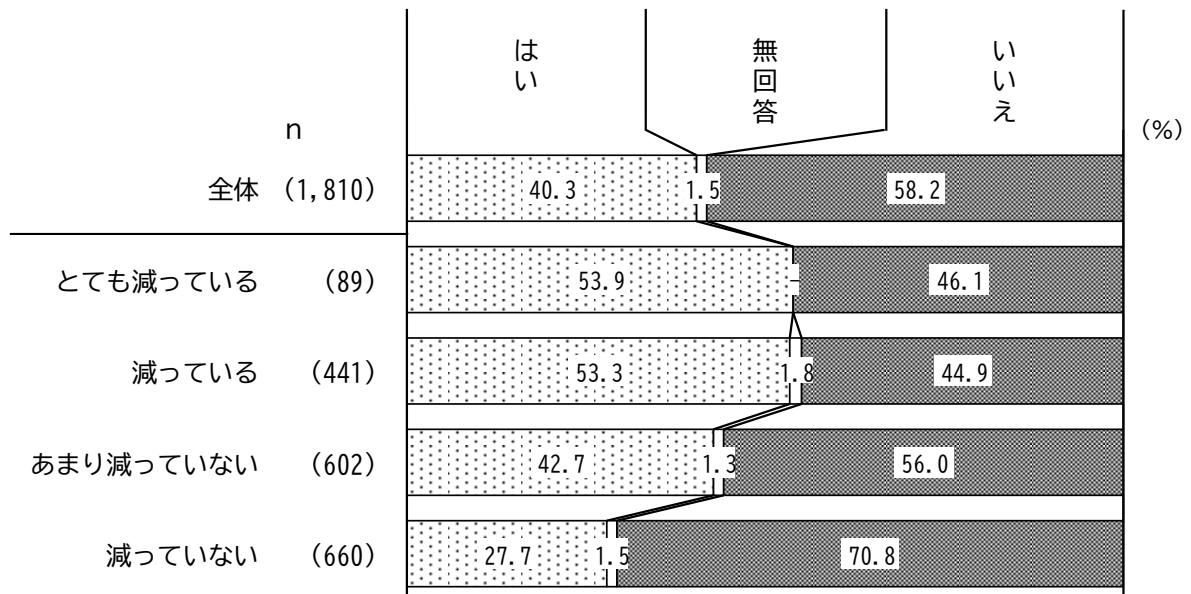
状態別では、要支援 1・2 及び介護予防・生活支援サービス事業対象者ではリスク該当者が過半数を占めている。

【認知症の窓口の認知度別】物忘れが多いか



認知症の窓口の認知度別では、認知症の窓口を知っているか知らないかでは、大きな差異はみられない。

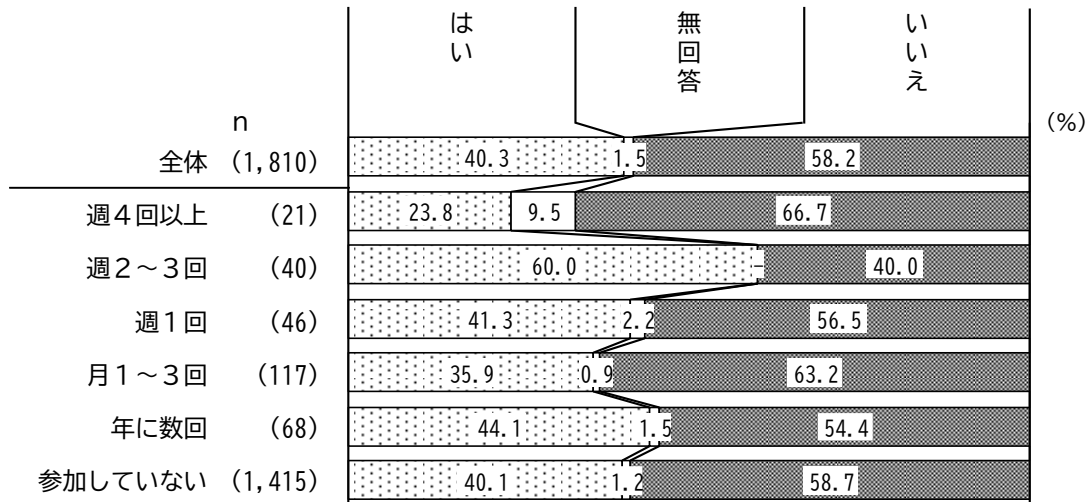
【外出の回数状況別】物忘れが多いか



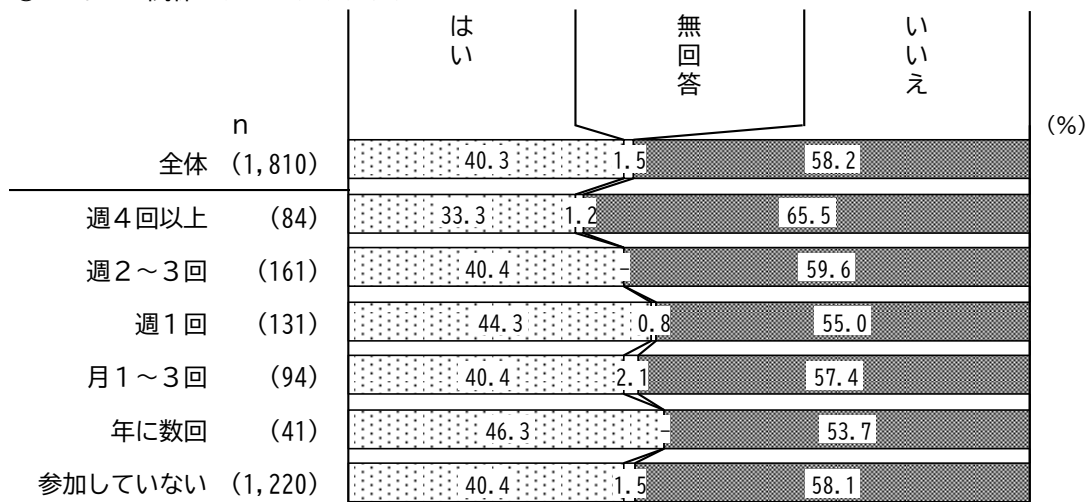
外出の状況別では、外出の回数が「とても減っている」「減っている」ともに物忘れが多い割合が5割前半となっている。

【会・グループ等への参加頻度別】物忘れが多いか

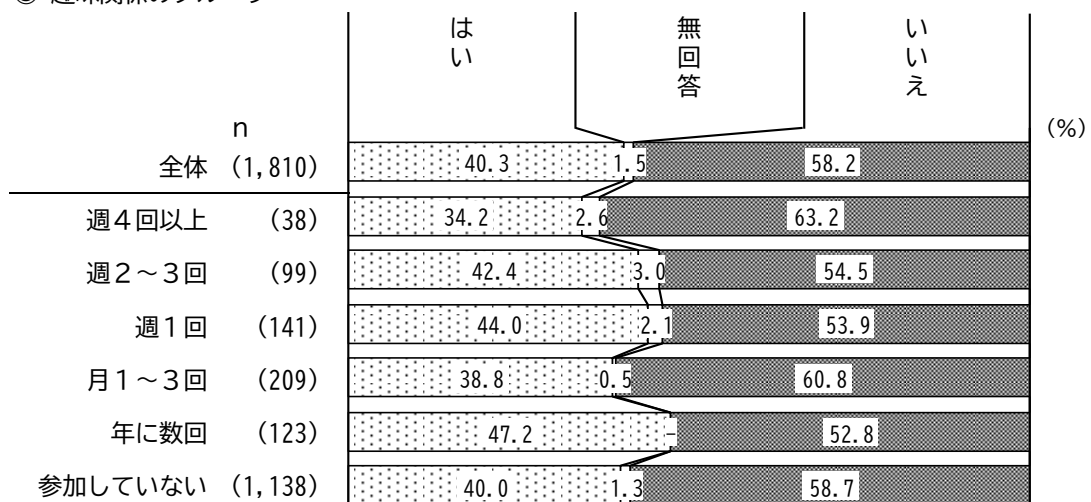
① ボランティアのグループ



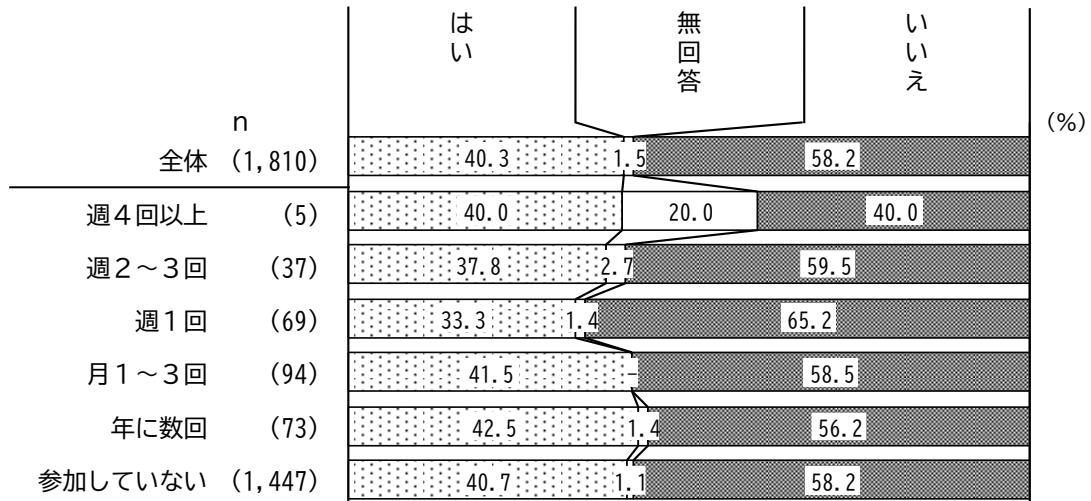
② スポーツ関係のグループやクラブ



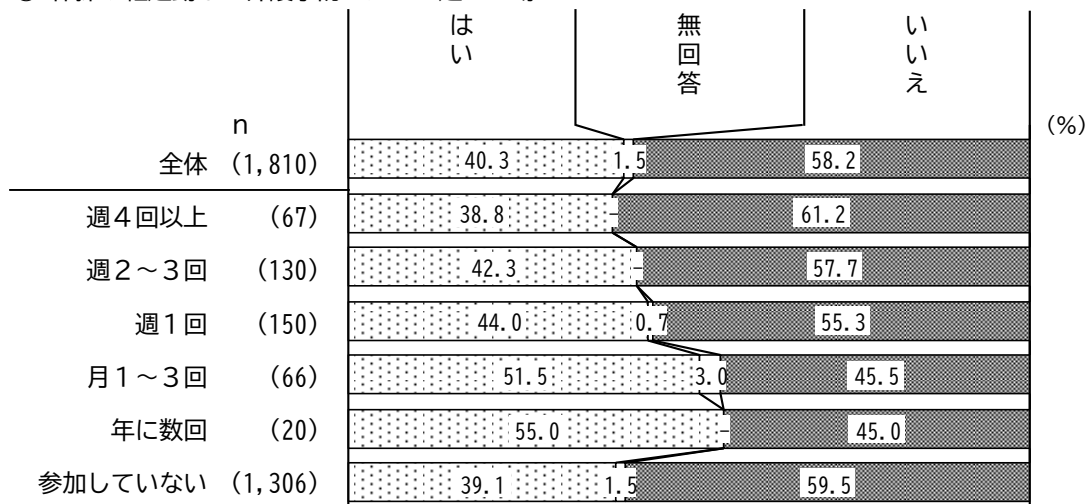
③ 趣味関係のグループ



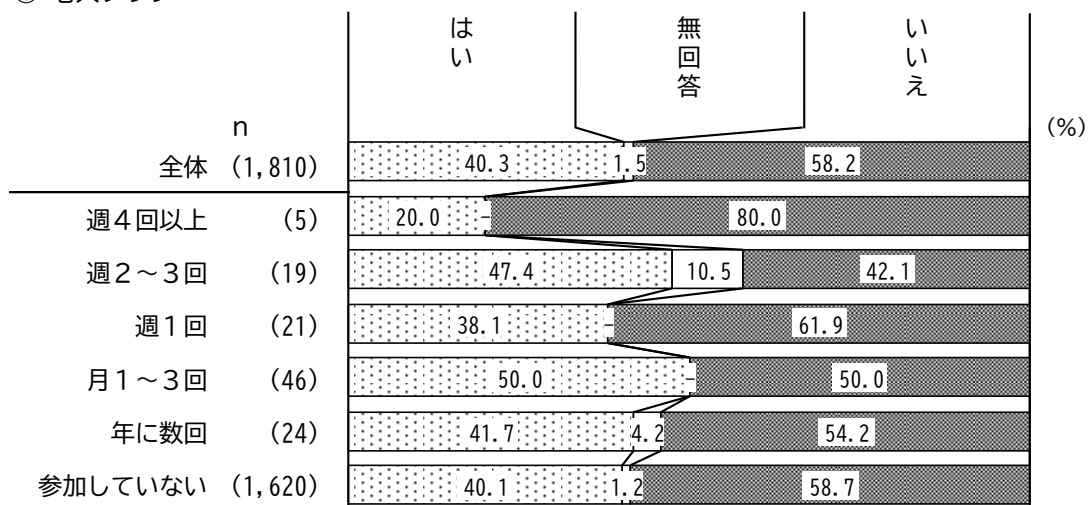
④ 学習・教養サークル



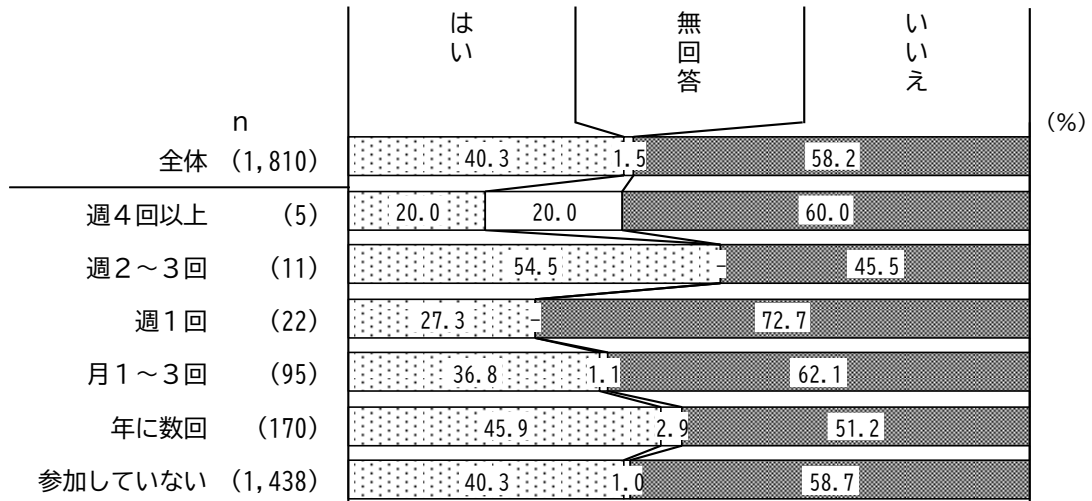
⑤ 体操や軽運動など介護予防のための通いの場



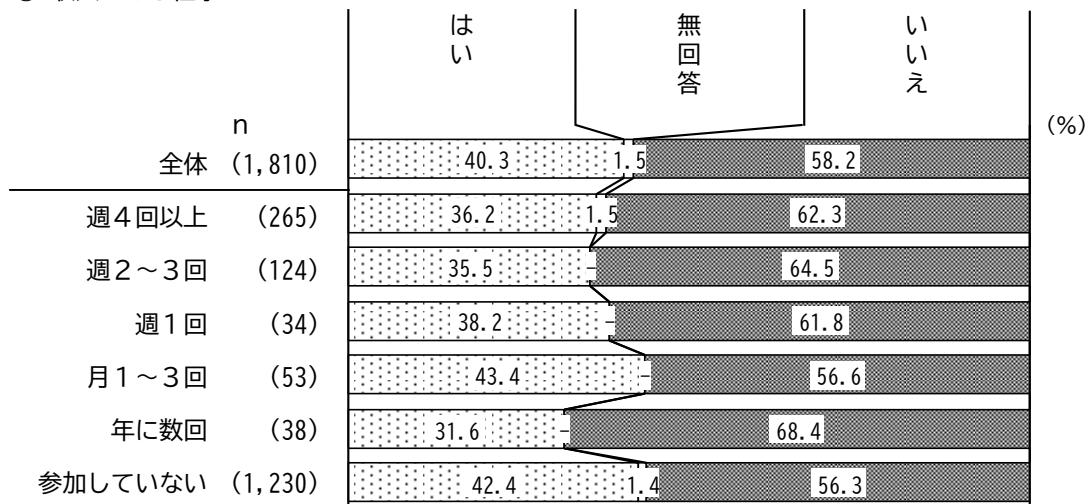
⑥ 老人クラブ



⑦ 町内会・自治会

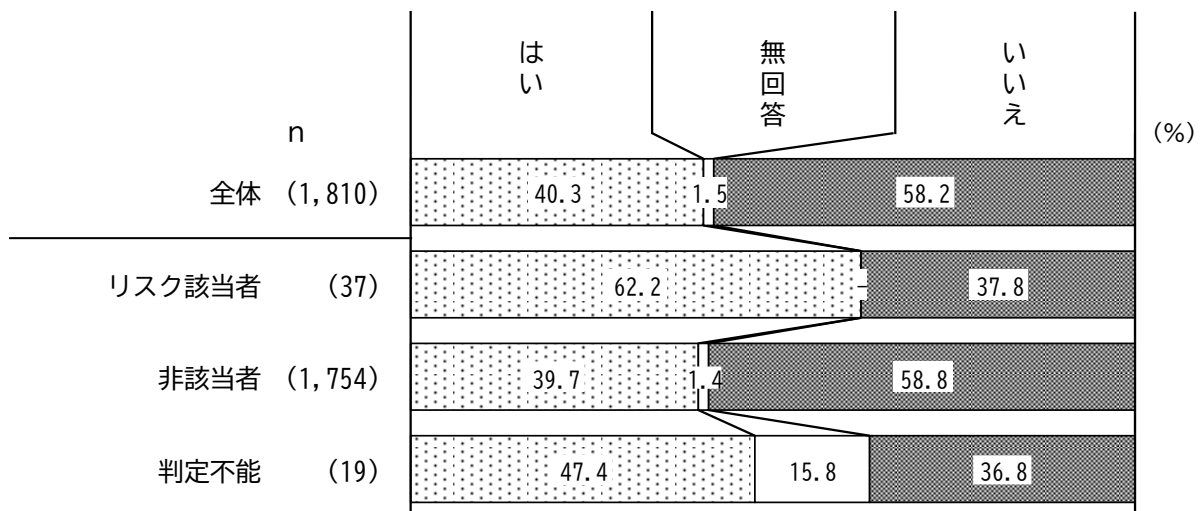


⑧ 収入のある仕事



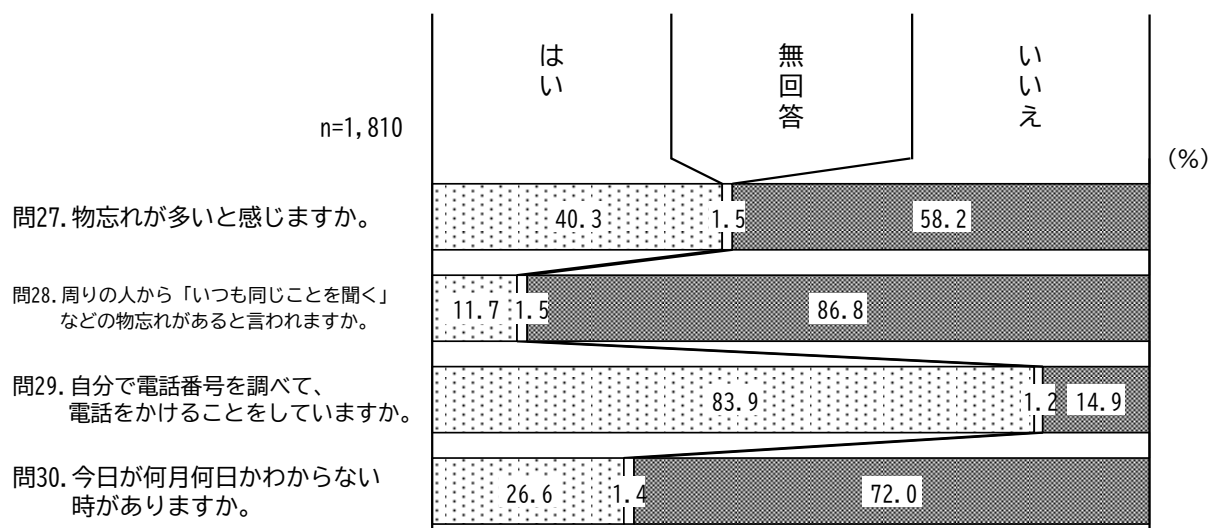
会・グループ等への参加頻度別では、体操や軽運動など介護予防のための通いの場の参加頻度が高いほど、物忘れが多い割合が低くなる傾向となっている。

【低栄養のリスク該当別】物忘れが多いか



機能評価の低栄養のリスク該当別では、低栄養のリスク該当者では、物忘れが多い割合が6割台前半となっている。

※問27 及び関連する設問（問28～問30）の結果
（全員の方に）



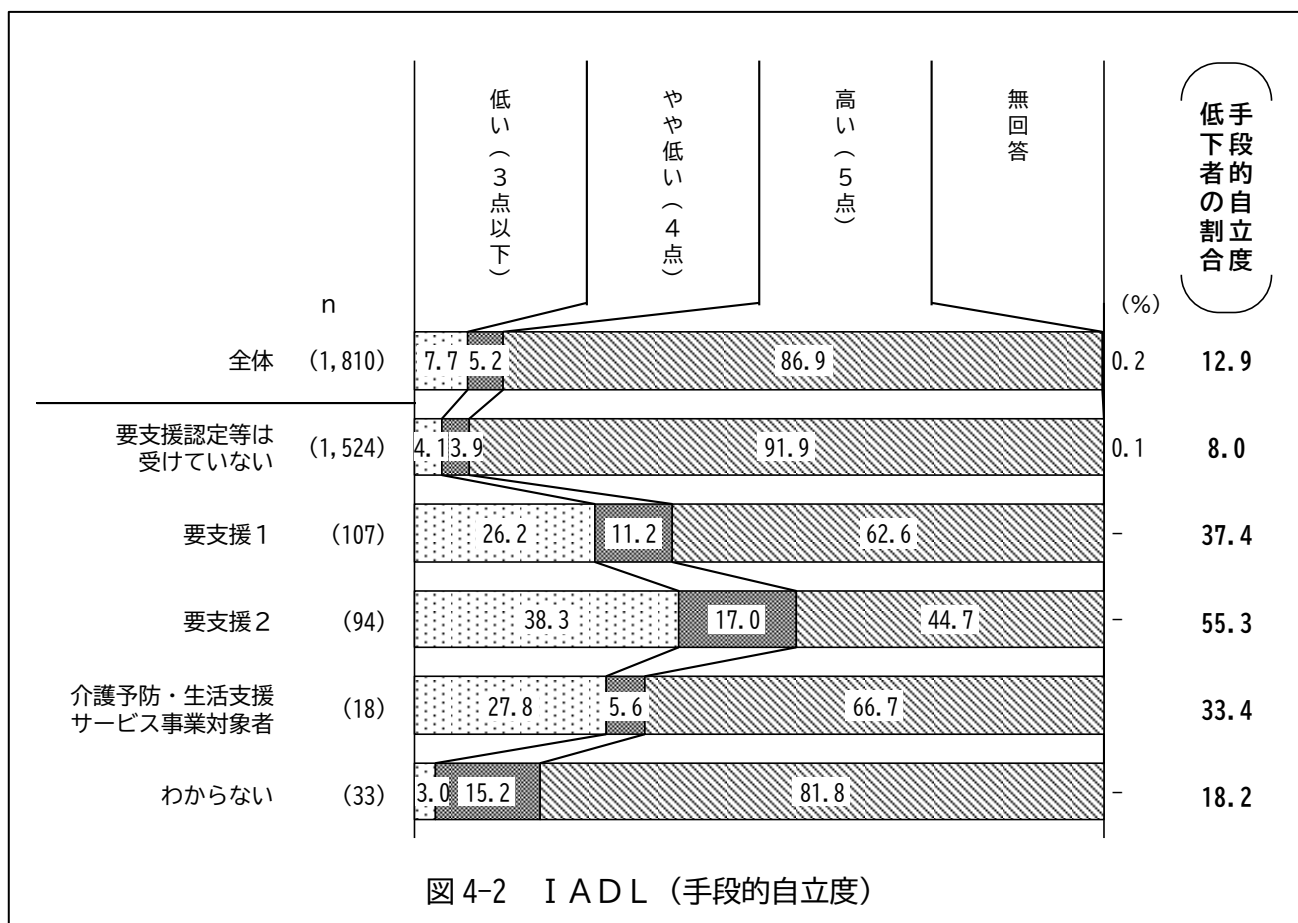
4.1.2. IADL（手段的自立度）

◇「IADL（手段的自立度）※」について、以下の各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価した。また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を算出した。

※「手段的自立度（Instrumental Activities of Daily Living:IADL）」とは、買い物、電話、薬の管理など、比較的高度な日常生活上の動作を行える自立度の程度を示す指標。

問番号	設問	該当する選択肢
問 31	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」
問 32	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」
問 33	自分で食事の用意をしていますか	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」
問 34	自分で請求書の支払いをしていますか	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」
問 35	自分で預貯金のおし入れをしていますか	「1. できるし、している」または 「2. できるけどしていない」

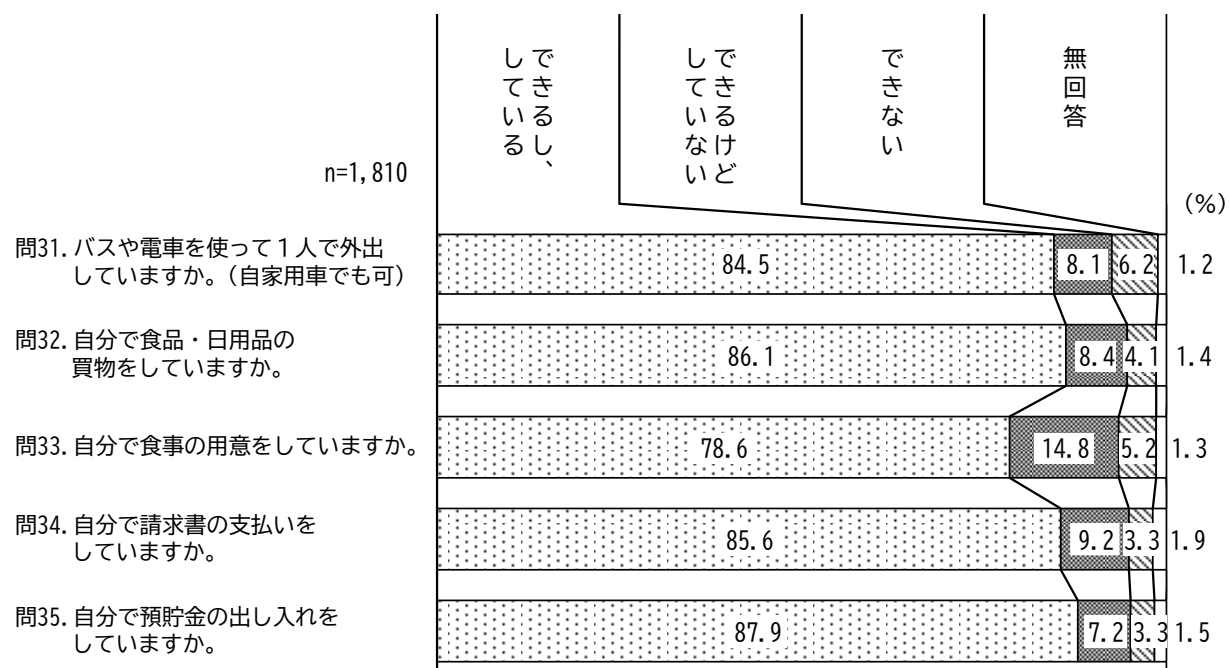
◆ IADL（手段的自立度）の低下者は1割台前半



全体では、IADL（手段的自立度）の低下者は1割台前半となっている。

状態別では、要支援2でIADL（手段的自立度）の低下者の割合が高く、5割台半ばとなっている。

※問 31～問 35 設問ごとの結果
(全員の方に)

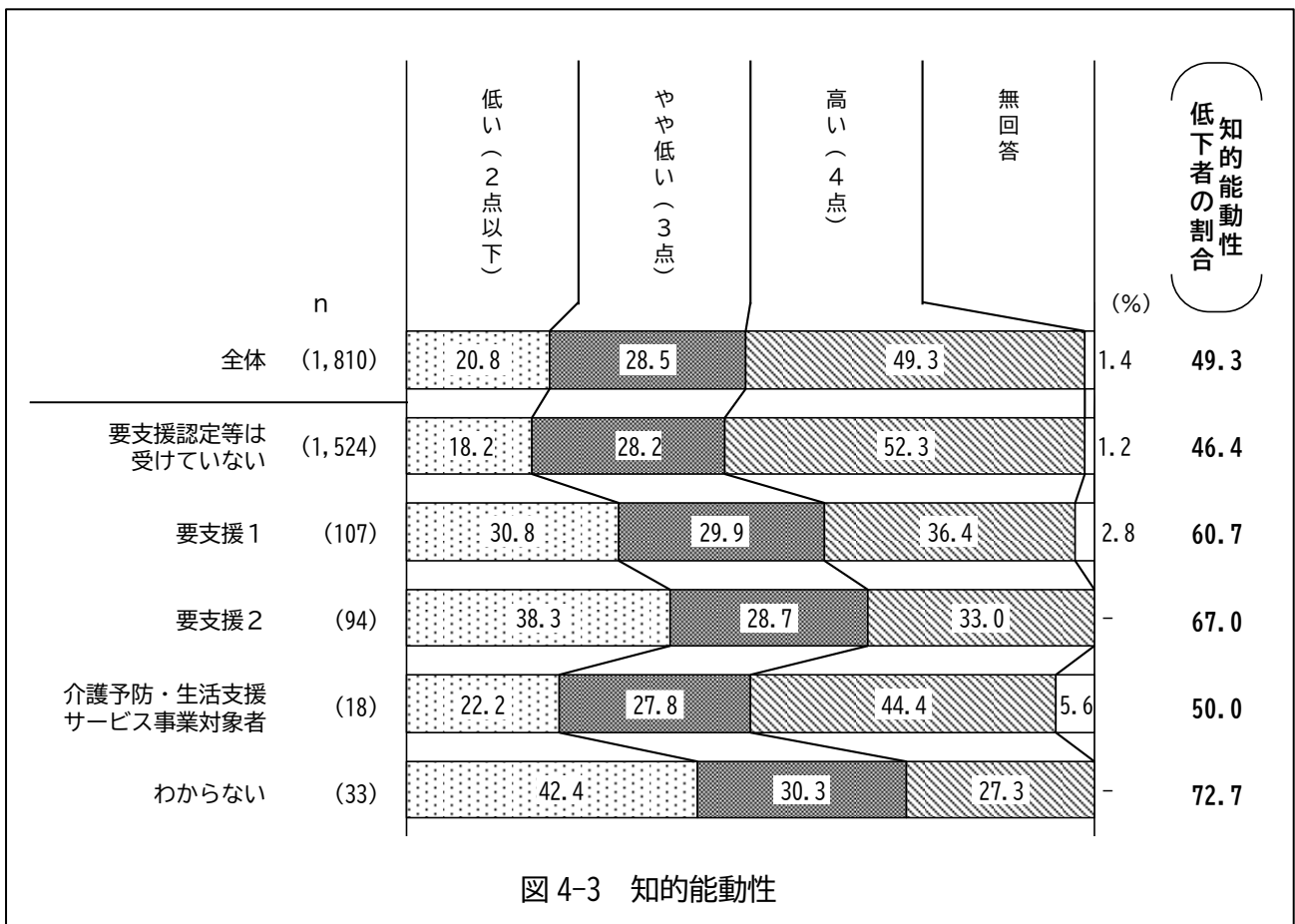


4.1.3. 知的能動性

◇「知的能動性」について、以下の各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価した。また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を算出した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 36	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい
問 37	新聞を読んでいますか	1. はい
問 38	本や雑誌を読んでいますか	1. はい
問 39	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい

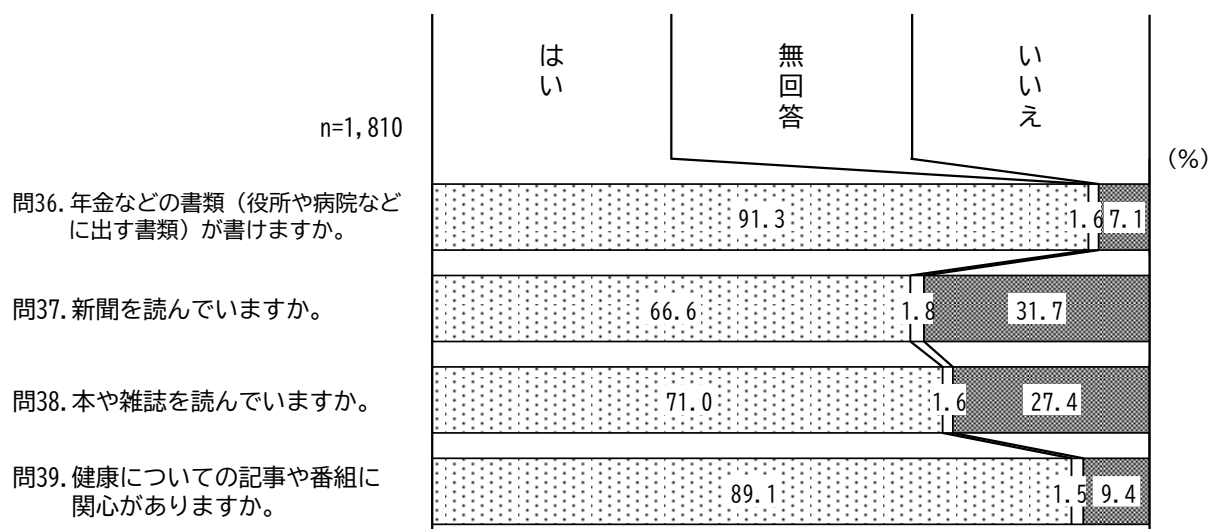
◆ 知的能動性の低下者は約 5 割



全体では、知的能動性の低下者は約 5 割を占めている。

状態別では、知的能動性の低下者の割合が要支援認定等を受けていない人から要支援 2 に向かって、段階的に高くなっており、要支援 2 で 6 割台後半となっている。

※問 36～問 39 設問ごとの結果
(全員の方に)

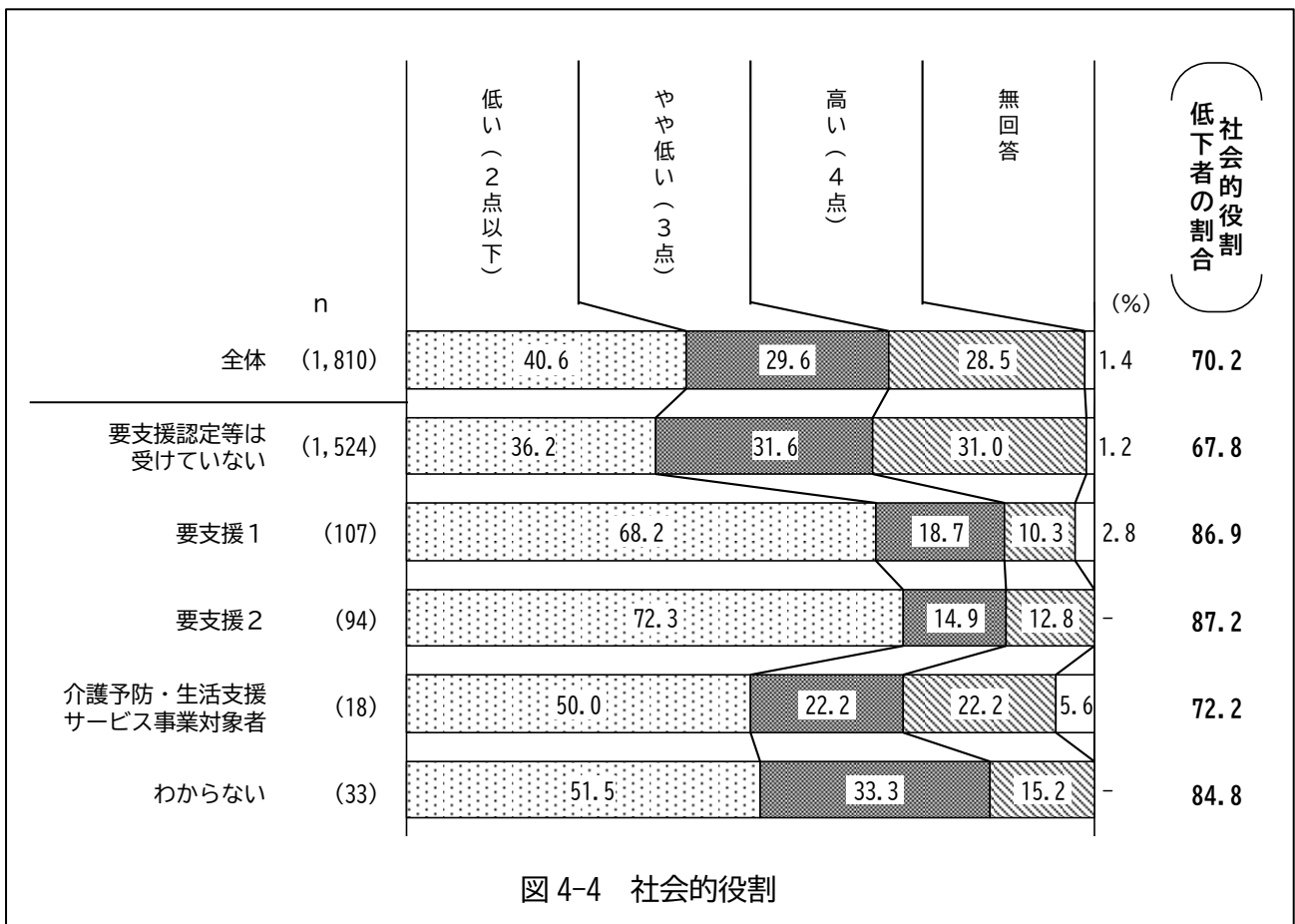


4.1.4. 社会的役割

◇「社会的役割」について、以下の各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価した。また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を算出した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 40	友人の家を訪ねていますか	1. はい
問 41	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい
問 42	病人を見舞うことができますか	1. はい
問 43	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい

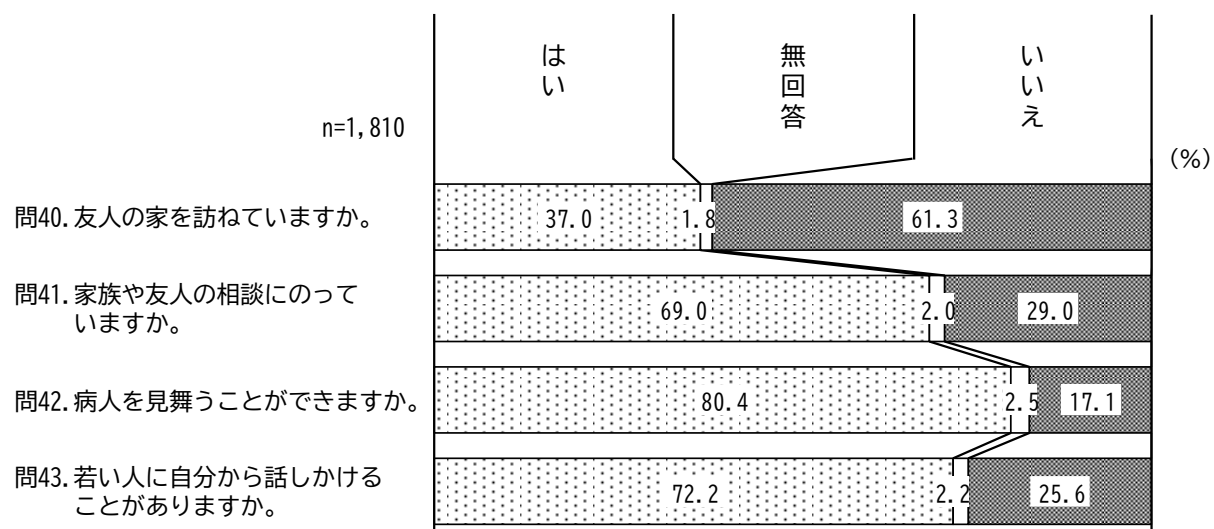
◆ 社会的役割の低下者は約7割



全体では、社会的役割の低下者は約7割を占めている。

状態別では、要支援1・2で低下者の割合が高く、8割台半ばから後半を占めている。

※問 40～問 43 設問ごとの結果
(全員の方に)



4.2. 趣味の有無

◆ 「趣味あり」が7割台半ば

(全員の方に)

問 44 趣味はありますか。(○は1つ)

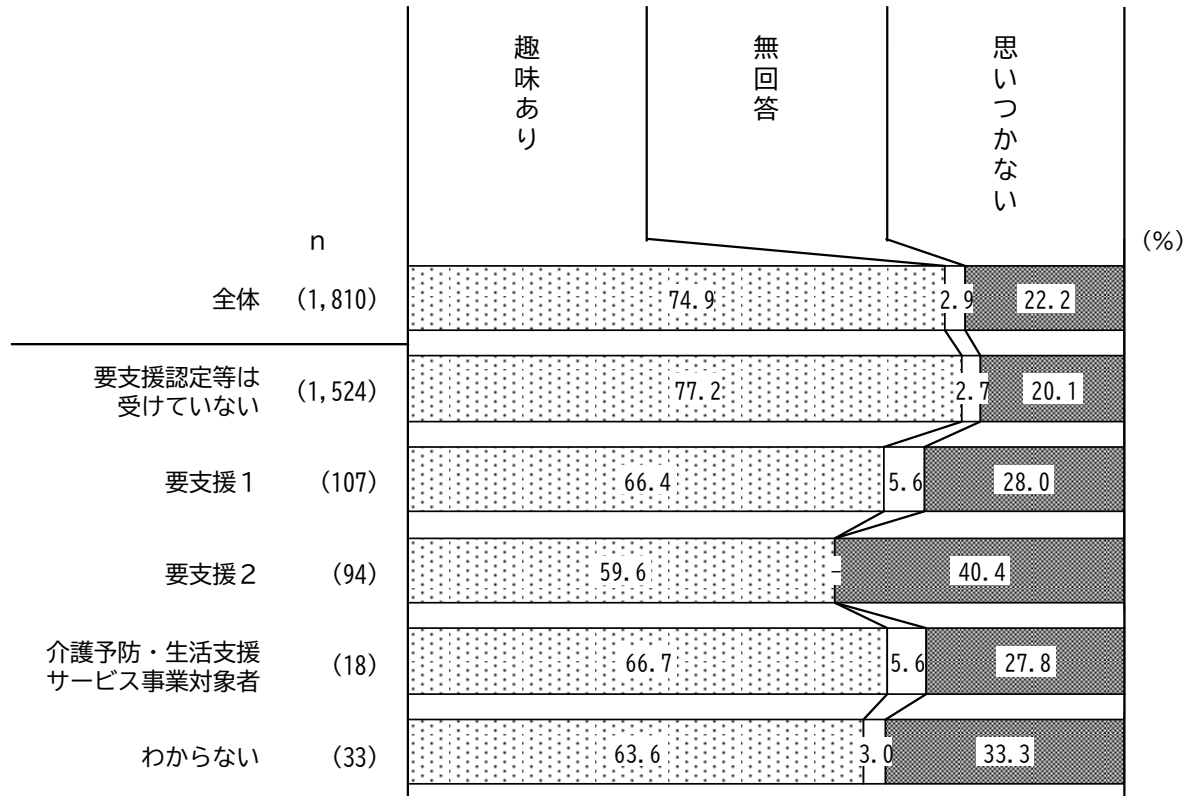


図 4-5 趣味の有無

全体では、「趣味あり」が7割台半ばを占めている。

状態別では、要支援2で「思いつかない」が約4割を占めている。

4.3. 生きがいの有無

◆ 「生きがいあり」が6割台前半

(全員の方に)
問 45 生きがいはありますか。(○は1つ)

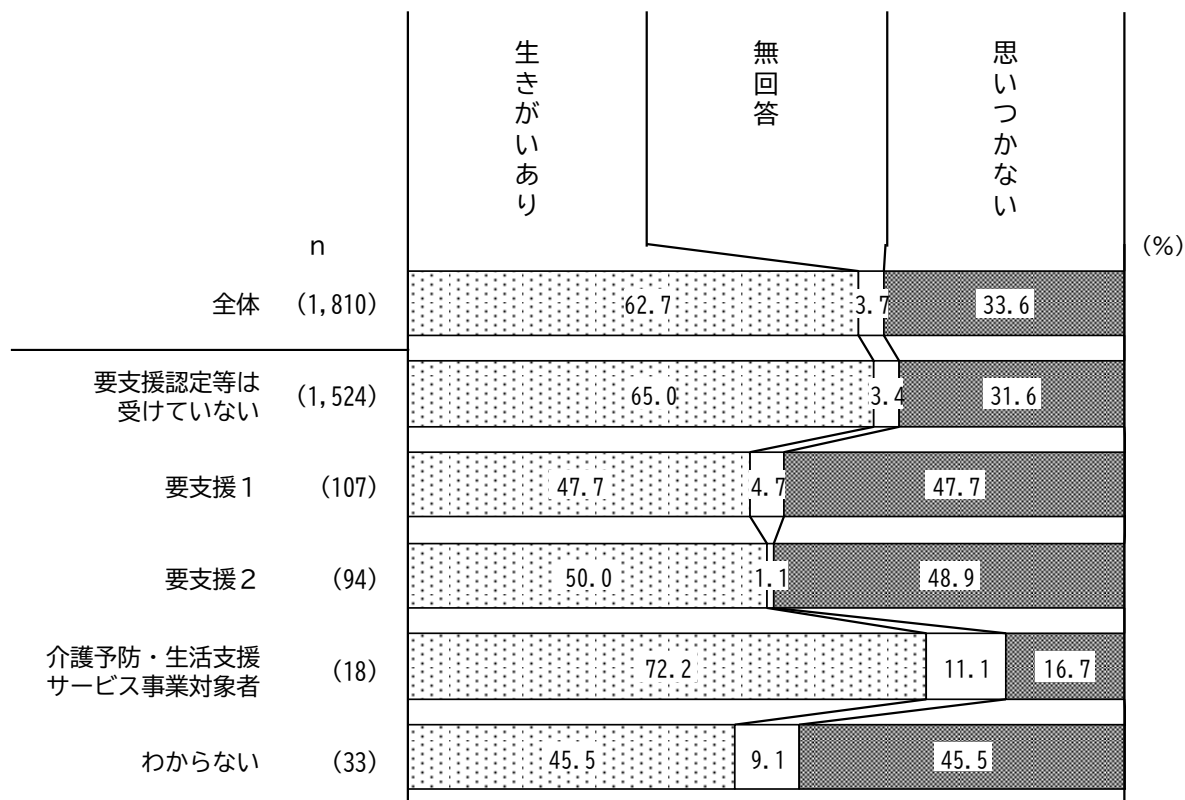


図 4-6 生きがいの有無

全体では、「生きがいあり」が6割台前半を占めている。

状態別では、要支援1・2で「思いつかない」が4割台後半となっている。

5. 地域での活動について

5.1. 会・グループ等への参加頻度

- ◆ ③趣味関係のグループで「月 1～3 回」が約 1 割、⑧収入のある仕事で「週 4 回以上」が 1 割台半ば

(全員の方に)

問 46 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○は 1 つ)

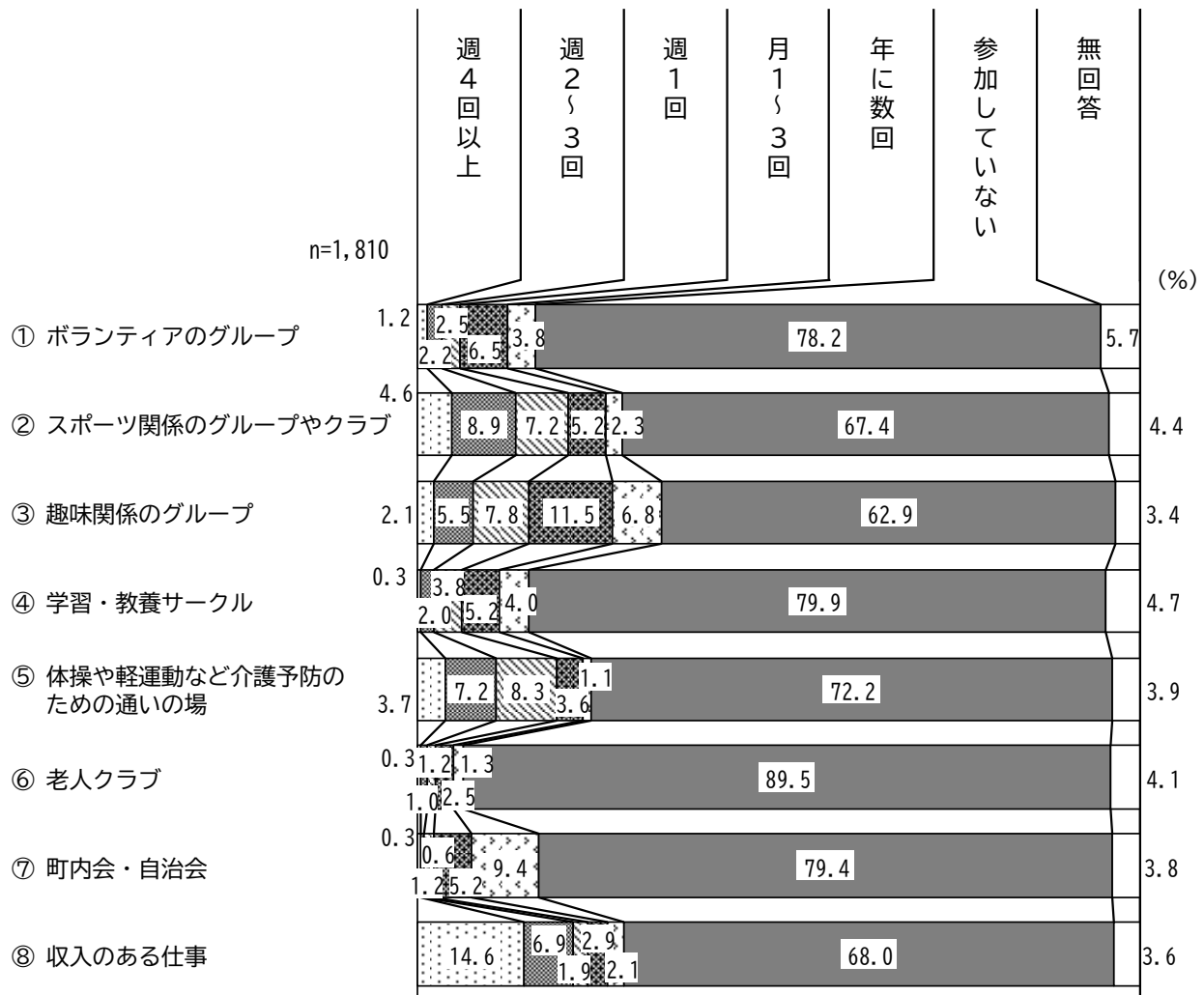


図 5-1 会・グループ等への参加頻度

会・グループ等への参加頻度は、いずれも「参加していない」が 6 割を超えている。

参加している人の頻度は、③趣味関係のグループで「月 1～3 回」が約 1 割、⑧収入のある仕事で「週 4 回以上」が 1 割台半ばで比較的高くなっている。

5.1.1. 地域活動に参加していない理由

◆ 「知り合いがいないので」「近所での活動には参加したくないため」が約2割

(問46①～⑧でひとつでも「参加していない」に○をつけた方に)
問46-1 地域での活動に参加していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

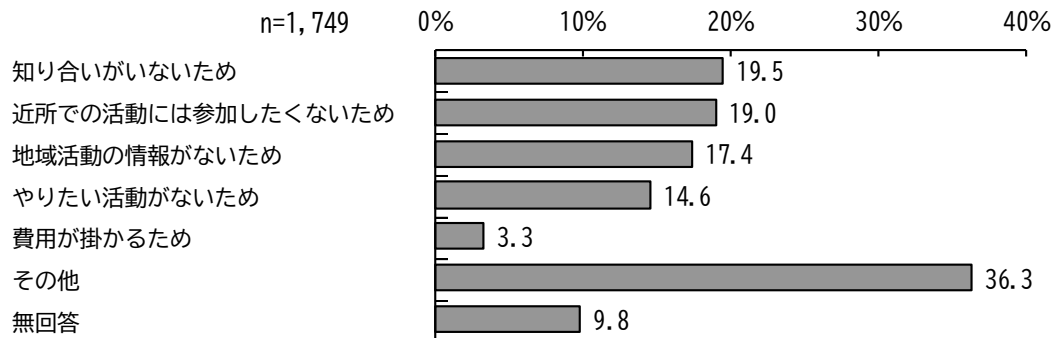


図5-2 地域活動に参加していない理由

「知り合いがいないので」と「近所での活動には参加したくないため」が約2割で高く、次いで「地域活動の情報がないため」が1割台後半となっている。

「その他」の内容としては、現在仕事をしていることや時間の余裕がないこと、病気や老化等による健康面の理由、介護していることが多く挙げられている。

【状態別】地域活動に参加していない理由

単位：％

	有効回答数(件)	知り合いがいないため	近所での活動には参加したくないため	地域活動の情報がないため	やりたい活動がないため	費用が掛かるため	その他	無回答
全体	1,749	19.5	19.0	17.4	14.6	3.3	36.3	9.8
要支援認定等は受けていない	1,476	19.7	19.3	17.5	14.8	3.4	36.0	9.7
要支援1	101	17.8	15.8	18.8	16.8	2.0	40.6	9.9
要支援2	91	15.4	17.6	18.7	9.9	3.3	44.0	6.6
介護予防・生活支援サービス事業対象者	17	29.4	5.9	-	5.9	5.9	58.8	11.8
わからない	33	33.3	27.3	15.2	21.2	6.1	18.2	6.1

5.2. 地域住民の有志による活動に参加者として参加してみたいか

◆ 「参加してもよい」が4割台後半

(全員の方に)

問 47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

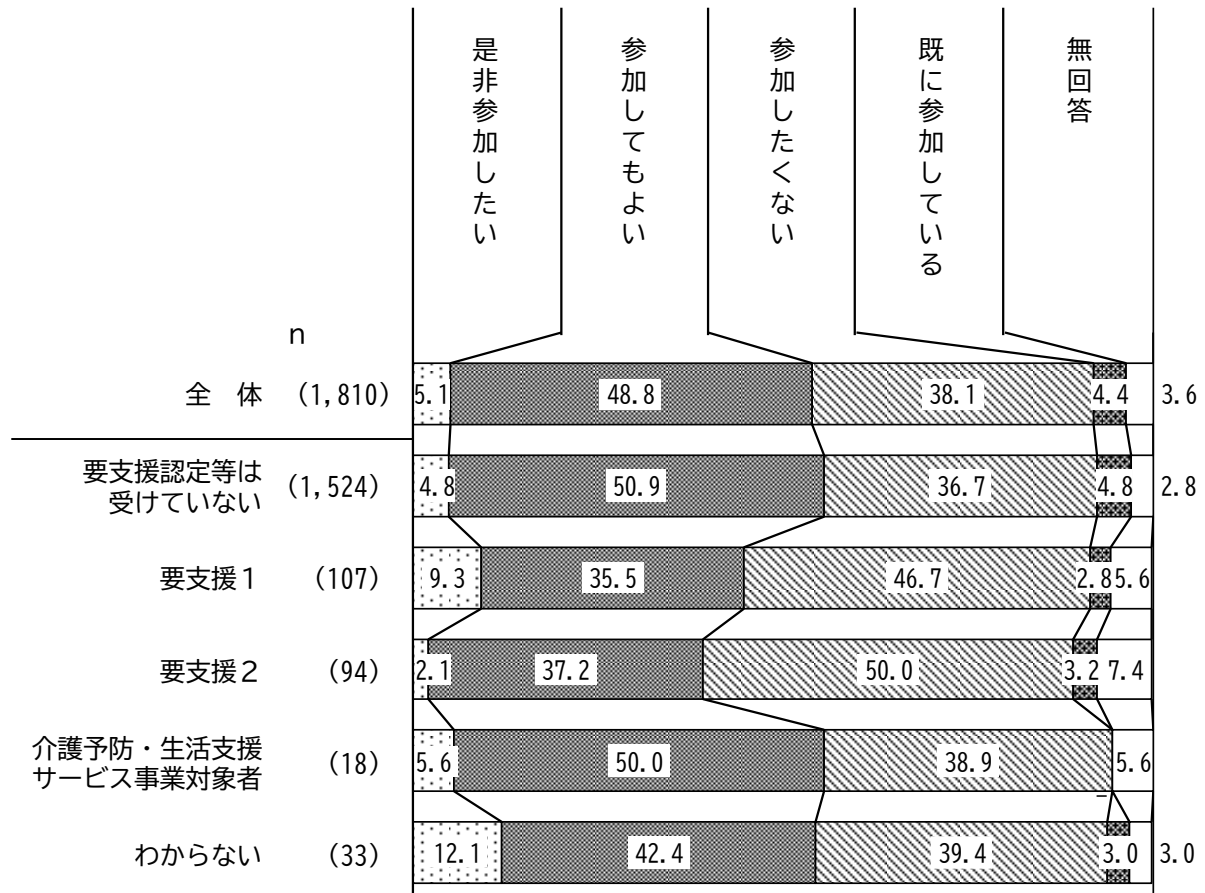


図 5-3 地域住民の有志による活動に参加者として参加してみたいか

全体では、「参加してもよい」が4割台後半で最も高くなっている。
状態別では、要支援2で「参加したくない」が5割を占めている。

5.3. 地域住民の有志による活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか

◆ 「参加したくない」が約6割

（全員の方に）

問 48 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

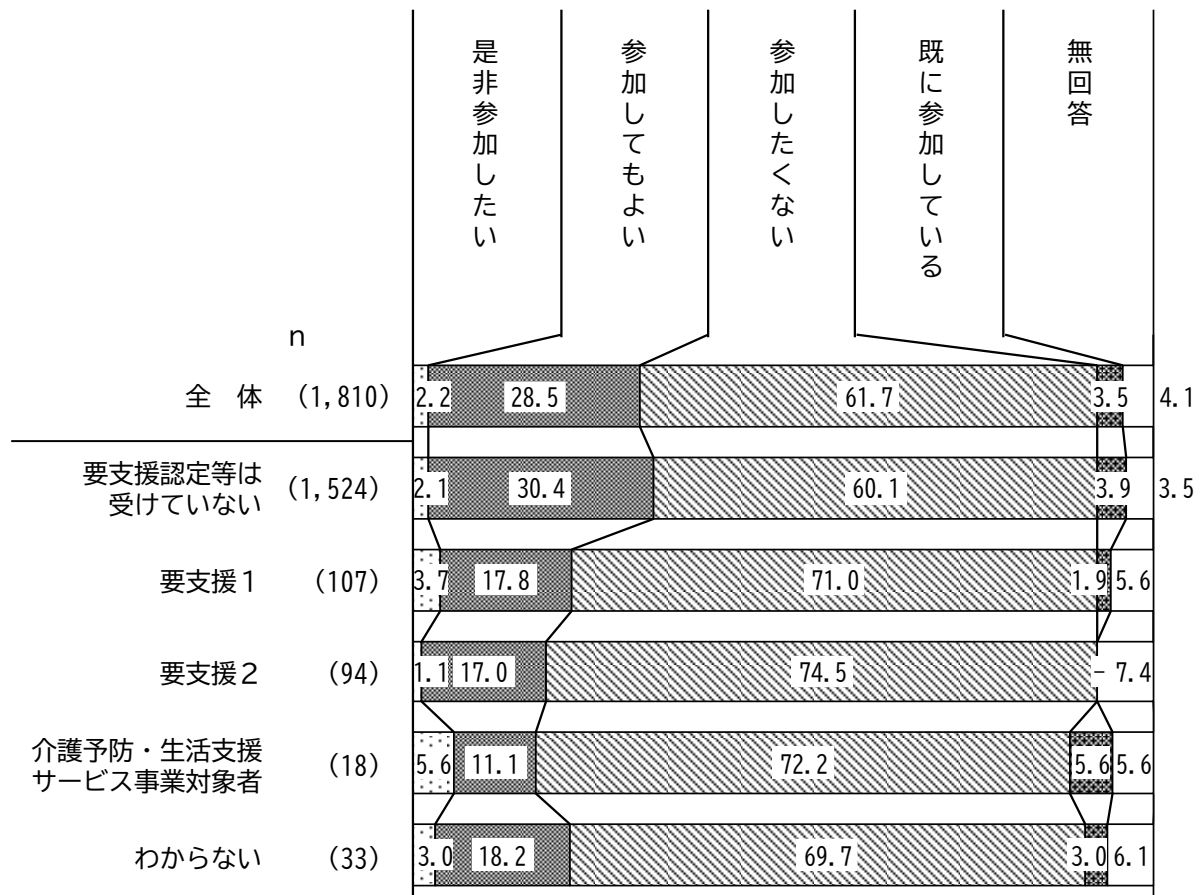


図 5-4 地域住民の有志による活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいか

全体では、「参加したくない」が約6割を占めている。

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「参加したくない」が7割台となっている。

5.4. 地域のひとから頼りにされているか

◆ 「全くそう思わない」が3割台後半

(全員の方に)

問 49 あなたは、お住まいの地域のひとから何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど) (○は1つ)

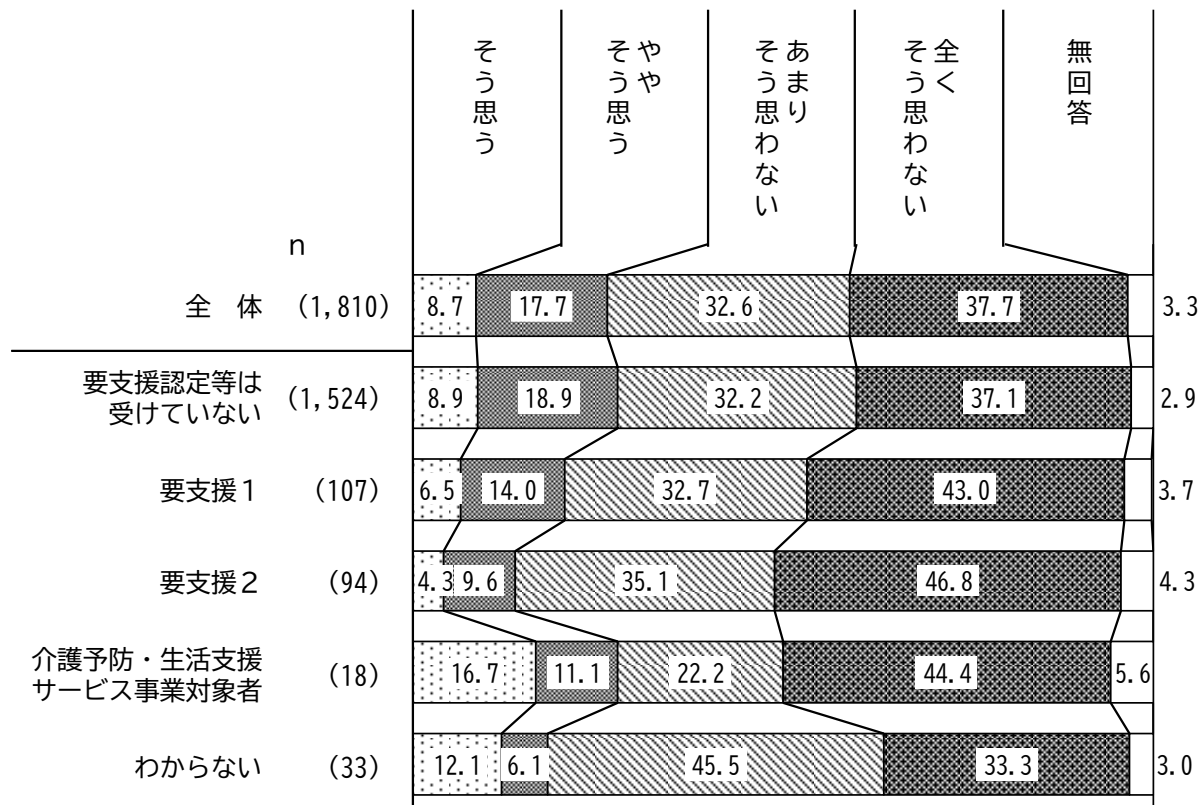


図 5-5 地域のひとから頼りにされているか

全体では、「全くそう思わない」が3割台後半で最も高くなっている。

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「全くそう思わない」が4割台となっている。

5.5. 現在の就労状態

◆ 「引退した」が約5割

(全員の方に)

問 50 現在のあなたの就労状態はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

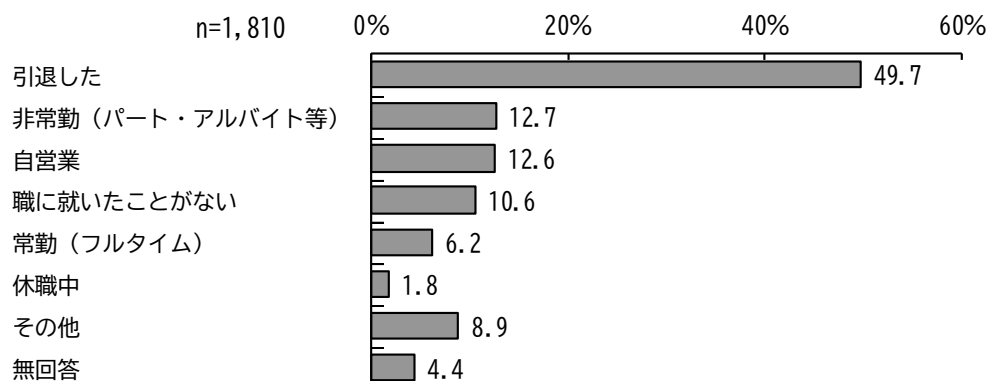


図 5-6 現在の就労状態

「引退した」が約5割で最も高く、次いで「非常勤 (パート・アルバイト等)」と「自営業」が1割台前半となっている。

【状態別】現在の就労状態

単位：%

	有効回答数 (件)	引退した	非常勤 (パート・アルバイト等)	自営業	職に就いたことがない	常勤 (フルタイム)	休職中	その他	無回答
全体	1,810	49.7	12.7	12.6	10.6	6.2	1.8	8.9	4.4
要支援認定等は受けていない	1,524	48.4	14.1	13.8	9.3	7.1	1.9	8.5	3.9
要支援1	107	55.1	6.5	8.4	18.7	-	0.9	10.3	4.7
要支援2	94	52.1	2.1	5.3	20.2	1.1	1.1	12.8	6.4
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	72.2	5.6	5.6	11.1	-	-	5.6	5.6
わからない	33	57.6	9.1	-	12.1	9.1	3.0	6.1	9.1

状態別では、すべての状態で「引退した」が最も高くなっている。

6. たすけあいについて

6.1. 心配事や愚痴を聞いてくれる人

◆ 「友人」が4割台後半

(全員の方に)

問 51 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)

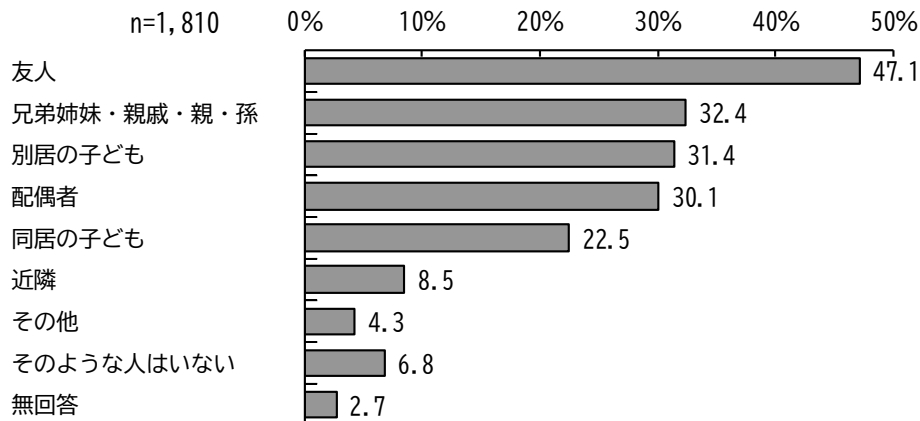


図 6-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人

全体では、「友人」が4割台後半で最も高くなっている。

【状態別】心配事や愚痴を聞いてくれる人

単位：%

	有効回答数(件)	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	配偶者	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,810	47.1	32.4	31.4	30.1	22.5	8.5	4.3	6.8	2.7
要支援認定等は受けていない	1,524	49.5	32.7	31.1	32.3	21.9	8.3	3.7	7.2	2.6
要支援1	107	28.0	27.1	37.4	15.0	25.2	11.2	9.3	5.6	2.8
要支援2	94	33.0	28.7	35.1	20.2	28.7	6.4	8.5	4.3	4.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	33.3	38.9	50.0	33.3	27.8	5.6	5.6	-	-
わからない	33	51.5	45.5	24.2	12.1	18.2	18.2	3.0	6.1	-

状態別では、要支援1・2と介護予防・生活支援サービス事業対象者で「別居の子ども」が最も高くなっている。

6.2. 心配事や愚痴を聞いてあげる人

◆ 「友人」が4割台後半

(全員の方に)

問 52 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)

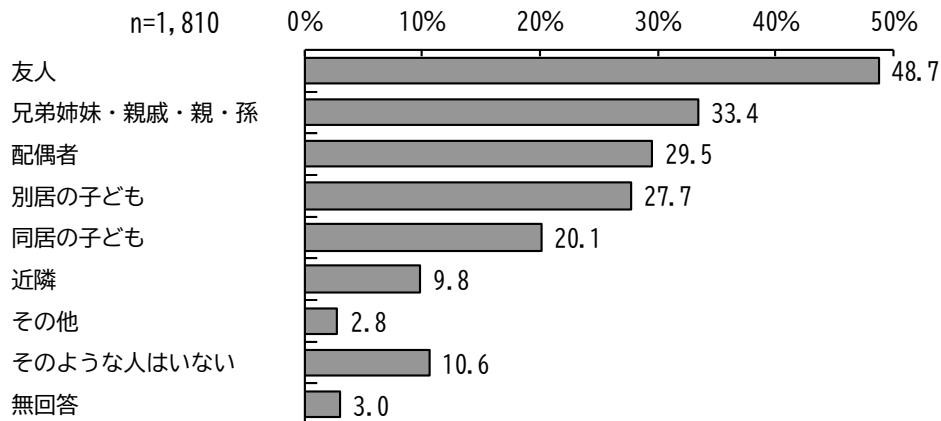


図 6-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人

全体では、「友人」が4割台後半で最も高くなっている。

【状態別】心配事や愚痴を聞いてあげる人

単位：%

	有効回答数(件)	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,810	48.7	33.4	29.5	27.7	20.1	9.8	2.8	10.6	3.0
要支援認定等は受けていない	1,524	50.8	34.4	32.0	28.8	20.3	9.4	2.8	9.3	3.0
要支援1	107	32.7	24.3	12.1	24.3	17.8	11.2	1.9	17.8	4.7
要支援2	94	37.2	28.7	18.1	22.3	21.3	8.5	2.1	21.3	1.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	33.3	33.3	27.8	27.8	22.2	11.1	5.6	22.2	-
わからない	33	51.5	36.4	15.2	12.1	12.1	27.3	-	12.1	-

状態別では、いずれも友人が最も高くなっている。また、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」も最も高くなっている。

6.3. 看病や世話をしてくれる人

◆ 「配偶者」「別居の子ども」が約 3 割

(全員の方に)

問 53 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(あてはまるものすべてに○)

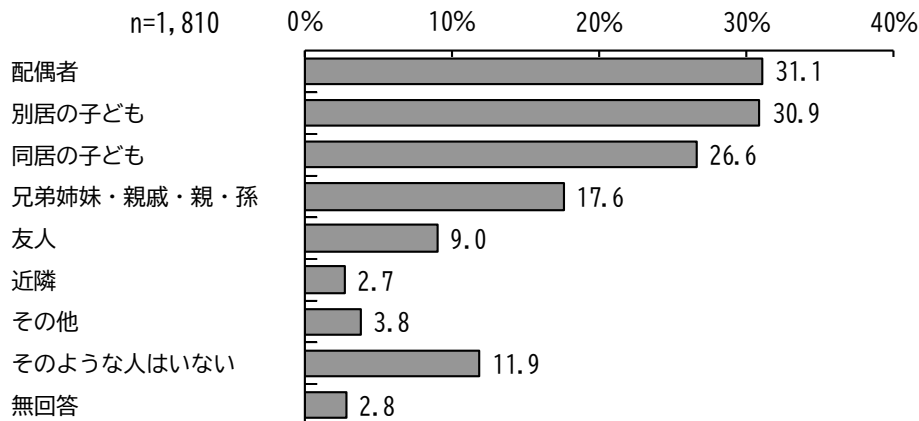


図 6-3 看病や世話をしてくれる人

全体では、「配偶者」と「別居の子ども」が約 3 割となっている。

【状態別】看病や世話をしてくれる人

単位：％

	有効回答数 (件)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,810	31.1	30.9	26.6	17.6	9.0	2.7	3.8	11.9	2.8
要支援認定等は受けていない	1,524	33.3	30.3	26.2	18.2	9.3	2.4	2.8	12.3	2.8
要支援 1	107	19.6	40.2	33.6	8.4	5.6	4.7	9.3	6.5	4.7
要支援 2	94	19.1	36.2	28.7	12.8	5.3	4.3	11.7	11.7	1.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	22.2	38.9	22.2	16.7	5.6	-	5.6	5.6	-
わからない	33	21.2	27.3	15.2	24.2	12.1	3.0	12.1	12.1	3.0

状態別では、要支援 1・2 及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「別居の子ども」が最も高くなっている。

6.4. 看病や世話をしあける人

◆ 「配偶者」が3割台半ば

(全員の方に)

問 54 反対に、あなたが看病や世話をしあける人 (あてはまるものすべてに○)

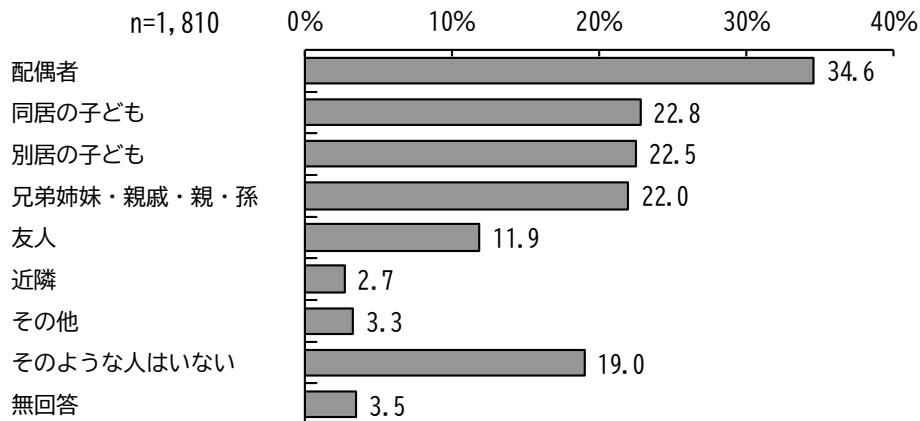


図 6-4 看病や世話をしあける人

全体では、「配偶者」が3割台半ばで最も高くなっている。

【状態別】看病や世話をしあける人

単位：%

	有効回答数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,810	34.6	22.8	22.5	22.0	11.9	2.7	3.3	19.0	3.5
要支援認定等は受けていない	1,524	37.2	23.4	24.3	23.7	12.5	2.8	2.4	16.8	3.1
要支援1	107	18.7	21.5	15.0	10.3	5.6	3.7	11.2	27.1	6.5
要支援2	94	25.5	20.2	10.6	10.6	6.4	1.1	5.3	41.5	4.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	27.8	11.1	27.8	16.7	5.6	-	5.6	16.7	-
わからない	33	18.2	18.2	6.1	18.2	18.2	3.0	9.1	24.2	6.1

状態別では、要支援1・2及で「そのような人はいない」が最も高くなっている。

6.5. 何かあったときに相談する相手

◆ 「そのような人はいない」が約4割

(全員の方に)

問 55 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

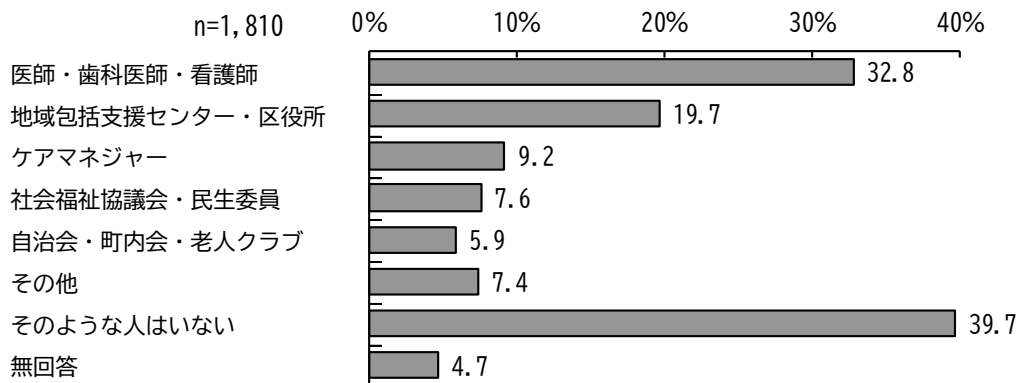


図 6-5 何かあったときに相談する相手

「そのような人はいない」が約4割を占めている。

【状態別】何かあったときに相談する相手

単位：%

	有効回答数 (件)	医師・ 歯科医師・ 看護師	地域 包括 支援 セン ター・ 区役 所	ケ ア マ ネ ジ ャー	社 会 福 祉 協 議 会・ 民 生 委 員	自 治 会・ 町 内 会・ 老 人 ク ラ ブ	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
全体	1,810	32.8	19.7	9.2	7.6	5.9	7.4	39.7	4.7
要支援認定等を受けていない	1,524	32.9	17.7	4.2	7.6	6.4	7.3	42.8	4.6
要支援1	107	32.7	34.6	28.0	7.5	3.7	9.3	23.4	7.5
要支援2	94	29.8	22.3	57.4	4.3	1.1	7.4	19.1	2.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	33.3	38.9	33.3	11.1	5.6	5.6	16.7	5.6
わからない	33	45.5	33.3	9.1	6.1	6.1	9.1	30.3	3.0

状態別では、要支援1と介護予防・生活支援サービス事業対象者で「地域包括支援センター・区役所」が最も高く、要支援2では「ケアマネジャー」が最も高くなっている。

【家族構成別】何かあったときに相談する相手

単位：％

	有効回答数 (件)	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・区役所	ケアマネジャー	社会福祉協議会・民生委員	自治会・町内会・老人クラブ	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,810	32.8	19.7	9.2	7.6	5.9	7.4	39.7	4.7
1人暮らし	705	29.6	19.6	9.6	9.8	5.4	7.8	40.4	4.0
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	415	38.1	15.9	10.1	6.0	5.1	6.3	39.8	5.3
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	45	26.7	24.4	2.2	11.1	6.7	6.7	55.6	2.2
息子・娘との2世帯	347	37.5	21.9	7.8	6.6	8.4	6.1	37.2	3.7
その他	259	29.7	21.2	10.4	4.6	5.4	10.0	39.4	5.4

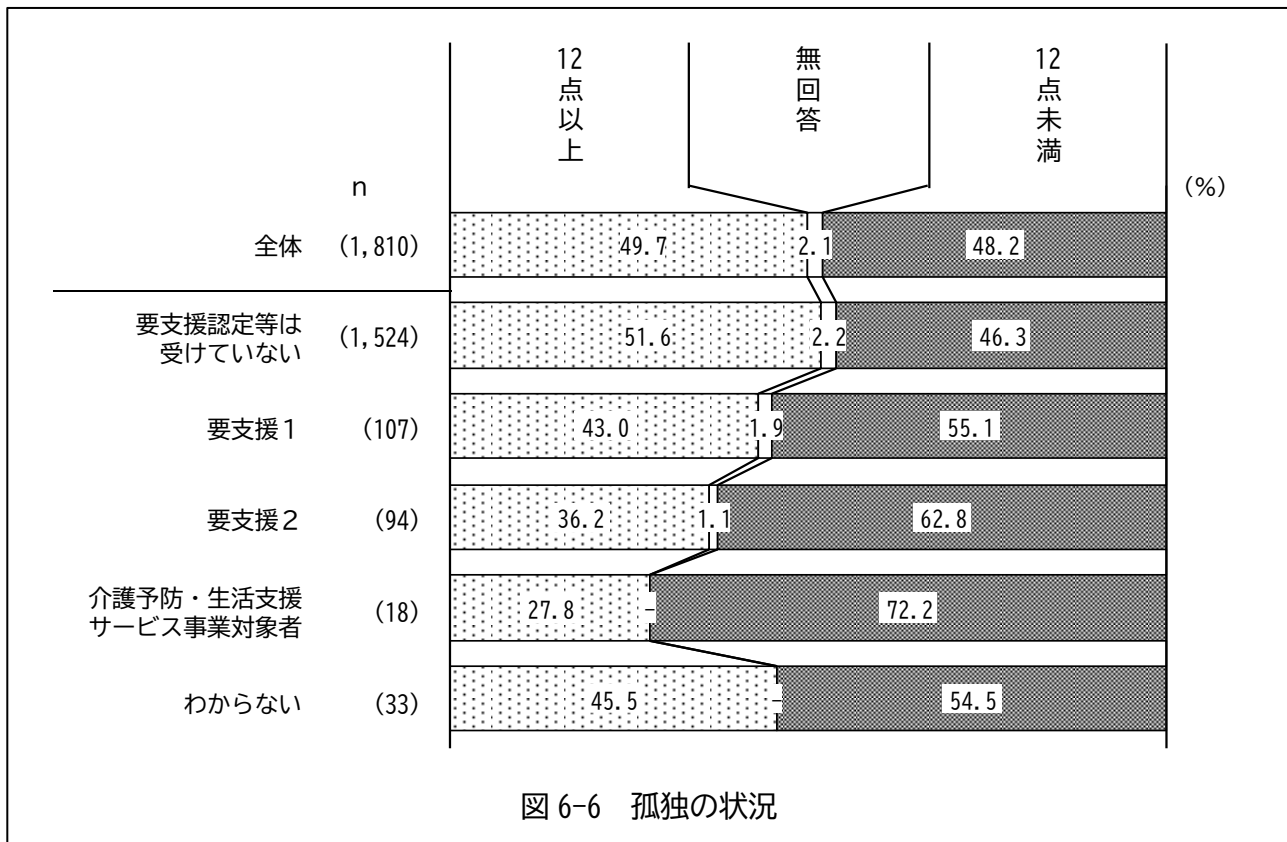
家族構成別では、息子・娘との2世帯では「医師・歯科医師・看護師」が最も高く、それ以外の家族構成では「そのような人はいない」が最も高くなっている。

6.6. 孤独の状況

◇以下の設問を抽出し、各選択肢に点数を割り振って回答を点数化し、合計点数が 12 点未満であった人を社会的孤立傾向と判断した。

問番号	設問	選択肢（点数）
問 56	少なくとも月に 1 回、会ったり話をしたりする家族や親戚は何人いますか	1. いない（0 点） 2. 1 人（1 点） 3. 2 人（2 点） 4. 3～4 人（3 点） 5. 5～8 人（4 点） 6. 9 人以上（5 点）
問 57	あなたが個人的な事でも話すことができるくらい気楽に感じられる家族や親戚は何人いますか	
問 58	あなたが助けを求めることができるくらい親しく感じられる家族や親戚は何人いますか。	
問 59	少なくとも月に 1 回、会ったり話をしたりする友人は何人いますか。	
問 60	あなたが個人的な事でも話すことができるくらい気楽に感じられる友人は何人いますか。	
問 61	あなたが助けを求めることができるくらい親しく感じられる友人は何人いますか。	

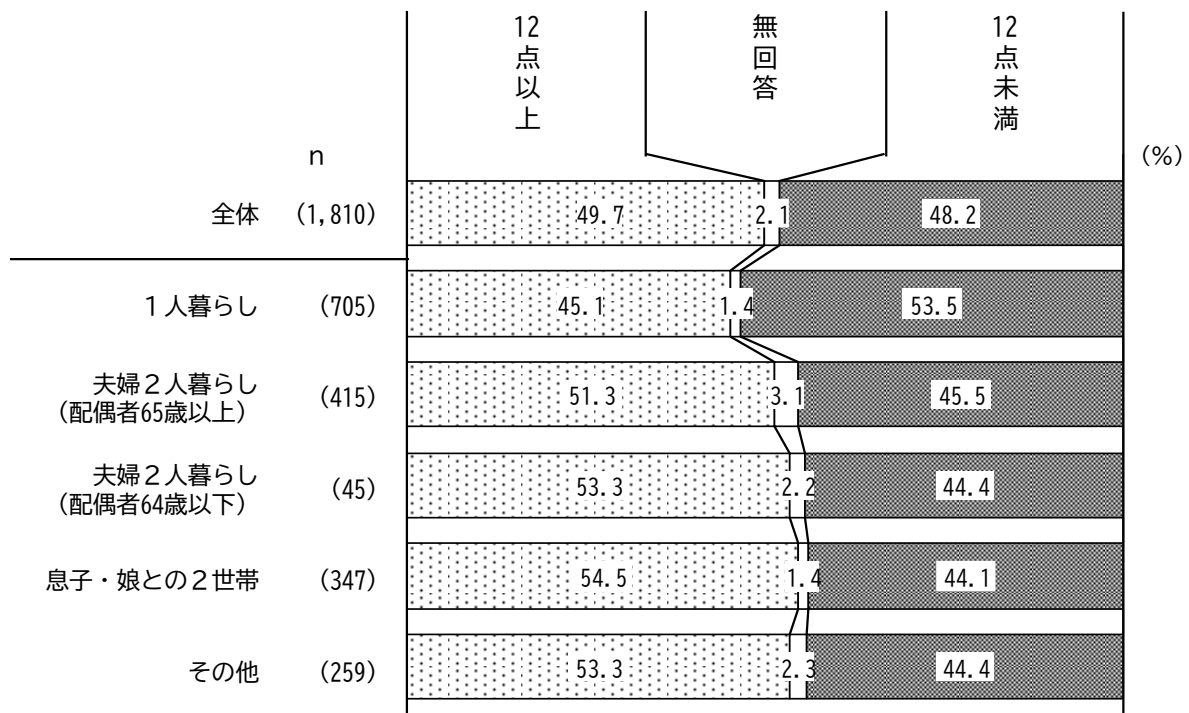
◆ 12 点未満は 4 割台後半



全体では、12 点以上と 12 点未満で拮抗しており、12 点未満は 4 割台後半を占めている。

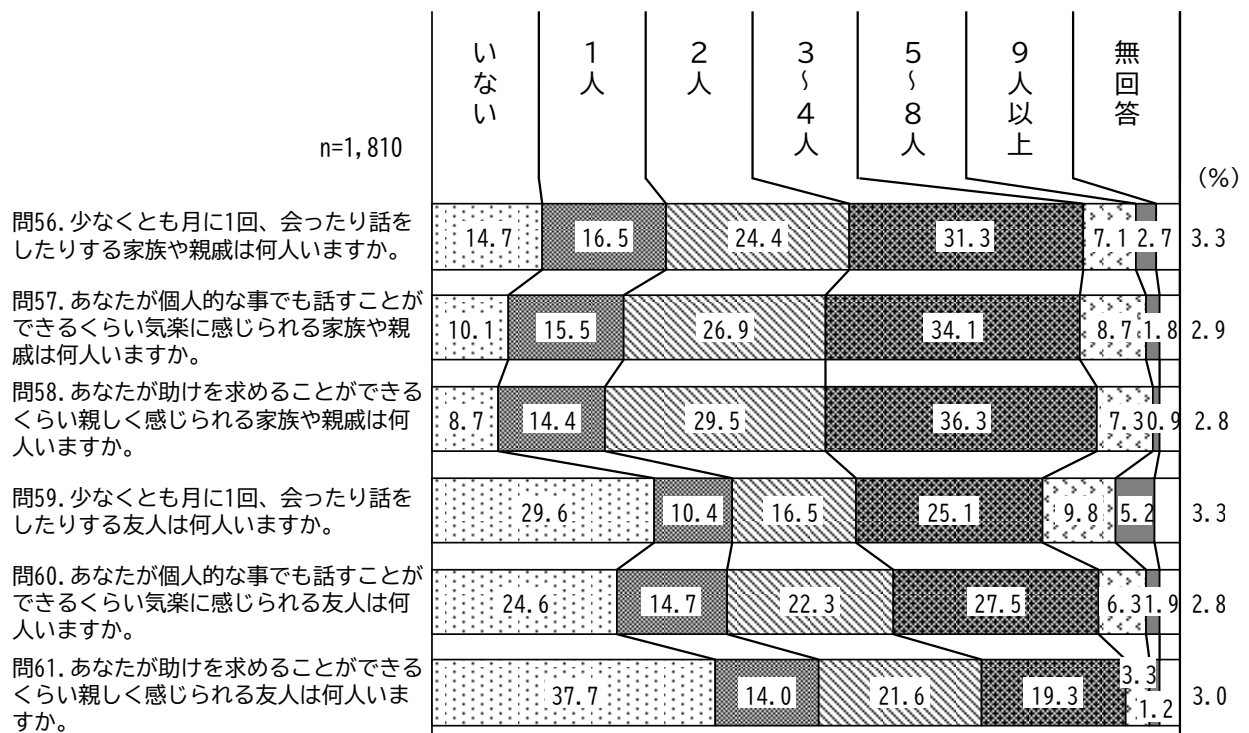
状態別では、12 点未満の割合は、介護予防・生活支援サービス事業対象者で 7 割台前半、要支援 2 で 6 割台前半と、要介護認定を受けている人ほど、社会参加機会やソーシャルサポートが不足している事が推測される。

【家族構成別】友人・知人と会う頻度



家族構成別では、1人暮らしで12点未満が過半数を占めている。

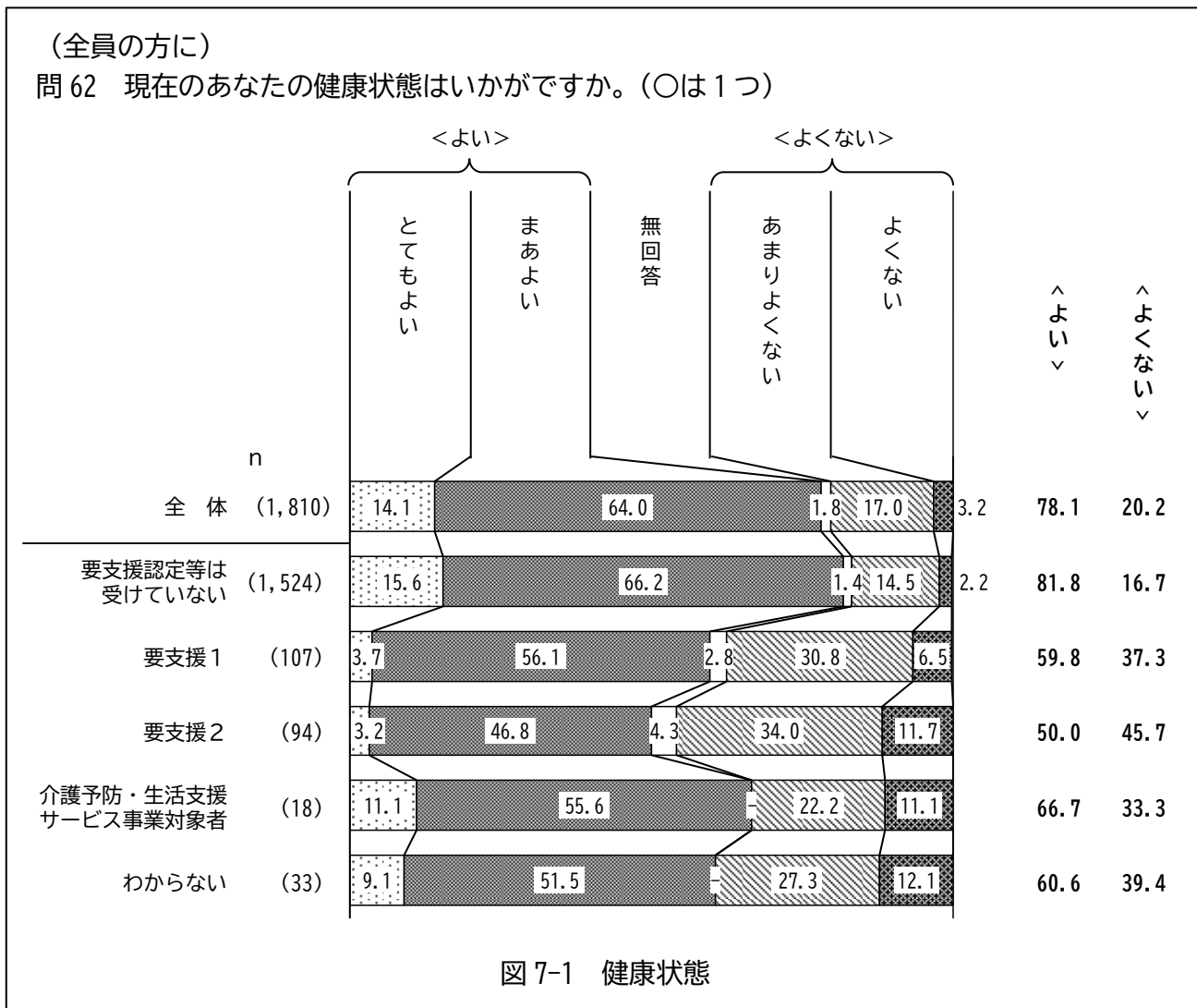
※問56～問61)の結果
(全員の方に)



7. 健康について

7.1. 健康状態

◆ <よい>が7割台後半



全体では、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた<よい>が7割台後半を占めている。

状態別では、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた<よくない>は、要支援認定等を受けていない人から要支援2に向かって、段階的に高くなっており、要支援2で4割台半ばを占めている。

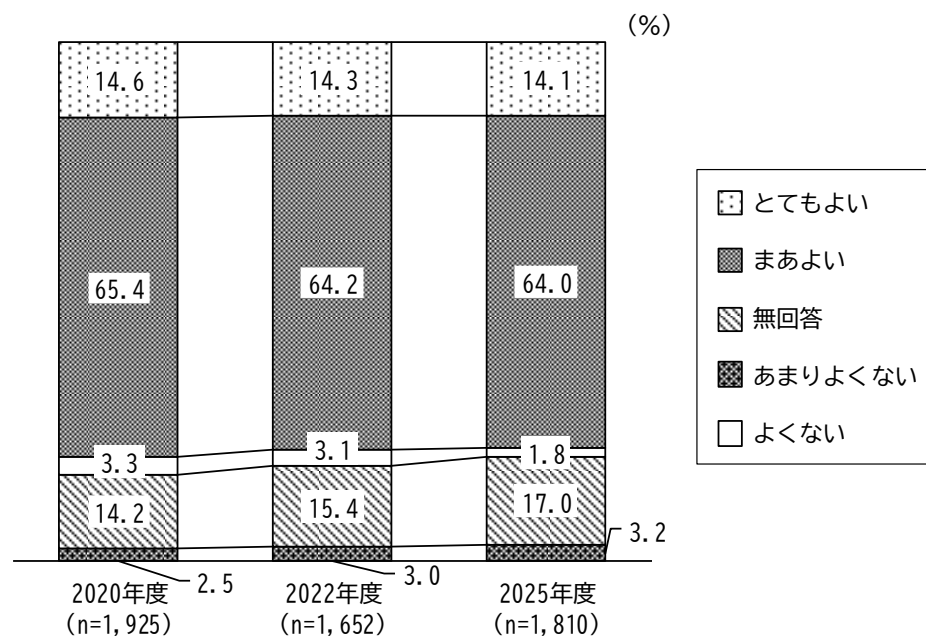


図 7-2 【経年比較】健康状態

経年比較では、大きな差異はみられない。

7.2. 幸福度

◆ 「8点」が約2割

(全員の方に)

問 63 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

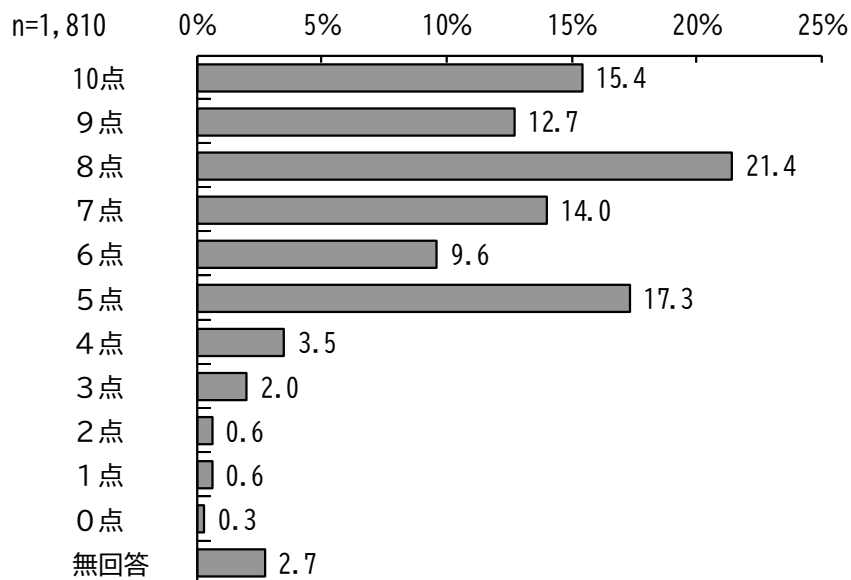


図 7-3 幸福度

全体では、「8点」が約2割で最も高くなっている。なお、平均点（無回答除く）は7.22点となっている。

【状態別】幸福度

単位：%

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
要支援認定等は受けていない	1,524	0.3	0.5	0.5	1.7	3.3	16.2	9.5	14.0	22.4	13.7	15.7	2.2
要支援1	107	-	0.9	0.9	4.7	2.8	21.5	9.3	17.8	15.9	7.5	15.0	3.7
要支援2	94	-	2.1	1.1	3.2	4.3	25.5	13.8	9.6	18.1	5.3	11.7	5.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	5.6	-	-	-	11.1	27.8	5.6	11.1	11.1	16.7	11.1	-
わからない	33	-	-	-	6.1	9.1	33.3	6.1	12.1	12.1	6.1	15.2	-

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「5点」が最も高くなっている。なお、平均点（無回答除く）は、要支援認定等は受けていない人では7.32点、要支援1では6.85点、要支援2では6.53点、介護予防・生活支援サービス事業対象者では6.44点となっている。

【家族構成別】幸福度

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
1人暮らし	705	0.1	0.9	0.9	3.1	4.5	20.9	10.9	12.9	19.7	12.6	11.5	2.0
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	415	0.2	-	-	1.4	2.7	15.4	7.2	16.6	23.9	11.8	17.3	3.4
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	45	-	-	4.4	2.2	4.4	15.6	4.4	6.7	31.1	20.0	8.9	2.2
息子・娘との2世帯	347	0.9	0.3	-	0.6	3.5	15.6	8.9	13.3	21.9	12.7	19.3	3.2
その他	259	-	1.2	0.8	2.3	1.9	13.9	12.7	15.1	20.1	13.5	16.6	1.9

家族構成別では、1人暮らしで5点が約2割を占めて最も高く、それ以外の家族構成では8点が2割以上で最も高くなっている。

【食事をとともにする機会別】幸福度

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
毎日ある	765	0.1	0.4	0.1	1.0	2.4	13.3	7.3	14.8	23.3	14.2	20.5	2.5
週に何度かある	236	0.4	0.4	0.8	0.4	3.0	16.5	8.9	13.6	26.3	15.7	12.7	1.3
月に何度かある	348	-	-	0.3	1.1	1.1	15.8	10.3	16.1	23.0	15.5	14.4	2.3
年に何度かある	230	-	0.9	-	3.0	4.8	21.7	14.8	13.0	21.3	8.3	9.6	2.6
ほとんどない	204	2.0	2.0	2.5	6.9	10.8	30.9	12.3	10.8	5.9	4.4	7.8	3.9

食事をとともにする機会別では、年に何度かあるとほとんどないは5点が最も高く、それ以外は8点が最も高くなっている。

【会・グループ等への参加頻度別】幸福度

① ボランティアのグループ

単位：％

	有効 回答 数 (件)	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点	無 回 答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	21	-	-	-	-	-	4.8	4.8	-	38.1	28.6	19.0	4.8
週2～3回	40	-	-	-	2.5	2.5	7.5	7.5	12.5	32.5	12.5	17.5	5.0
週1回	46	-	-	-	2.2	-	17.4	6.5	19.6	23.9	15.2	15.2	-
月1～3回	117	-	-	-	0.9	-	12.8	7.7	14.5	27.4	17.1	16.2	3.4
年に数回	68	-	-	-	-	4.4	17.6	5.9	10.3	23.5	13.2	23.5	1.5
参加していない	1,415	0.4	0.7	0.6	2.1	3.9	18.2	10.4	14.2	20.6	12.2	14.4	2.2

② スポーツ関係のグループやクラブ

単位：％

	有効 回答 数 (件)	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点	無 回 答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	84	-	-	-	-	2.4	13.1	10.7	10.7	21.4	21.4	16.7	3.6
週2～3回	161	-	-	-	0.6	2.5	8.7	11.8	10.6	24.2	18.0	23.0	0.6
週1回	131	-	-	-	-	1.5	15.3	4.6	19.8	25.2	17.6	14.5	1.5
月1～3回	94	-	-	-	1.1	-	16.0	7.4	13.8	25.5	10.6	22.3	3.2
年に数回	41	-	-	2.4	2.4	-	31.7	9.8	2.4	17.1	17.1	17.1	-
参加していない	1,220	0.5	0.8	0.7	2.6	4.5	18.8	10.2	14.4	20.7	10.9	13.4	2.5

③ 趣味関係のグループ

単位：％

	有効 回答 数 (件)	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点	無 回 答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	38	-	-	-	-	-	15.8	2.6	10.5	34.2	18.4	13.2	5.3
週2～3回	99	-	-	-	-	-	16.2	8.1	13.1	24.2	20.2	17.2	1.0
週1回	141	-	-	-	0.7	1.4	12.8	7.1	17.7	19.9	12.8	25.5	2.1
月1～3回	209	-	0.5	-	1.4	1.4	13.4	6.2	12.9	24.9	19.6	18.7	1.0
年に数回	123	-	-	-	2.4	0.8	17.9	12.2	12.2	29.3	8.1	16.3	0.8
参加していない	1,138	0.5	0.8	0.8	2.5	5.0	19.3	10.7	14.1	19.6	11.0	13.0	2.7

④ 学習・教養サークル

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0	40.0	-
週2～3回	37	-	-	-	-	2.7	5.4	2.7	8.1	24.3	18.9	37.8	-
週1回	69	-	-	-	-	-	15.9	10.1	11.6	23.2	14.5	21.7	2.9
月1～3回	94	-	-	-	1.1	1.1	12.8	4.3	6.4	31.9	24.5	14.9	3.2
年に数回	73	-	-	-	-	-	15.1	9.6	19.2	23.3	16.4	13.7	2.7
参加していない	1,447	0.4	0.7	0.6	2.3	4.0	18.0	10.2	14.8	20.7	11.8	14.2	2.3

⑤ 体操や軽運動など介護予防のための通いの場

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	67	-	-	-	3.0	1.5	7.5	9.0	16.4	23.9	16.4	17.9	4.5
週2～3回	130	0.8	-	-	0.8	4.6	7.7	8.5	14.6	28.5	13.1	20.0	1.5
週1回	150	-	-	-	1.3	2.0	23.3	12.0	14.7	17.3	13.3	14.7	1.3
月1～3回	66	-	-	-	1.5	-	15.2	4.5	18.2	22.7	21.2	12.1	4.5
年に数回	20	-	-	5.0	-	-	15.0	5.0	15.0	45.0	5.0	10.0	-
参加していない	1,306	0.4	0.8	0.6	2.3	4.0	18.2	9.8	13.9	20.7	12.4	14.6	2.4

⑥ 老人クラブ

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	5	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	40.0	20.0	-	-
週2～3回	19	-	-	-	-	5.3	26.3	5.3	15.8	21.1	15.8	5.3	5.3
週1回	21	-	-	-	-	4.8	23.8	9.5	14.3	28.6	4.8	9.5	4.8
月1～3回	46	-	-	-	-	2.2	13.0	-	17.4	21.7	17.4	26.1	2.2
年に数回	24	-	-	-	-	-	12.5	12.5	8.3	29.2	25.0	12.5	-
参加していない	1,620	0.4	0.6	0.6	2.2	3.6	17.2	10.0	14.1	21.2	12.8	14.9	2.4

⑦ 町内会・自治会

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	5	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	60.0	-	-
週2～3回	11	-	-	-	-	-	-	18.2	9.1	36.4	27.3	9.1	-
週1回	22	-	-	-	4.5	-	9.1	4.5	13.6	27.3	22.7	18.2	-
月1～3回	95	-	-	-	-	1.1	10.5	9.5	13.7	28.4	15.8	16.8	4.2
年に数回	170	-	-	-	1.2	5.9	17.6	7.1	14.7	25.9	11.2	14.7	1.8
参加していない	1,438	0.4	0.7	0.6	2.2	3.6	17.9	9.9	14.2	20.2	12.7	15.2	2.4

⑧ 収入のある仕事

単位：％

	有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	1,810	0.3	0.6	0.6	2.0	3.5	17.3	9.6	14.0	21.4	12.7	15.4	2.7
週4回以上	265	-	0.4	0.8	0.4	1.9	16.2	9.4	14.7	23.4	12.8	17.4	2.6
週2～3回	124	-	-	0.8	0.8	2.4	16.1	12.1	10.5	29.8	12.1	13.7	1.6
週1回	34	-	-	-	-	2.9	29.4	8.8	5.9	17.6	26.5	8.8	-
月1～3回	53	-	-	-	1.9	1.9	7.5	3.8	18.9	37.7	13.2	13.2	1.9
年に数回	38	-	-	-	2.6	-	10.5	13.2	13.2	28.9	13.2	15.8	2.6
参加していない	1,230	0.5	0.7	0.5	2.4	4.2	17.8	9.7	14.6	19.4	12.7	15.0	2.4

会・グループ等への参加頻度別では、会・グループ等によって違いはあるが、参加頻度にかかわらず8点の回答が高くなっている。

7.3. 毎日の生活に充実感がない

◆ 「いいえ」が7割台半ば

(全員の方に)

問 64 ここ2週間、毎日の生活に充実感がない気がしましたか。(○は1つ)

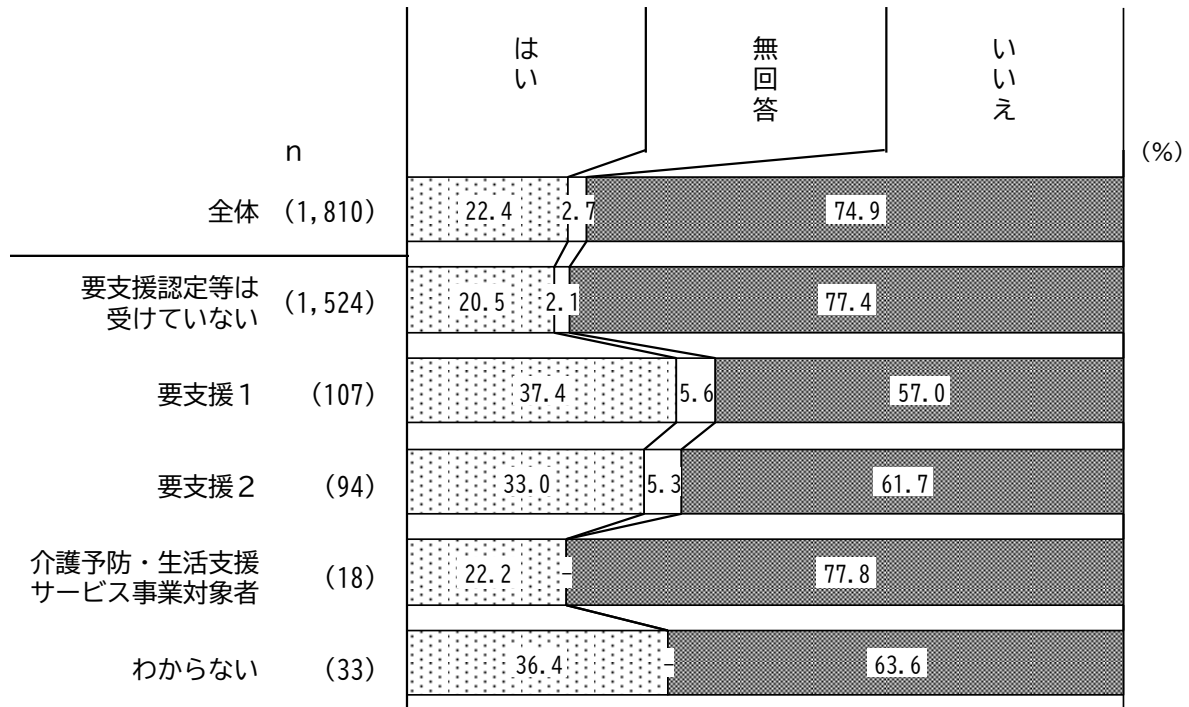


図 7-4 毎日の生活に充実感がない

全体では、「いいえ」が7割台半ばを占めている。

状態別では、要支援1・2で「はい」が3割台となっている。

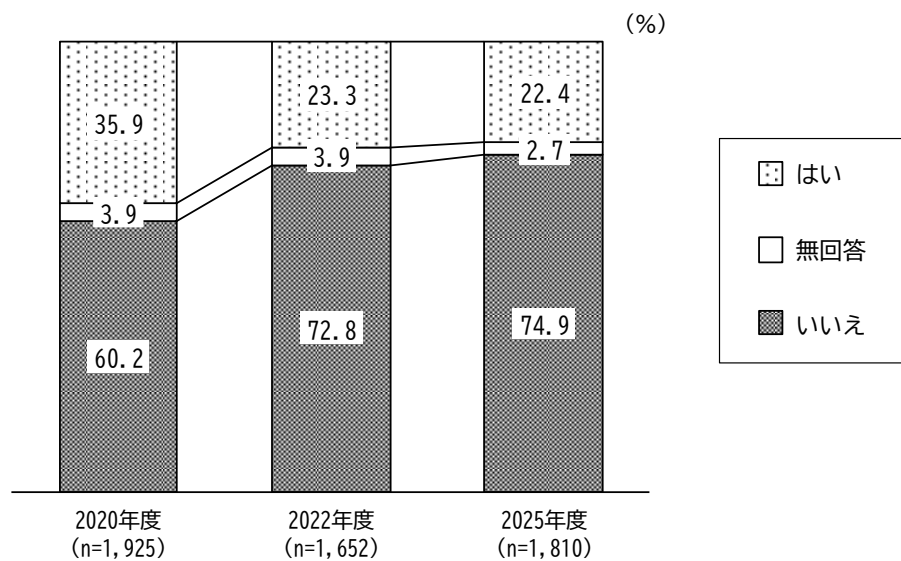


図 7-5 【経年比較】毎日の生活に充実感がない

経年比較では、新型コロナウイルス感染症の流行による影響がみられた2020年度以外は、大きな差異はみられない。

7.4. これまで楽しんでやれていたことが楽しめない

◆ 「いいえ」が7割台後半

(全員の方に)

問 65 ここ2週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめない気がしましたか。(○は1つ)

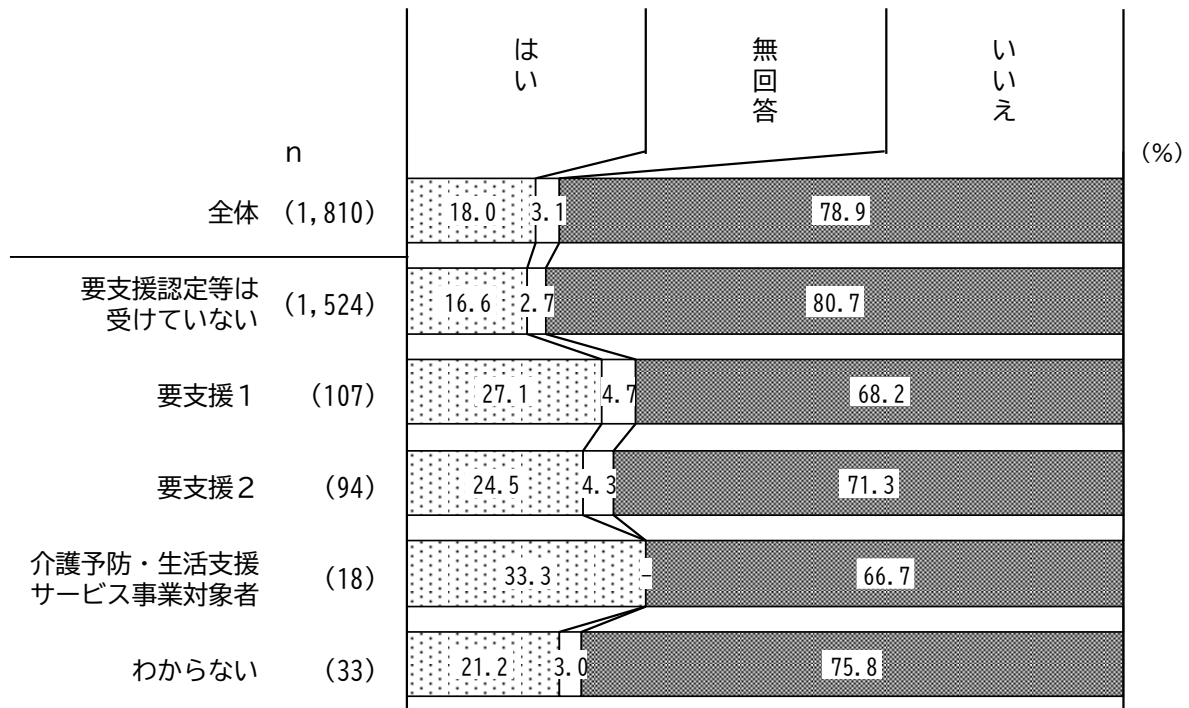


図 7-6 これまで楽しんでやれていたことが楽しめない

全体では、「いいえ」が7割台後半を占めている。

状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が3割台前半と高くなっている。

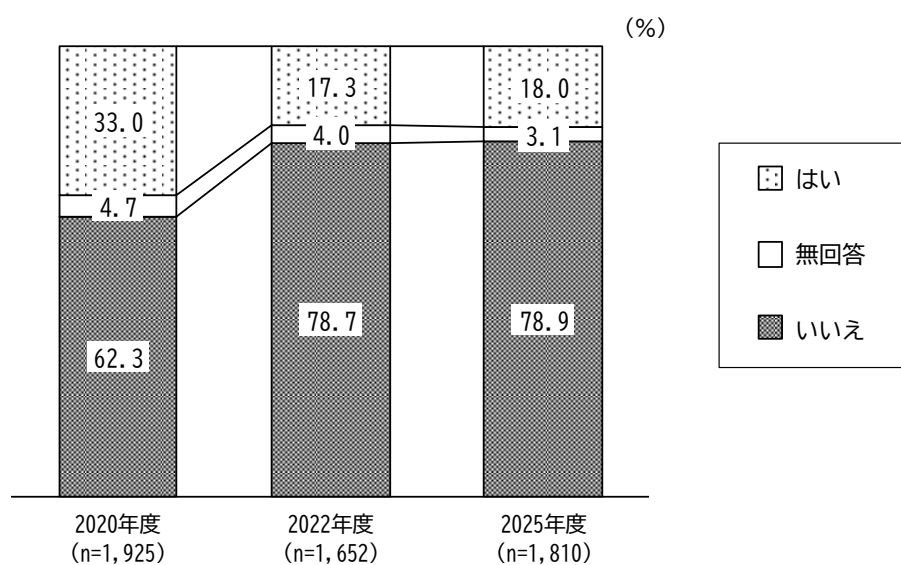


図 7-7 【経年比較】これまで楽しんでやれていたことが楽しめない

経年比較では、新型コロナウイルス感染症の流行による影響がみられた 2020 年度以外は、大きな差異はみられない。

7.5. 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

◆ 「いいえ」が6割台前半

(全員の方に)

問 66 ここ2週間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられることがありましたか。(○は1つ)

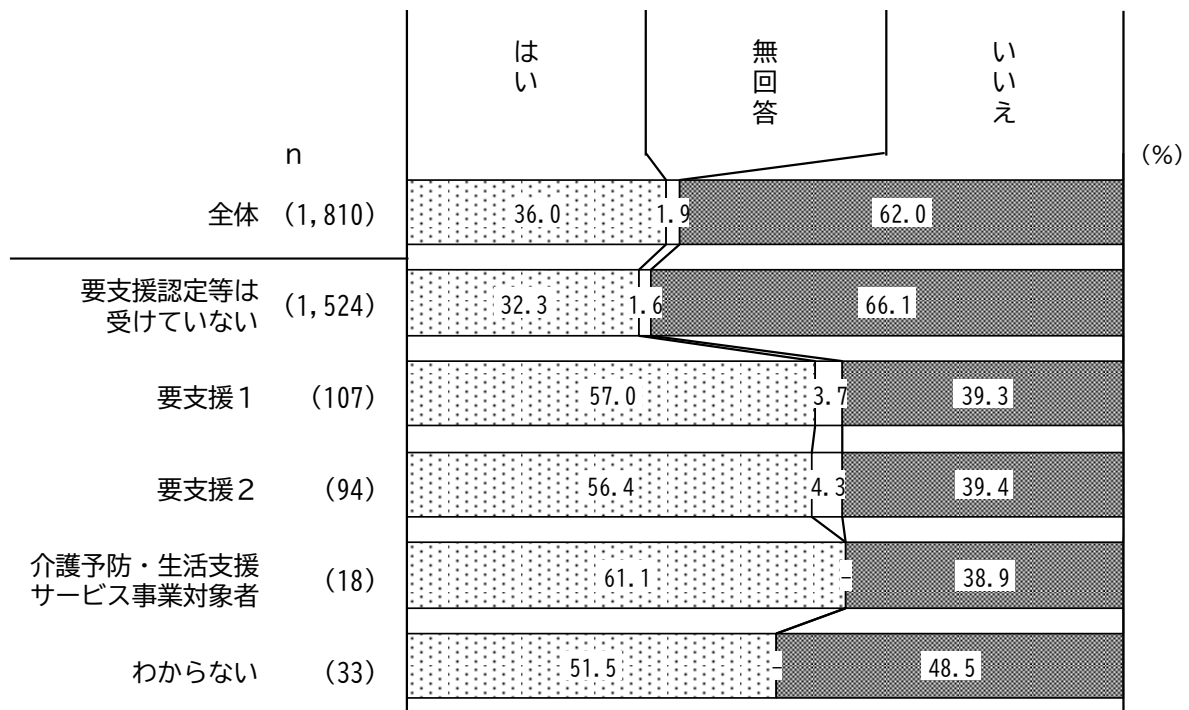


図 7-8 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

全体では、「いいえ」が6割台前半を占めている。

状態別では、要支援1・2及び介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が過半数を占めている。

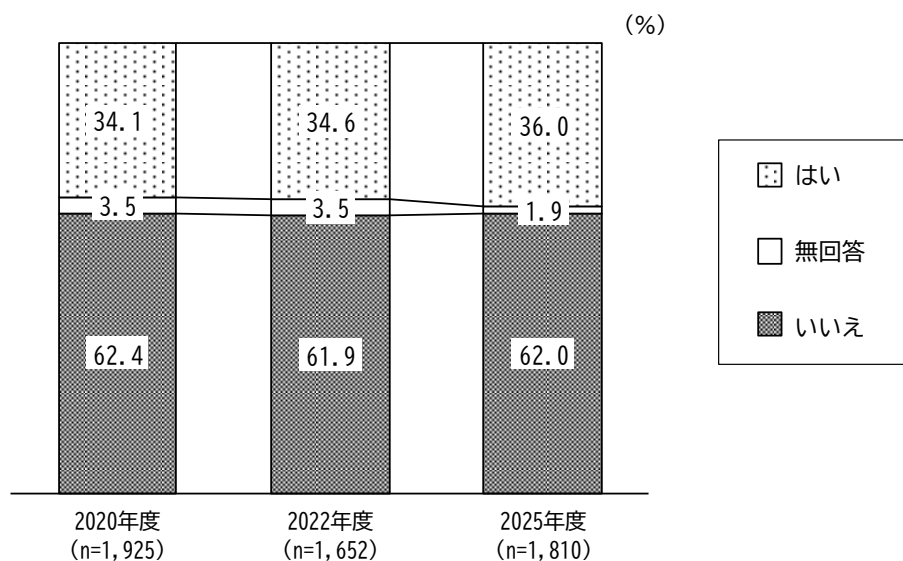


図 7-9 【経年比較】 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

経年比較では、大きな差異はみられない。

7.6. 自分が役に立つ人間だとは思えない

◆ 「いいえ」が7割台後半

(全員の方に)

問 67 ここ2週間、自分が役に立つ人間だとは思えない気がしましたか。(○は1つ)

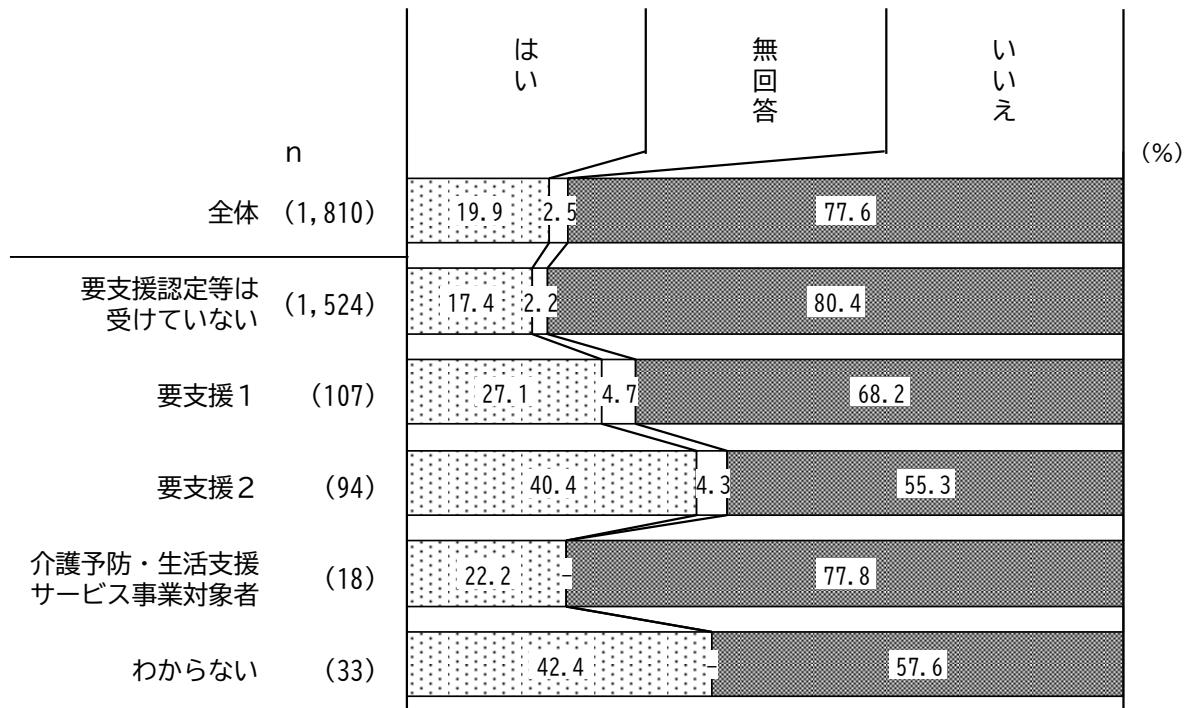


図 7-10 自分が役に立つ人間だとは思えない

全体では、「いいえ」が7割台後半を占めている。

状態別では、要支援2で「はい」が約4割を占めている。

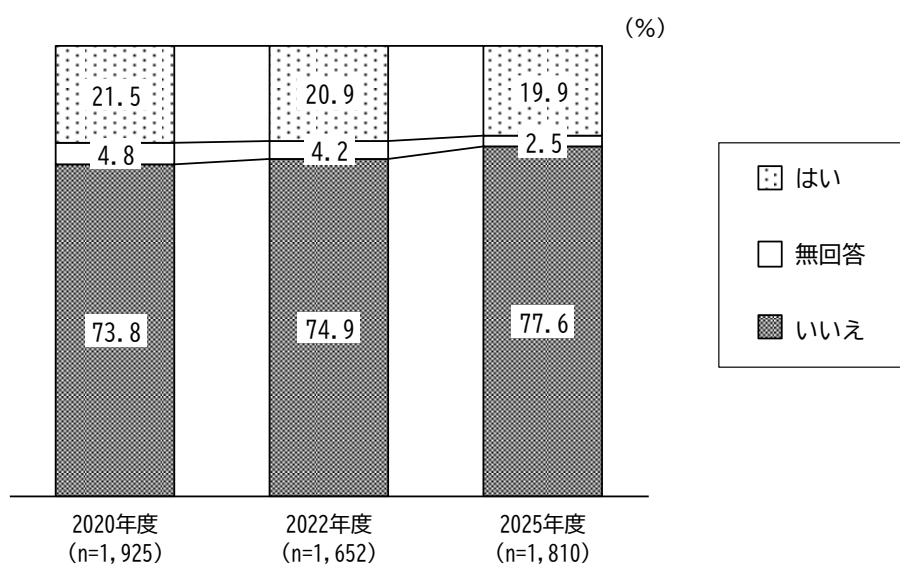


図 7-11 【経年比較】自分が役に立つ人間だとは思えない

経年比較では、大きな差異はみられない。

7.7. わけもなく疲れたような感じがする

◆ 「いいえ」が6割台後半

(全員の方に)

問 68 ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがしましたか。(○は1つ)

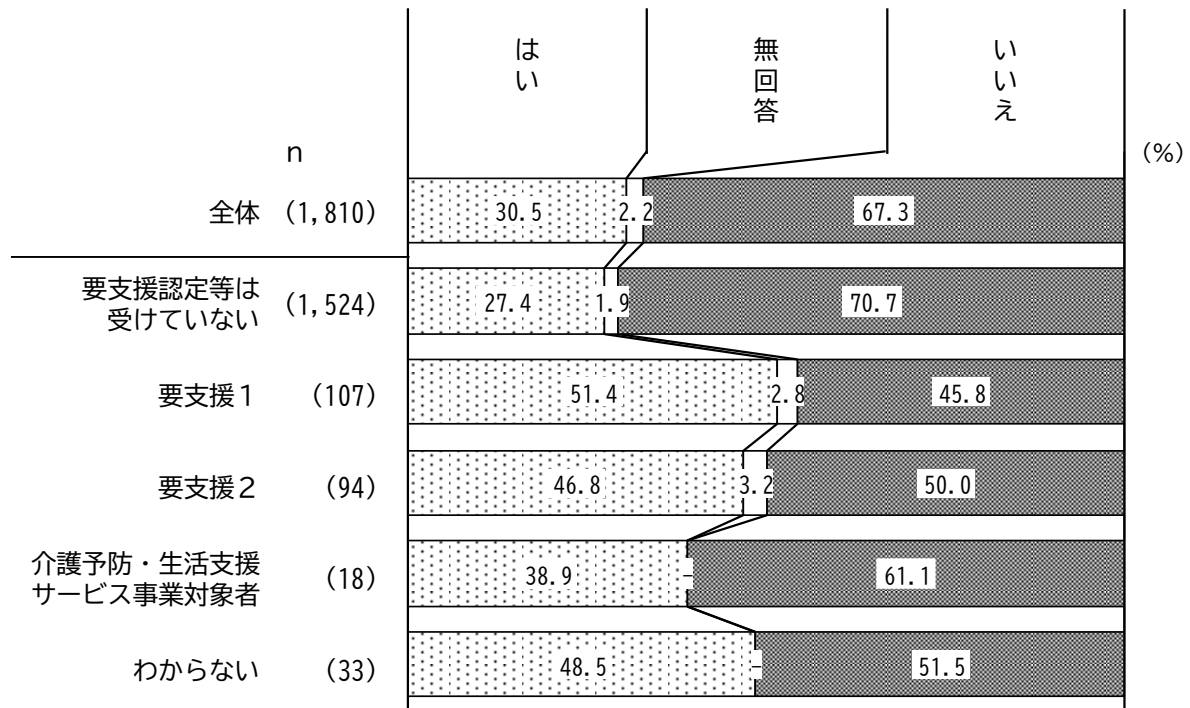


図 7-12 わけもなく疲れたような感じがする

全体では、「いいえ」が6割台後半を占めている。

状態別では、「はい」は、要支援1で約5割、要支援2で4割台半ばを占めている。

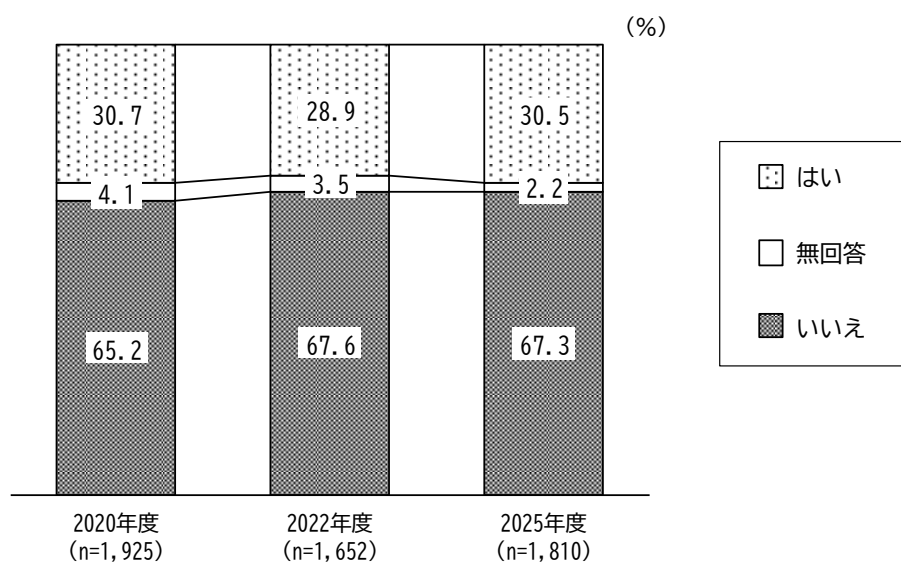


図 7-13 【経年比較】わけもなく疲れたような感じがする

経年比較では、大きな差異はみられない。

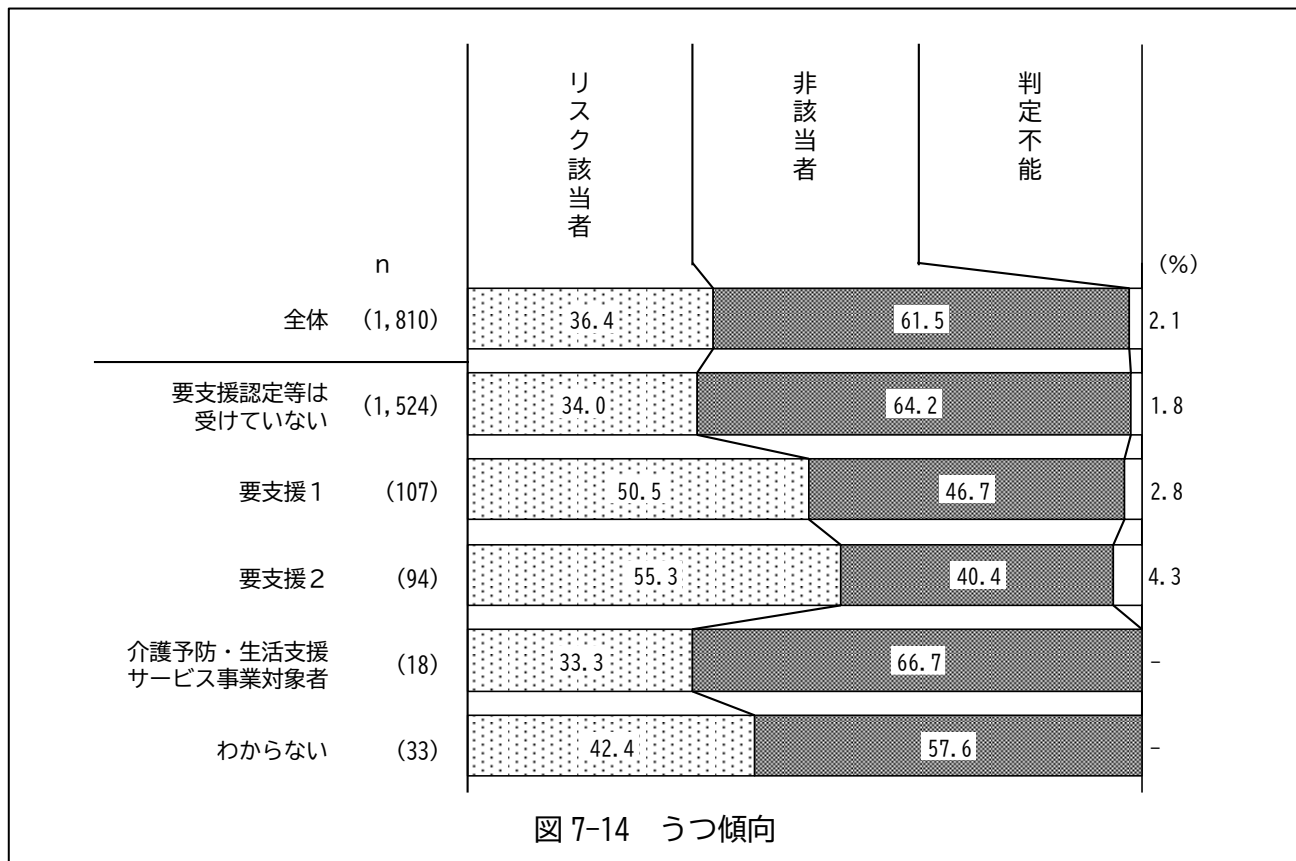
7.8. 機能評価

7.8.1. うつ傾向

◇以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつ傾向のリスク該当者と判定した。

問番号	設問	該当する選択肢
問 69	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問 70	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

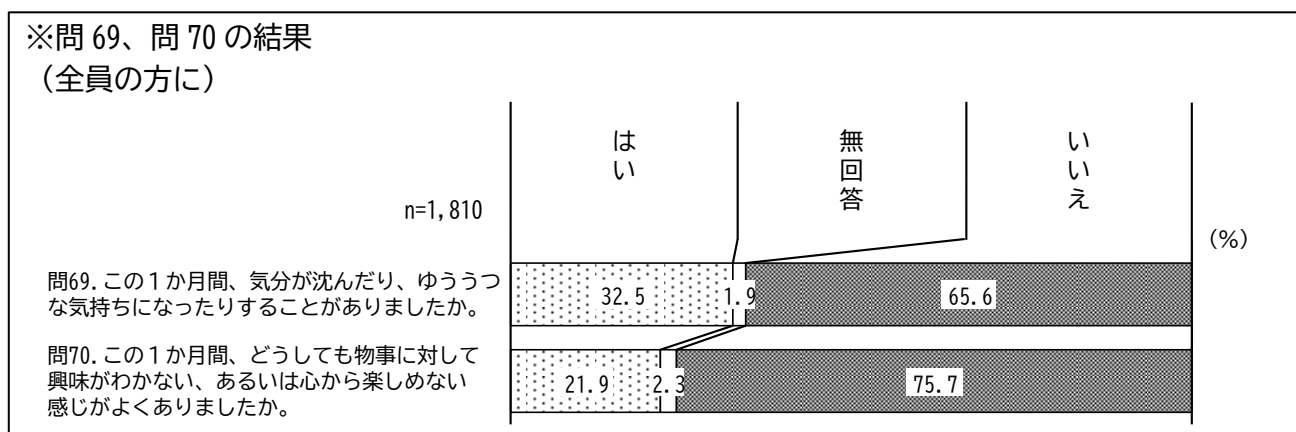
◆ うつ傾向のリスク該当者は3割台半ば



全体では、うつ傾向のリスク該当者は3割台半ばとなっている。

状態別では、リスク該当者の割合は、要支援1で約5割、要支援2で5割台半ばとなっている。

※問 69、問 70 の結果 (全員の方に)



7.9. 飲酒の状況

◆ 「もともと飲まない」が約3割

(全員の方に)

問 71 お酒は飲みますか。(○は1つ)

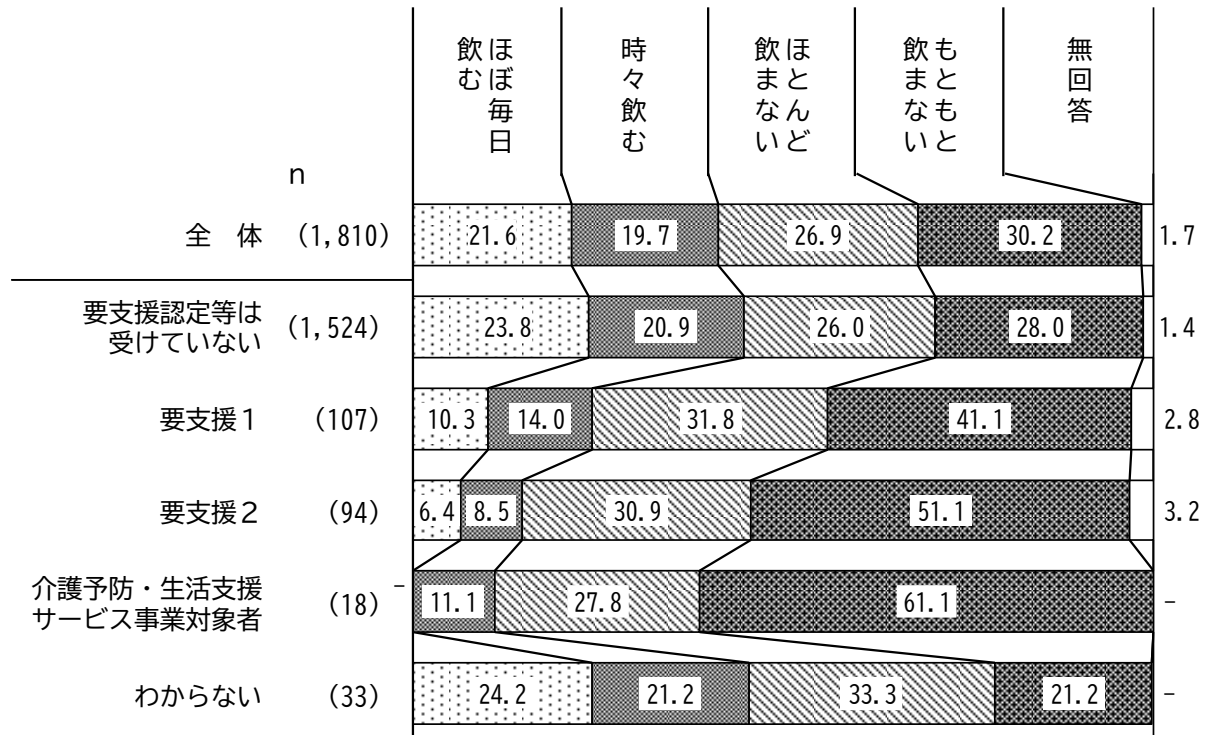


図 7-15 飲酒の状況

飲酒の頻度は、「もともと飲まない」が約3割で最も高くなっている。

状態別では、「もともと飲まない」は介護予防・生活支援サービス事業対象者で約6割、要支援2で約5割を占めています。

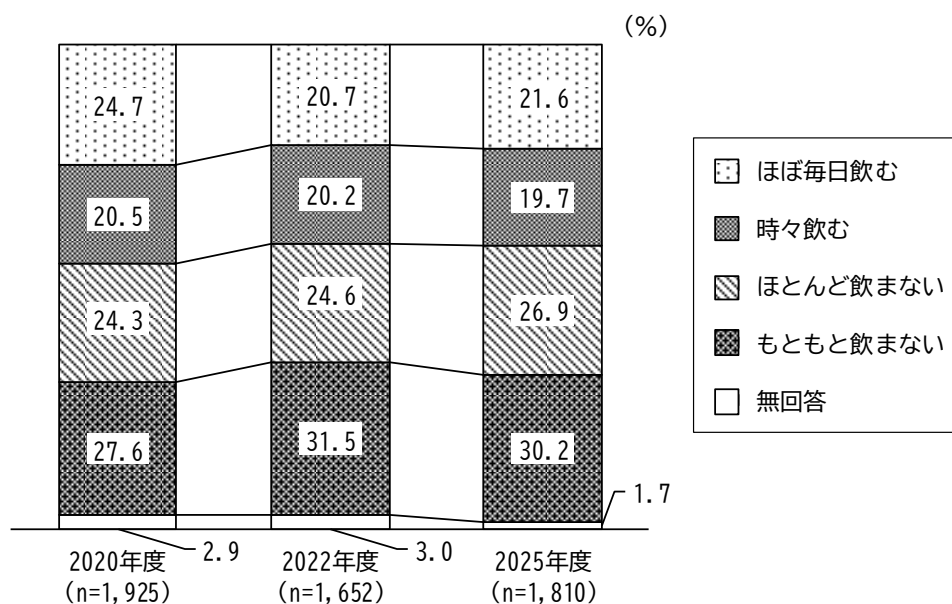


図 7-16 【経年比較】飲酒の状況

経年比較では、大きな差異はみられない。

7.10. 喫煙の状況

◆ 「もともと吸っていない」が約6割

(全員の方に)

問 72 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

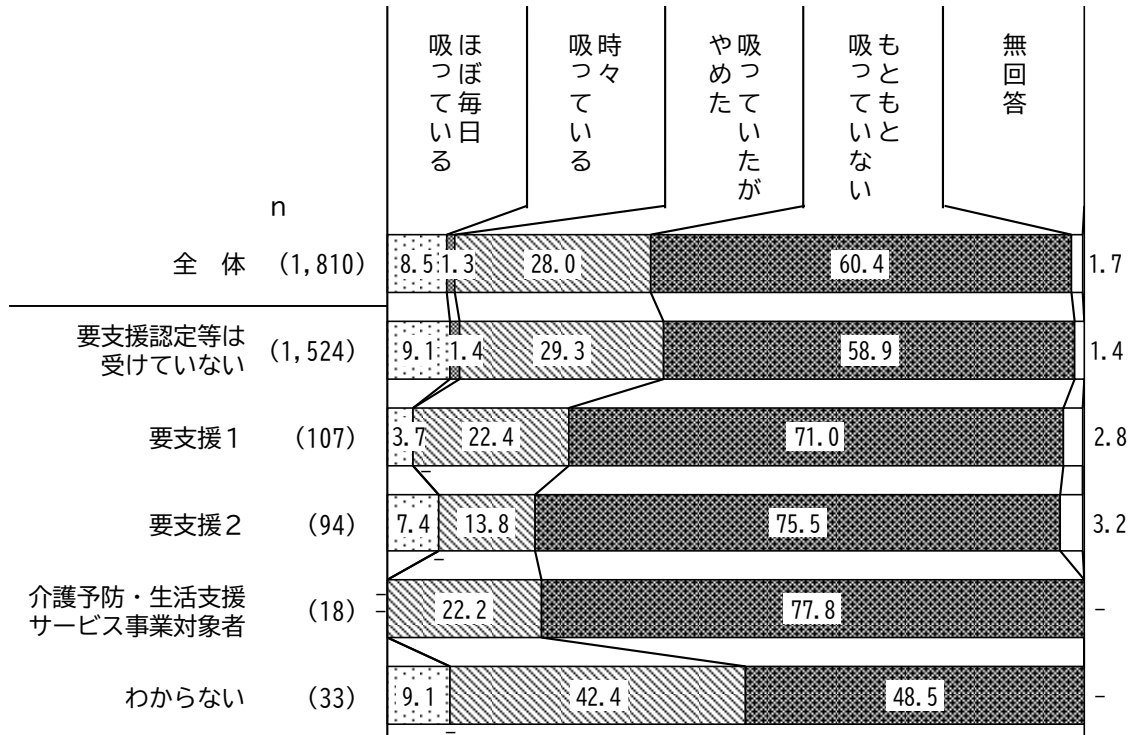


図 7-17 喫煙の状況

喫煙の頻度は、「もともと吸っていない」が約6割を占めている。

状態別では、「もともと吸っていない」が要支援1・2と介護予防・生活支援サービス事業対象者で7割台となっている。

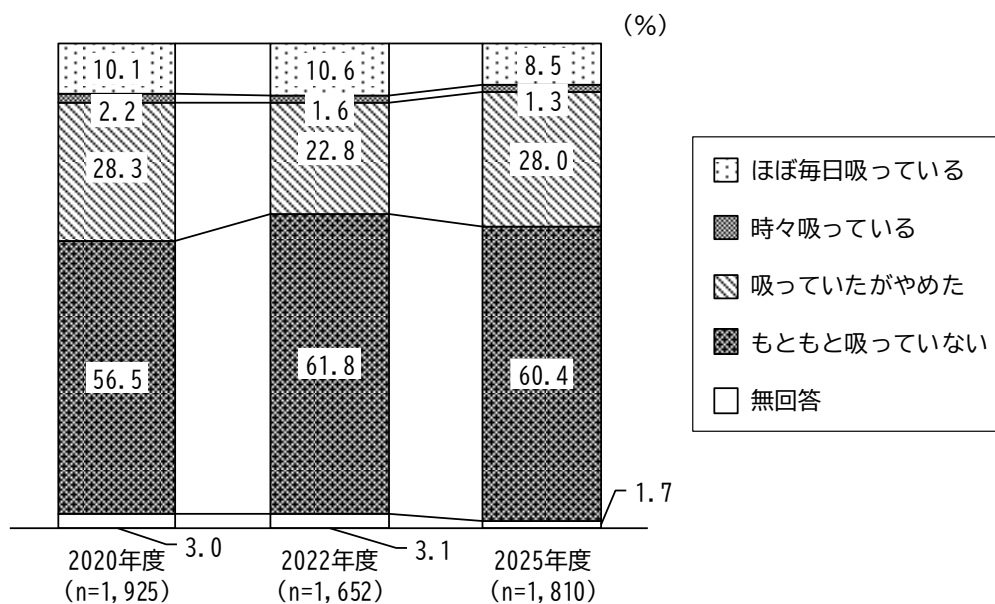


図 7-18 【経年比較】喫煙の状況

経年比較では、2022年度と比べて「吸っていたがやめた」が5.2ポイント増加している。

7.11. 現在治療中、または後遺症のある病気

◆ 「高血圧」が約4割

(全員の方に)

問 73 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

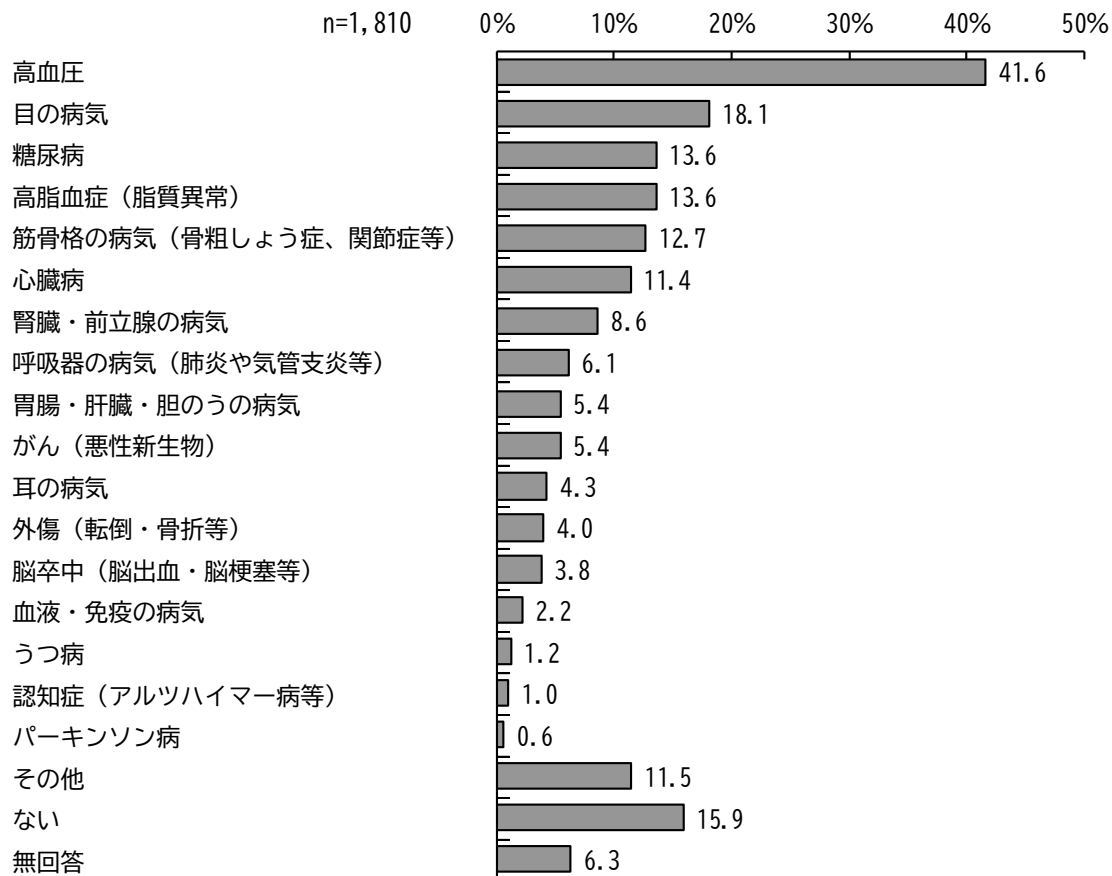


図 7-19 現在治療中、または後遺症のある病気

全体では、「高血圧」が約4割で最も高くなっている。

【状態別】現在治療中、または後遺症のある病気

単位：％

	有効回答数（件）	高血圧	目の病気	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	心臓病	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	がん（悪性新生物）
全体	1,810	41.6	18.1	13.6	13.6	12.7	11.4	8.6	6.1	5.4	5.4
要支援認定等は受けていない	1,524	41.6	17.5	13.4	14.3	10.6	10.1	8.5	5.6	5.3	5.4
要支援1	107	43.0	29.0	15.0	13.1	25.2	18.7	14.0	14.0	7.5	4.7
要支援2	94	44.7	20.2	13.8	12.8	26.6	21.3	5.3	5.3	5.3	2.1
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	55.6	27.8	11.1	-	38.9	22.2	11.1	11.1	-	16.7
わからない	33	33.3	9.1	21.2	9.1	3.0	15.2	9.1	9.1	6.1	6.1

	有効回答数（件）	耳の病気	外傷（転倒・骨折等）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	その他	ない	無回答
全体	1,810	4.3	4.0	3.8	2.2	1.2	1.0	0.6	11.5	15.9	6.3
要支援認定等は受けていない	1,524	3.9	2.8	3.4	2.2	0.7	0.6	0.2	10.7	17.6	5.9
要支援1	107	4.7	9.3	5.6	1.9	3.7	3.7	0.9	14.0	5.6	5.6
要支援2	94	5.3	12.8	8.5	2.1	3.2	4.3	3.2	21.3	6.4	5.3
介護予防・生活支援サービス事業対象者	18	16.7	16.7	-	-	-	5.6	5.6	5.6	11.1	11.1
わからない	33	9.1	6.1	-	3.0	12.1	3.0	3.0	18.2	9.1	3.0

状態別では、いずれも「高血圧」が最も高くなっている。

また、介護予防・生活支援サービス事業対象者及び要支援1・2で「目の病気」と「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が2割以上、介護予防・生活支援サービス事業対象者と要支援2で「心臓病」が2割以上と高くなっています。

8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

8.1. 家族を含めた認知症の症状の有無

◆ 「いいえ」が8割台半ば

(全員の方に)

問 74 認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

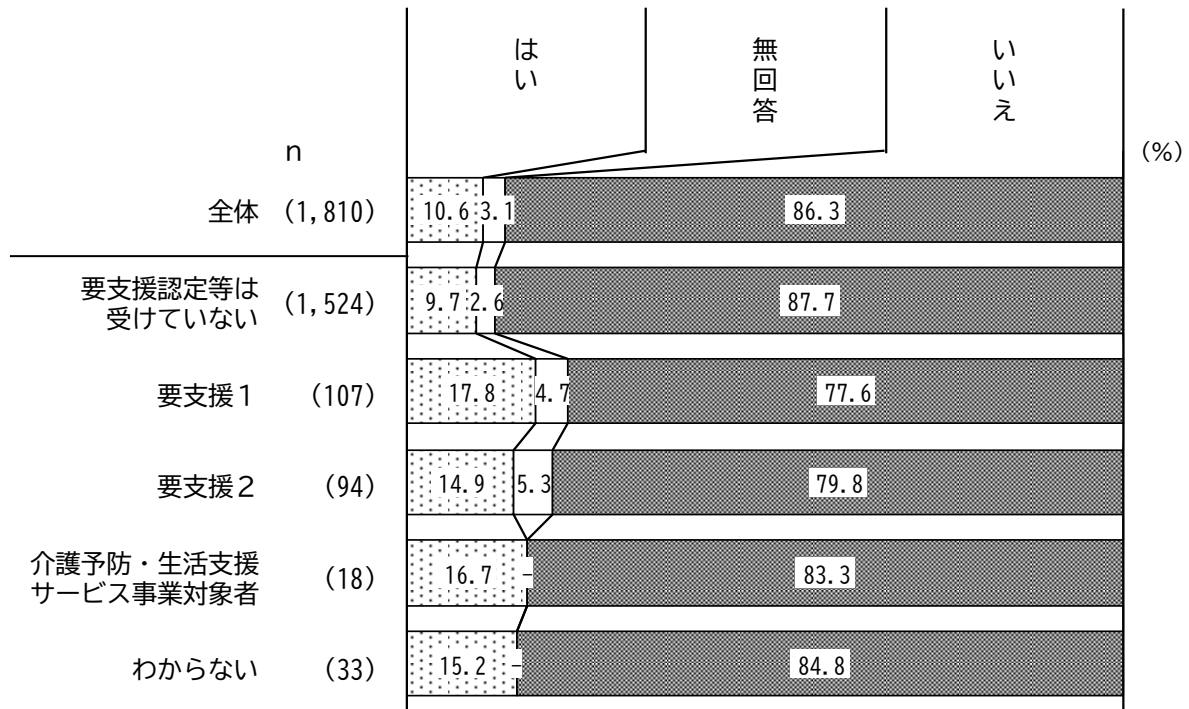


図 8-1 家族を含めた認知症の症状の有無

全体では、「いいえ」が8割台半ばを占めている。

状態別では、要支援1・2と介護予防・生活支援サービス事業対象者で「はい」が1割台半ばから1割台後半を占めている。

8.2. 認知症の相談窓口を知っているか

◆ 「いいえ」が6割台後半

(全員の方に)

問 75 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

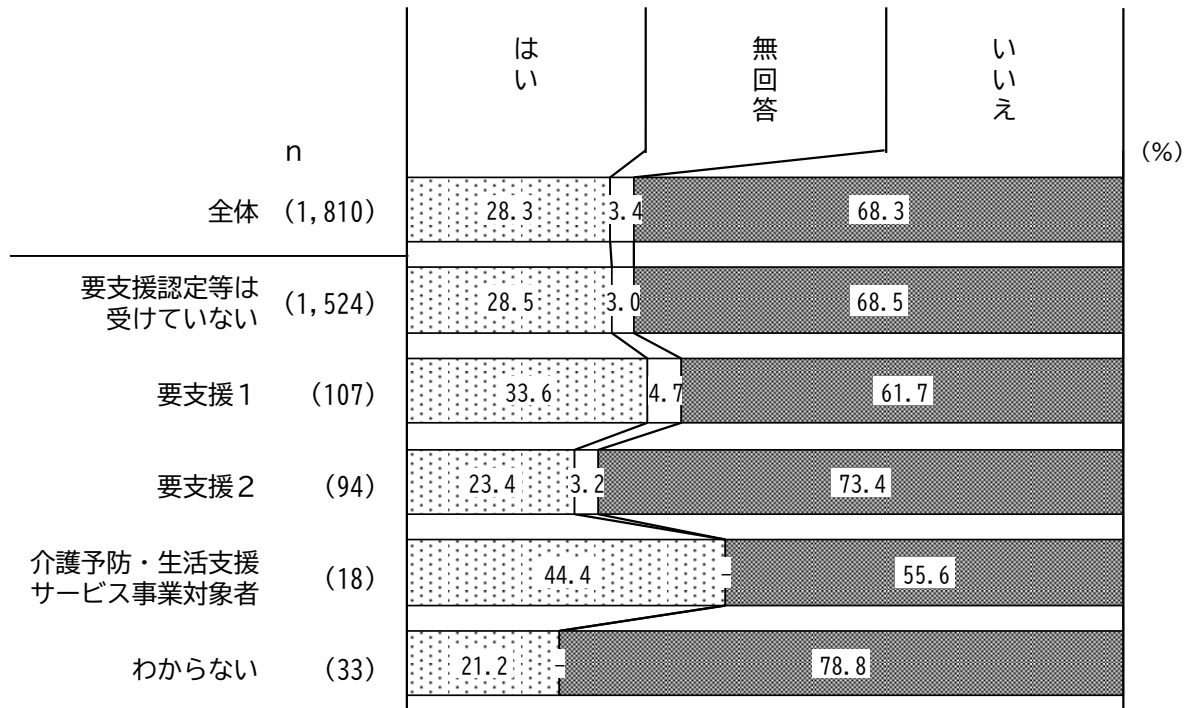
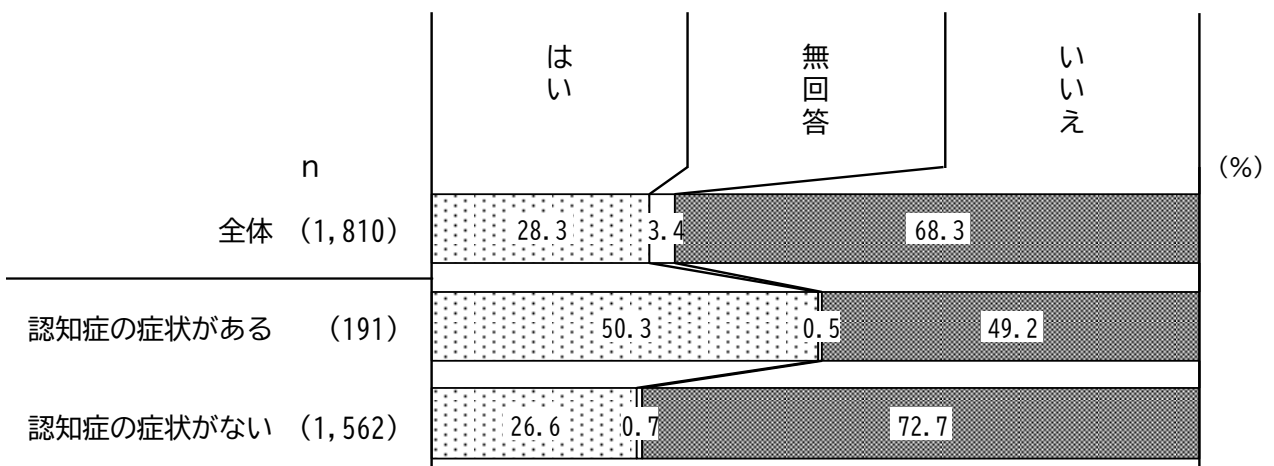


図 8-2 認知症の相談窓口を知っているか

全体では、「いいえ」が6割台後半を占めている。

状態別では、要支援2で「はい」が低く、2割台前半となっている。

【認知症の症状の有無別】認知症の相談窓口を知っているか



認知症の症状の有無別では、認知症の症状がある人で「はい」が約5割を占めている

9. 成年後見制度について

9.1. 成年後見制度の認知度

◆ <わからない>が5割台半ば

(全員の方に)

問 76 あなたは成年後見制度についてどの程度知っていますか。(○は1つ)

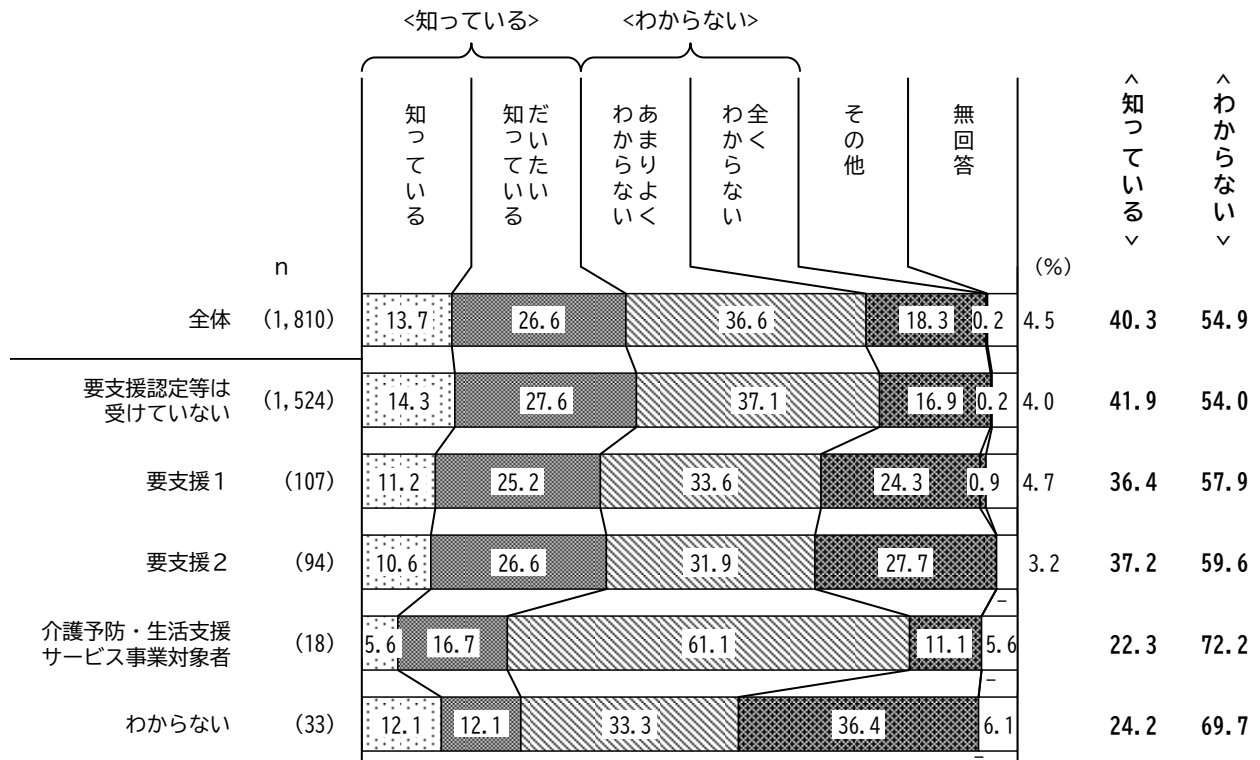


図 9-1 成年後見制度の認知度

全体では、「全くわからない」と「あまりよくわからない」を合わせた<わからない>が5割台半ばを占めている。

状態別では、介護予防・生活支援サービス事業対象者で<わからない>が7割台前半となっている。

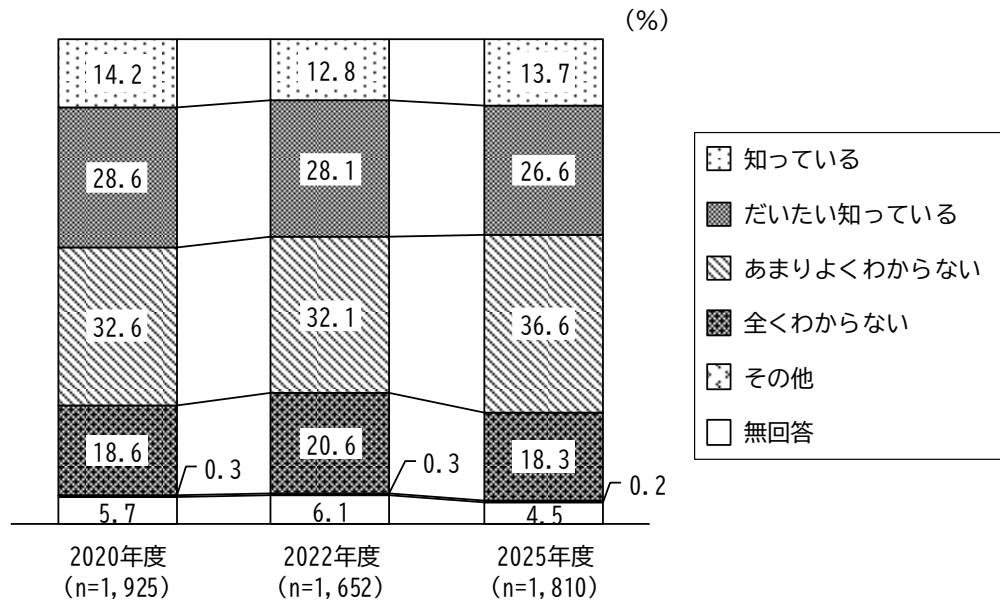


図 9-2 【経年比較】成年後見制度の認知度

経年比較では、＜わからない＞が年々増加している。

9.1.1. 成年後見制度の利用意向

◆ 「したくない」が8割台半ば

(問 76 で「知っている」「だいたい知っている」に○をつけた方に)
問 76-1 今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

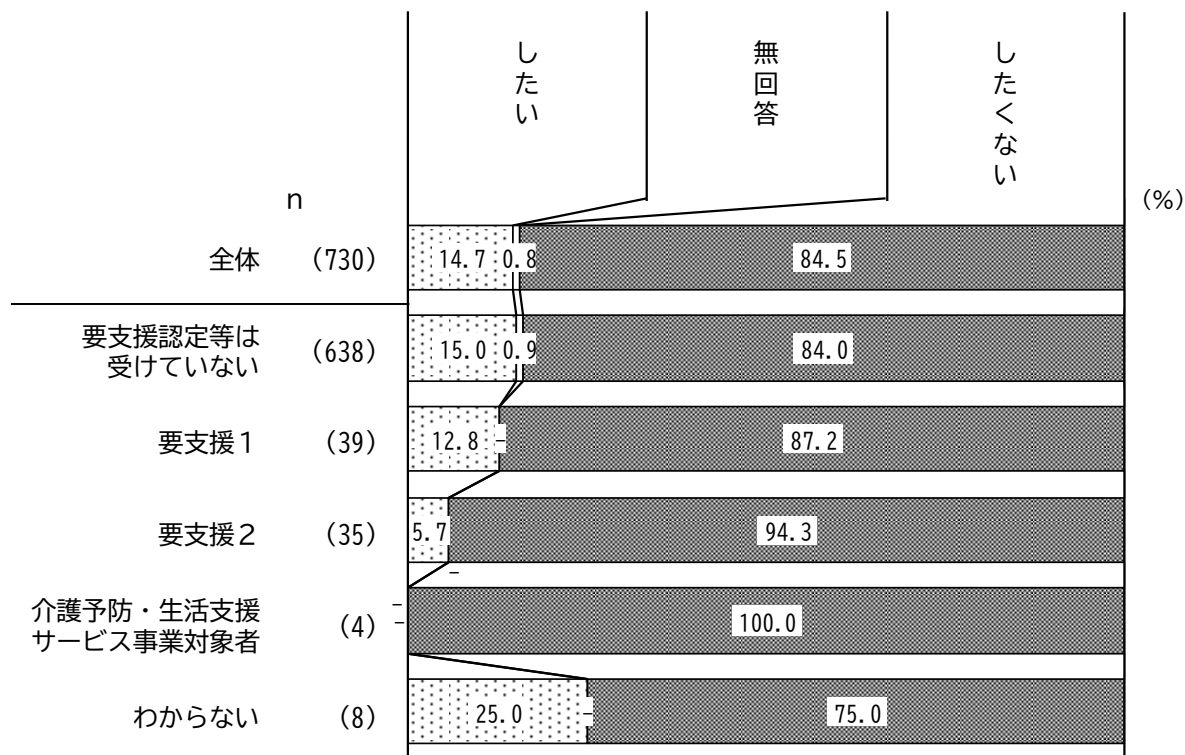
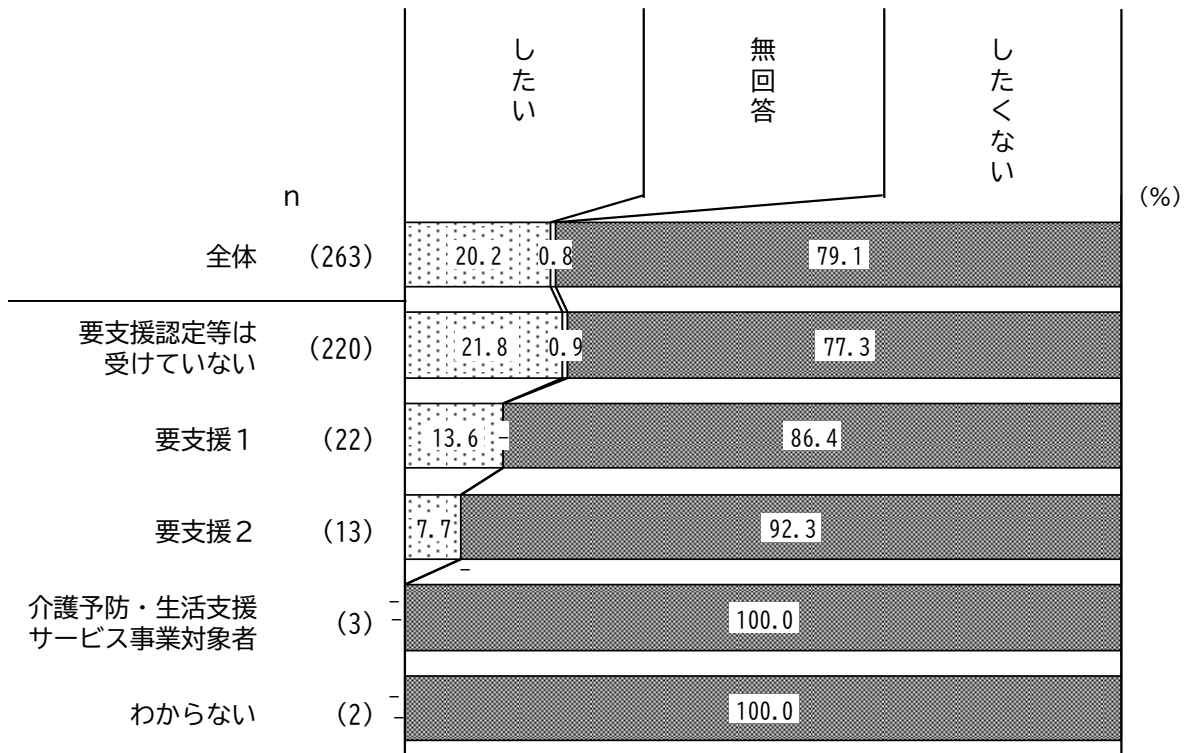


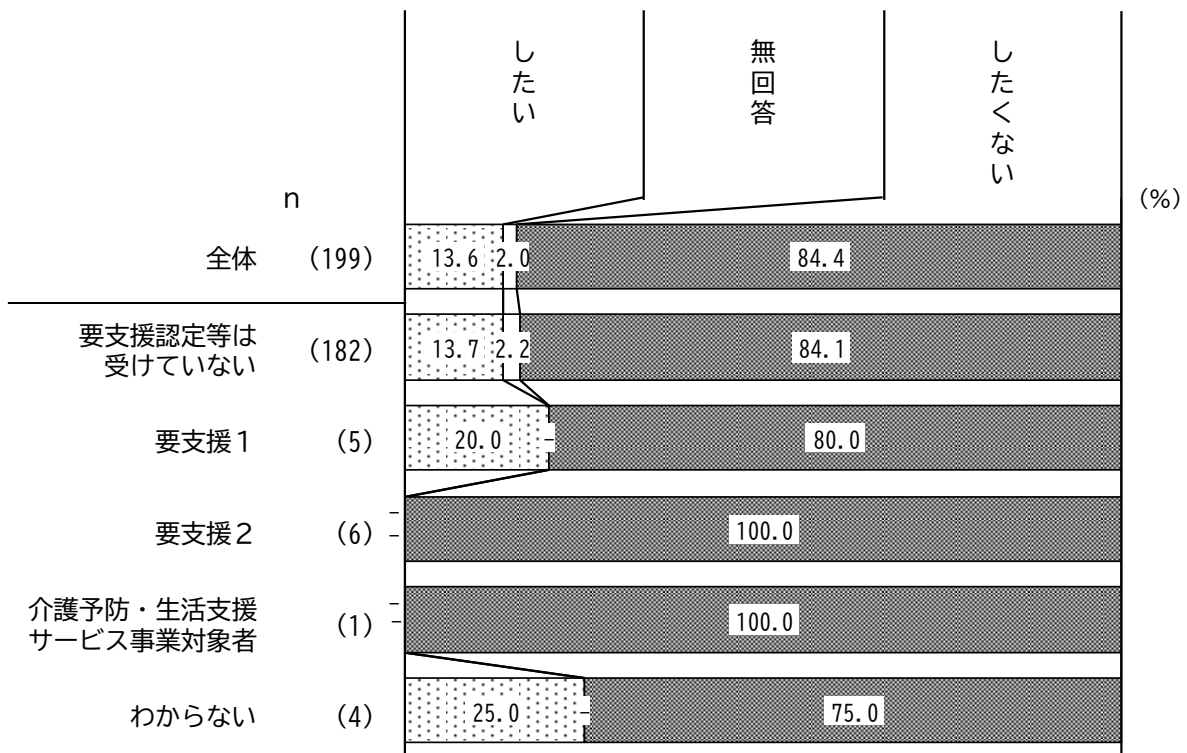
図 9-3 成年後見制度の利用意向

全体では、「したくない」が8割台半ばを占めている。
状態別では、いずれも「したくない」が大半を占めている。

【状態別（1人暮らし）】成年後見制度の利用意向



【状態別（夫婦2人暮らし）】成年後見制度の利用意向



9.1.2. 成年後見制度を利用したくない理由

◆ 「後見人でなくても家族がいるから」が8割台前半

(問 76-1 で「したくない」に○をつけた方に)
問 76-2 利用したくない理由をおしえてください。(○は2つ)

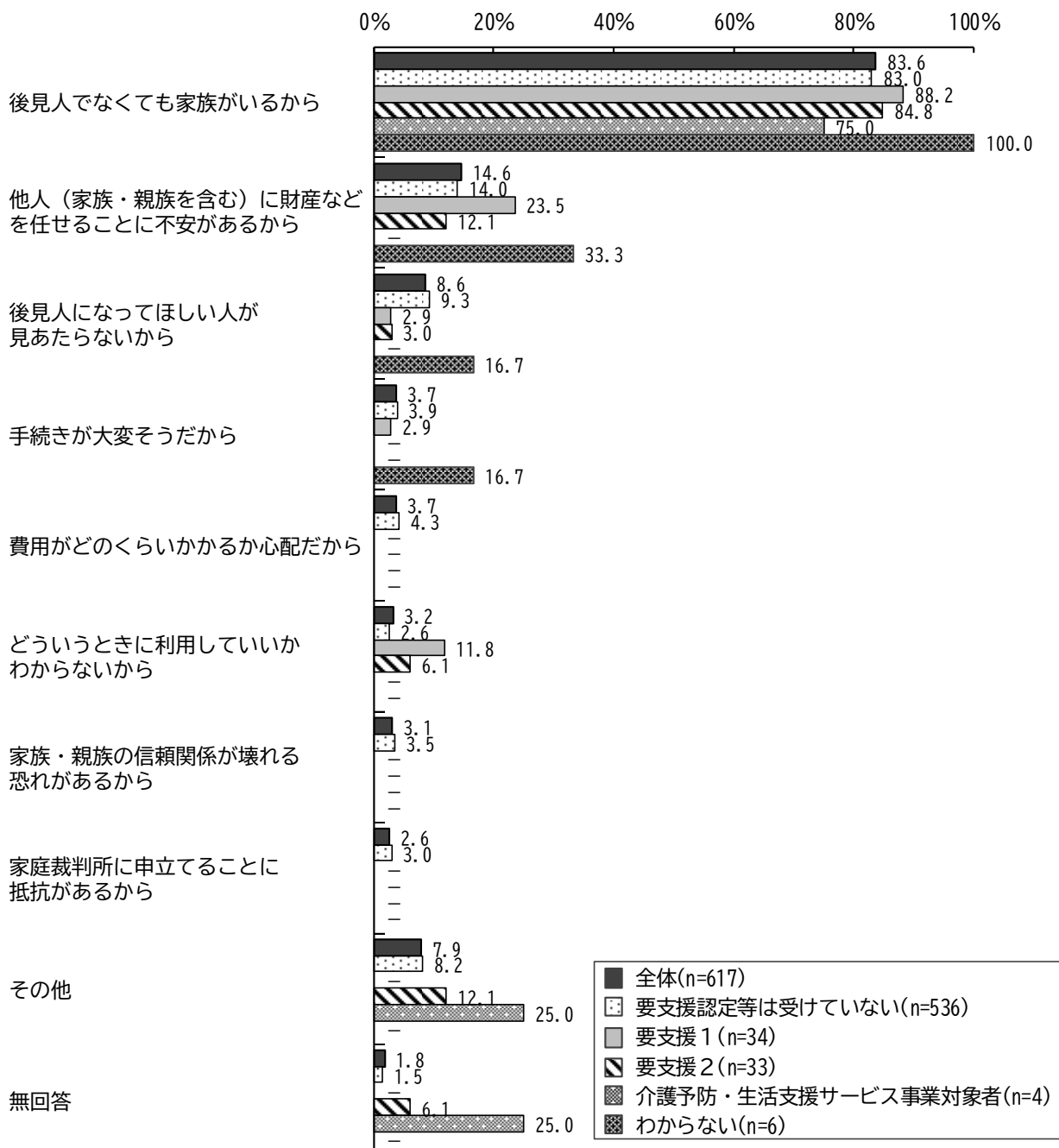
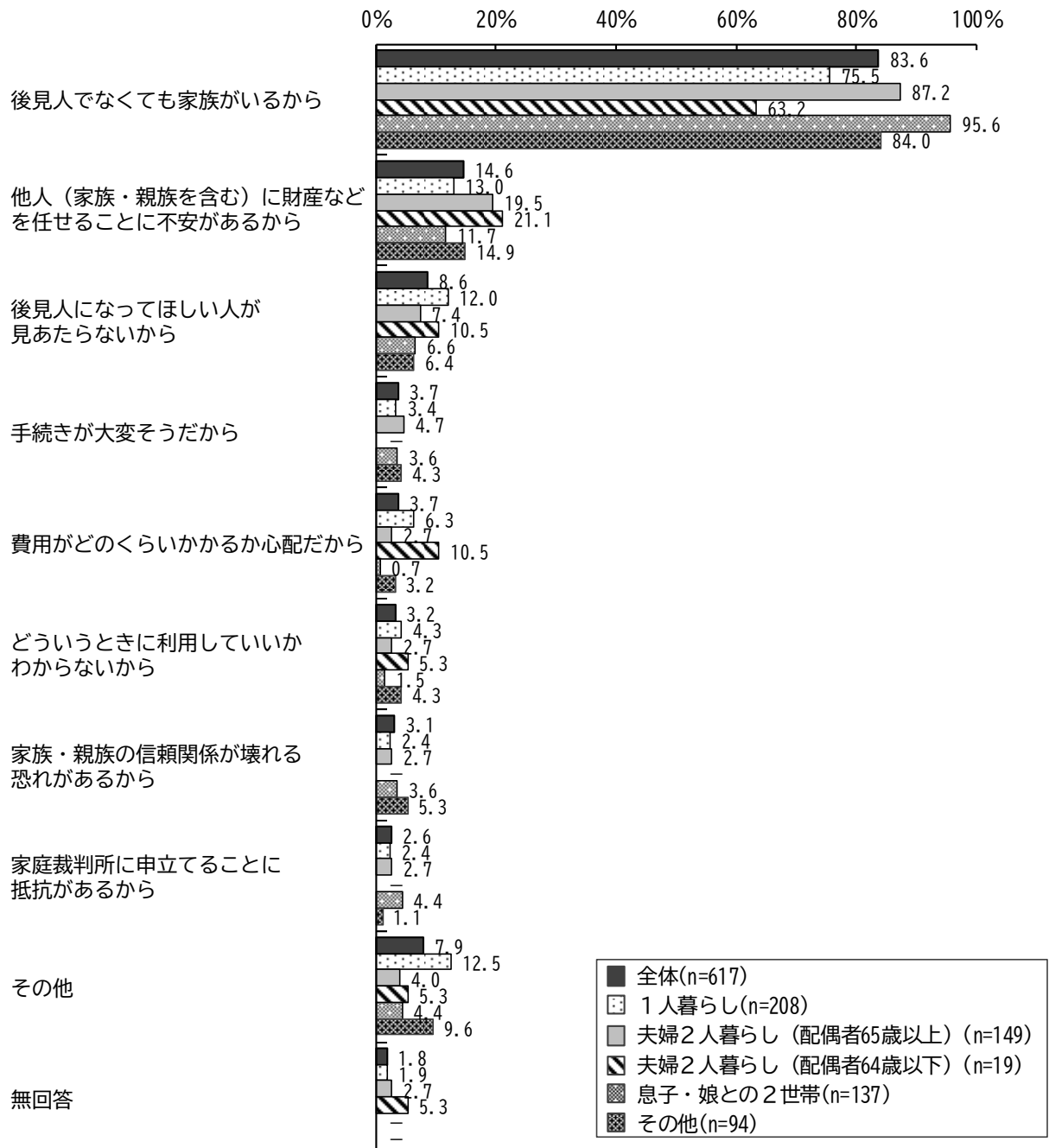


図 9-4 成年後見制度を利用したくない理由

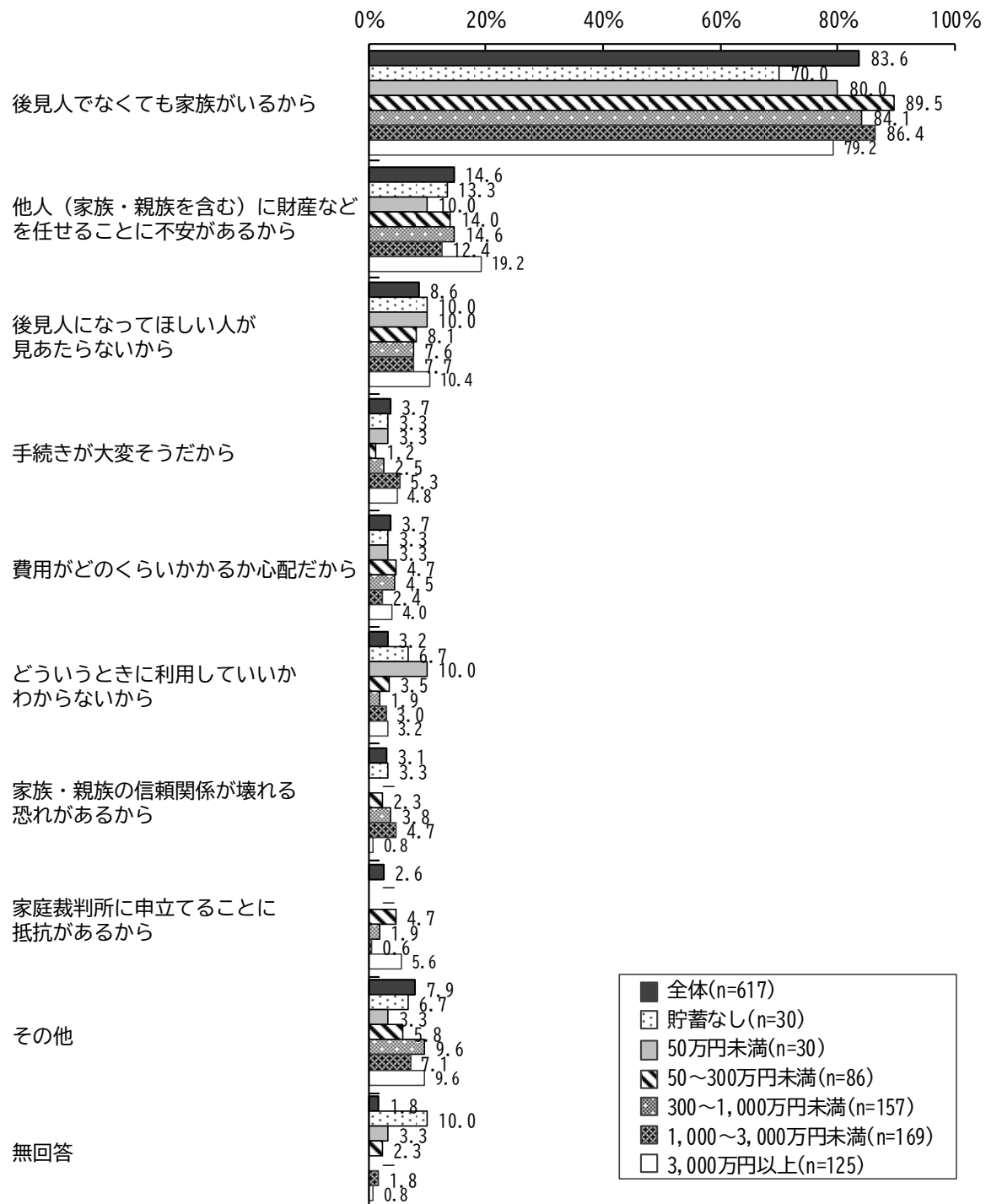
全体では、「後見人でなくても家族がいるから」が8割台前半で最も高くなっている。
状態別では、要支援1で「後見人でなくても家族がいるから」が8割台後半となっている。

【家族構成別】成年後見制度を利用したくない理由



家族構成別では、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)は「後見人でなくても家族がいるから」が6割台前半で他よりも低くなっている。

【預貯金額別】成年後見制度を利用したくない理由



預貯金額別では、貯蓄なしの層で「後見人でなくても家族がいるから」が7割と他より低くなっている。

10. その他

10.1. 健康福祉行政全体への意見・要望（自由回答）

（全員の方に）

問 77 健康福祉行政全体について、ご要望やご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

健康福祉行政全体への意見・要望について、328 件の回答があった。その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

介護保険制度について 54 件

- 亡くなった母と夫の介護申請に時間かかりすぎている。夫の障害者手帳申請、後期高齢者保険も手続きにかなりの時間がかかった。福祉行政といっても実際には、積極的に行政がかかわっていく姿勢があまりないように思う。窓口の対応は、以前より高圧的ではなくなっているが。（65～69 歳）
- 介護保険を利用して、介護器具を入れたり、訪問リハビリを受けたりしています。要支援 2 なので、リハビリは週 3 回中 2 回しかできず、1 回は自己負担です。必要な回数だけであればありがたいのですが、それが残念です。訪問リハビリはとても意味があり、ありがたいと思っています。（65～69 歳）
- 介護保険制度について、高額な保険料を強制的に徴収しておきながら、必要な時に介護が受けられない（更に負担を強いられる）ケースをよく聞く。老々介護のあげくの悲劇も珍しく無いニュースになっている。制度自体の信憑性に疑問を抱かざるを得ない現状で、公私の責任分担を含め抜本的な見直し（廃止含む）を望む。健康福祉行政を唱い強制的に保険料徴収するのであれば、介護を産業などとせず、公の事業（施設・人員も）として配置し、要介護者全てに見合った介護を手当すべき。（70～74 歳）
- 介護認定の話しに行った時、認定を決める期間を短縮してほしい。こちらの面接の希望日を聞き取り日程をスピーディーに、そして話し内容を解り易くスムーズに進めてほしい。（75～79 歳）
- 若い人たちにとって社会保険料（介護保険料を含む）の負担が増えていて生活を圧迫していることは理解しているが、介護保険制度は現在現役の人にとっても将来の自分たちのことと考えて欲しいし、支援が打ち切られることになれば自分が親の介護を担うことになるかもしれないことを考えて欲しいと思う。一方で、余裕のある高齢者の自己負担を増やすことは検討すべき（75～79 歳）
- 介護保険や健康保険が高すぎる。年金生活の中でもっていかれる分が高くて生活はやっていけない。（80～84 歳）
- 「人生百年時代」自助、共助、公助ですが自助は高齢になると気力、体力、経済力もなくなるので、共助型老人ホームや特別養護老人ホームの増設を要望いたします。認知症や転倒を防ぐためにも「介護予防」のような本があれば配付していただきたいです。（90～94 歳）

健康福祉行政全般について 38 件

- 65 歳以上になって対策するのは遅過ぎます。心身共に固くなっている為、気休めです。若年層、小・中・高校生のうちから心身の基礎を学校教育において、育成して欲しい。特に体育を重視して下さい。65 歳以上は、これからは自己責任で各自の健康に努め、税金の無駄使いせぬ様、意識したい。（65～69 歳）
- 健康に関してはともかく、福祉事業の法律やルールを決めている方々は現場の現実をわかっていないと思います。例えば、介護施設ではいろいろな問題が複合的に起こっており、そこで働く人間を苦しめています。単に給料のことだけではありませんよ。（70～74 歳）

- あまり福祉行政に頼り過ぎる傾向には反対。してもらふことよりも、自分がしてあげることや、自分のことは自分でできることを大切にしたい。(70～74 歳)
- 長生き社会を支えるのは、1 人 1 人が自覚をもって自立することだと思いますが、介護保険制度も老人が増えてみなおさないと…やっていけなくなる様な感じがします…1 人 1 人自分の老後をしつかりみすえなければと思います。行政よろしくお願いします。(80～84 歳)
- 高齢福祉、介護保険サービス等の手厚い恩恵の支援に支えられて、私の時代の老人はとても幸せなめぐり合せと感謝しています。これからは老人各自がどう生活していくべきか等々意識を深めて人間本来の自然にそって生きて行くことも大事かと存じます。(人の教育) (85～89 歳)
- 介護制度と障がい者（視覚）福祉サービスの連携が進むとよいと思う。(90～94 歳)

健康づくり・医療・介護予防について 35 件

- 現在、親の介護が優先で、なかなか自分のことを中心に生活できないが、区で開催してる体操がイベントに参加していきたくと思っています。(65～69 歳)
- 毎年、区民検診ですべての項目を検査できるよう希望。70 歳以降は胃カメラ、大腸カメラを毎年又は 2 年に 1 度無料で受診できるよう助成してほしい。腫瘍マーカーを全項目、無料になるよう助成してほしい。若しくは線虫検査を取り入れてほしい。(65～69 歳)
- 「なかの元気アップ体操ひろば」に参加してます。大変、楽しく、ありがたく思っています。募集の時は、来年 3 月までとなっておりましたが、次年度も是非お願い致します。(70～74 歳)
- 最近記憶しているはずの固有名詞が出てこないことが有ります。認知症の進行状態は自分では判断できないと思います。年に 1 回位認知症の状態を診断してくれるサポートが有るとありがたいです。(70～74 歳)
- 空きスペースの学校があり、高齢者が気楽に通える場に利用出来ると良いと思う。区民活動センターで行なっている高齢者向きの活動が分かりにくく、参加しにくい。(70～74 歳)
- シルバー世代が参加できる催しなどが他区に比べて少ない気がします。趣味のサークルや食事会、文化祭的なものなど。外出の機会が増えれば、より元気に過ごせると思います。(75～79 歳)
- 中野区内で様々な取組があることは広報などで承知しています。ただ江原町は区の端なので様々なイベントへの参加が難しく残念です。江古田地域活動センターの「カラオケげんき体操」への参加を楽しみにしています。介護予防事業が近所でもう少しあると、要支援要介護の認定を受けずもっと自立して長く生活出来ると思います。江古田地域活動センターには感謝しております。(90～94 歳)

区への要望について 31 件

- 気楽に腰かけたりできるベンチが道端等にあるといい。(65～69 歳)
- 福祉に関する職業に従事する人々の地位向上、待遇改善を望んでいる。(65～69 歳)
- 死後事務委任契約等を自治体主導でやって欲しい。(65～69 歳)
- バリア・フリーの街づくりをお願いします。(70～74 歳)
- 近場の沼袋小学校の廃校を利用して地域活動の項目に有るような事が出来れば幸いです。(80～84 歳)
- 高齢者のコーラスグループ。いけ花教室、手芸クラブなど参加したい方はかなりいらっしゃいます。月 2 回くらいであまりしぼりがなく、元気な時だけでも参加できるような会を区の主宰で開いていただきたいと思います。(85～89 歳)

情報提供・広報について 26 件

- 高齢者が利用できるサービスのリストがあればよいと思います。(65～69 歳)

- 社協、民生委員、アウトリーチ部隊、包括支援センター等の情報共有を進められたい（65～69 歳）
- 股関節変形症で仕事を退所した時に、地域包括支援センターの方に大変お世話になりました。手術を受けて現在は健康ですが、皆にもっと公共の支援とかを知ってもらいたい。（70～74 歳）
- 必要としている人が適切に福祉サービスを受けられるように、情報を更に提示して欲しい。（70～74 歳）
- 将来に備え、老人ホームを調べておきたいので、近辺のホームの比較ができるような資料が見られるといいと思っています。（80～84 歳）
- 利用出来る制度などは郵便などで案内してくれると参考になります。（90～94 歳）

健康福祉の相談窓口について 25 件

- ひとり身高齢者の最期や死後のことについていろいろ相談できるところが欲しい。入院や高齢者施設への入所時の保証人の問題、財産管理、死後の様々な対処など今からしっかりしておきたいが、何をどうしたらいいのか、どのくらい費用がかかりそうなのかわからない。（65～69 歳）
- ちょっとした健康相談、話せる出来る場所、人を紹介してほしい。出来れば、中部すこやかセンターにあると良いと思っています。（70～74 歳）
- 認知症、成年後見人についての相談窓口がどこにあるのか知りたいです。（90～94 歳）

将来の不安について 11 件

- 将来収入がなくても安心して暮らせる生活がしたい（年金だけでも）。（65～69 歳）
- 歩行が困難ですので、病院に行かなくなったらと心配してます（90～94 歳）
- 老々介護の状況がいつまで可能か心配です。（90～94 歳）

地域活動・コミュニティについて 11 件

- 高齢者が元気で日々過すには“栄養運動・地域のコミュニティ”が必要です。老人会等世話役の人がいないため会の継続がむずかしいとも聞きます。何とかしてあげてほしいです。よろしくお願いします。（75～79 歳）
- 取りまくコミュニティの人々と声がけ等出来るだけ最低限の接触は心がけております。（80～84 歳）
- シニアの地域活動の“場所”が、もっと気楽に確保できるように区の行政で取り計らってもらいたい。抽選で会場を取るのに苦労することが多い（85～89 歳）

経済的な生活の不安について 8 件

- 物価高なのに年金から介護保険料と健康保険料を引かれてたいへん苦しい。（70～74 歳）
- 今はまだ働いているので、気持ち&健康面でしっかりしているが、会社を辞めたら、今 1 人で頑張ってやることができなくなり、人の支援に頼ることになるかと思います。その見極めをいつと見るかが、今後のテーマ、課題です。その節はよろしくお願いします。（75～79 歳）
- 物価が高くて年金だけの生活は大変苦しいです。生活援助金がほしいです。（85～89 歳）

訪問や見守りについて 4 件

- 75 才過ぎて 1 人ぐらしをしている人を定期的に 1 年に 1 回訪問して状態を聞き、励ます事。例えば重い荷物を持てなくなった人、又、足が弱くなった人を重点に。（75～79 歳）
- 核家族化進行に伴う「孤独死」の心配有り。現在、友人と「独居老人生存確認」として、朝夕電話連絡。（80～84 歳）

住まい・住宅の整備について 2 件

- マンション高級施設が次々建設されていますが、万人が入れる施設を増やしていただきたいものです。(80～84歳)

本調査について 26 件

- LINE や Facebook を使ったりオンラインでミーティングをしたりもしています。実際に会わなくてもそんなコミュニケーションを取っている人は多いのではないのでしょうか？ そんな質問も入れるべきと思いました。(70～74 歳)
- 役所の書類等の文字が小さいと思っていましたが、今回の調査の文字が大きくてわかりやすいのでとても良かったです。(マイナンバーの更新に行った時はとても読みづらかったので…)(75～79 歳)
- 高齢者について把握しようとしてくださりありがとうございます。回答しながら自分の希望や足りないことに自分で気づくこともあり、おもしろかったです。(75～79 歳)
- 本人が会話もままならない認知症のため、娘が代理で記入。そのため、予測でしかない回答もあり。判断力のなくなった本人の代理で記入する人向けの質問用紙が別にあると良いのでは？(80～84 歳)
- 質問内容を見たら、自分の内面、外面の健康状態を改めて再確認する機会に会えた事に感謝いたします。(85～89 歳)
- 自分に知識がないと、その問題はどこにどなたに尋ねればよいか、質問が出来ずお願いすることも困難だと思いました。(85～89 歳)
- 解答する者にとって質問の意味が良くない。質問する項目にもっと勉強する事、希望する。(90～94 歳)

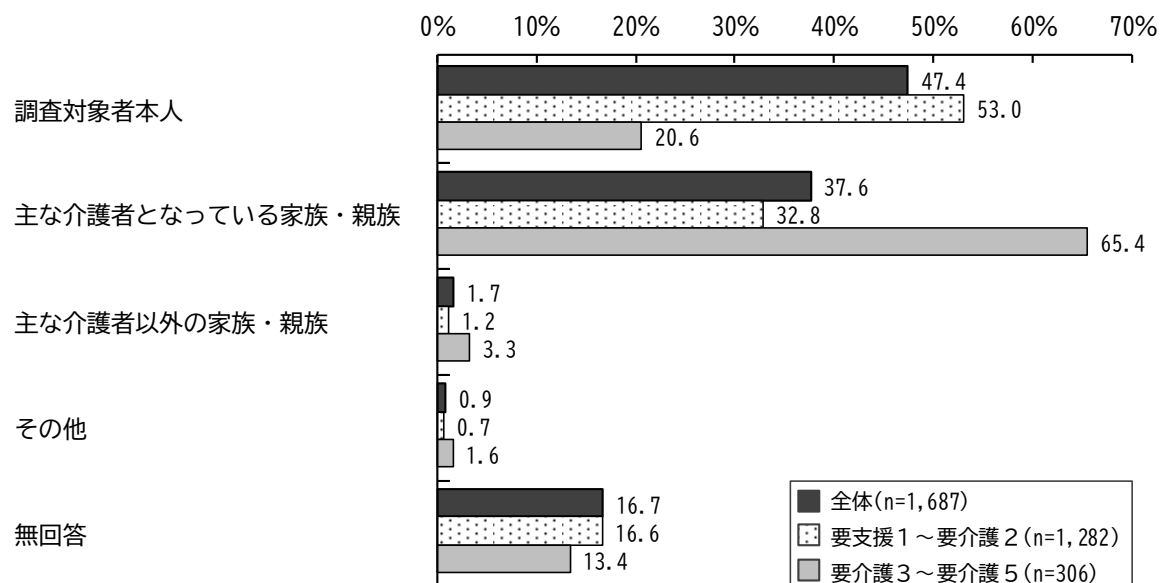
その他 57 件

- 自分は「意見がない」程の程度の困り感だったのかな…と思いました。これを機会にもう少し調べてみようと思います。目下家族と自分の世話ばかりに関心が集中していましたので…。(65～69 歳)
- 家族皆な健康のため、福祉行政のご厄介になっていません。地域の福祉についても知識不足です。遠からず福祉にお世話になるとと思っています。機会があれば福祉行政の知識を身につけたいと思っています。(80～84 歳)
- 高期高齢者がストレスを感じない世の中であってほしい。(85～89 歳)

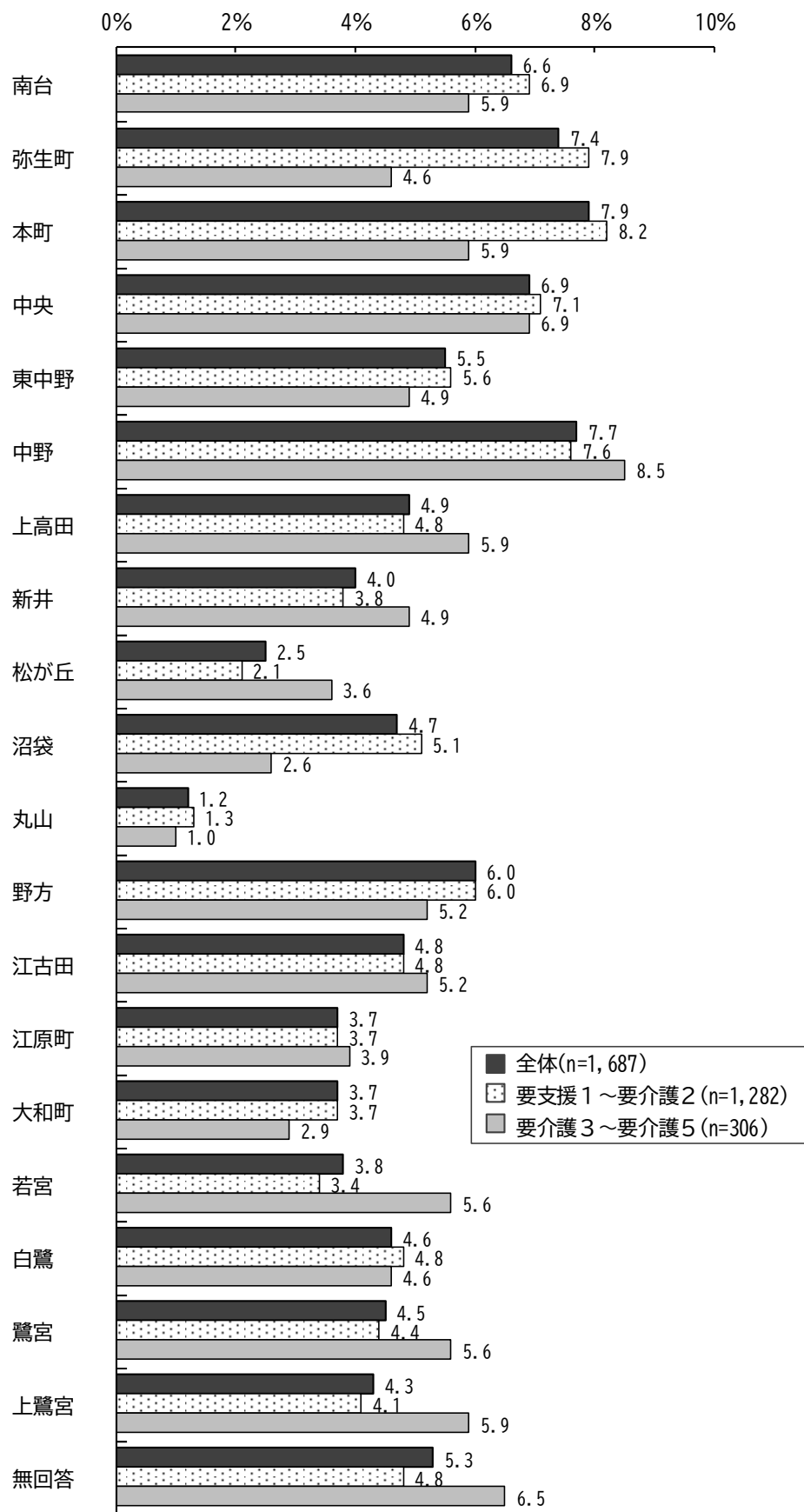
介護サービス利用調査

1. 要支援・要介護認定者本人について

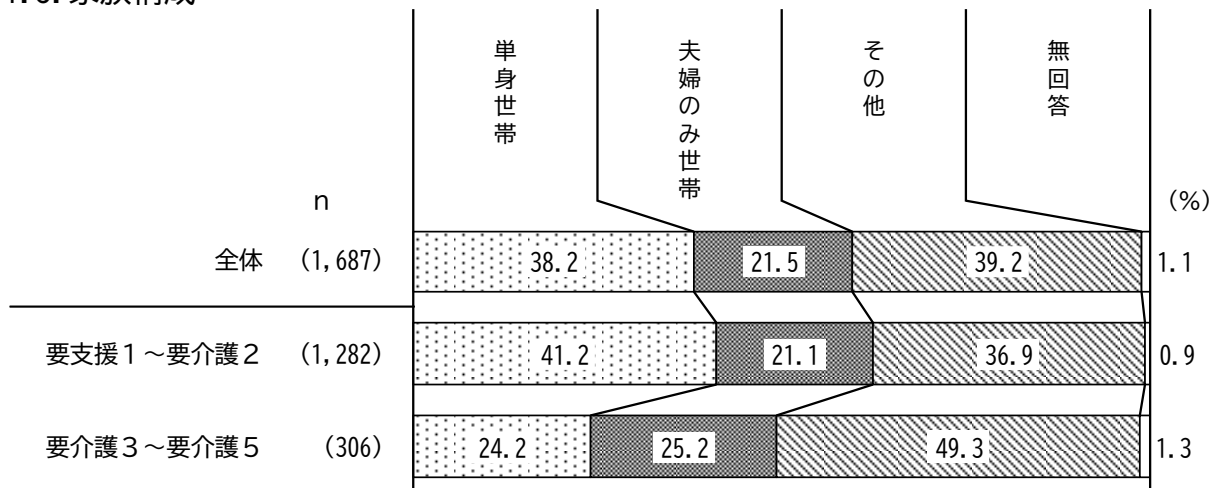
1.1. アンケートの回答者



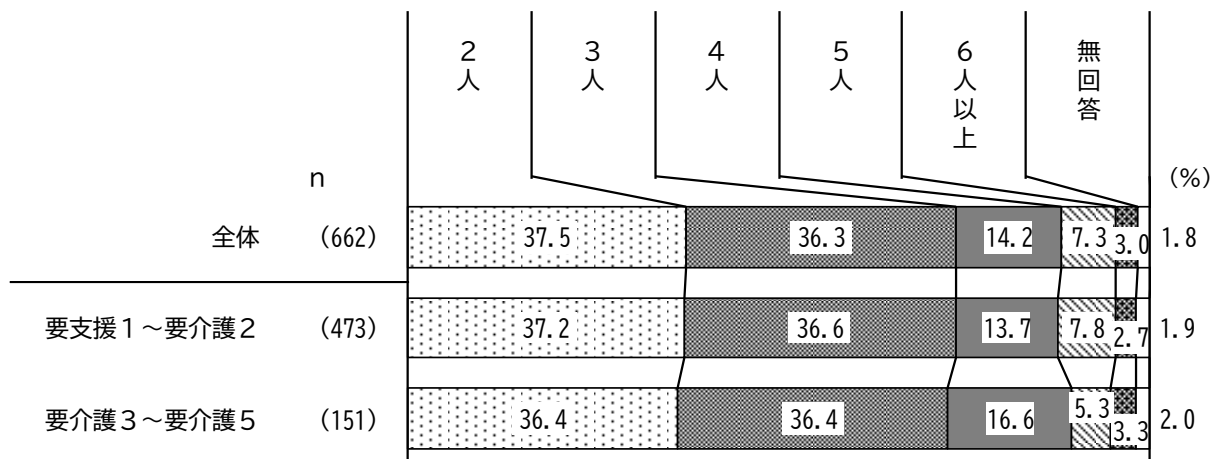
1.2. 居住地域



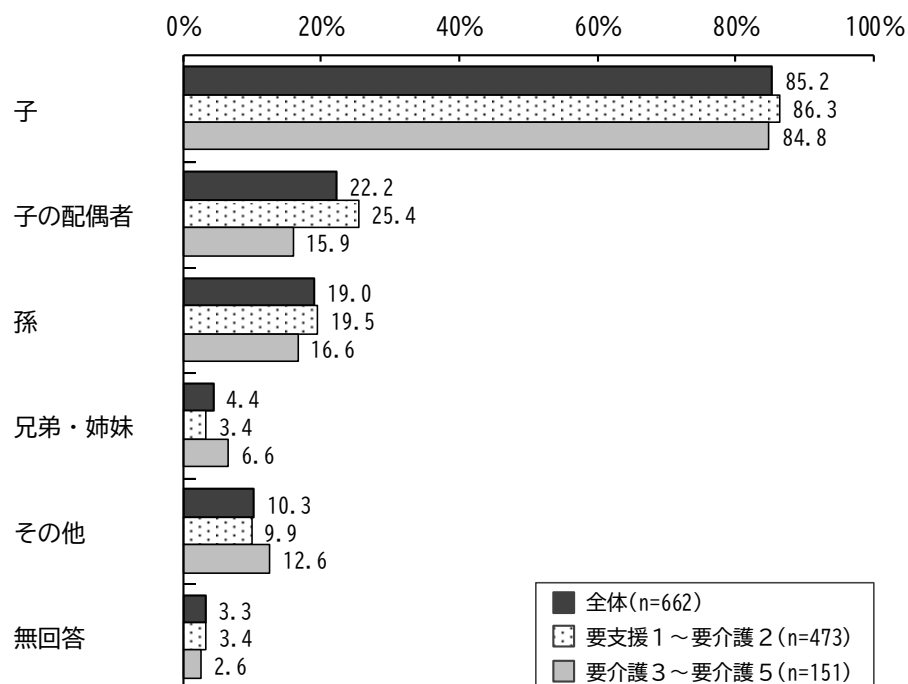
1.3. 家族構成



1.3.1. 家族の人数 (※「1.3. 家族構成」において、「その他」とお答えの方)

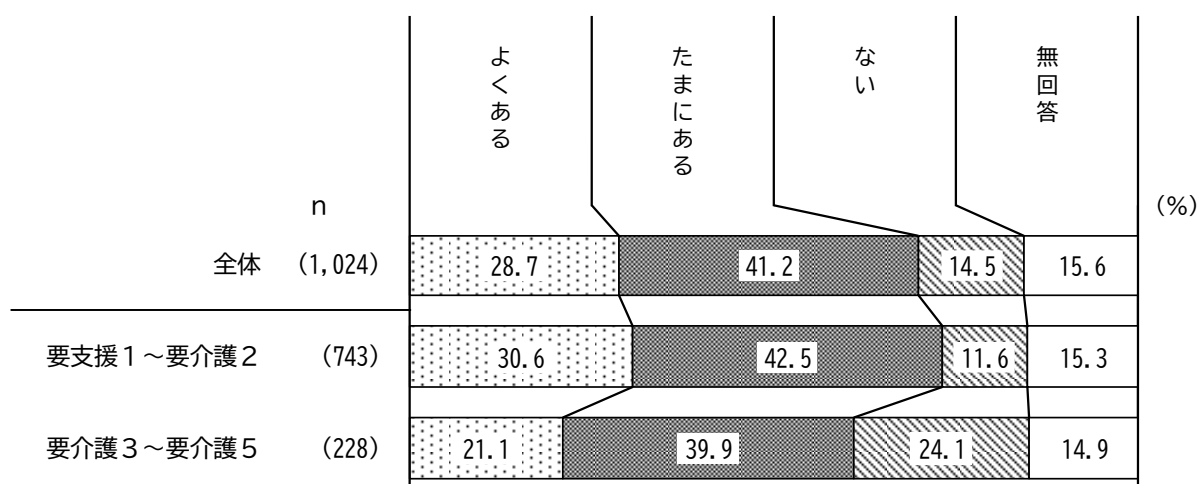


1.3.2. 同居家族の内訳 (※「1.3. 家族構成」において、「その他」とお答えの方)



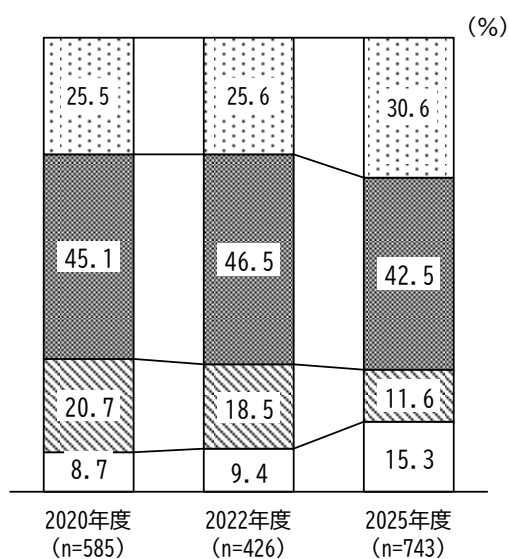
1.3.3. 日中、ひとりになることの有無

(※「1.3. 家族構成」において、「夫婦のみ世帯」または「その他」とお答えの方)

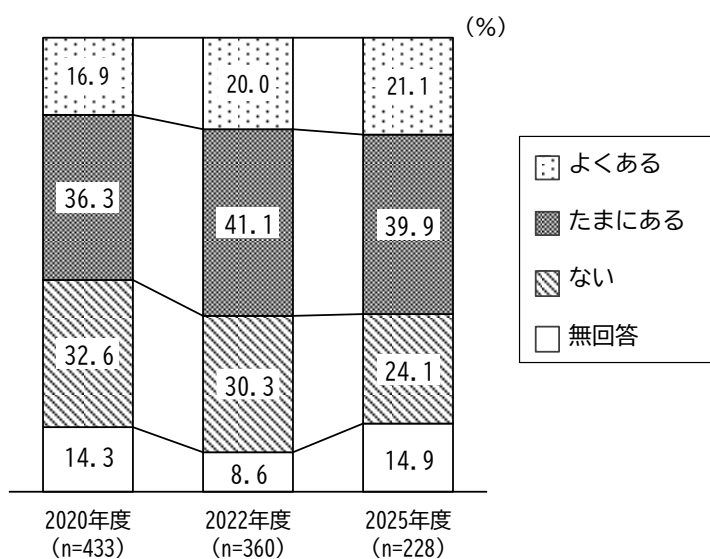


【経年比較】日中、ひとりになることの有無

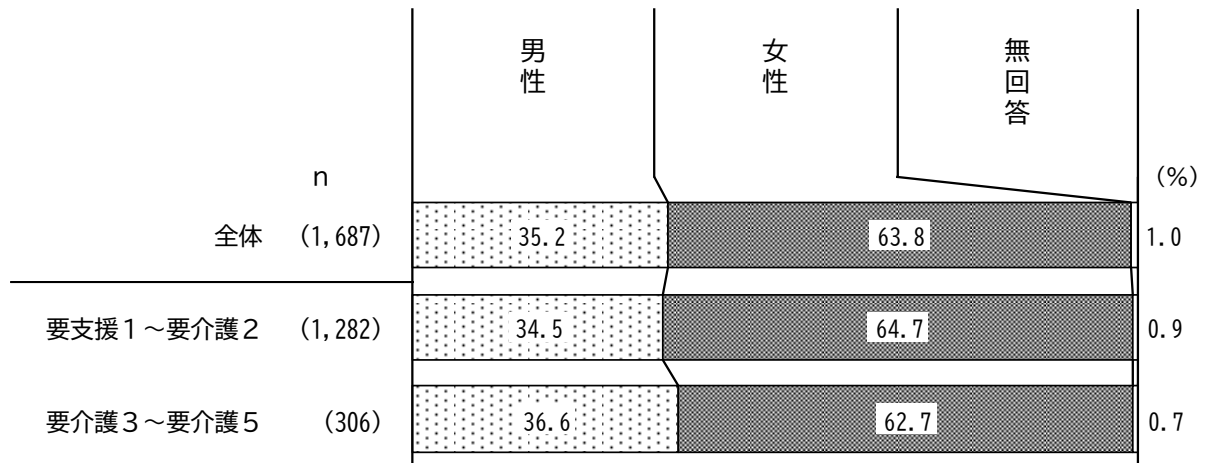
【要支援1～要介護2】



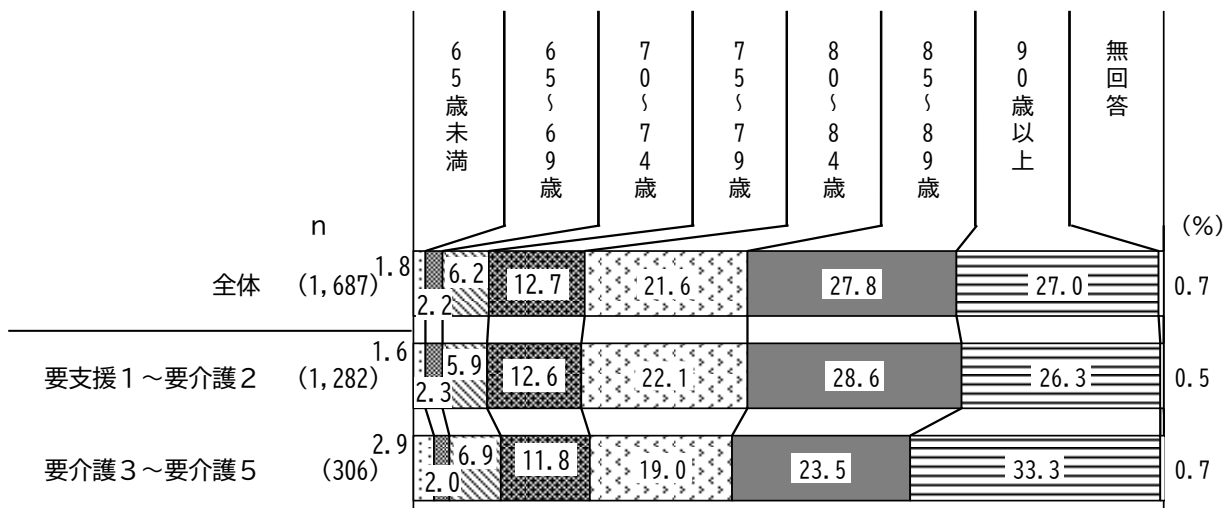
【要介護3～要介護5】



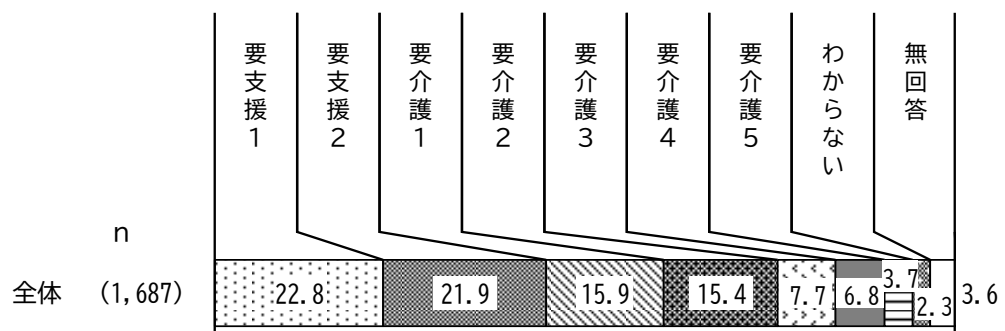
1.4. 性別



1.5. 年齢



1.6. 要介護度



1.6.1. 介護・介助が必要になった原因

◆ 「骨折・転倒」「認知症（アルツハイマー病等）」が2割台半ば

（問6で「要介護3」「要介護4」「要介護5」と回答した方に）

問6A 介護・介助が必要となった主な原因はなんですか。（複数選択可）

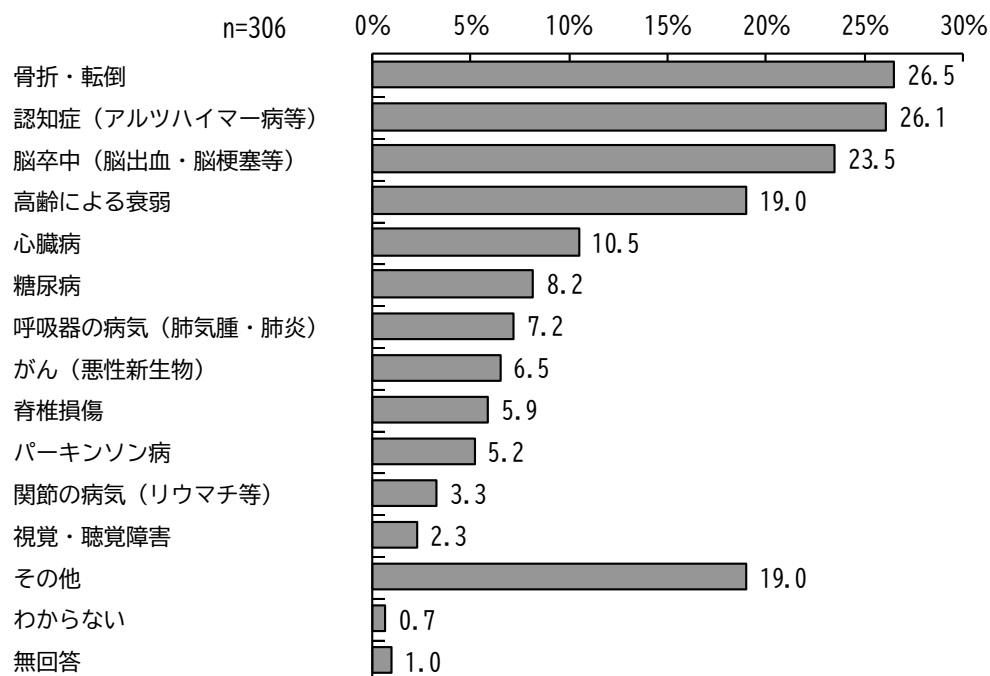


図 1-1 介護・介助が必要になった原因

全体では、「骨折・転倒」「認知症（アルツハイマー病等）」が2割台半ばで高くなっている。

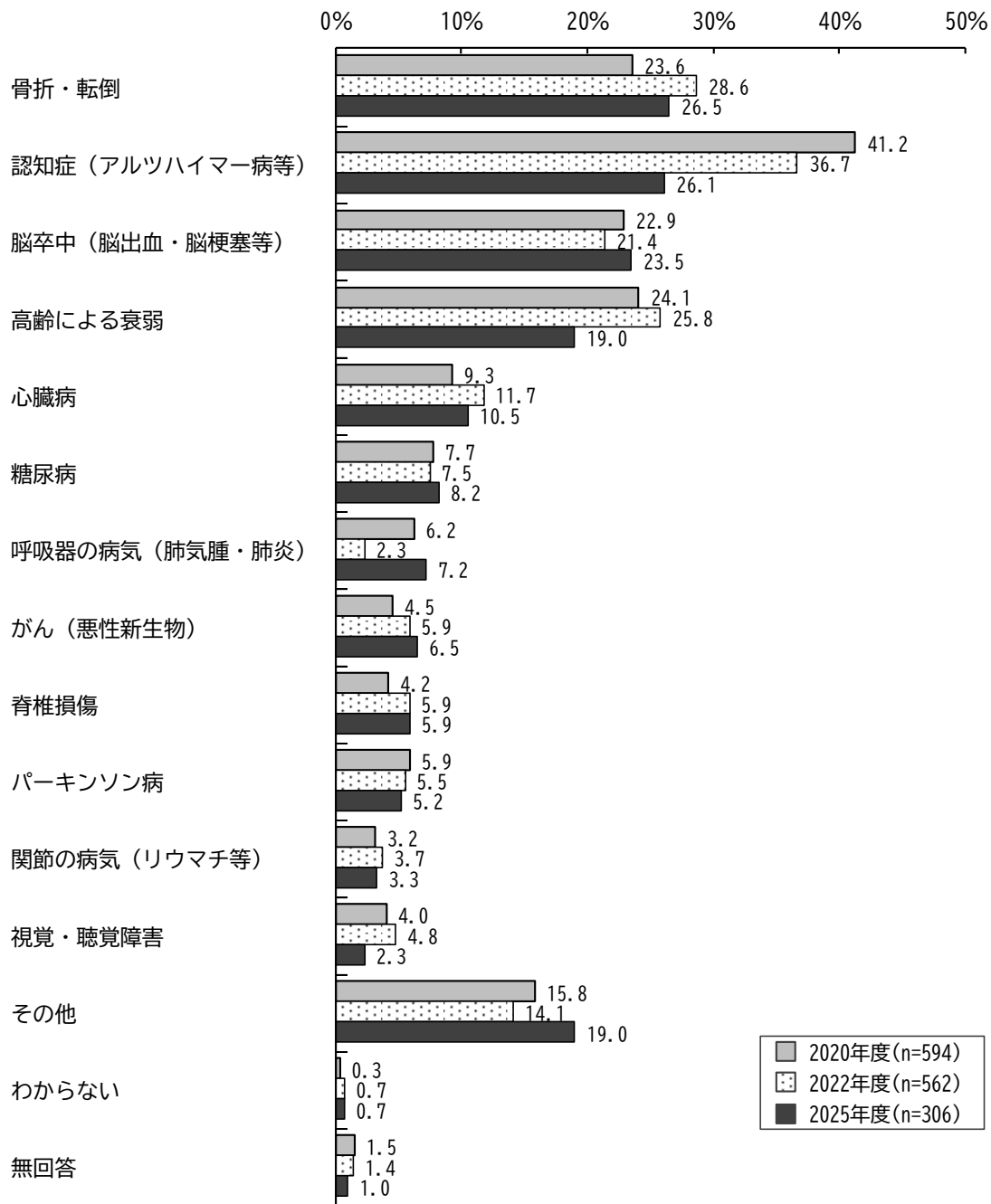


図 1-2 【経年比較】介護・介助が必要になった原因

経年比較では、2022 年度と比べて「認知症（アルツハイマー病等）」は 10.6 ポイント、「高齢による衰弱」が 6.8 ポイント減少しており、一方、「呼吸器の病気（肺気腫・肺炎）」は 4.9 ポイント増加している。

1.7. 住まいの種類

◆ 「持ち家（一戸建て）」が5割台前半

（全員の方に）

問7 お住まいは次のどれにあたりますか。（1つを選択）

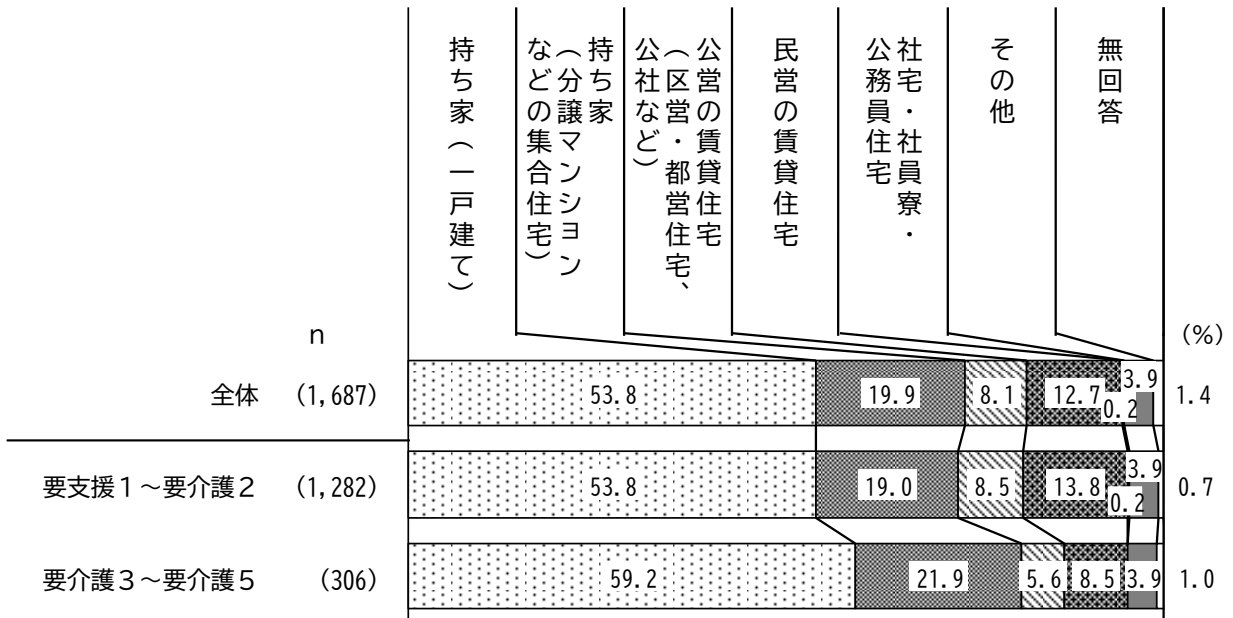


図1-3 住まいの種類

全体では、「持ち家（一戸建て）」が5割台前半を占めている。

要介護度では、要介護3～要介護5で「持ち家（一戸建て）」が約6割を占めている。

【要支援1～要介護2】

【要介護3～要介護5】

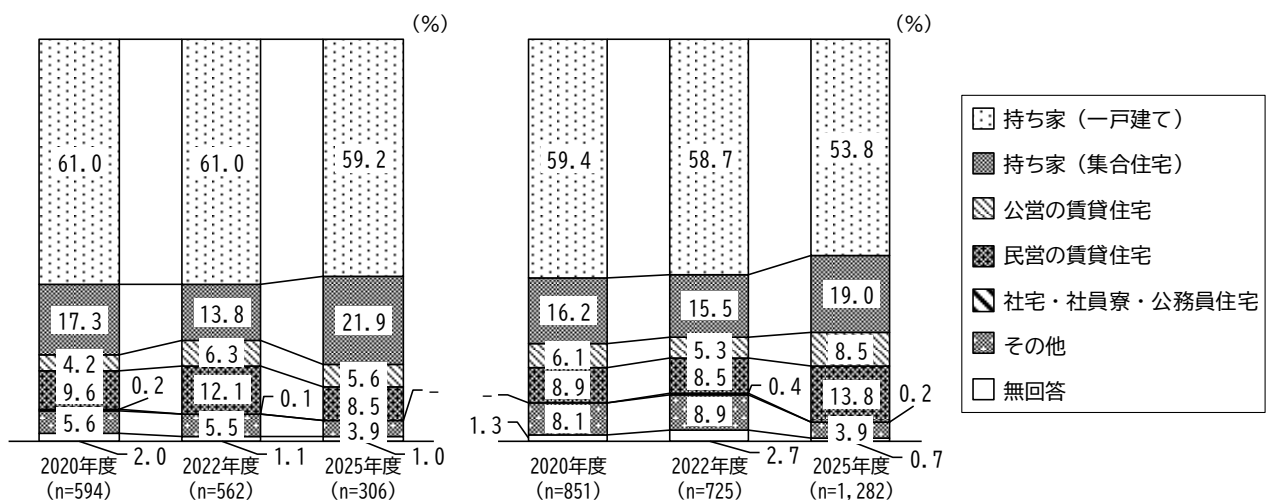
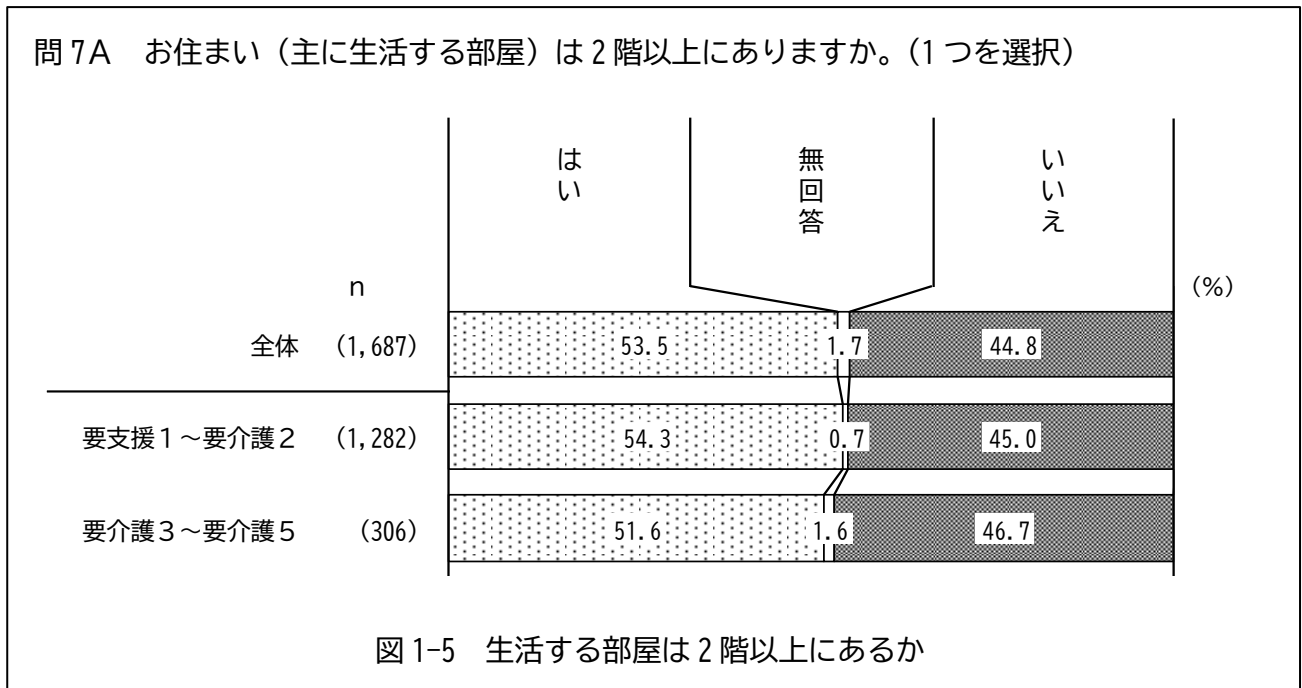


図1-4 【経年比較】住まいの種類

経年比較では、2022年度と比べて、いずれも「持ち家（集合住宅）」が増加している。

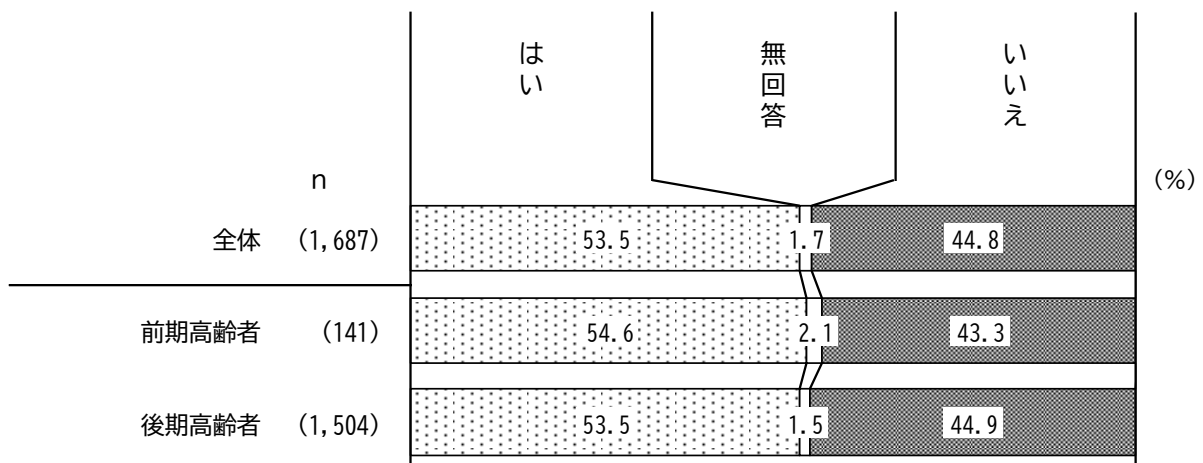
1.7.1. 生活する部屋は2階以上にあるか

◆ 「はい」が5割台前半



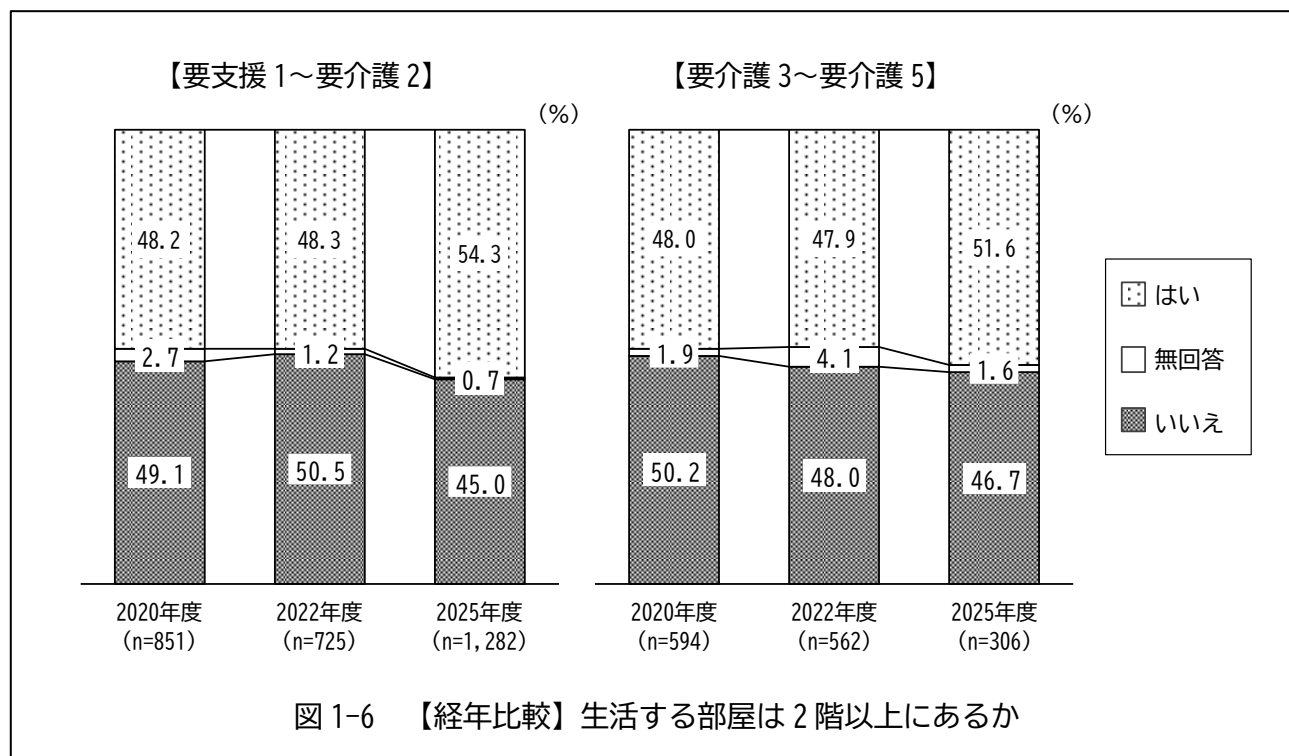
全体では、「はい」が5割台前半を占めている。
要介護度別では、大きな差異はみられない。

【前期・後期高齢者別】生活する部屋は2階以上にあるか



※65歳以上75歳未満の方を前期高齢者、75歳以上の方を後期高齢者に区分する。

前期・後期高齢者別では、「はい」は前期高齢者で5割台半ば、後期高齢者で5割台前半を占めている。



経年比較では、2022 年度と比べて、いずれも「はい」が増加している。

1.7.2. エレベーターの設置

◆ 「いいえ」が5割台半ば

(問7Aで「はい」と回答した方に)
問7B お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか。(1つを選択)

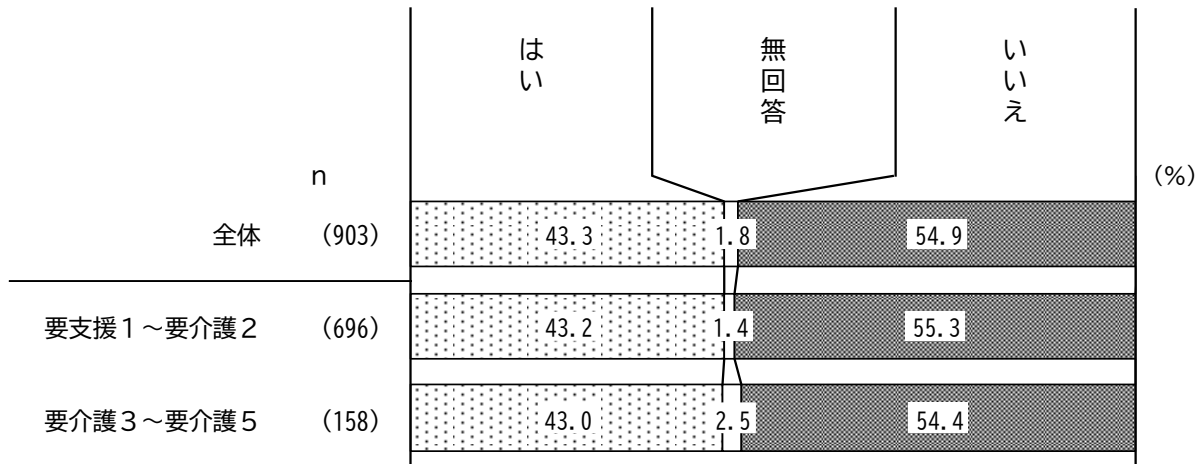


図1-7 エレベーターの設置

全体では、「いいえ」が5割台半ばを占めている。
要介護度別では、大きな差異はみられない。

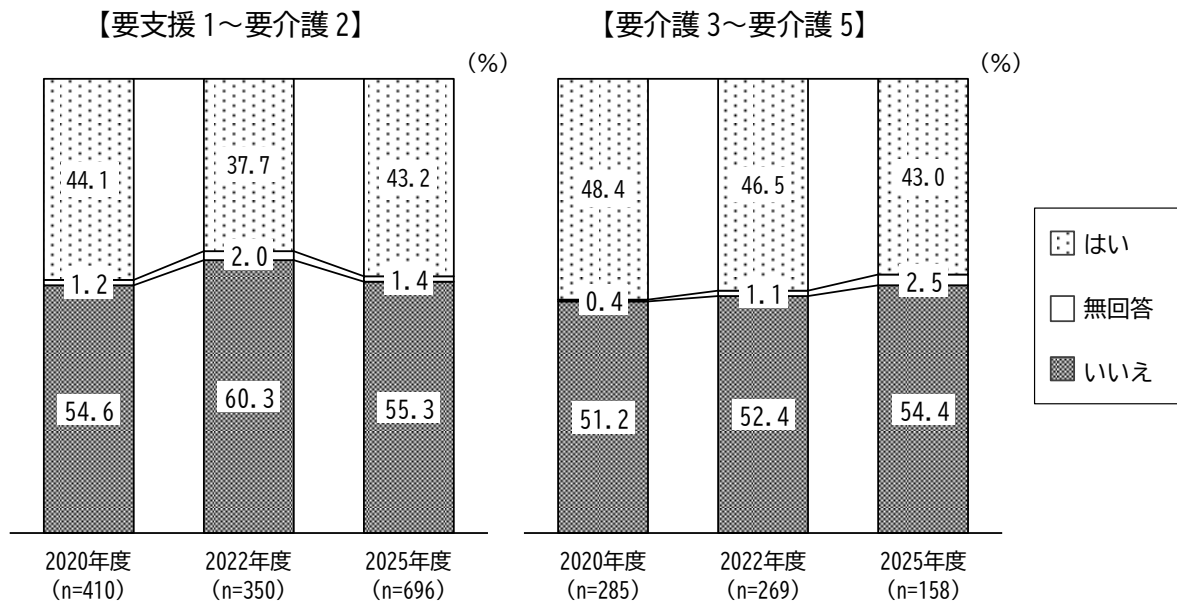


図1-8 【経年比較】エレベーターの設置

経年比較では、2022年度と比べて、要支援1～要介護2で「はい」が5.5ポイント増加している。

1.8. 介護を受けたい場所

◆ 「自宅」が6割台後半

(全員の方に)

問8 ご本人はどこで介護を受けたいと思っていますか。(1つを選択)

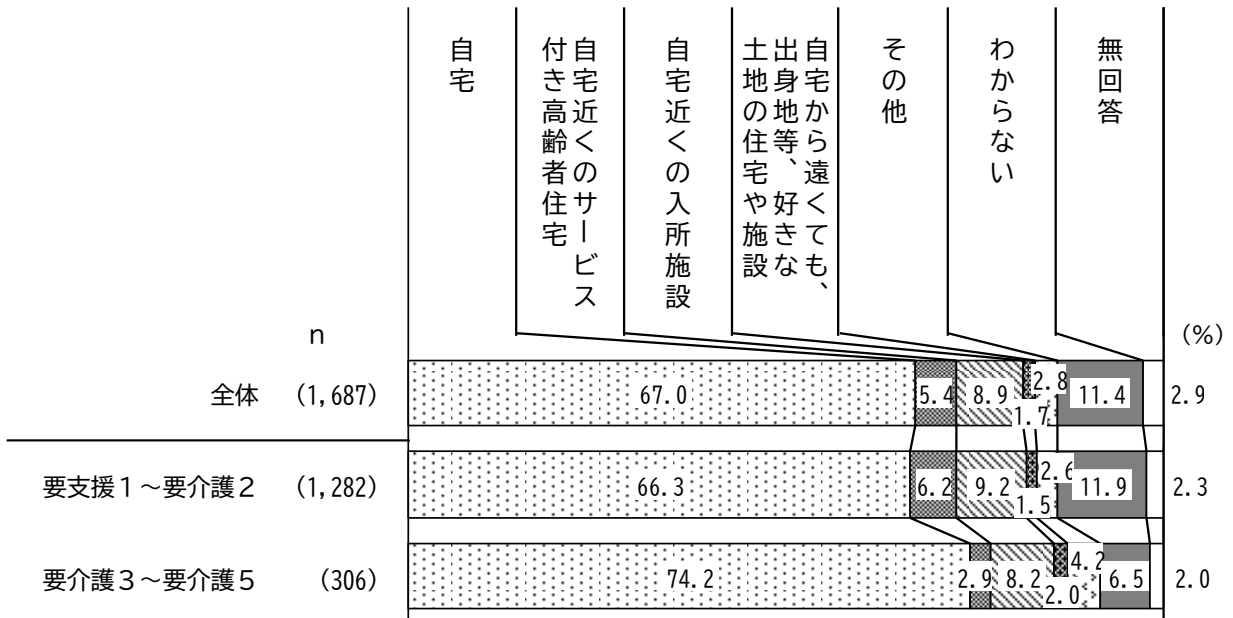
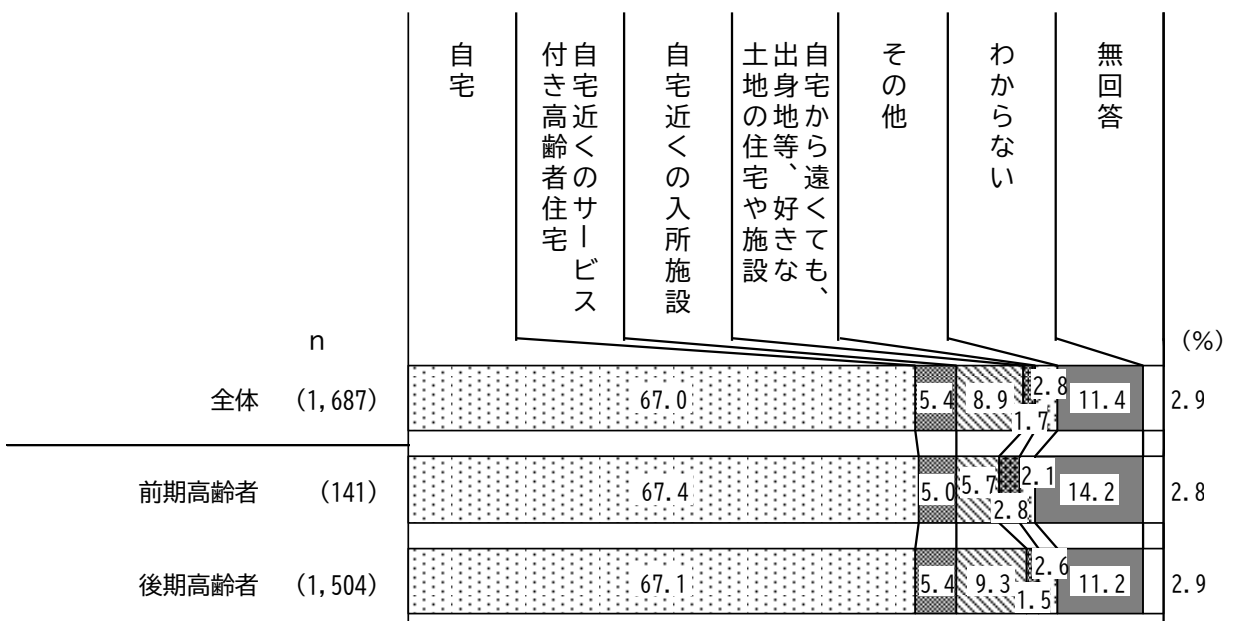


図1-9 介護を受けたい場所

全体では、「自宅」が6割台後半を占めている。

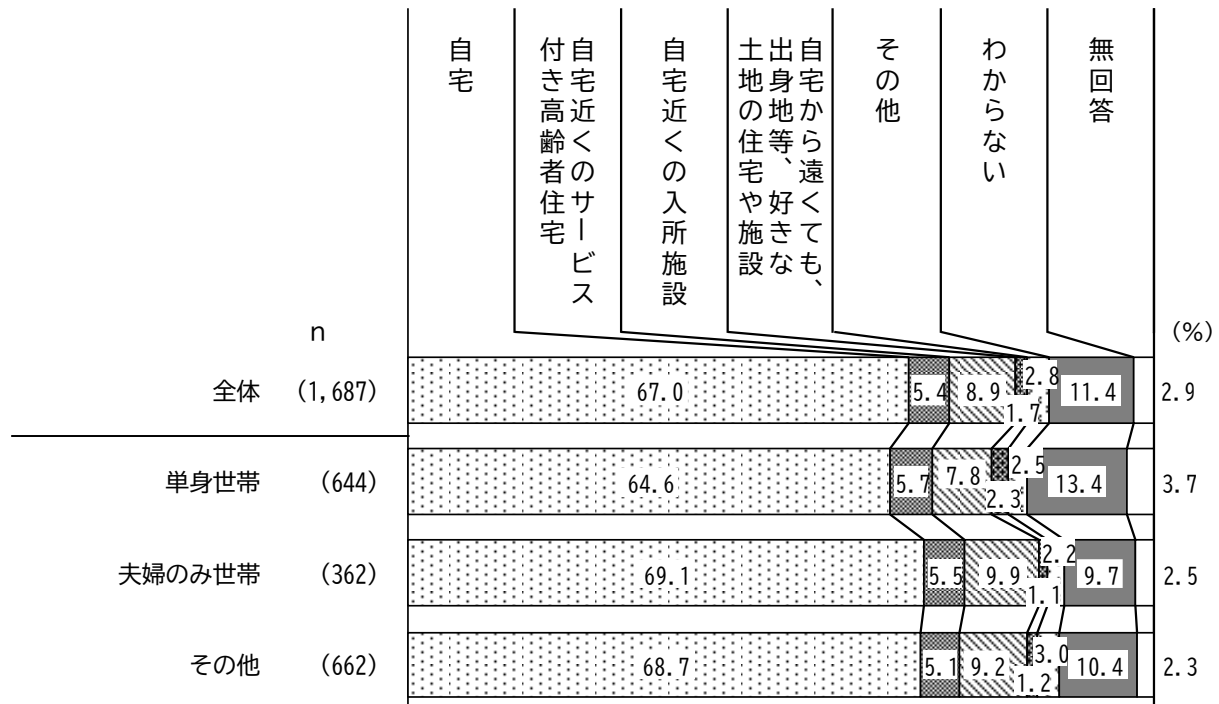
要介護度別では、要介護3～要介護5で「自宅」が7割台半ばを占めている。

【前期・後期高齢者別】介護を受けたい場所



前期・後期高齢者別では、いずれも「自宅」が6割台後半を占めている。

【家族構成別】介護を受けたい場所



家族構成別では、いずれも「自宅」が最も高く、夫婦のみ世帯では約7割を占めている。

【要介護3～要介護5】

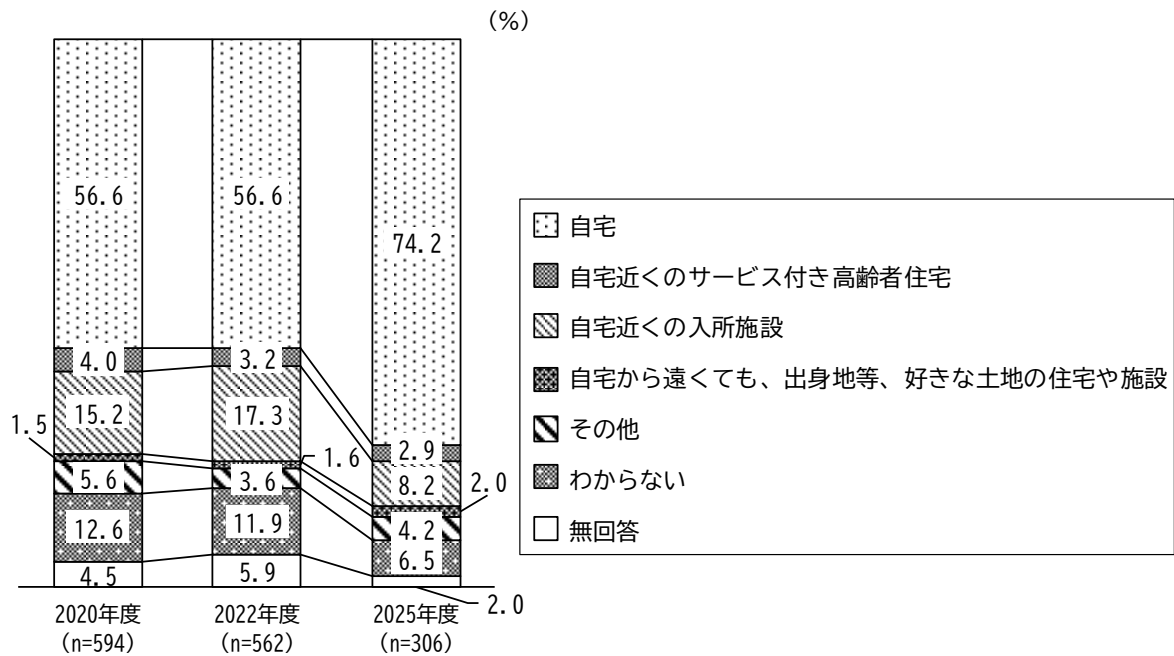


図 1-10 【経年比較】介護を受けたい場所

経年比較では、2022年度と比べて、「自宅」が17.6ポイント増加している。

1.8.1. 施設等への入所・入居の検討状況

◆ 「施設等への入所・入居は検討していない」が7割台前半

(全員の方に)

問 8A 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1 つを選択)

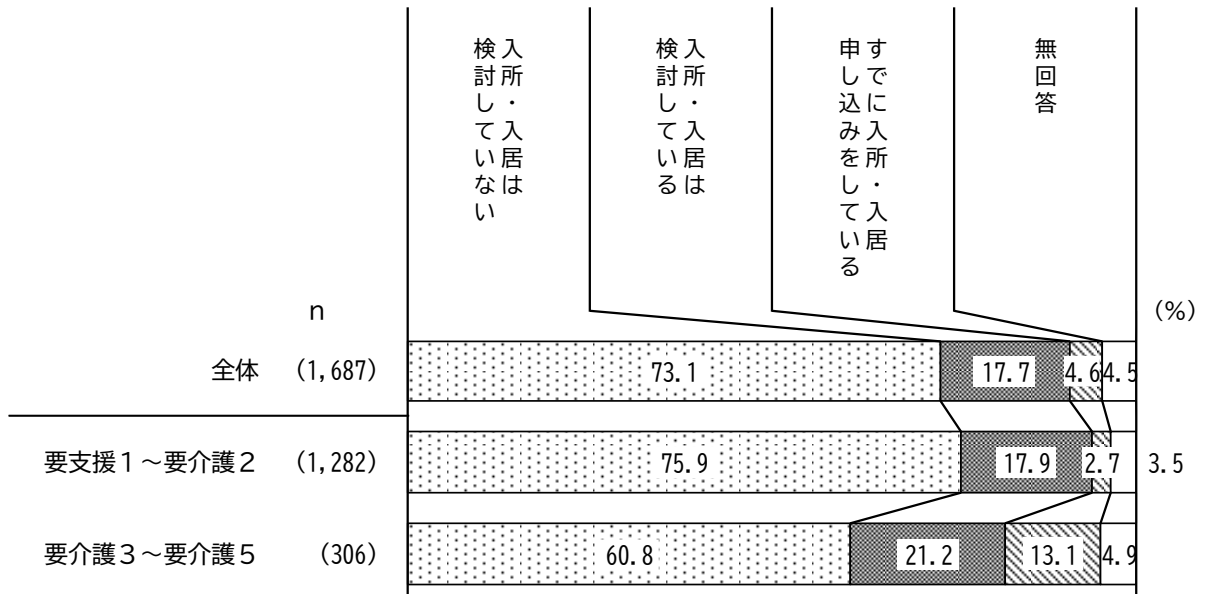
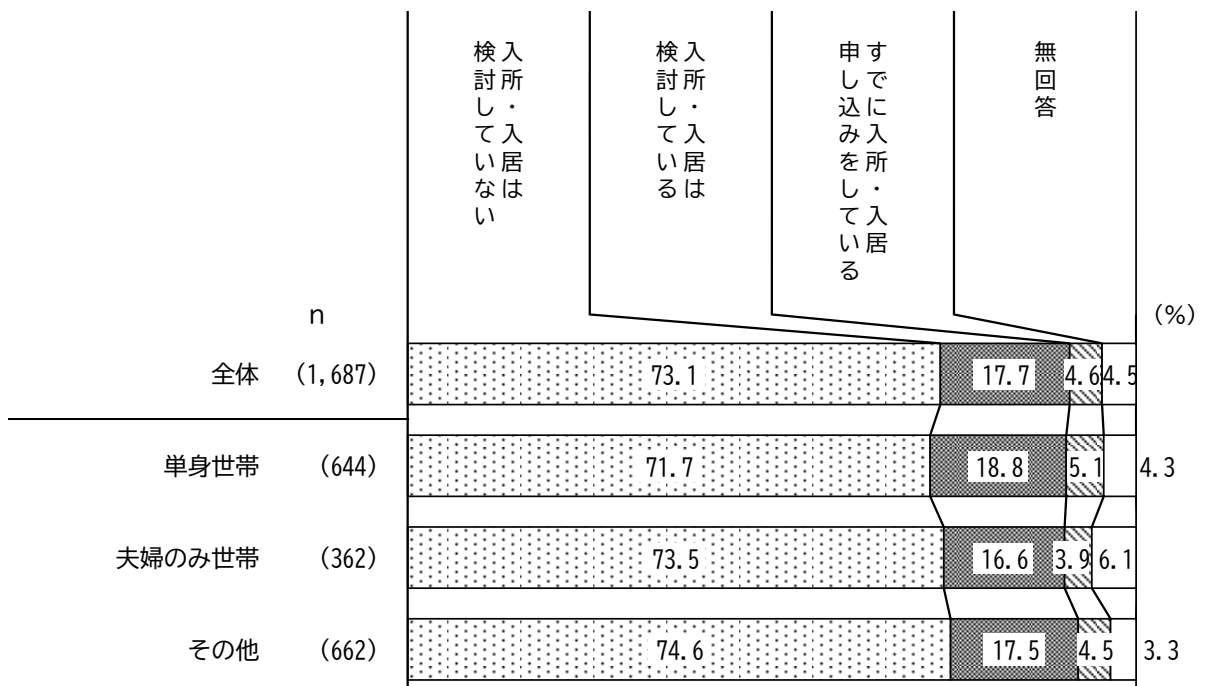


図 1-11 施設等への入所・入居の検討状況

全体では「入所・入居は検討していない」が7割台前半を占めている。

要介護度別では、要支援1～要介護2で「入所・入居は検討していない」が7割台半ばを占めている。

【家族構成別】施設等への入所・入居の検討状況



家族構成別では、大きな差異はみられない。

1.8.2. 施設等への入所・入居を検討した理由

◆ 「介護する家族の心身の負担が大きい」が6割台前半

(問8Aで「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居の申し込みをしている」と回答した方に)

問8B 施設等への入所・入居を検討した理由は何ですか。(複数選択可)

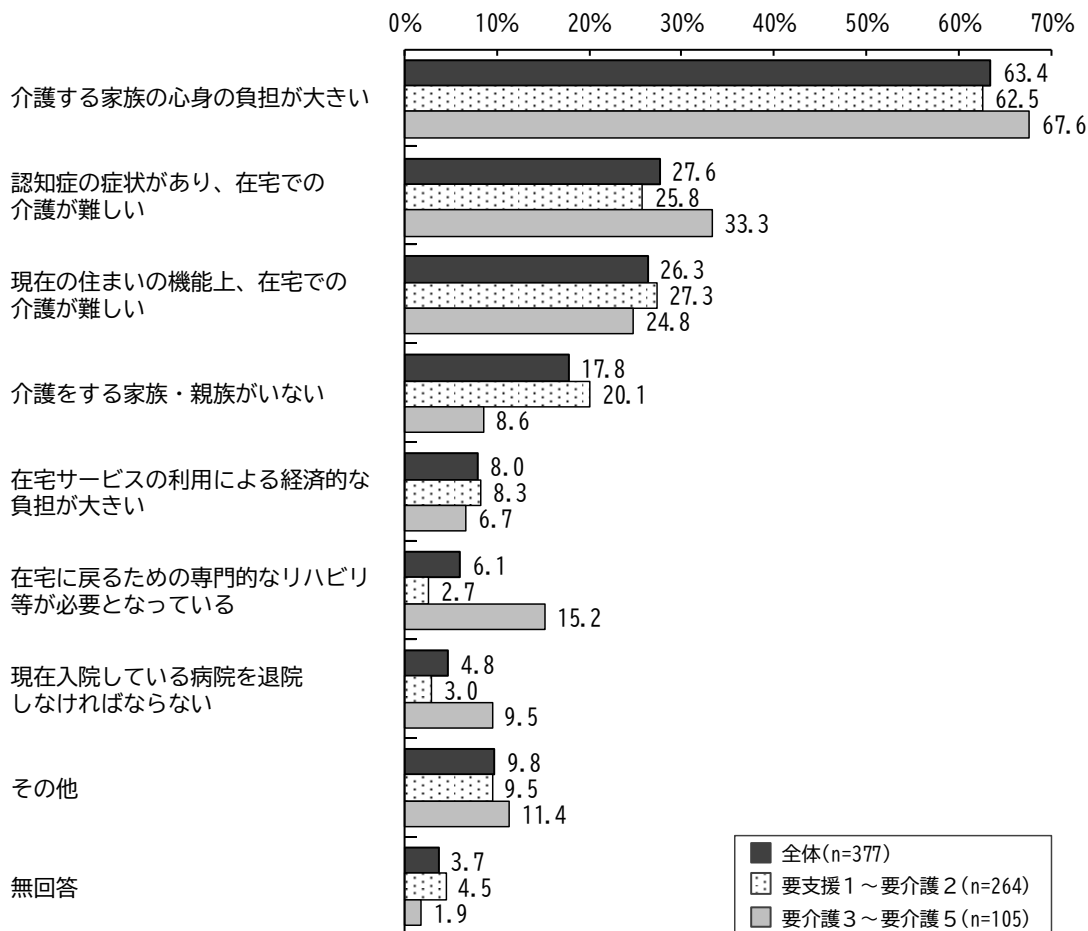


図 1-12 施設等への入所・入居を検討した理由

全体では、「介護をする家族の心身の負担が大きい」が6割台前半となっている。

要介護度別では、いずれも「介護をする家族の心身の負担が大きい」が最も高くなっている。

1.9. 現在抱えている傷病

◆ 「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「認知症」が2割

（全員の方に）

問9 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）

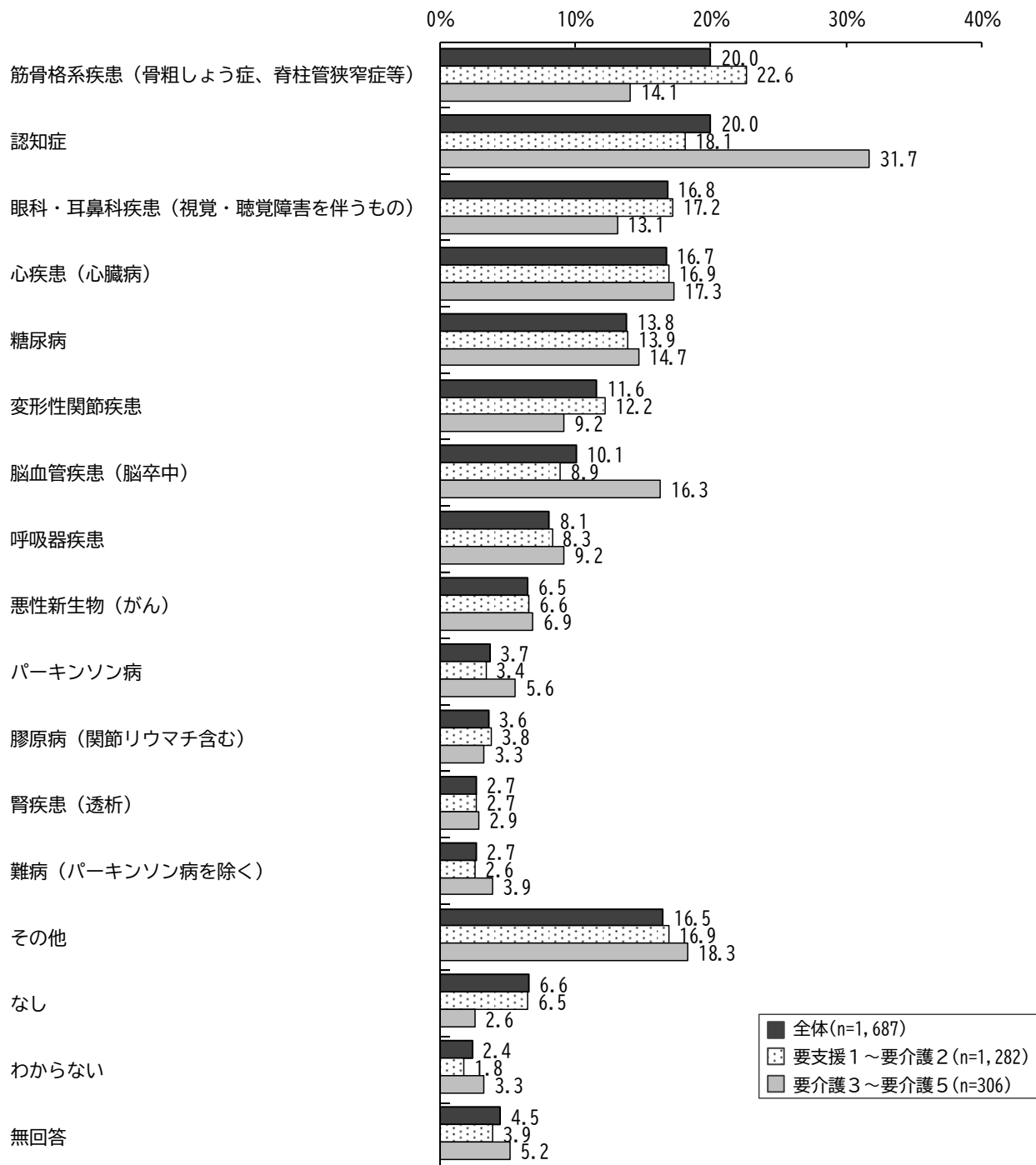


図1-13 現在抱えている傷病

全体では、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「認知症」が2割で最も高くなっている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「認知症」が約3割で最も高くなっている。

【要介護度別】現在抱えている傷病

単位：％

	有効回答数（件）	筋骨格系疾患 （骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等）	認知症	眼科・耳鼻科疾患 （視覚・聴覚障害を伴うもの）	心疾患（心臓病）	糖尿病	変形性関節疾患	脳血管疾患（脳卒中）	呼吸器疾患	悪性新生物（がん）
全体	1,687	20.0	20.0	16.8	16.7	13.8	11.6	10.1	8.1	6.5
要支援1	384	22.1	4.4	20.8	16.9	14.6	15.9	7.0	9.9	5.2
要支援2	370	28.6	4.6	17.3	18.9	12.7	13.8	8.9	8.4	6.2
要介護1	269	13.4	44.2	14.9	11.9	13.8	8.9	10.8	6.3	5.2
要介護2	259	24.3	30.5	14.3	19.3	14.7	8.1	9.7	7.7	10.8
要介護3	130	12.3	33.8	10.8	20.0	16.2	9.2	14.6	6.9	6.9
要介護4	114	16.7	31.6	14.0	14.9	14.9	12.3	20.2	9.6	4.4
要介護5	62	12.9	27.4	16.1	16.1	11.3	3.2	12.9	12.9	11.3
わからない	39	2.6	7.7	25.6	17.9	12.8	10.3	5.1	5.1	10.3

	有効回答数（件）	パーキンソン病	膠原病（関節リウマチ含む）	腎疾患（透析）	難病（パーキンソン病を除く）	その他	なし	わからない	無回答
全体	1,687	3.7	3.6	2.7	2.7	16.5	6.6	2.4	4.5
要支援1	384	2.1	5.7	1.3	2.3	16.1	9.4	1.6	3.4
要支援2	370	3.0	3.2	4.1	2.2	17.0	7.6	1.4	5.4
要介護1	269	4.1	1.9	1.5	3.3	14.9	5.6	3.0	3.7
要介護2	259	5.4	3.9	4.2	2.7	20.1	1.5	1.5	2.7
要介護3	130	4.6	5.4	2.3	2.3	18.5	4.6	3.1	3.8
要介護4	114	5.3	1.8	3.5	3.5	17.5	0.9	1.8	6.1
要介護5	62	8.1	1.6	3.2	8.1	19.4	1.6	6.5	6.5
わからない	39	-	-	2.6	2.6	10.3	25.6	5.1	2.6

要介護度別では、要支援1～2では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、要介護1～要介護5では「認知症」が最も高くなっている。

1.10. 内容を知らない又はわからない介護保険サービス

◆ 「看護小規模多機能型居宅介護」「小規模多機能型居宅介護」が3割台半ば

(全員の方に)

問 10 以下の介護保険サービスでサービス内容を知らない又はわからないサービスはどれですか。(複数選択可)

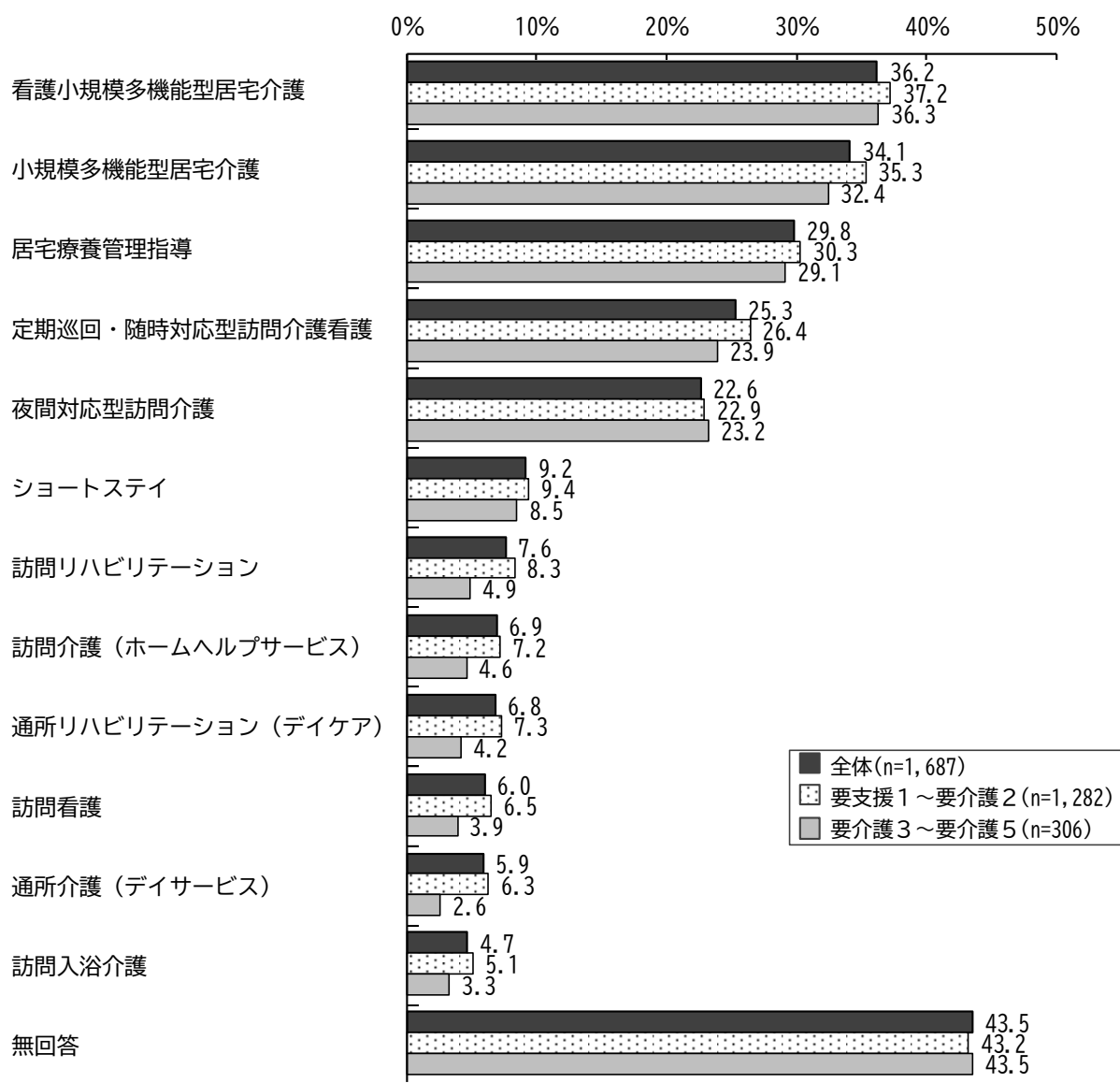


図 1-14 内容を知らない又はわからない介護保険サービス

全体では、「看護小規模多機能型居宅介護」と「小規模多機能型居宅介護」が3割台半ばで高く、次いで「居宅療養管理指導」が約3割となっている。

要介護度別では、「夜間対応型訪問介護」以外、要介護3～要介護5で各サービスの認知度が低くなっている。

1.11. 介護保険サービス利用の有無（令和7年10月）

◆ 「利用した」が6割台半ば

（全員の方に）

問11 令和7年10月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（1つを選択）

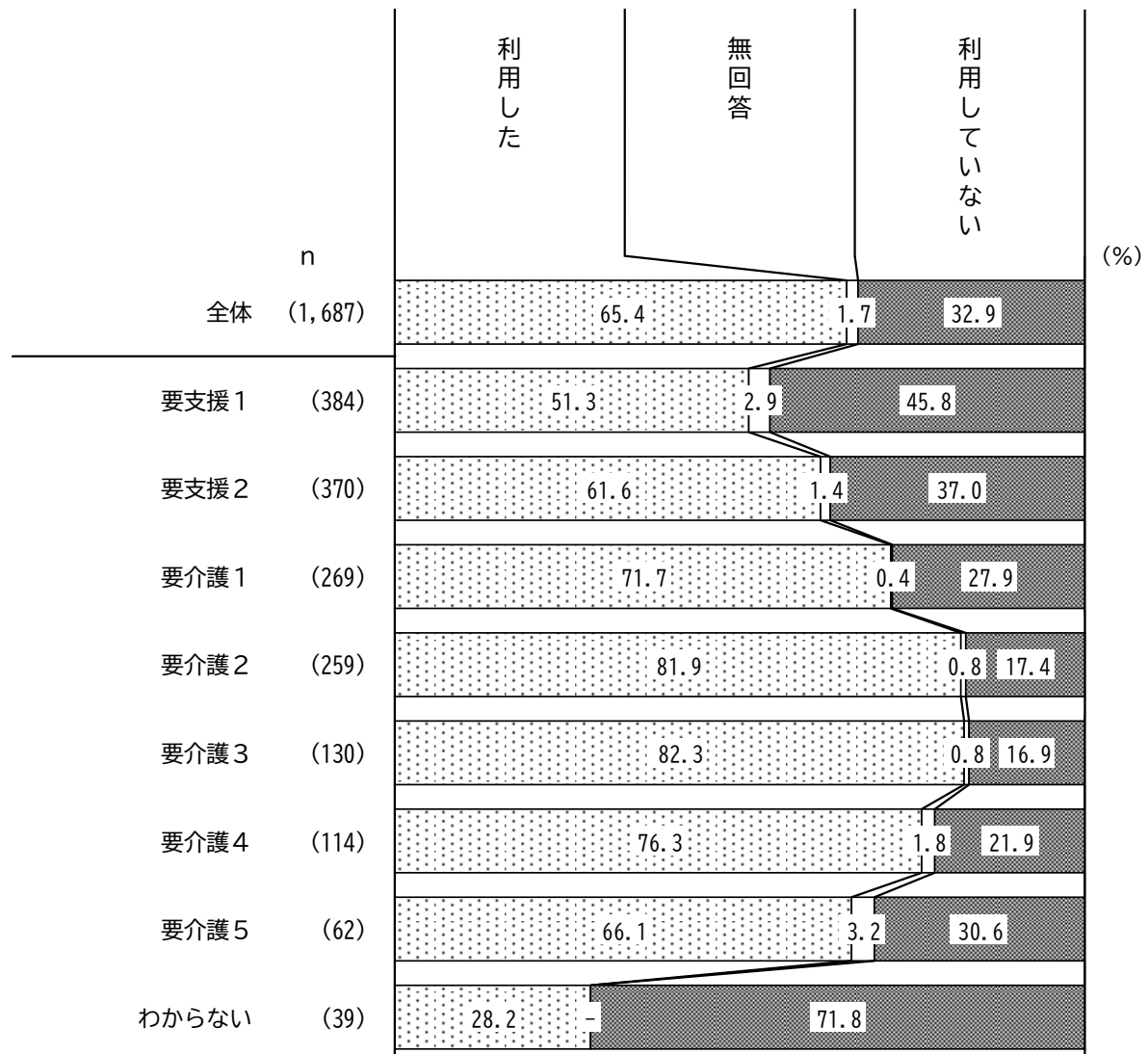
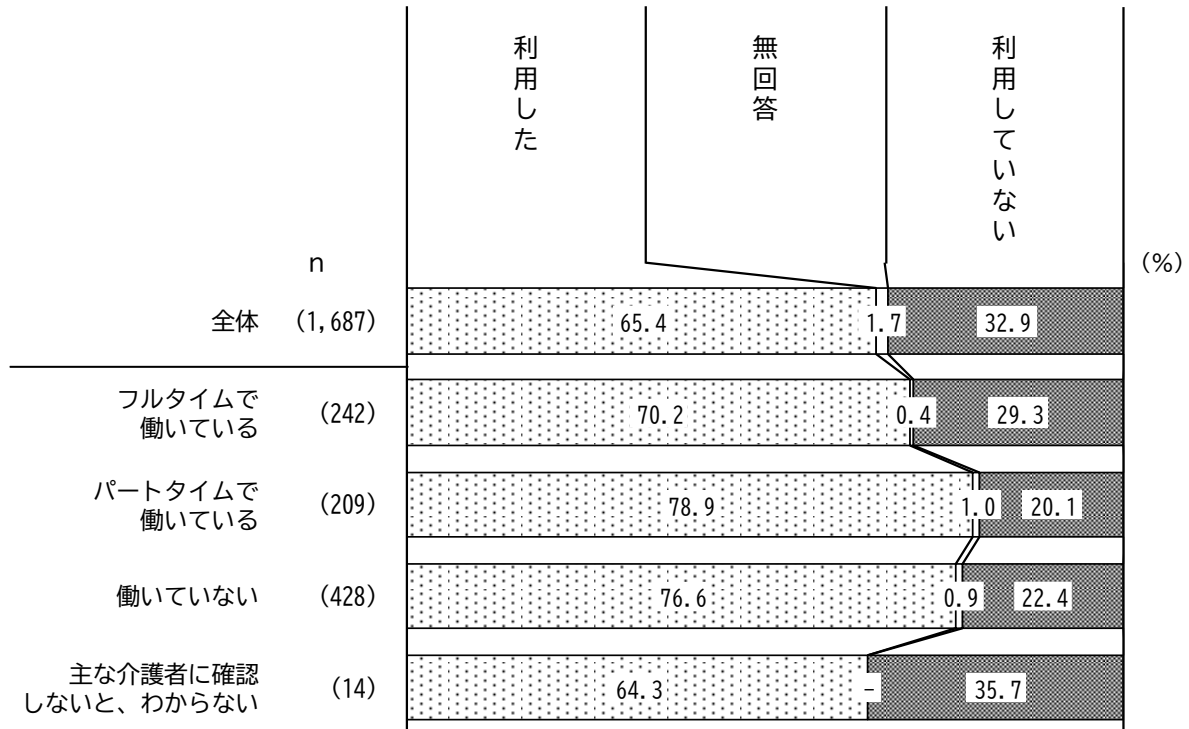


図1-15 介護保険サービス利用の有無（令和7年10月）

全体では、「利用した」が6割台半ばとなっている。

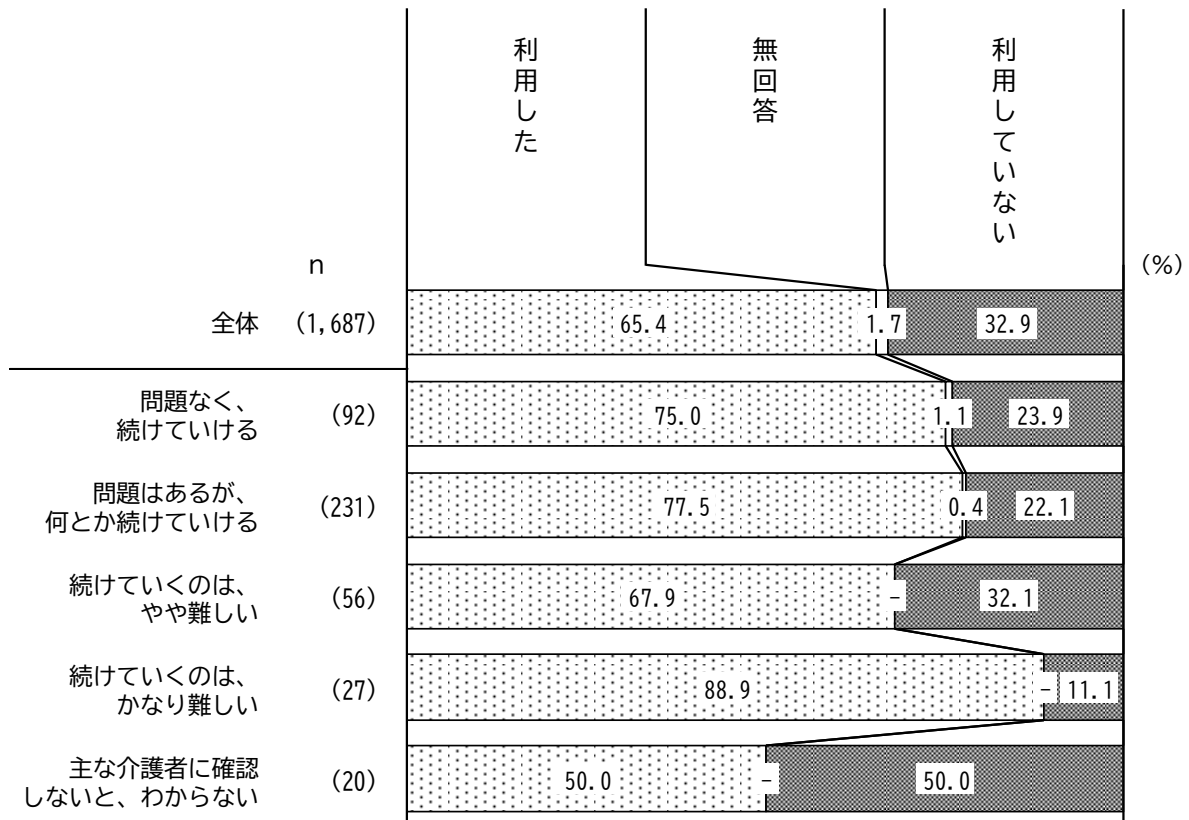
要介護別では、「利用した」が要介護2では約8割、要介護3では8割台前半を占めている。

【介護者の就労形態別】介護保険サービス利用の有無（令和7年10月）



介護者の就労形態別では、フルタイムで働いているは「利用していない」が約3割を占めている。

【就労している介護者の今後の介護の見通し別】介護保険サービス利用の有無（令和7年10月）



就労している介護者の今後の介護の見通し別では、続けていくのは、かなり難しいと回答した人では「利用した」が8割台後半を占めている。

1.12. 介護保険サービス

1.12.1. 介護保険サービスの利用状況（令和7年10月）

◆ 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、ショートステイで、「利用していない」が約6割

（問11で「利用した」と回答した方に）

問12A 以下の介護保険サービスについて、令和7年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ1つを選択）

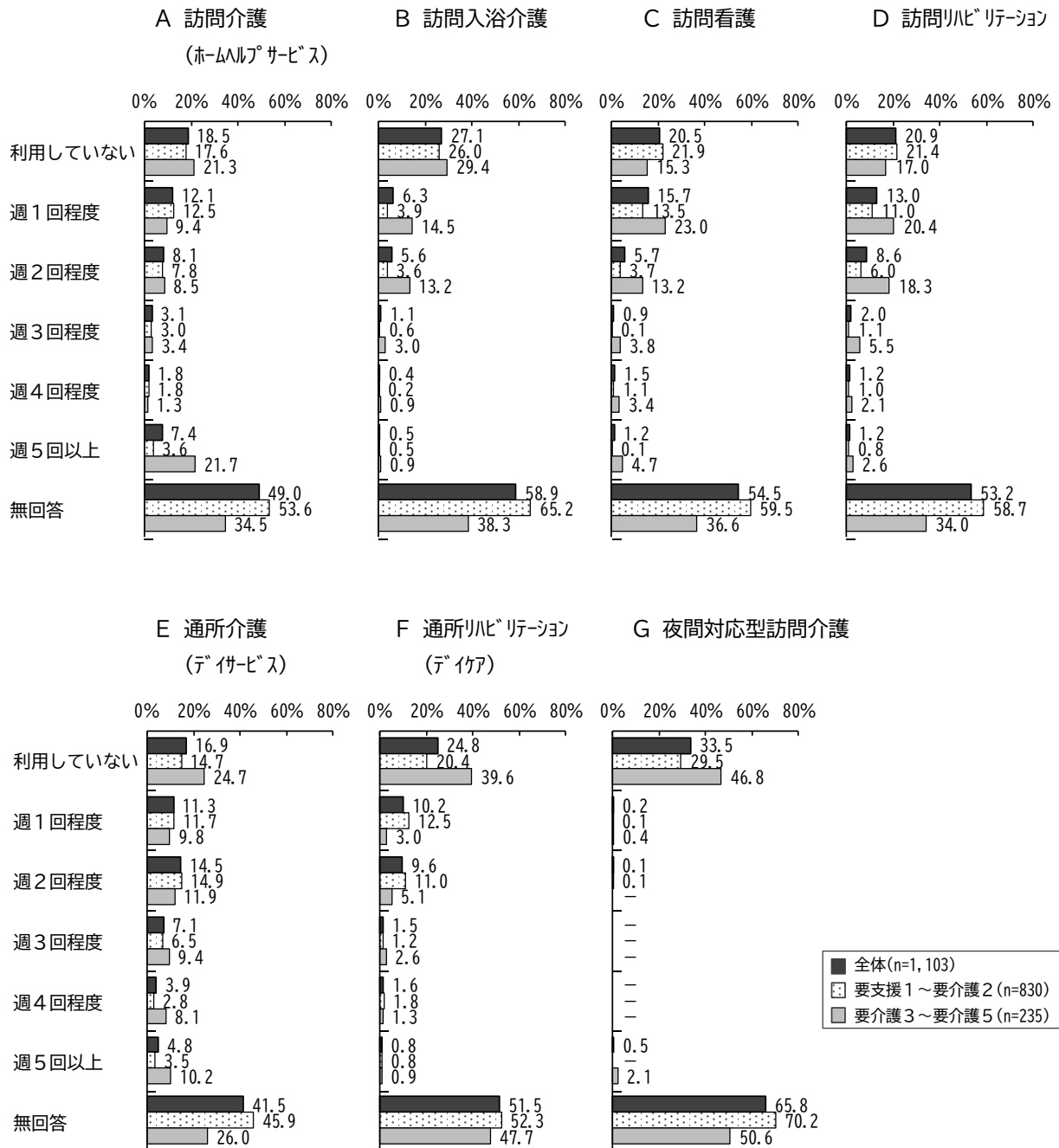


図1-16 介護保険サービスの利用状況（令和7年10月）

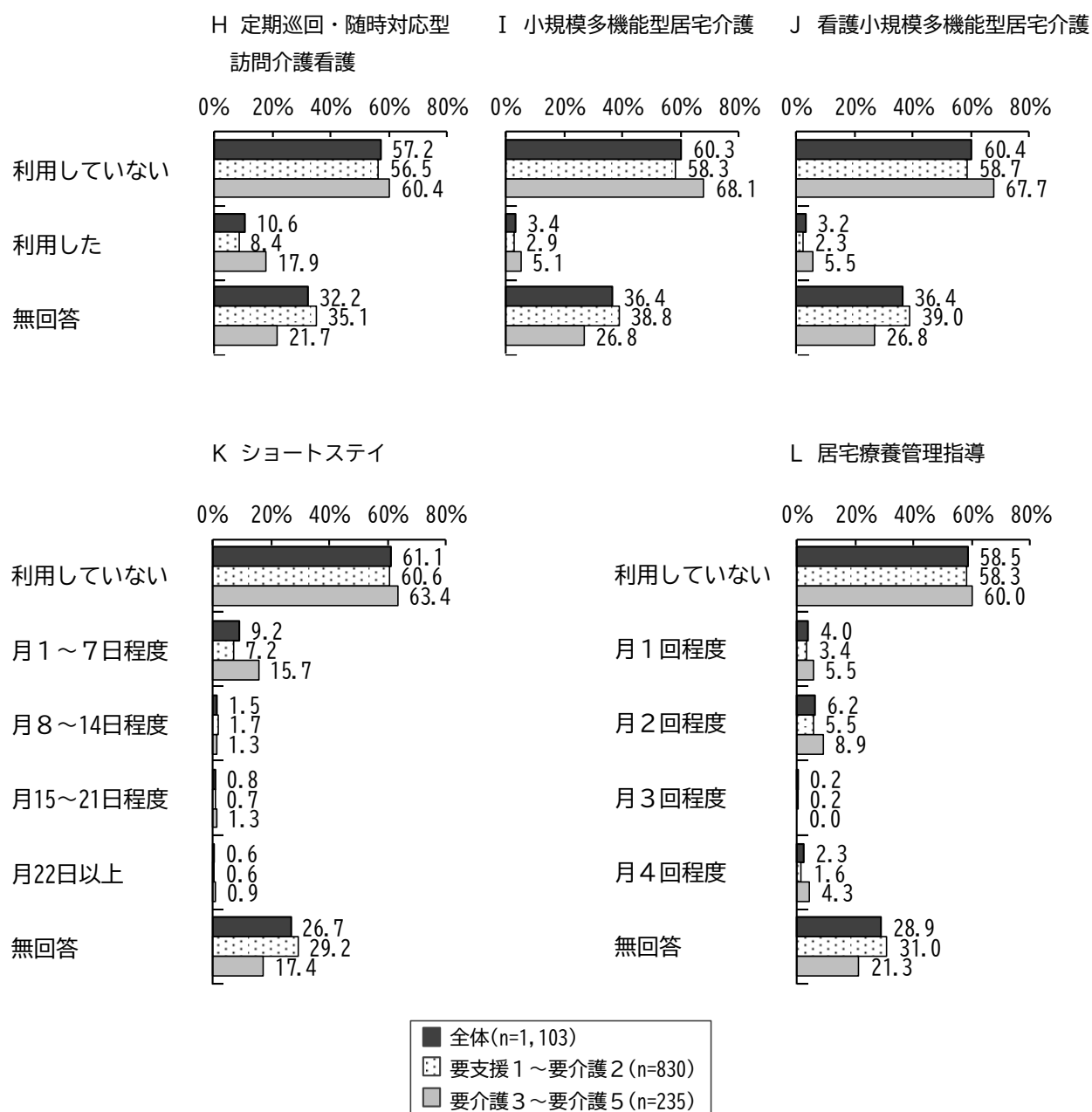


図 1-16 介護保険サービスの利用状況（令和 7 年 10 月）（続き）

全体では、いずれのサービスも「利用していない」が最も高くなっている。

利用のあるサービスでは、通所介護、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションなどが高くなっている。

1.12.2. ケアプランへの不満

◆ 「不満な点はない」が約5割

(問11で「利用した」と回答した方に)

問12B あなたが、ケアプランについて不満と思うことを次の中から選んでください。
(複数選択可)

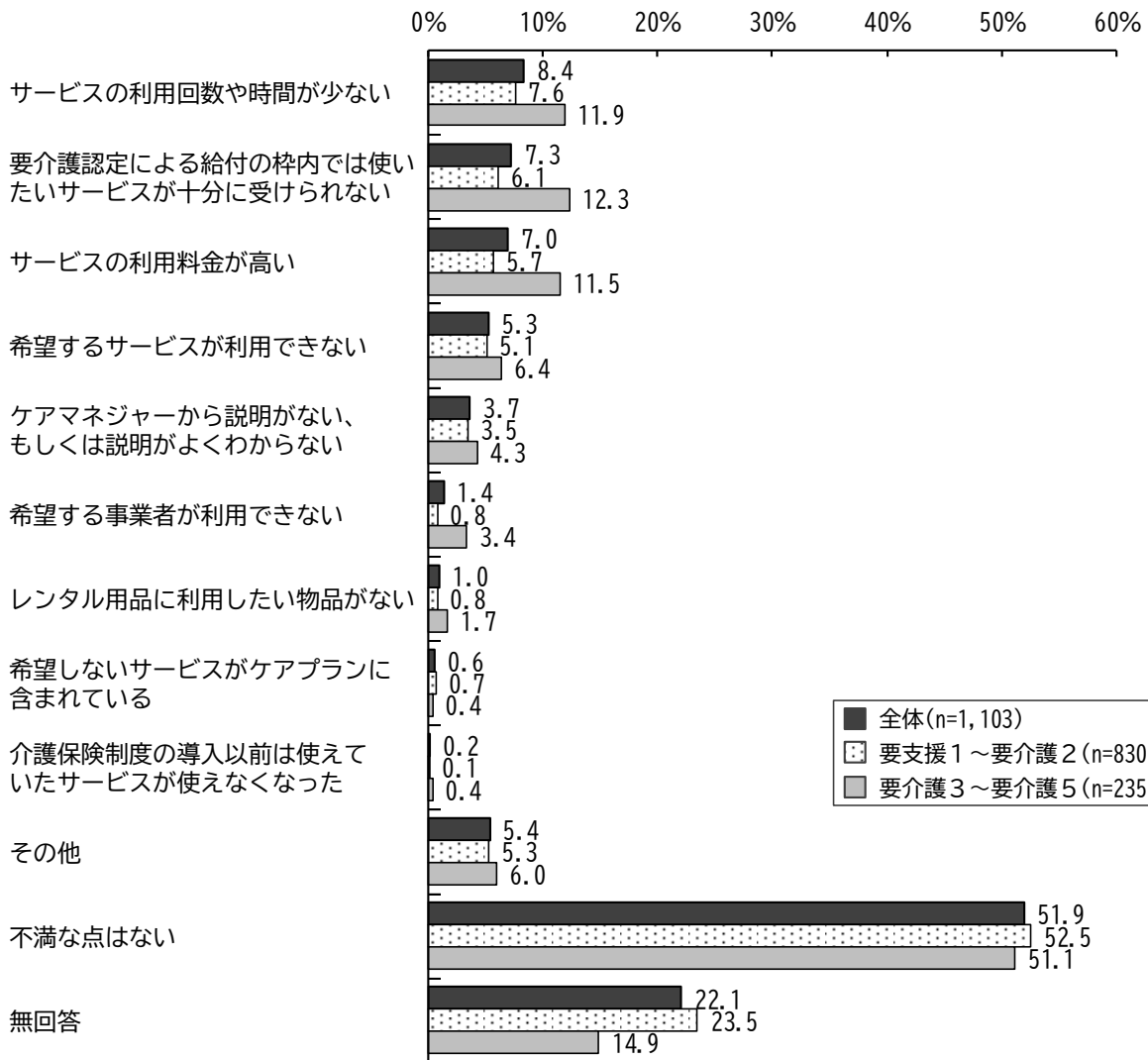
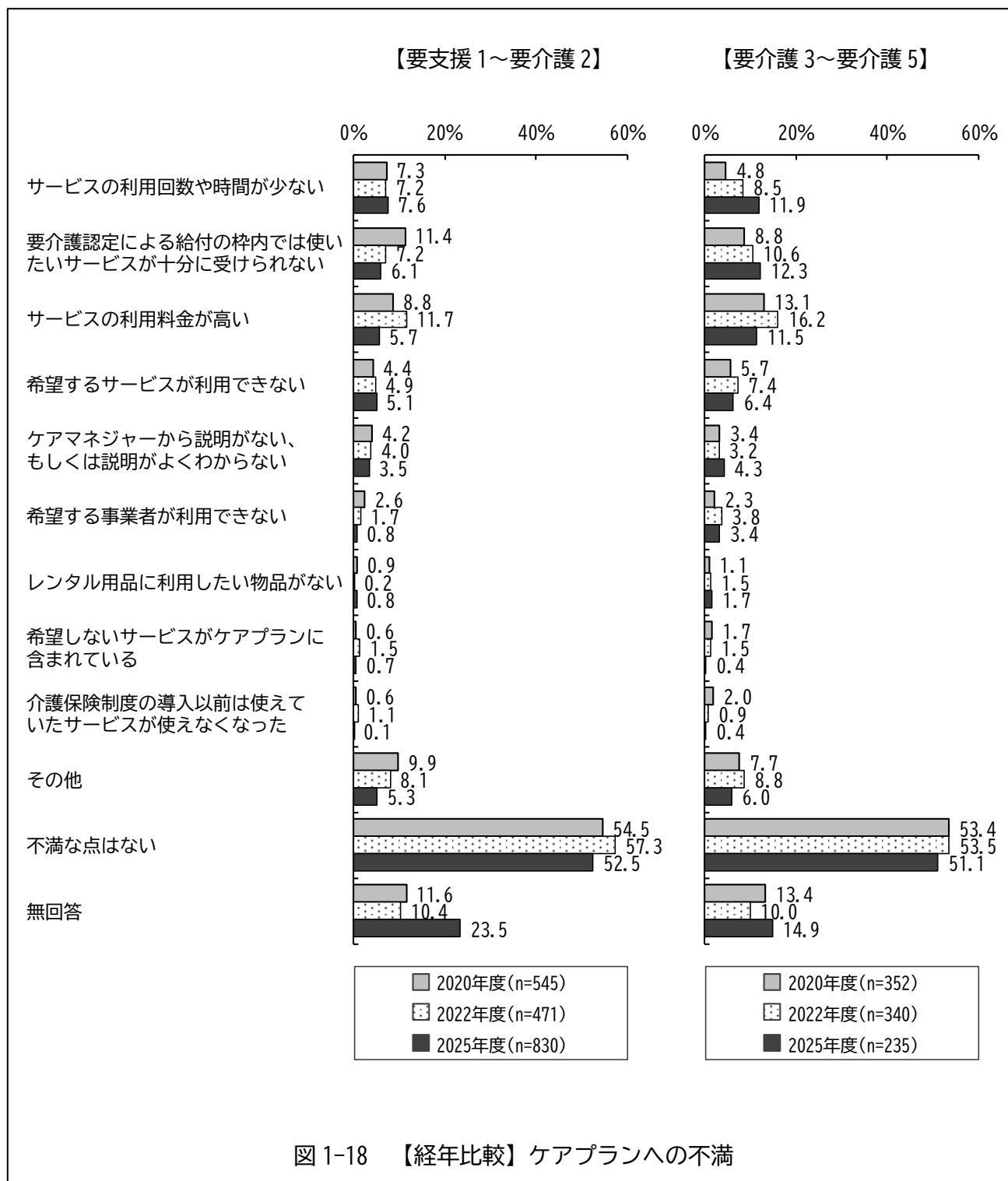


図1-17 ケアプランへの不満

全体では、「不満な点はない」が約5割を占めている。

不満と思うことは、「サービスの利用回数や時間が少ない」が最も多く、次いで「要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない」となっている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で上位3項目が1割を超えて高くなっている。



経年比較では、要支援 1～要介護 2 と要介護 3～要介護 5 とともに、いずれの年度も「不満な点はない」が 5 割台となっている。

一方、要介護 3～要介護 5 で「サービスの利用回数や時間が少ない」と「要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない」が年々増加している。

1.12.3. 介護保険サービスを利用していない理由

◆ 「まだ必要でない」が3割台後半

(問11で「利用していない」と回答した方に)

問12C 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

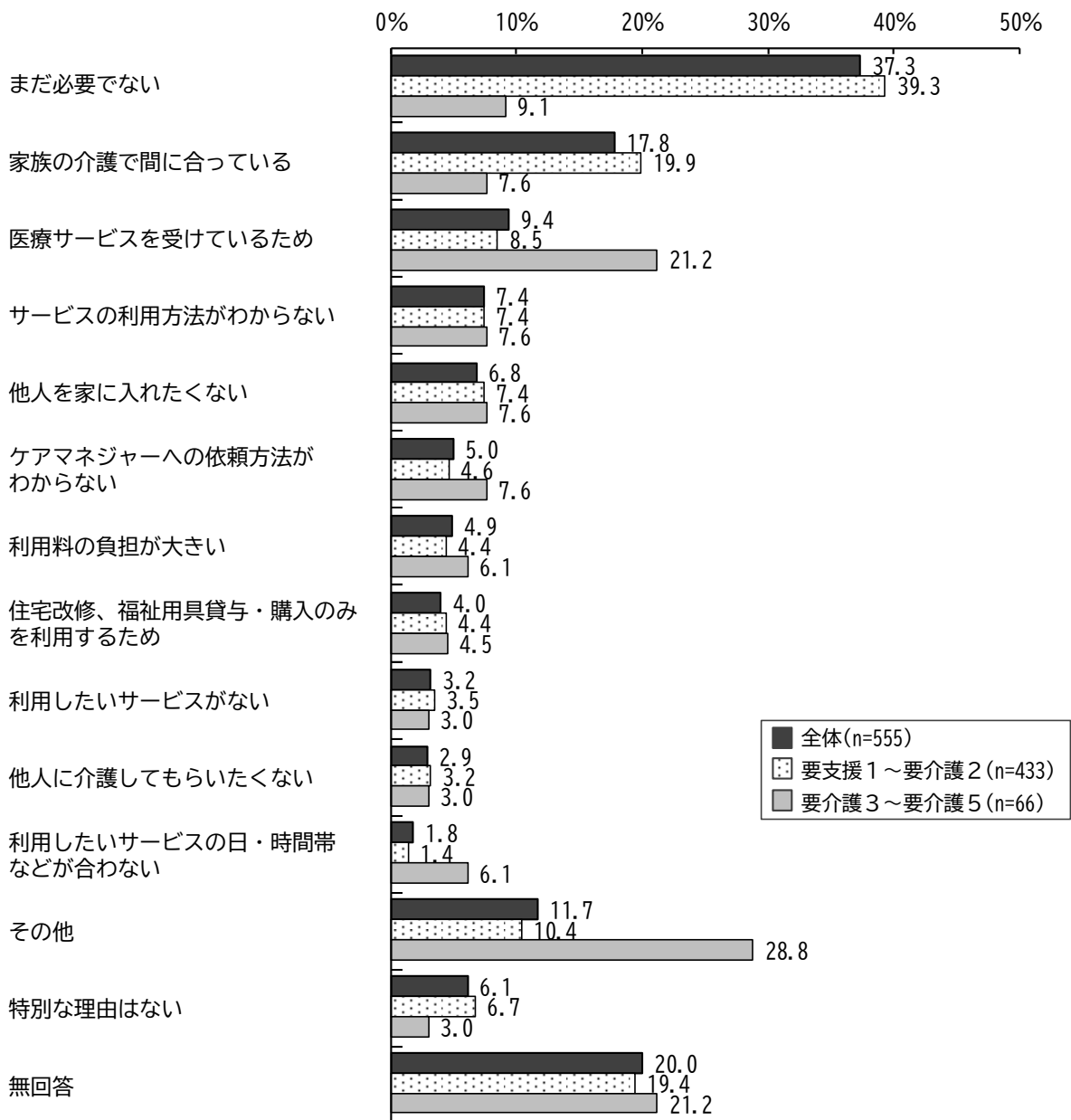
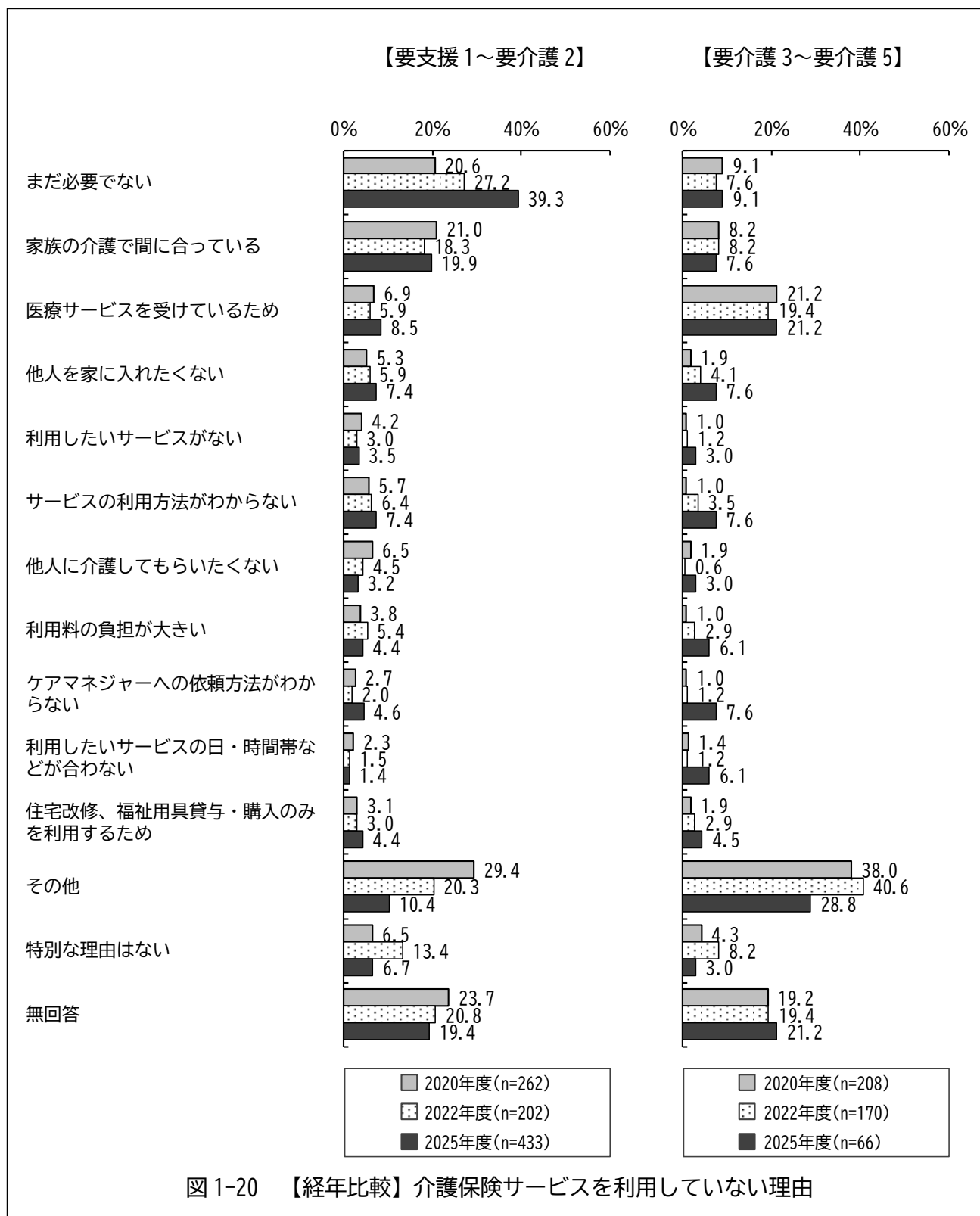


図 1-19 介護保険サービスを利用していない理由

全体では、「まだ必要ではない」が3割台後半で最も高くなっている。

要介護度別では、要支援1～要介護2で「まだ必要でない」が最も高く、要介護3～要介護5で「医療サービスを受けているため」が最も高くなっている。



経年比較では、2022 年度に比べ、要支援 1～要介護 2 で「まだ必要でない」が 12.1 ポイント増加している。

1.13. 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

◆ 「利用していない」が5割台後半

(全員の方に)

問 13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

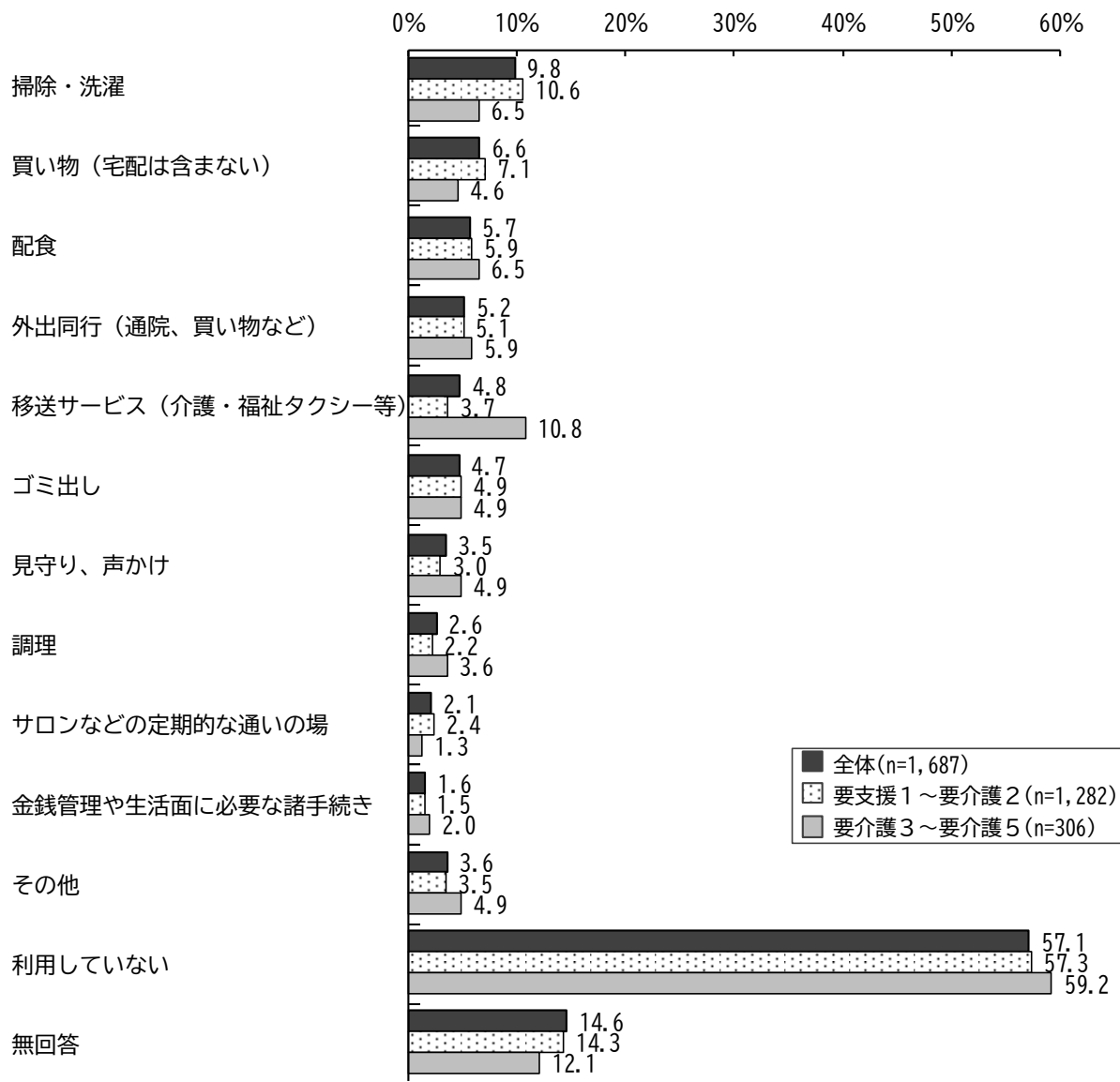


図 1-21 現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

全体では、「利用していない」が5割台後半を占めている。

利用している内容について、要介護度別では、要支援1～要介護2は「掃除・洗濯」が最も高く、要介護3～要介護5は「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が最も高くなっている。

【要介護度別】現在利用している、介護保険サービス以外の支援・サービス

単位：％

	有効回答数（件）	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	配食	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	ゴミ出し	見守り、声かけ	調理	サロンなどの定期的な通いの場	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	利用していない	無回答
全体	1,687	9.8	6.6	5.7	5.2	4.8	4.7	3.5	2.6	2.1	1.6	3.6	57.1	14.6
要支援1	384	11.2	4.7	3.4	3.9	3.1	3.4	2.6	1.8	4.4	1.0	3.6	56.8	16.4
要支援2	370	11.4	8.6	6.5	6.5	3.2	5.4	3.0	2.7	1.4	0.8	3.5	54.3	14.1
要介護1	269	7.1	6.7	4.1	4.1	2.6	5.2	2.6	0.4	1.1	2.6	1.9	65.1	13.8
要介護2	259	12.4	8.9	10.4	6.2	6.2	6.2	4.2	3.9	2.3	1.9	5.0	54.1	12.0
要介護3	130	8.5	10.0	7.7	8.5	9.2	8.5	5.4	5.4	1.5	4.6	4.6	56.9	10.8
要介護4	114	6.1	0.9	5.3	4.4	9.6	3.5	4.4	2.6	0.9	—	4.4	61.4	12.3
要介護5	62	3.2	—	6.5	3.2	16.1	—	4.8	1.6	1.6	—	6.5	59.7	14.5
わからない	39	7.7	5.1	2.6	—	2.6	—	2.6	5.1	—	5.1	—	59.0	15.4

要介護度別では、いずれの区分でも「利用していない」が最も高くなっている。

利用している内容について、最も高い項目は、要支援1～2と要介護1～2では「掃除・洗濯」、要介護3では「買い物（宅配は含まない）」、要介護4と5では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」となっている。

1.14. 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

◆ 「移送サービス」が約2割、「掃除・洗濯」「外出同行」が1割台後半

(全員の方に)

問14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

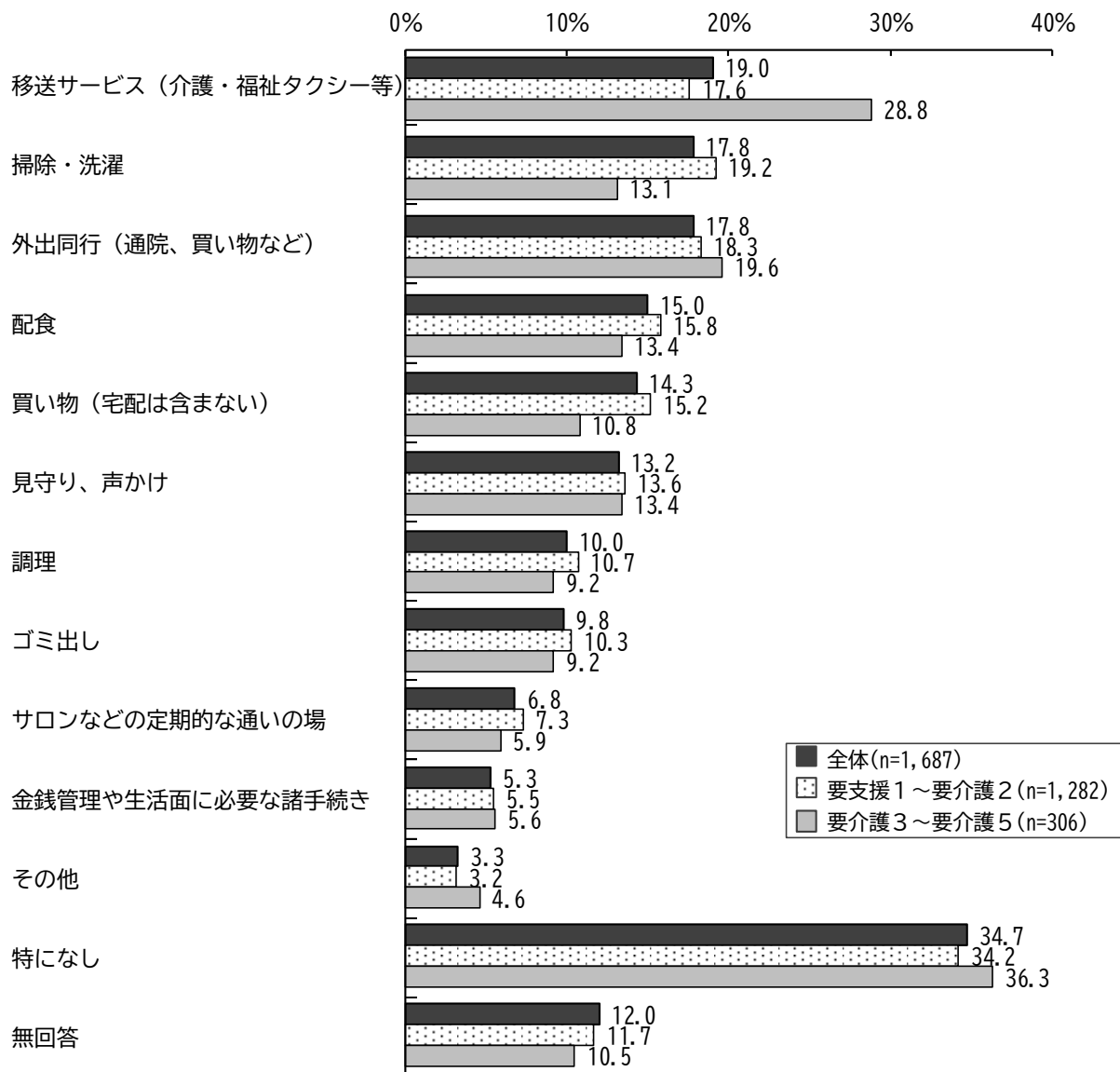


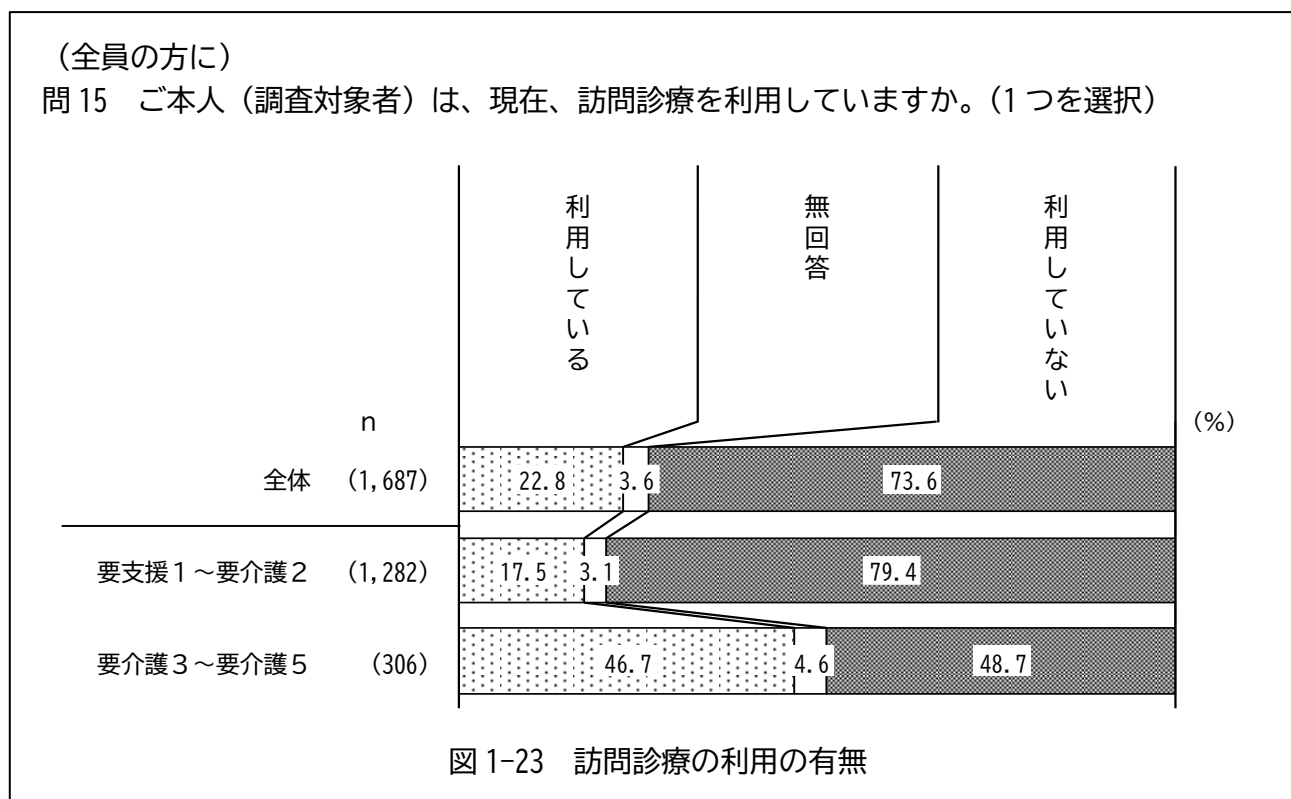
図1-22 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

全体では、「特になし」が3割台半ばとなっている。

必要としている内容について、要支援1～要介護2では「掃除・洗濯」が最も高く、要介護3～要介護5では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も高くなっている。

1.15. 訪問診療の利用の有無

◆ 「利用していない」が7割台前半

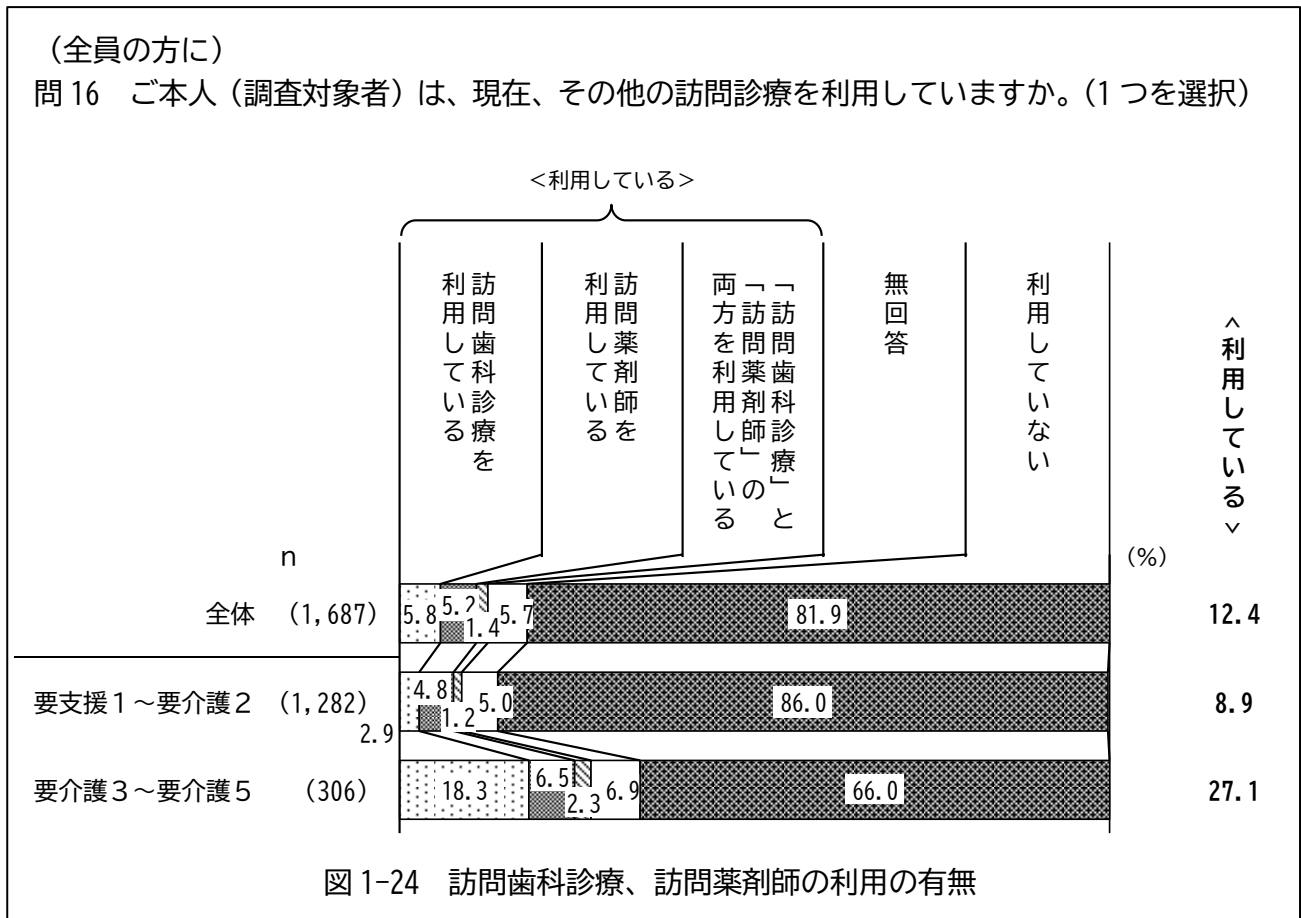


全体では、「利用していない」が7割台前半を占めている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「利用している」が4割台半ばで、要支援1～要介護2より高くなっている。

1.16. 訪問歯科診療、訪問薬剤師の利用の有無

◆ 「利用していない」が約 8 割



全体では、「利用していない」が約 8 割を占めている。

要介護度別では、要介護 3～要介護 5 で「訪問歯科診療を利用している」が 1 割台後半で、要支援 1～要介護 2 より高くなっている。

1.17. 地域包括支援センターへの相談の有無

◆ 「相談したことがある」が約6割

(全員の方に)

問 17 地域包括支援センターに相談したことはありますか。(1つを選択)

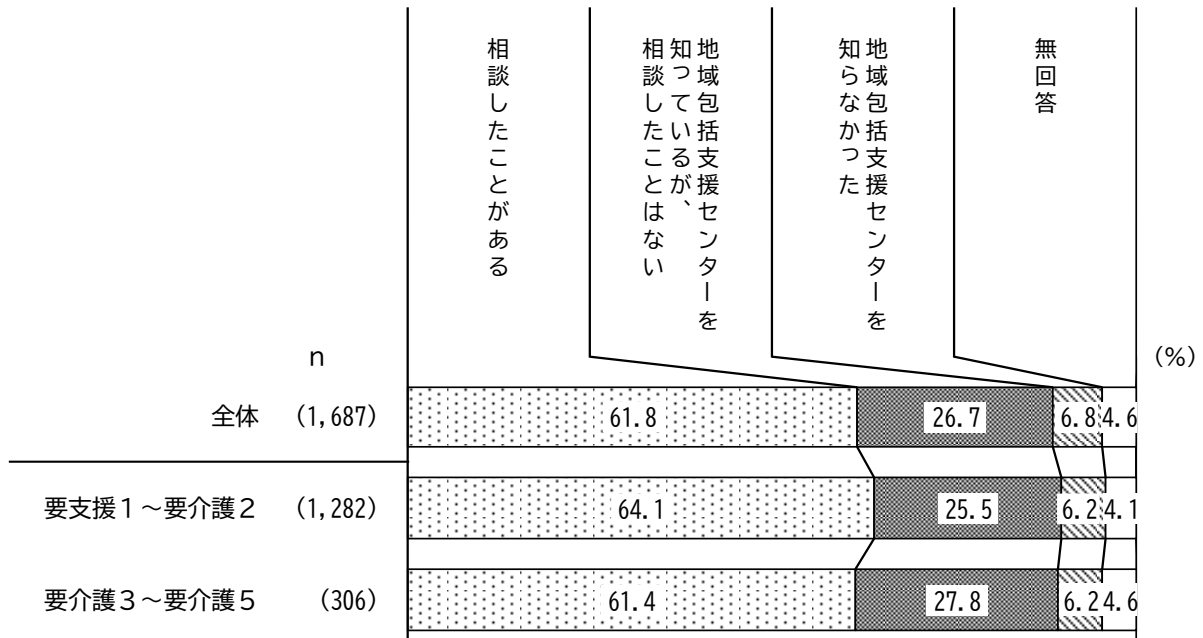


図 1-25 地域包括支援センターへの相談の有無

全体では、「相談したことがある」が約6割を占めている。

要介護度別では、大きな差異はみられない。

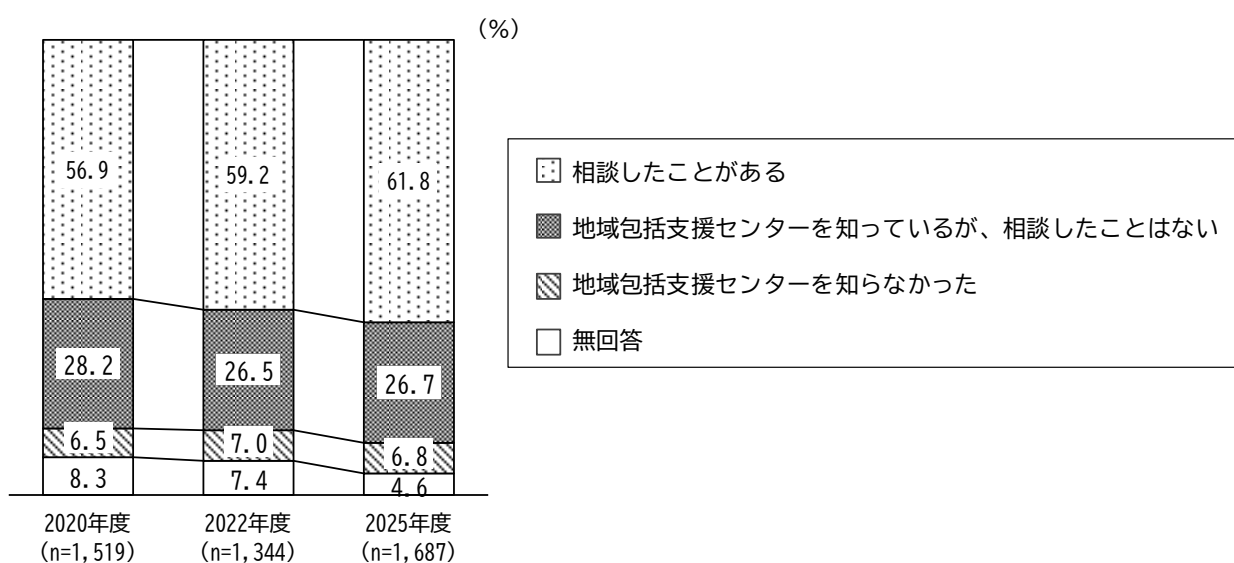


図 1-26 【経年比較】地域包括支援センターへの相談の有無

経年比較では、「相談したことがある」が年々増加している。

1.18. 家族・親族からの介護の頻度

◆ 「ほぼ毎日ある」が3割台半ば

問 18 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

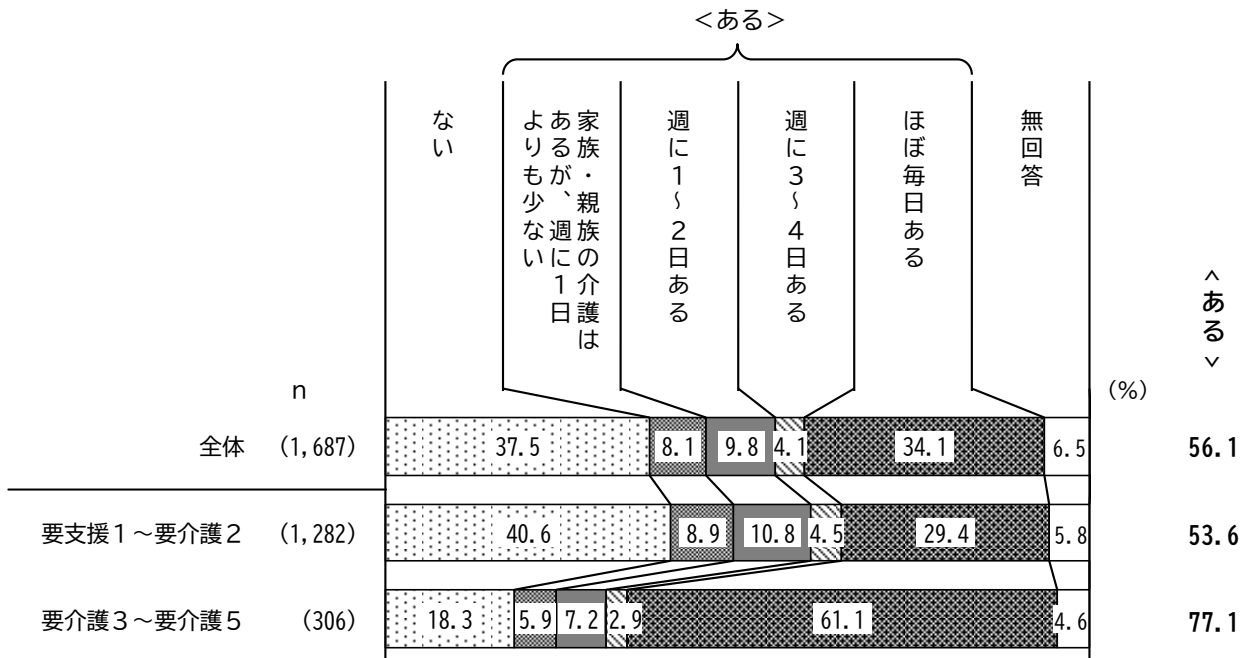
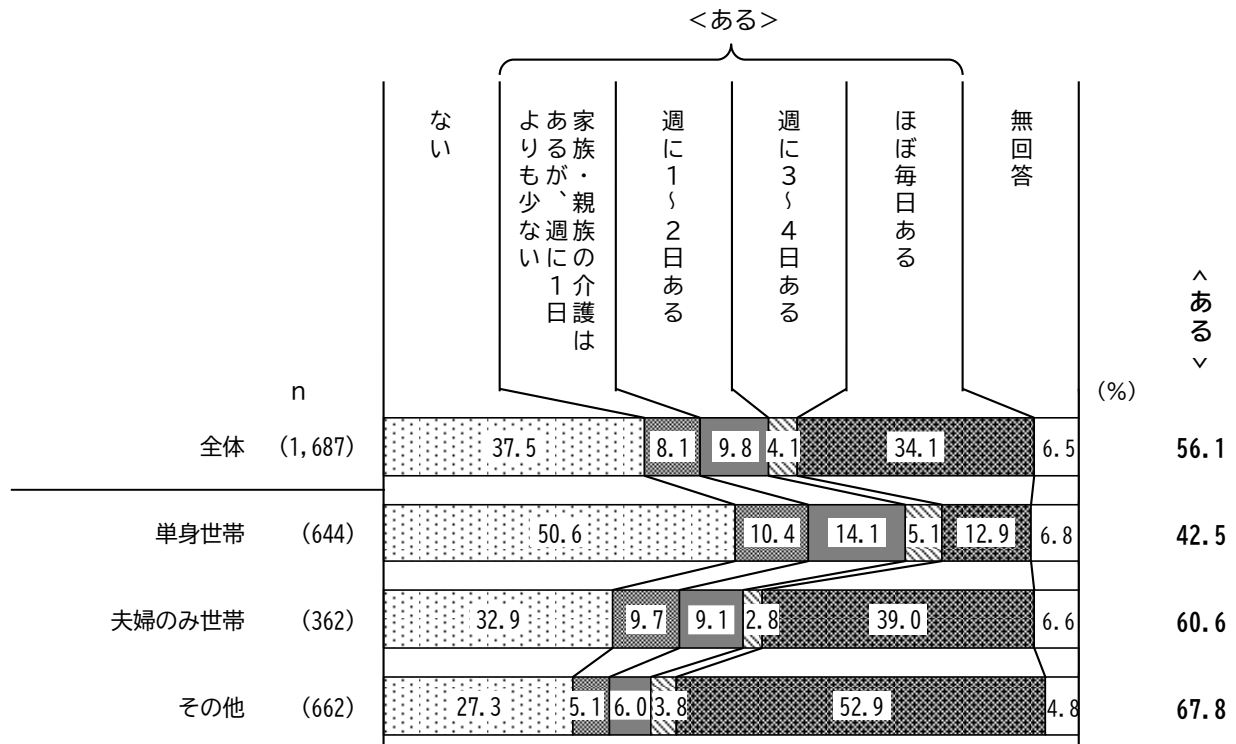


図 1-27 家族・親族からの介護の頻度

全体では、「ほぼ毎日ある」が3割台半ばを占めており、頻度に関わらず<ある>との回答は5割台半ばを占めている。

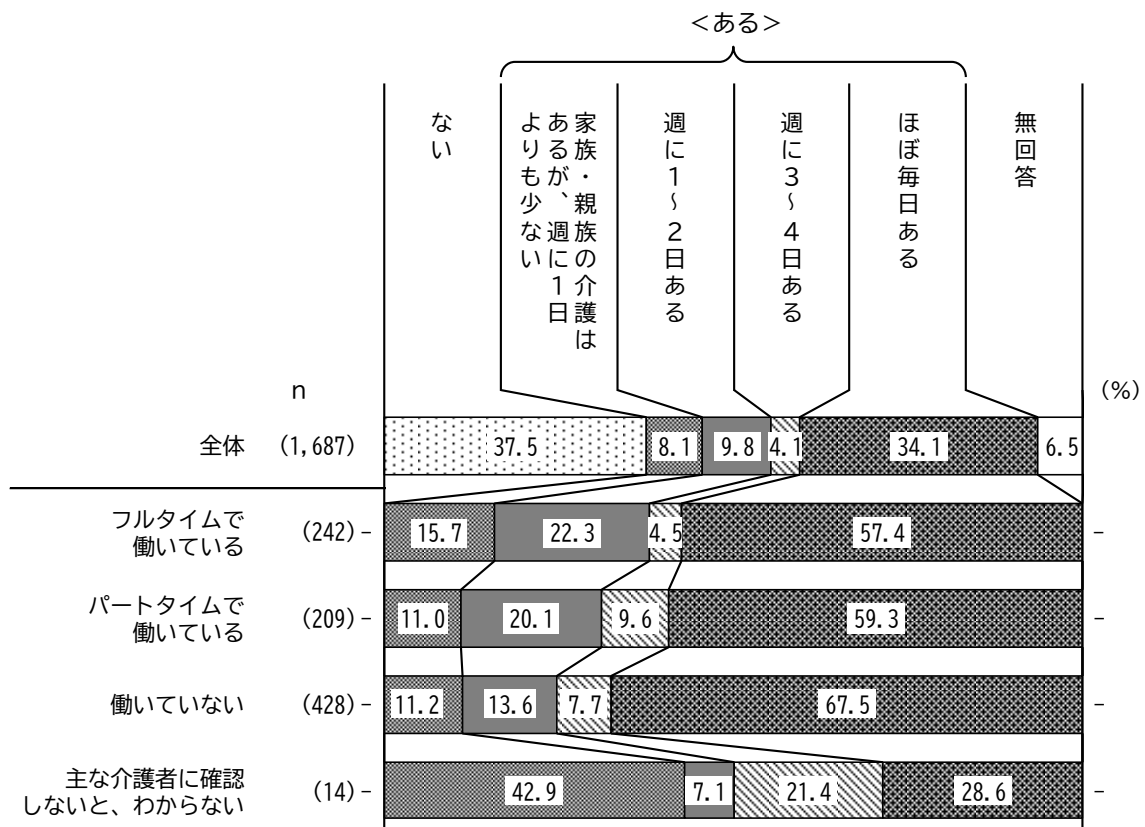
要介護度別では、要介護3～要介護5で<ある>が7割台後半を占めており、要支援1～要介護2より高くなっている。

【家族構成別】家族・親族からの介護の頻度



家族構成別では、単身世帯で「ない」が約5割で、他の世帯より高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】家族・親族からの介護の頻度



主な介護者の就労形態別では、働いていない世帯で「ほぼ毎日ある」が6割台後半を占めている。

2. 主な介護者について

(※「1.18. 家族・親族からの介護の頻度」において、〈ある〉とお答えの方)

2.1. 主な介護者

問1 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

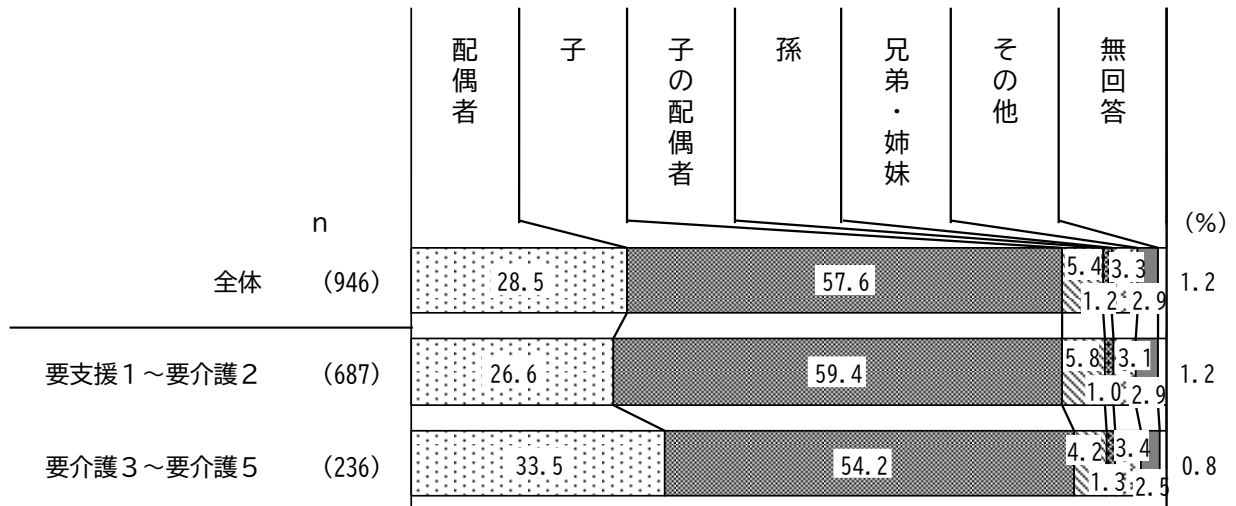


図 2-1 主な介護者

2.2. 主な介護者の性別

問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

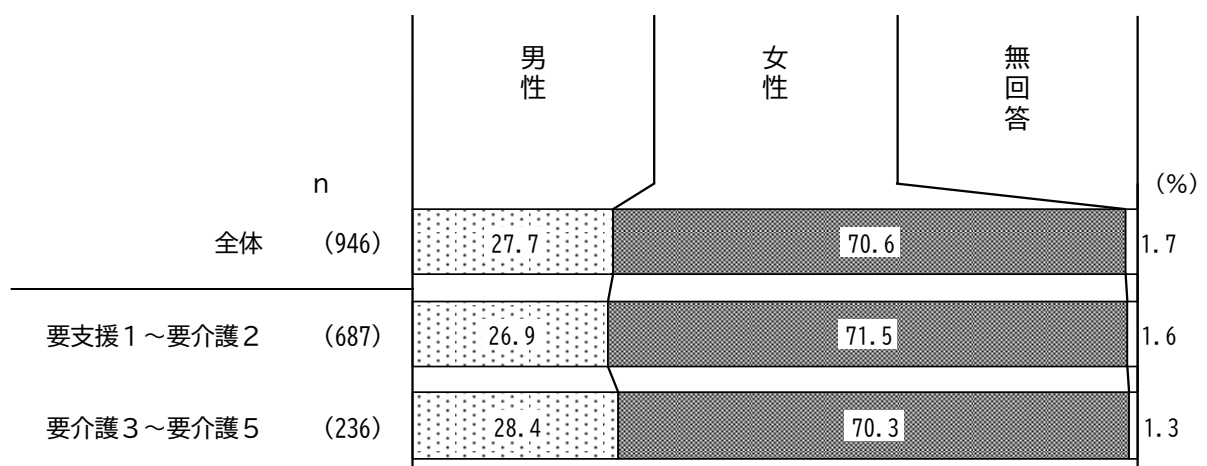


図 2-2 主な介護者の性別

2.3. 主な介護者の年齢

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

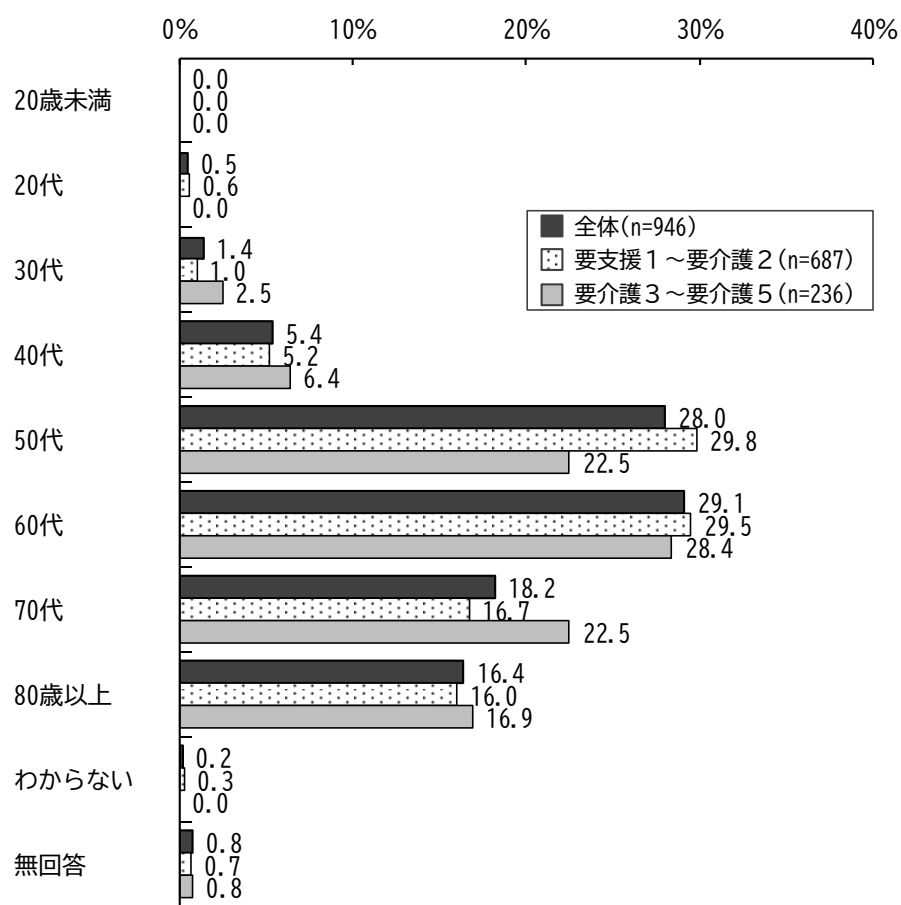


図2-3 主な介護者の年齢

2.4. 介護を理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた介助者の有無

◆ 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約7割

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

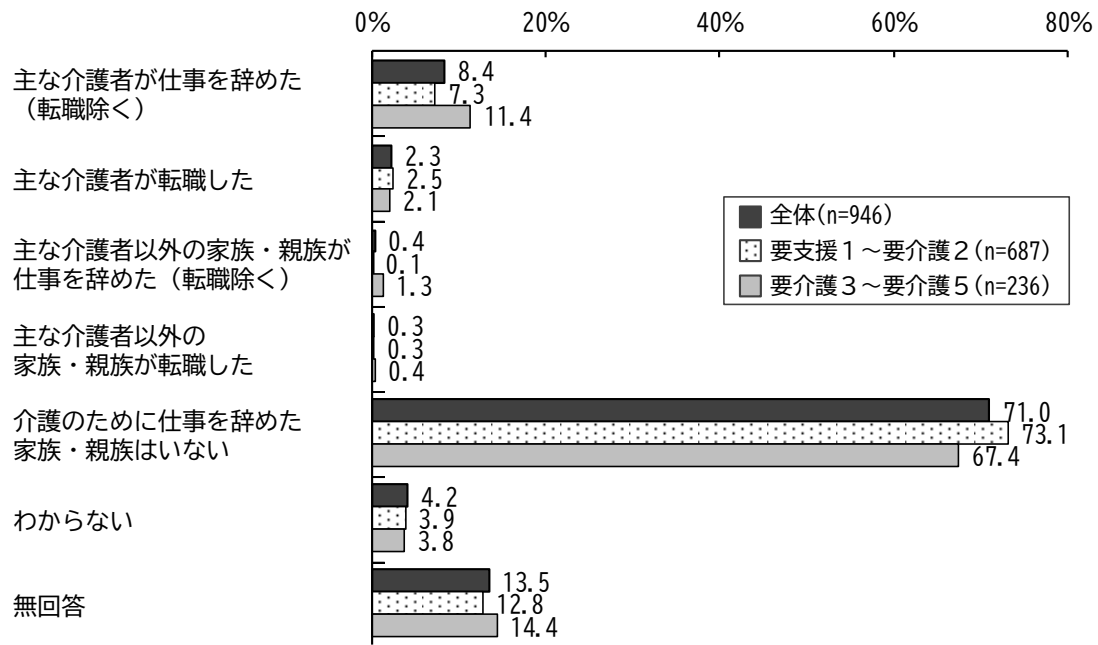


図2-4 介護を理由として、過去1年間の間に仕事を辞めた介助者の有無

全体では、「介護のために仕事を辞めた家族、親族はいない」が約7割を占めている。

要介護度別では、要介護3～要介護5は「介護のために仕事を辞めた家族、親族はいない」が要支援1～要介護2より低くなっている。

2.5. 主な介護者が行っている介護

◆ 「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が7割台後半

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

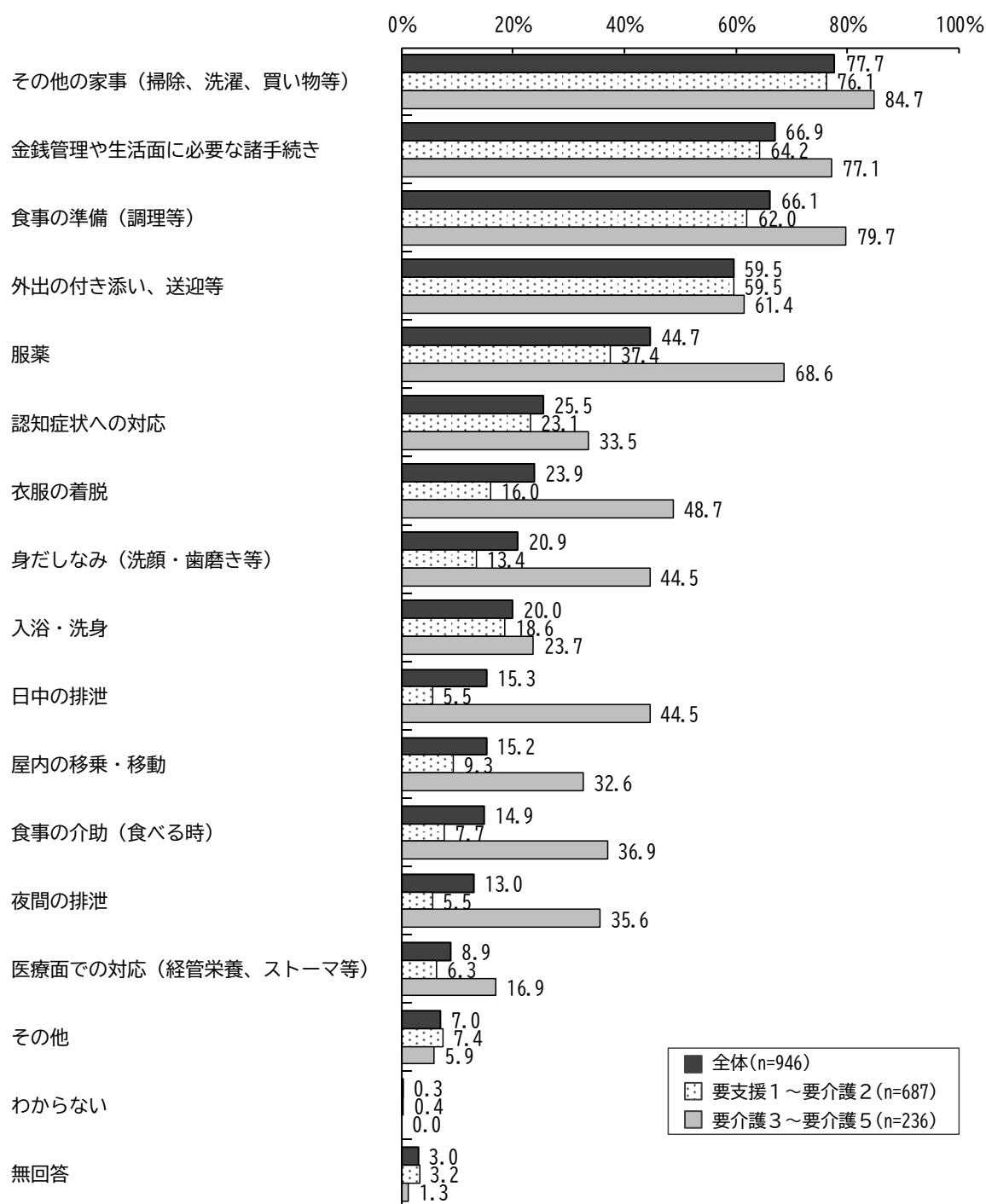


図2-5 主な介護者が行っている介護

全体では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が7割台後半となっており、上位4項目まではいずれも過半数を占めている。

要介護度別では、「その他」「わからない」を除く全ての項目で要介護3～要介護5の方が高くなっている。また、「服薬」「衣服の着脱」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「日中の排泄」「夜間の排泄」で要介護度別の差が30ポイント以上となっている。

【要介護度別】主な介護者が行っている介護

単位：％

	有効回答数（件）	その他の家事 （掃除、洗濯、 買い物等）	金銭管理や生活 面に 必要な諸手 続き	食事の準備（調 理等）	外出の付き添い 、送迎等	服薬	認知症状への 対応	衣服の着脱	身だしなみ（洗 顔・歯磨き等）	入浴・洗身
全体	946	77.7	66.9	66.1	59.5	44.7	25.5	23.9	20.9	20.0
要支援1	141	71.6	44.0	44.7	44.7	14.2	4.3	5.7	3.5	9.2
要支援2	152	69.1	57.2	55.3	57.9	17.1	7.2	9.9	5.9	11.8
要介護1	202	78.2	77.2	69.3	64.9	57.4	41.1	15.8	16.8	18.3
要介護2	192	82.8	70.8	72.4	66.1	49.5	30.7	28.6	22.9	31.3
要介護3	104	82.7	76.9	76.9	63.5	66.3	37.5	40.4	37.5	16.3
要介護4	88	87.5	78.4	84.1	64.8	63.6	34.1	55.7	47.7	29.5
要介護5	44	84.1	75.0	77.3	50.0	84.1	22.7	54.5	54.5	29.5
わからない	11	45.5	36.4	45.5	45.5	18.2	9.1	9.1	-	36.4

	有効回答数（件）	日中の排泄	屋内の移乗・移動	食事の介助（食 べる時）	夜間の排泄	医療面での対応 （経管栄養、ス トーマ等）	その他	わからない	無回答
全体	946	15.3	15.2	14.9	13.0	8.9	7.0	0.3	3.0
要支援1	141	0.7	5.7	4.3	1.4	2.8	9.2	1.4	7.1
要支援2	152	2.0	4.6	3.9	2.0	5.9	5.3	0.7	2.0
要介護1	202	5.0	10.4	8.9	5.4	6.9	5.4	-	1.5
要介護2	192	12.5	14.6	12.0	11.5	8.3	9.9	-	3.1
要介護3	104	28.8	19.2	24.0	21.2	10.6	8.7	-	1.9
要介護4	88	52.3	39.8	40.9	39.8	18.2	2.3	-	1.1
要介護5	44	65.9	50.0	59.1	61.4	29.5	6.8	-	-
わからない	11	-	9.1	9.1	-	-	9.1	-	9.1

要介護度別では、要支援1～要介護度5まで、いずれも「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も高くなっている。また、要介護5は「服薬」も最も高くなっている。

すべての要介護度が高くなるほど各項目の割合が高くなる傾向がある。

2.6. 主な介護者が不安に感じる介護

◆ 「認知症状への対応」が3割台前半

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

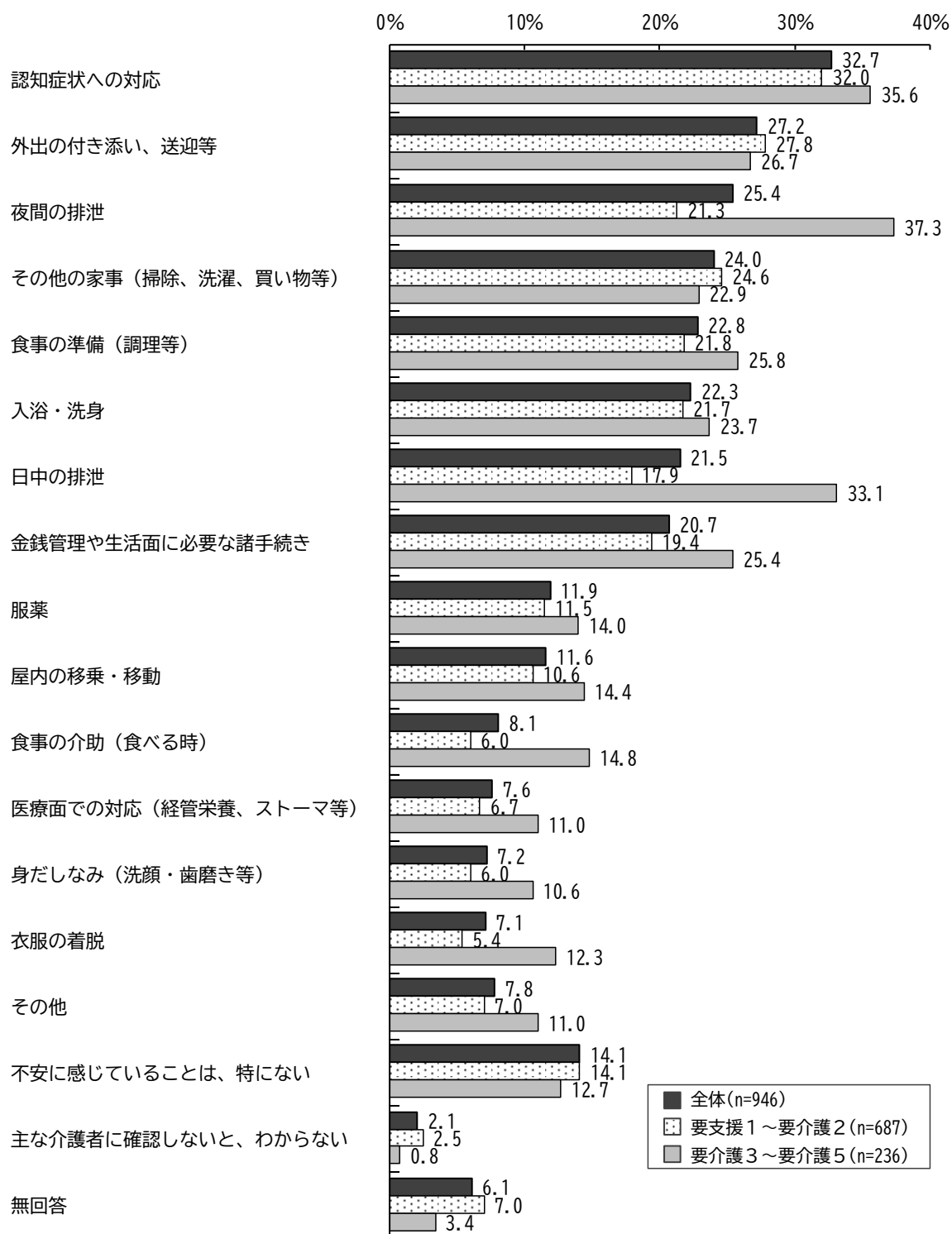


図2-6 主な介護者が不安に感じる介護

全体では、「認知症状への対応」が3割台前半で最も高くなっている。

要介護度別では、「日中の排泄」「夜間の排泄」で要介護3～要介護5の方が要支援1～要介護2より15ポイント以上高くなっている。

2.7. 主な介護者の現在の勤務形態

◆ 「働いていない」が4割台半ば

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

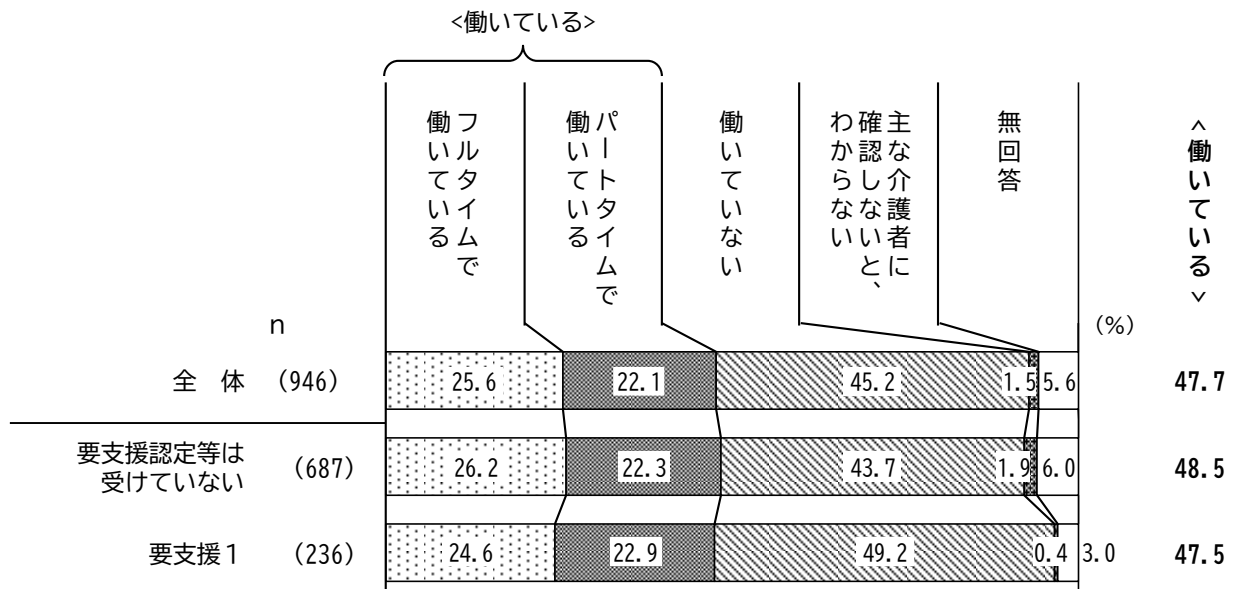
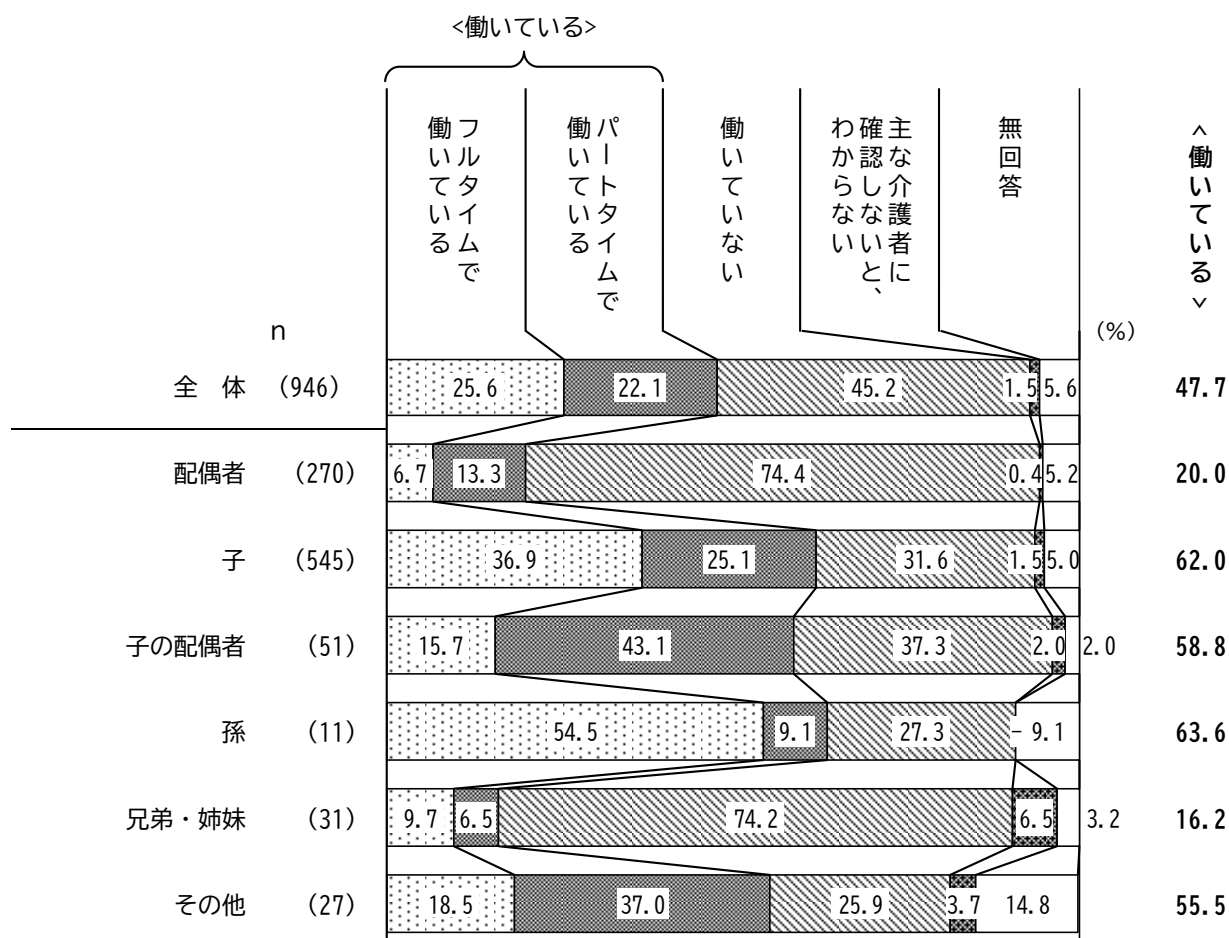


図 2-7 主な介護者の現在の勤務形態

全体では、「働いていない」が4割台半ばで最も高くなっている。「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」を合わせた<働いている>は4割台後半となっている。

要介護度別では、いずれも「働いてない」が最も高くなっており、要介護3～要介護5では約5割を占めている。一方、<働いている>は要介護度別で大きな差異はみられない。

【主な介護者別】主な介護者の現在の勤務形態



主な介護者別では、配偶者と兄弟・姉妹で「働いていない」が高くなっており、いずれも7割台半ばとなっている。

2.8. 主な介護者の就労形態の調整

◆ 「介護のために、①労働時間を調整しながら、働いている」が3割台後半

(問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に)

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

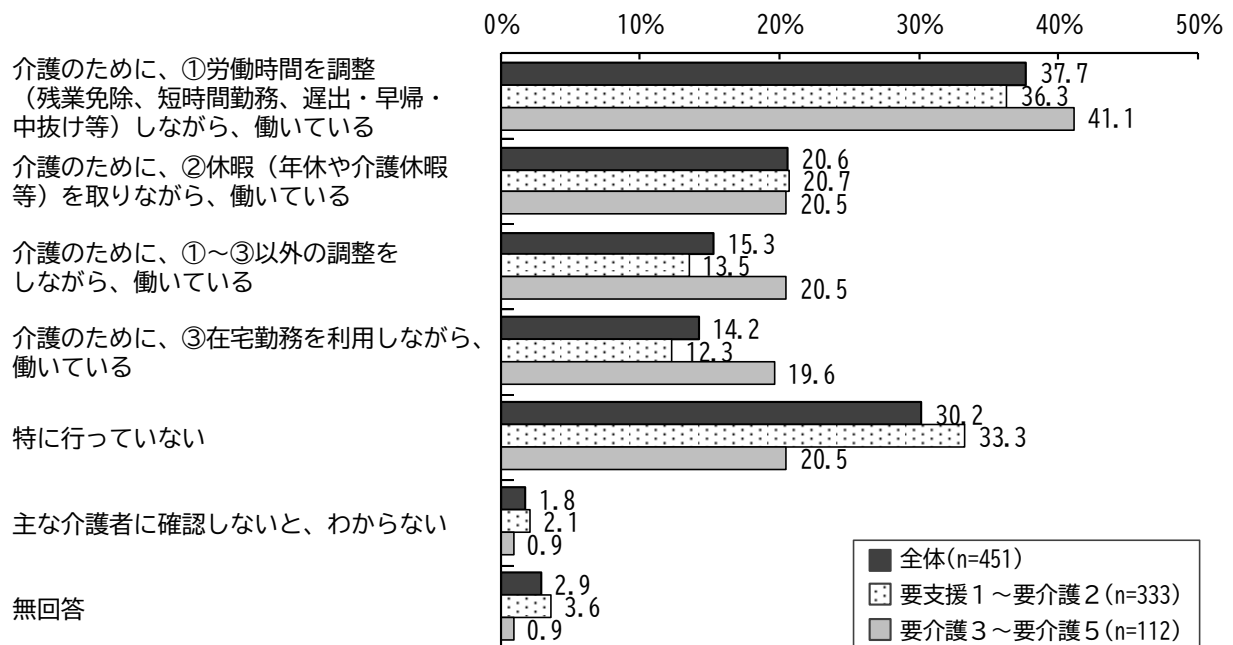


図2-8 主な介護者の就労形態の調整

全体では、「介護のために、①労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」が3割台後半で最も高くなっている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「介護のために、①労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」が約4割と高くなっている。

【要介護度別】主な介護者の就労形態の調整

単位：％

	有効回答数（件）	介護のために、 調整（残業免除、 短時間勤務、 遅出・早帰・中 抜け等）	介護のために、 ②休暇（年休 や介護休暇等） をとりながら 働いている	介護のために、 ①③以外の 調整をしながら 働いている	介護のために、 ③在宅勤務を 利用しながら、 働いている	特に行っていない	主な介護者に確認 しないと、 わからない	無回答
全体	451	37.7	20.6	15.3	14.2	30.2	1.8	2.9
要支援1	62	16.1	12.9	12.9	8.1	50.0	3.2	4.8
要支援2	81	37.0	22.2	4.9	7.4	42.0	2.5	3.7
要介護1	95	44.2	24.2	16.8	12.6	25.3	1.1	2.1
要介護2	95	41.1	21.1	17.9	18.9	23.2	2.1	4.2
要介護3	53	47.2	20.8	20.8	17.0	18.9	-	1.9
要介護4	42	35.7	23.8	26.2	21.4	21.4	-	-
要介護5	17	35.3	11.8	5.9	23.5	23.5	5.9	-
わからない	2	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-

要介護度別では、要介護1以上で「介護のために、①労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」が最も高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】主な介護者の就労形態の調整

単位：％

	有効回答数（件）	介護のために、 調整（残業免除、 短時間勤務、 遅出・早帰・中 抜け等）	介護のために、 ②休暇（年休 や介護休暇等） をとりながら 働いている	介護のために、 ①③以外の 調整をしながら 働いている	介護のために、 ③在宅勤務を 利用しながら、 働いている	特に行っていない	主な介護者に確認 しないと、 わからない	無回答
全体	451	37.7	20.6	15.3	14.2	30.2	1.8	2.9
フルタイム	242	35.1	26.4	11.6	20.2	33.1	0.8	2.5
パートタイム	209	40.7	13.9	19.6	7.2	26.8	2.9	3.3

主な介護者の就労形態別では、いずれも「介護のために、①労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」が最も高く、パートタイムで働いている世帯では約4割を占めている。

2.9. 仕事と介護の両立に効果がある支援

◆ 「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」と「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が2割台後半

（問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方に）

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

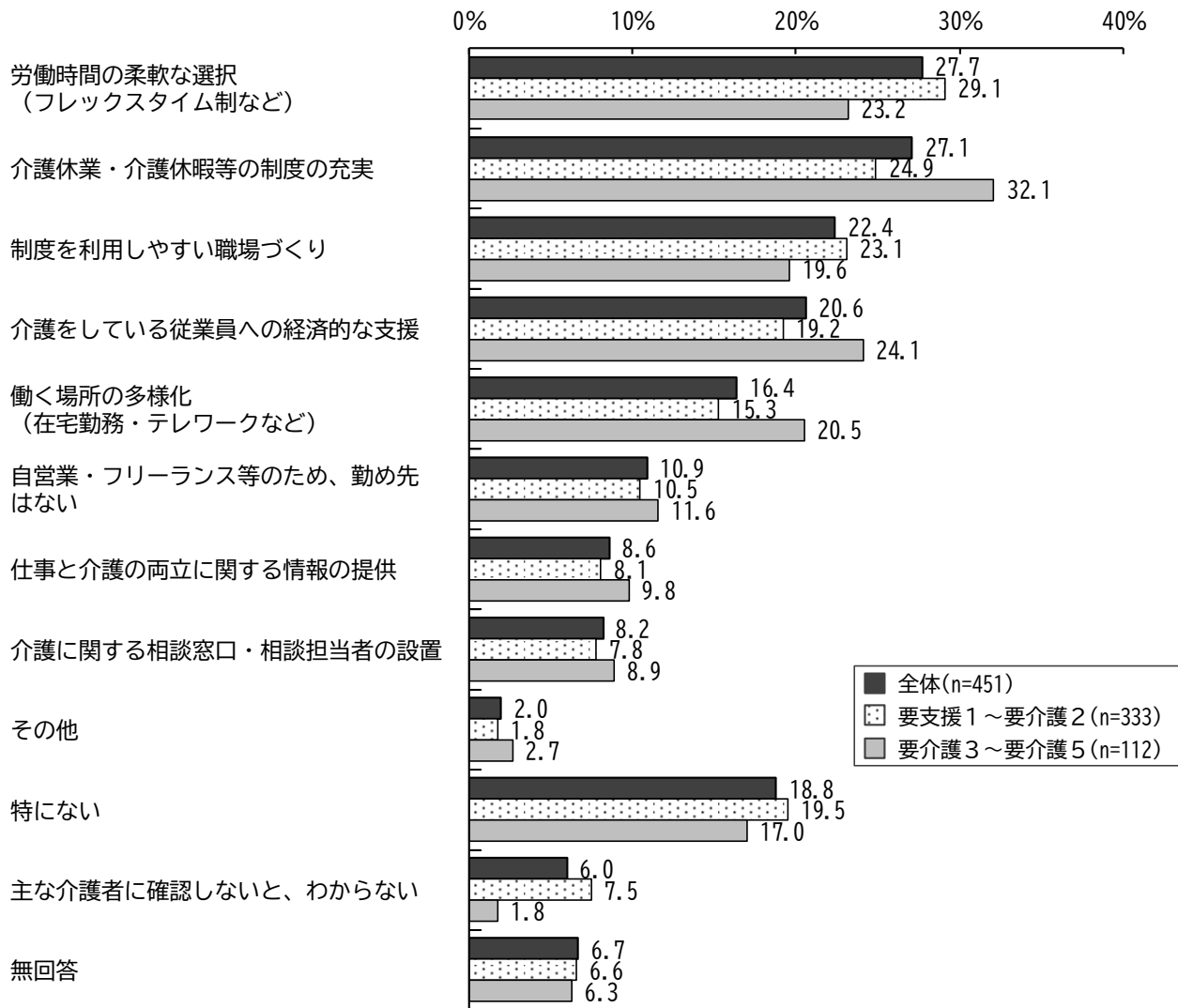


図 2-9 仕事と介護の両立に効果がある支援

全体では、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」と「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が2割台後半で高くなっている。

要介護度別では、要介護3～要介護5で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」となっている。

【要介護度別】仕事と介護の両立に効果がある支援

単位：％

	有効回答数（件）	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしている従業員への経済的な支援	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	451	27.7	27.1	22.4	20.6	16.4	10.9	8.6	8.2	2.0	18.8	6.0	6.7
要支援1	62	22.6	22.6	16.1	16.1	9.7	14.5	3.2	6.5	1.6	17.7	9.7	11.3
要支援2	81	33.3	25.9	24.7	23.5	19.8	2.5	7.4	9.9	1.2	21.0	7.4	4.9
要介護1	95	31.6	26.3	27.4	16.8	17.9	11.6	13.7	7.4	2.1	14.7	6.3	5.3
要介護2	95	27.4	24.2	22.1	20.0	12.6	13.7	6.3	7.4	2.1	24.2	7.4	6.3
要介護3	53	26.4	30.2	22.6	20.8	20.8	7.5	13.2	9.4	1.9	18.9	3.8	7.5
要介護4	42	23.8	31.0	21.4	28.6	26.2	9.5	7.1	9.5	2.4	16.7	-	7.1
要介護5	17	11.8	41.2	5.9	23.5	5.9	29.4	5.9	5.9	5.9	11.8	-	-
わからない	2	50.0	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-

要介護度別では、要支援1～要介護2で「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が最も高く、要介護3～要介護5で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】仕事と介護の両立に効果がある支援

単位：％

	有効回答数（件）	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしている従業員への経済的な支援	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	451	27.7	27.1	22.4	20.6	16.4	10.9	8.6	8.2	2.0	18.8	6.0	6.7
フルタイム	242	28.9	34.3	27.7	24.0	23.1	12.4	8.7	7.4	1.7	12.8	4.5	5.4
パートタイム	209	26.3	18.7	16.3	16.7	8.6	9.1	8.6	9.1	2.4	25.8	7.7	8.1

主な介護者の就労形態別では、フルタイムで働いている世帯で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高く、パートタイムで働いている世帯で「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が最も高くなっている。

【就労している主な介護者の今後の介護の見通し別】仕事と介護の両立に効果がある支援

単位：％

	有効回答数 (件)	労働時間の柔軟な選択など (フレックスタイトム制など)	介護休業・介護休暇等の 制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	介護をしている従業員への 経済的な支援	働く場所の多様化 (在宅勤務・テレワークなど)	自営業・フリーランス等のため、 勤め先はない	仕事と介護の両立に関する 情報の提供	相談に関する相談窓口・ 相談担当者の設置	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、 わからない	無回答
全体	451	27.7	27.1	22.4	20.6	16.4	10.9	8.6	8.2	2.0	18.8	6.0	6.7
問題なく、続けていける	92	25.0	21.7	23.9	6.5	12.0	9.8	4.3	3.3	-	31.5	5.4	7.6
問題はあるが、何とか続けていける	231	31.6	29.4	23.4	23.8	19.0	10.0	10.4	9.5	2.2	16.0	3.9	3.9
続けていくのは、やや難しい	56	28.6	33.9	23.2	37.5	25.0	12.5	16.1	19.6	1.8	10.7	5.4	1.8
続けていくのは、かなり難しい	27	25.9	37.0	22.2	29.6	14.8	25.9	3.7	3.7	3.7	14.8	-	7.4
主な介護者に確認しないと、わからない	20	15.0	15.0	15.0	10.0	5.0	10.0	-	-	-	10.0	45.0	10.0

就労している主な介護者の今後の介護の見通し別では、続けていくのは、かなり難しいと回答した世帯で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高く、続けていくのは、やや難しいと回答した世帯で「介護をしている従業員への経済的な支援」が最も高くなっている。

2.10. 今後の介護の見通し

◆ 「問題はあるが、何とか続けていける」が約5割

問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

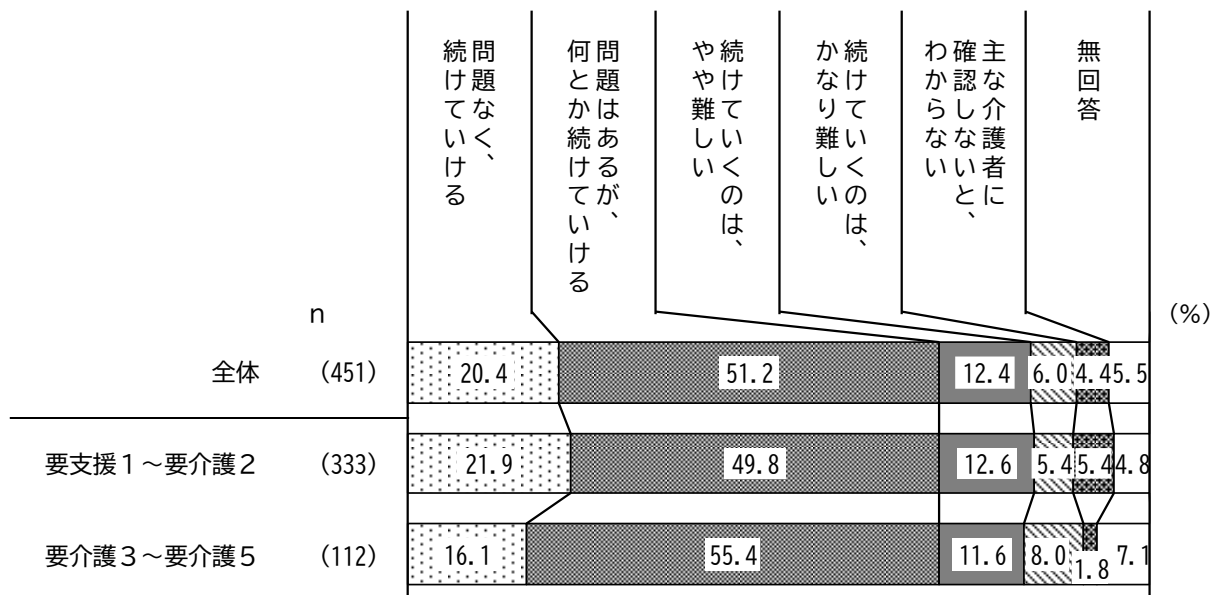
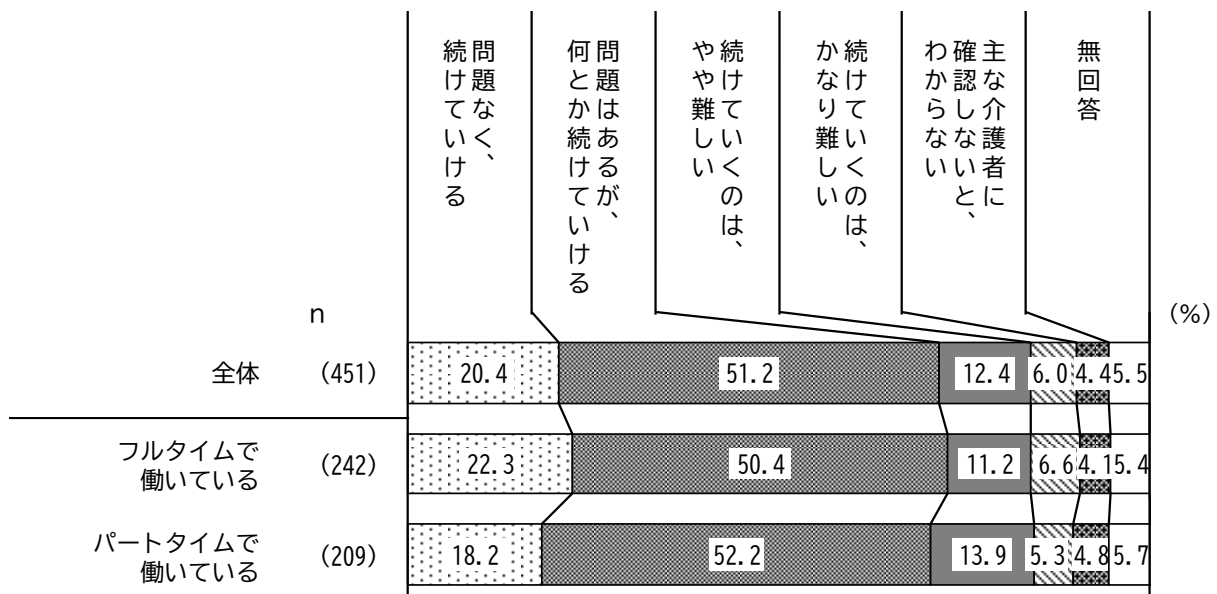


図2-10 今後の介護の見通し

全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」が約5割を占めている。

要介護度別では、いずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高くなっている。

【主な介護者の就労形態別】今後の介護の見通し



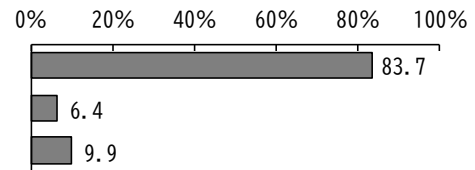
主な介護者の就労形態別では、「問題なく続けていける」が、パートタイムで働いている世帯ではやや低くなっている。

ケアマネジャー調査

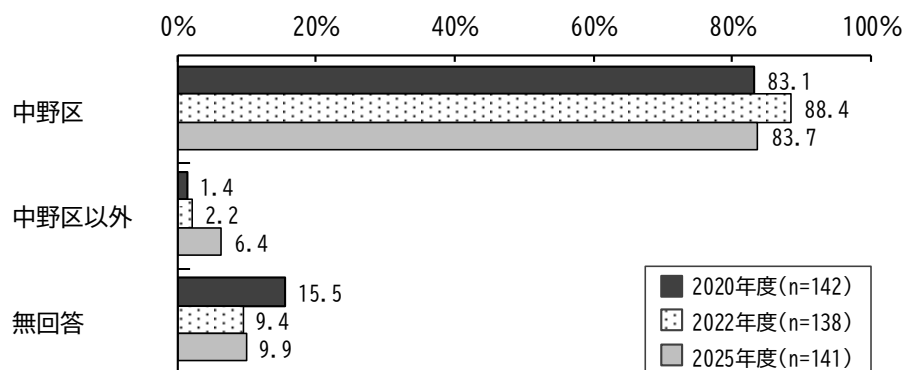
1. 回答者の属性

1.1. 所属する事業所の所在地

	基数	構成比 (%)
中野区	118	83.7
中野区以外	9	6.4
無回答	14	9.9
全体	141	100.0



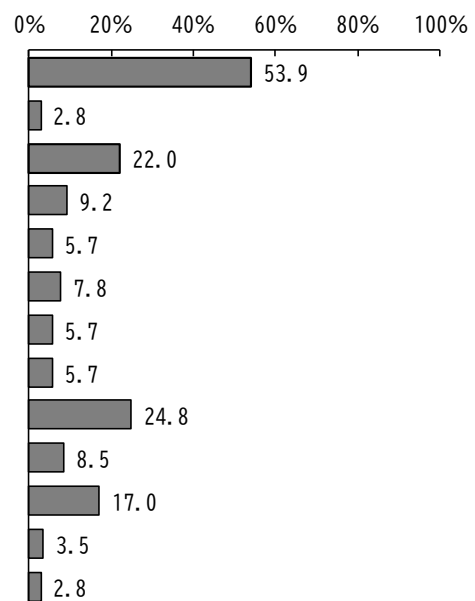
【経年比較】所属する事業所の所在地



1.2. 所属する事業所が提供するサービス（複数回答）

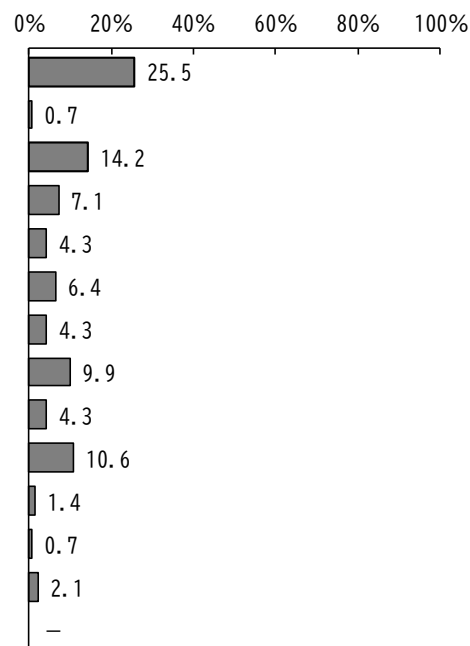
<介護（居宅）サービス>

	基数	構成比 (%)
訪問介護	76	53.9
訪問入浴介護	4	2.8
訪問看護	31	22.0
訪問リハビリテーション	13	9.2
居宅療養管理指導	8	5.7
福祉用具（貸与）	11	7.8
特定福祉用具（販売）	8	5.7
住宅改修	8	5.7
通所介護（小規模通所含む）	35	24.8
通所リハビリテーション	12	8.5
短期入所生活介護	24	17.0
短期入所療養介護	5	3.5
特定施設入居者生活介護	4	2.8
介護（居宅）サービス（計）	239	



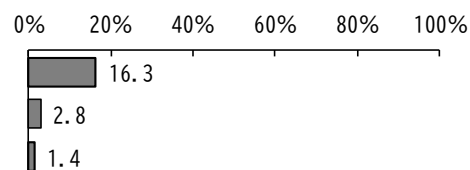
<介護予防サービス>

	基数	構成比 (%)
予防訪問サービス（旧予防訪問介護）	36	25.5
予防訪問入浴介護	1	0.7
予防訪問看護	20	14.2
予防訪問リハビリテーション	10	7.1
予防居宅療養管理指導	6	4.3
予防福祉用具（貸与）	9	6.4
予防特定福祉用具（販売）	6	4.3
予防通所サービス（旧予防通所介護）	14	9.9
予防通所リハビリテーション	6	4.3
予防短期入所生活介護	15	10.6
予防短期入所療養介護	2	1.4
予防特定施設入居者生活介護	1	0.7
生活援助サービス（緩和基準訪問サービス）	3	2.1
活動援助サービス（緩和基準通所サービス）	0	—
介護予防サービス（計）	129	



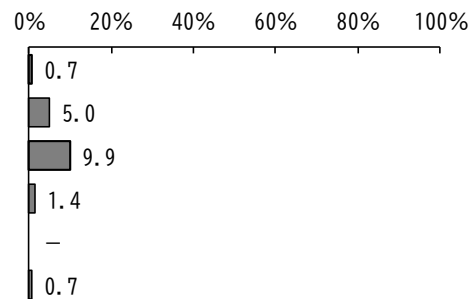
<施設サービス>

	基数	構成比 (%)
介護老人福祉施設	23	16.3
介護老人保健施設	4	2.8
介護医療院（介護療養型医療施設）	2	1.4
施設サービス（計）	29	



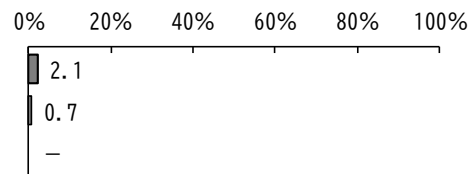
<地域密着型サービス>

	基数	構成比 (%)
夜間対応型訪問介護	1	0.7
小規模多機能型居宅介護	7	5.0
認知症対応型通所介護	14	9.9
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	2	1.4
看護小規模多機能型居宅介護	0	—
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0.7
地域密着型サービス（計）	25	



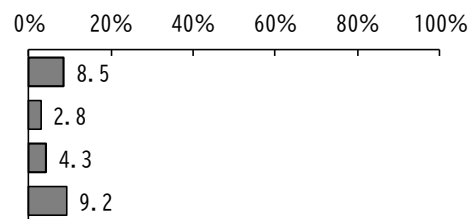
<介護予防（地域密着型）サービス>

	基数	構成比 (%)
予防小規模多機能型居宅介護	3	2.1
予防認知症対応型通所介護	1	0.7
予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	0	—
介護予防（地域密着型）サービス（計）	4	



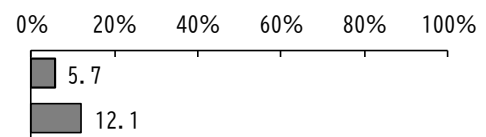
<その他のサービス>

	基数	構成比 (%)
病院・診療所	12	8.5
薬局	4	2.8
都市型軽費老人ホーム	6	4.3
その他のサービス	13	9.2
その他のサービス（計）	35	

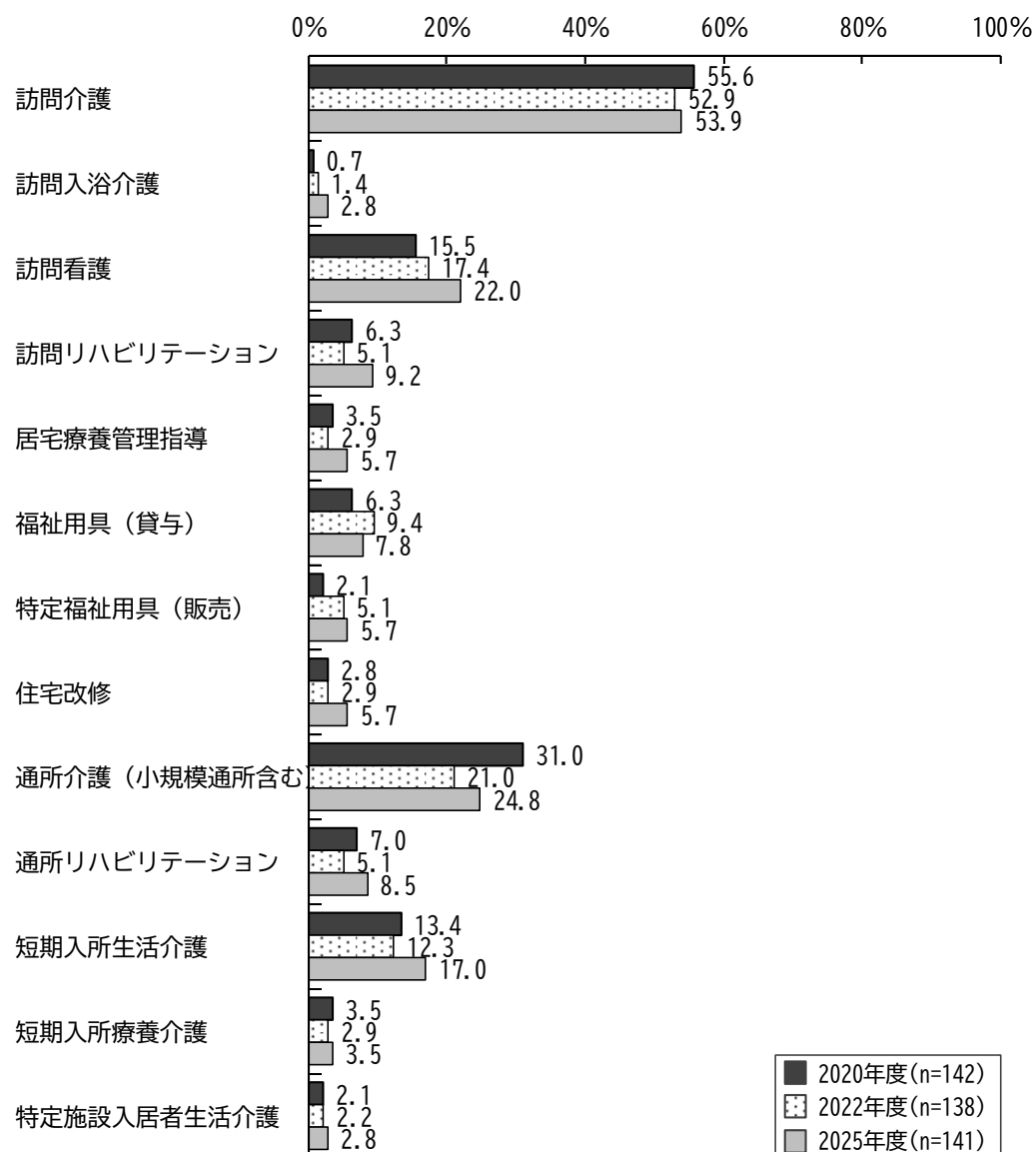


<その他>

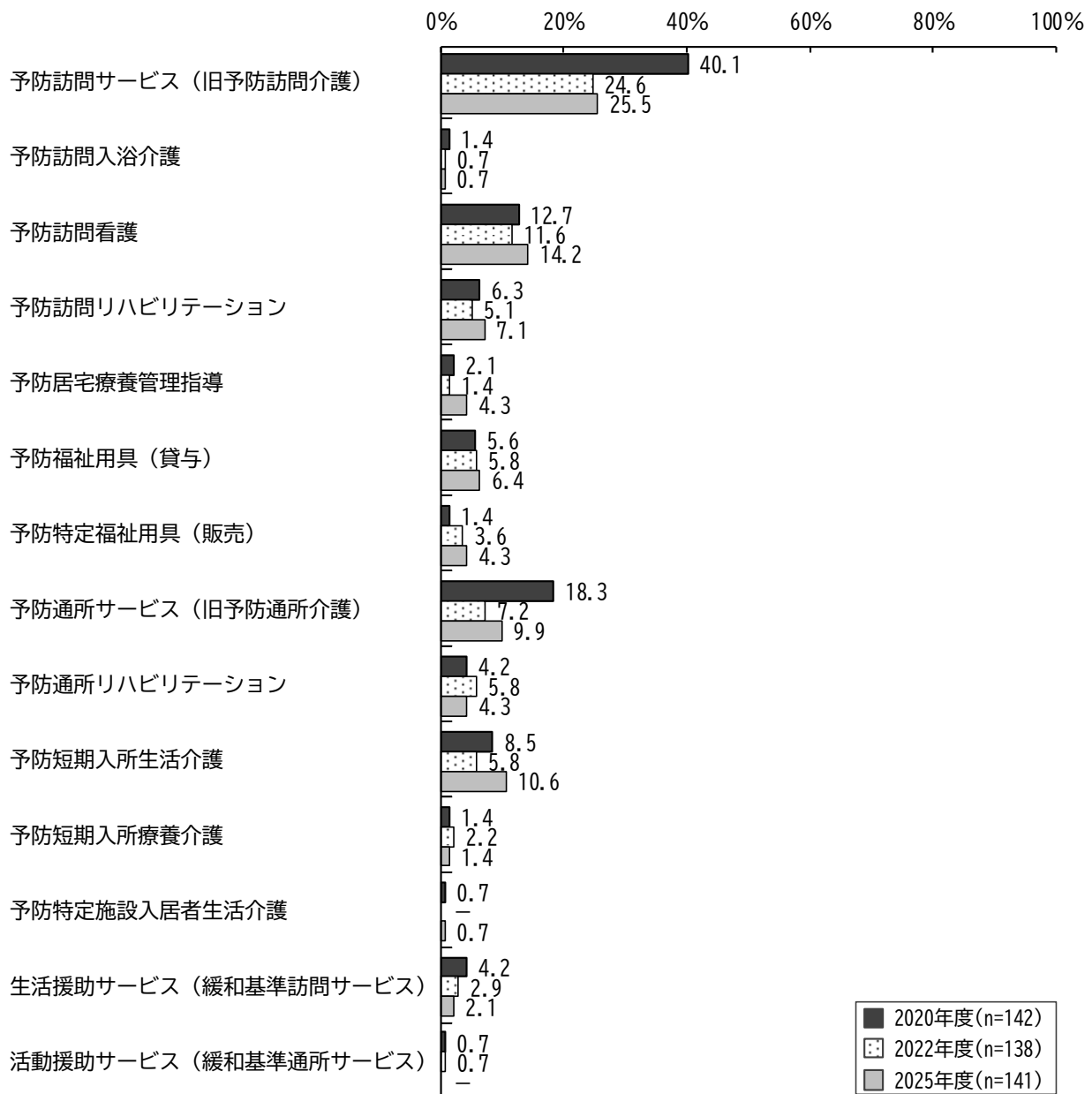
	基数	構成比 (%)
併設事業なし	8	5.7
無回答	17	12.1
全体	141	100.0



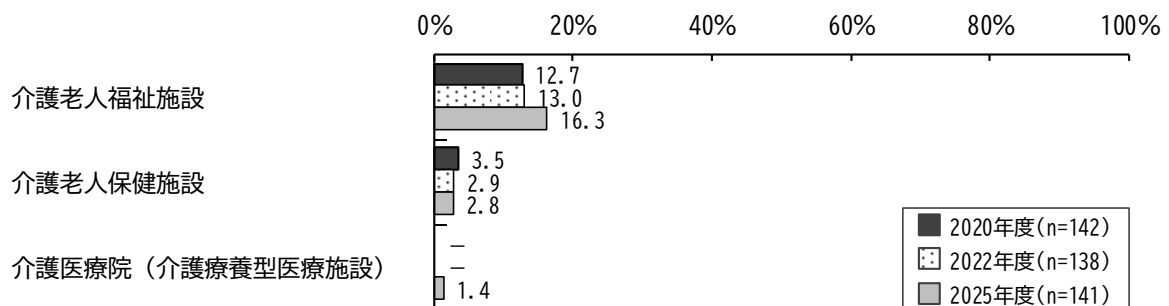
【経年比較】介護（居宅）サービス



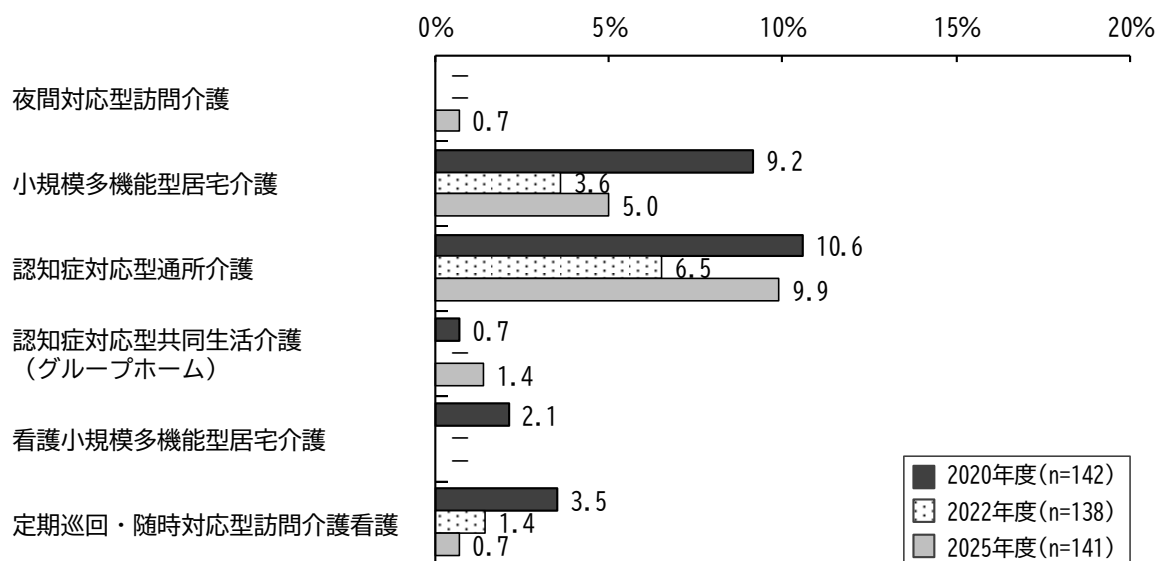
【経年比較】介護予防サービス



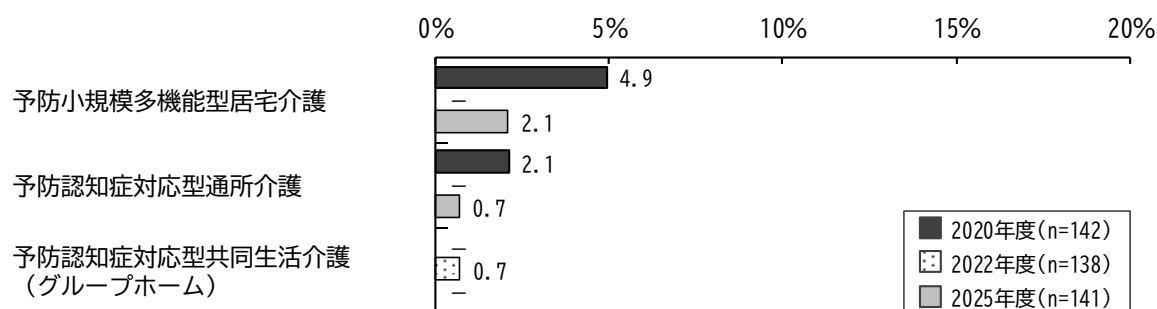
【経年比較】施設サービス



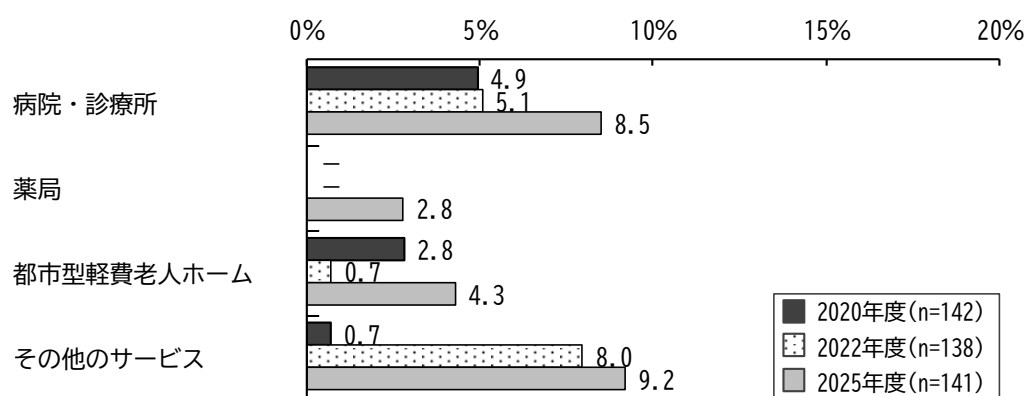
【経年比較】地域密着型サービス



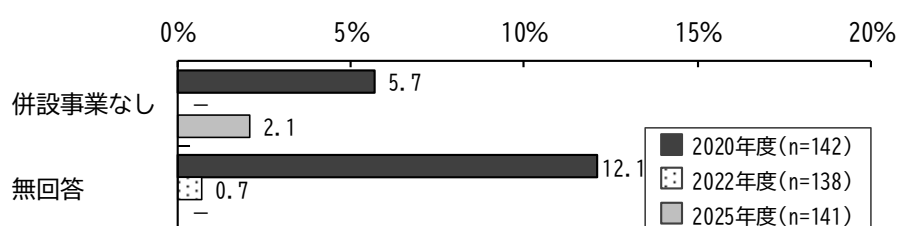
【経年比較】介護予防地域密着型サービス



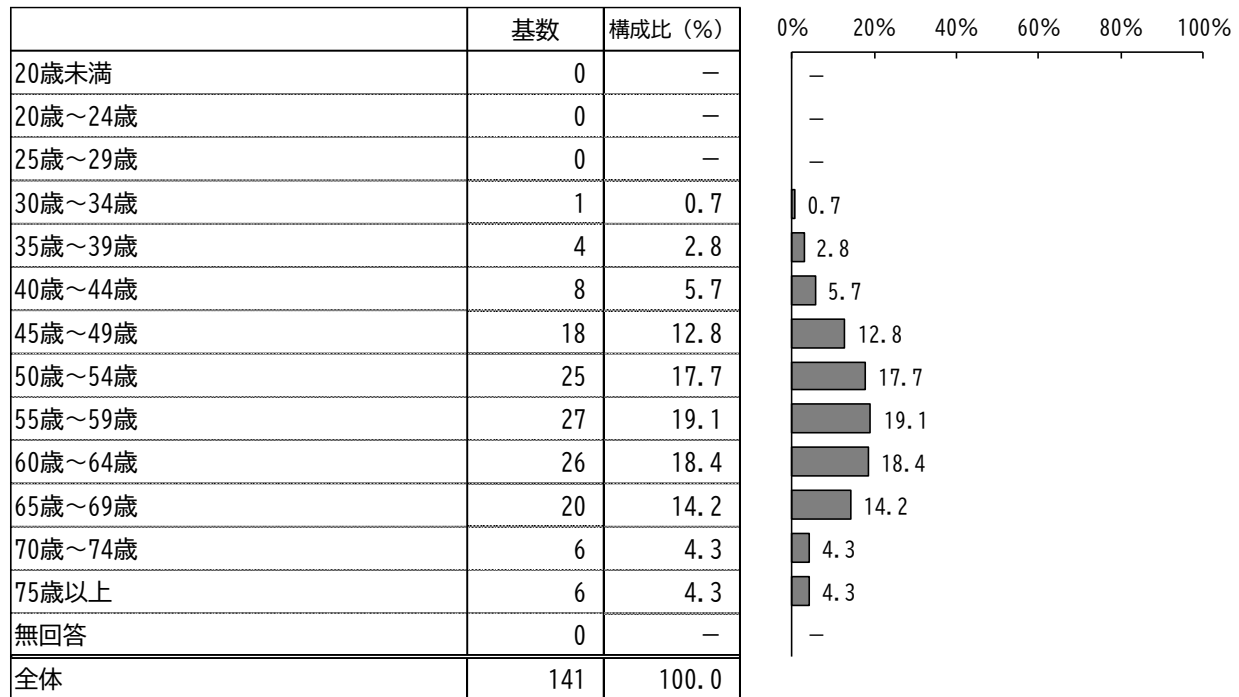
【経年比較】その他のサービス



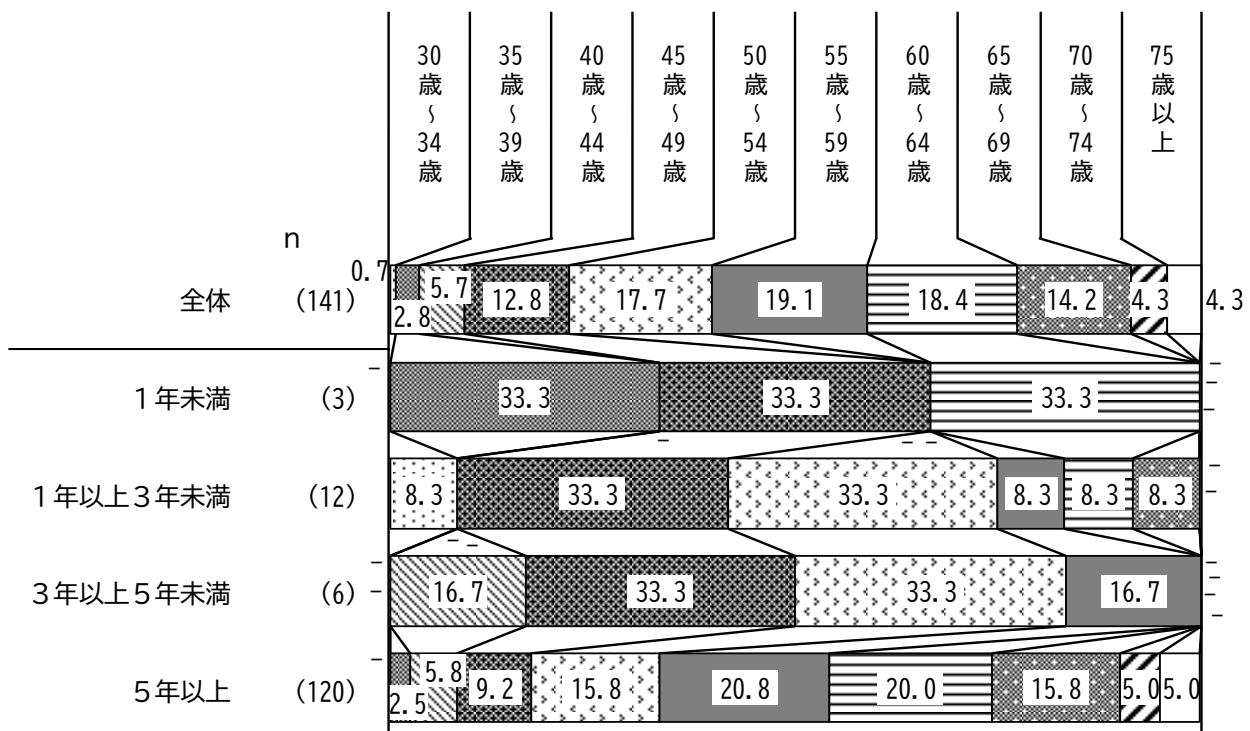
【経年比較】その他



1.3. 年代

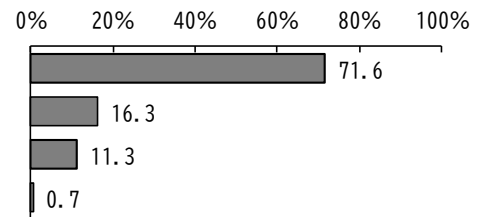


【従事年数】年代

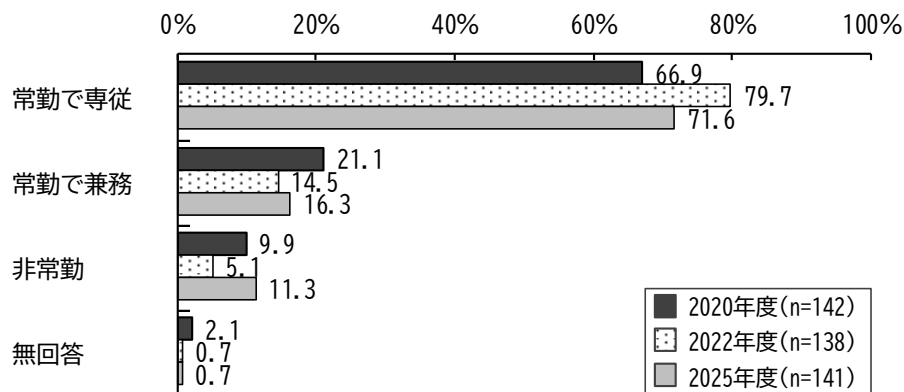


1.4. 勤務体系

	基数	構成比 (%)
常勤で専従	101	71.6
常勤で兼務	23	16.3
非常勤	16	11.3
無回答	1	0.7
全体	141	100.0

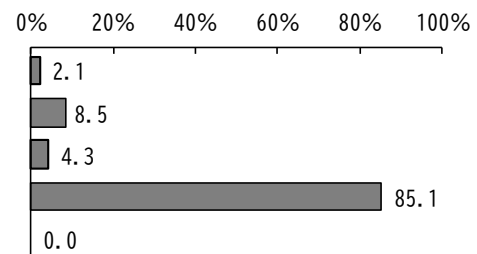


【経年比較】勤務体系

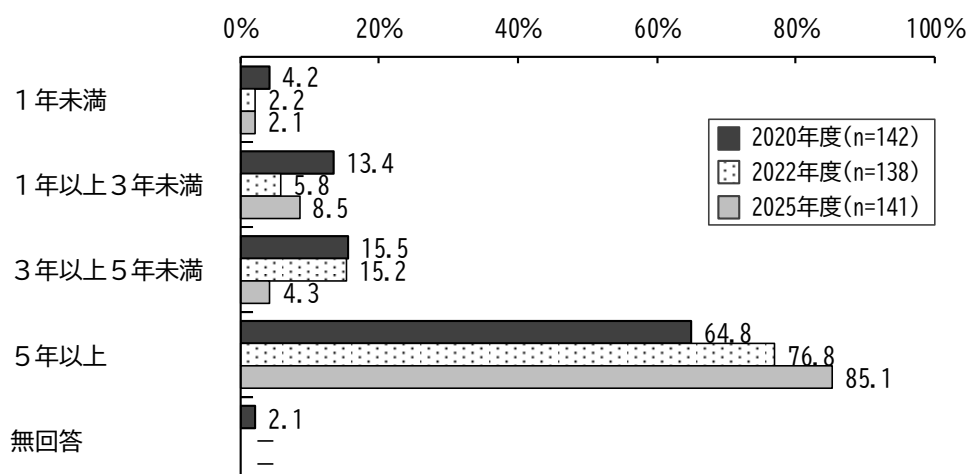


1.5. ケアマネジャーとしての従事期間

	基数	構成比 (%)
1年未満	3	2.1
1年以上3年未満	12	8.5
3年以上5年未満	6	4.3
5年以上	120	85.1
無回答	0	0.0
全体	141	100.0

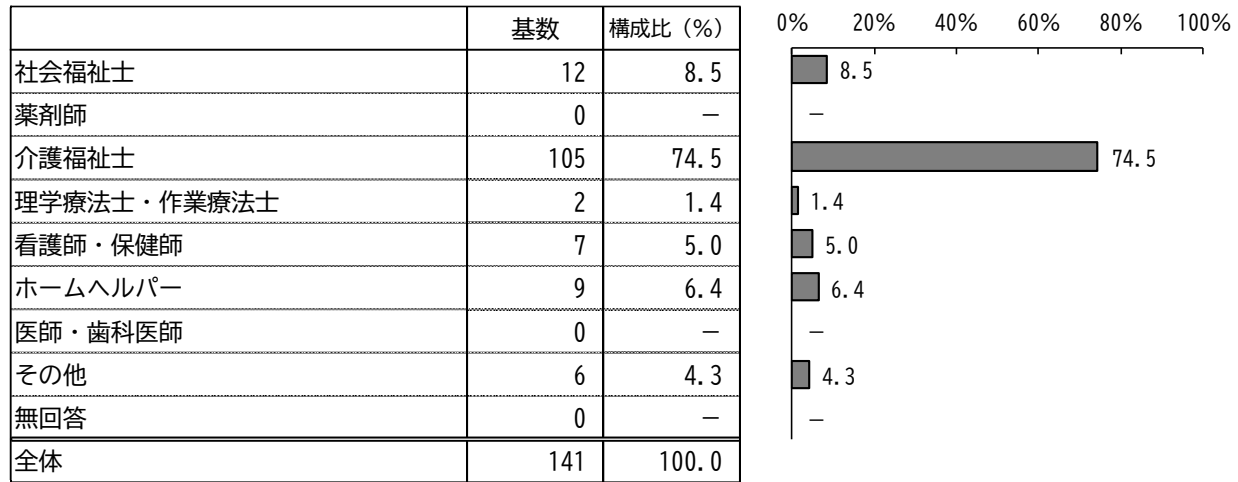


【経年比較】ケアマネジャーとしての従事期間

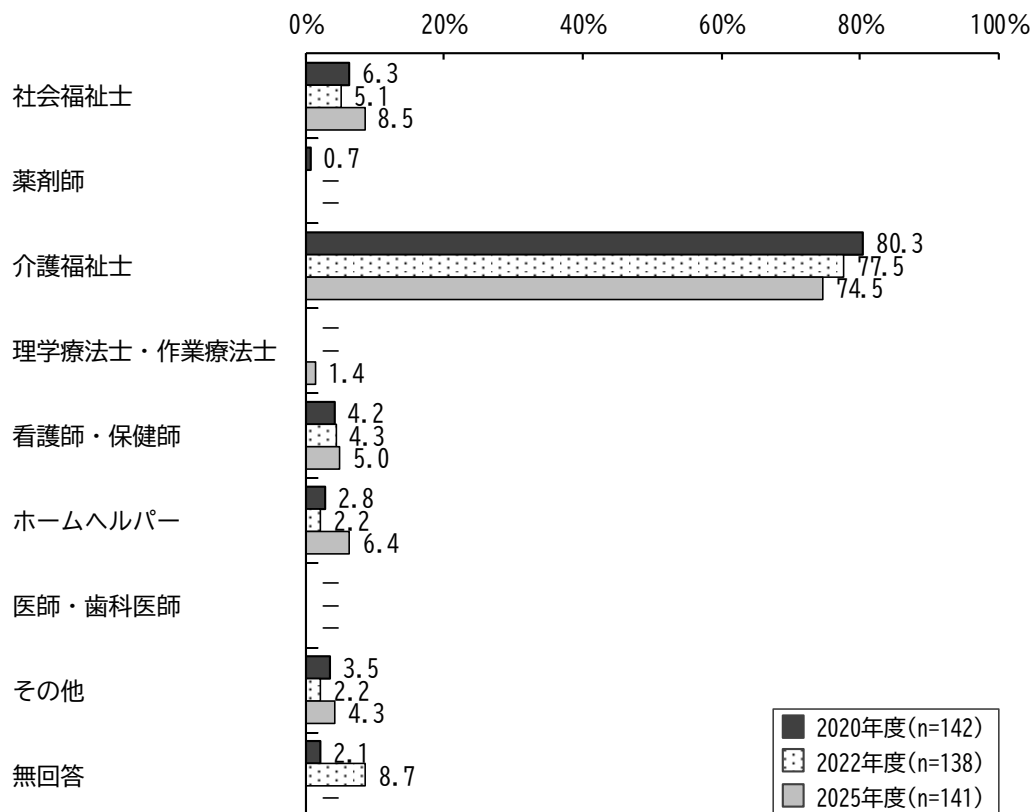


1.6. ケアマネジャー受験資格と当該職種の従事年数

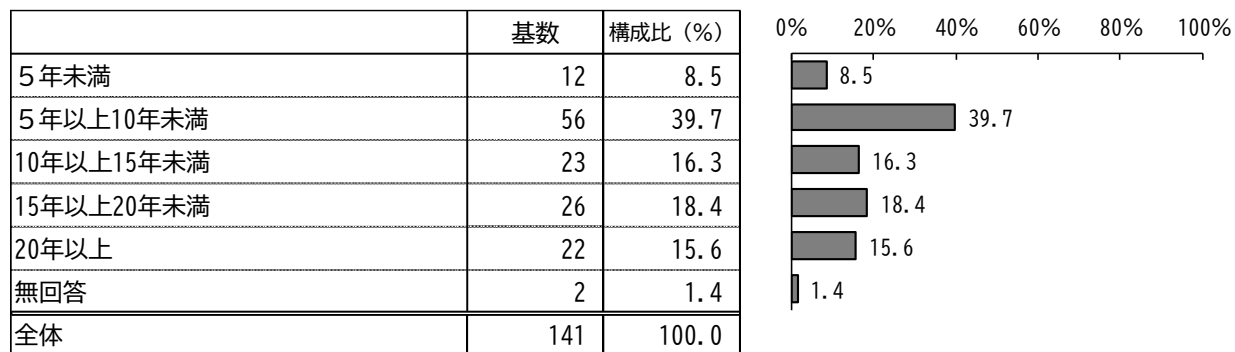
<受験資格>



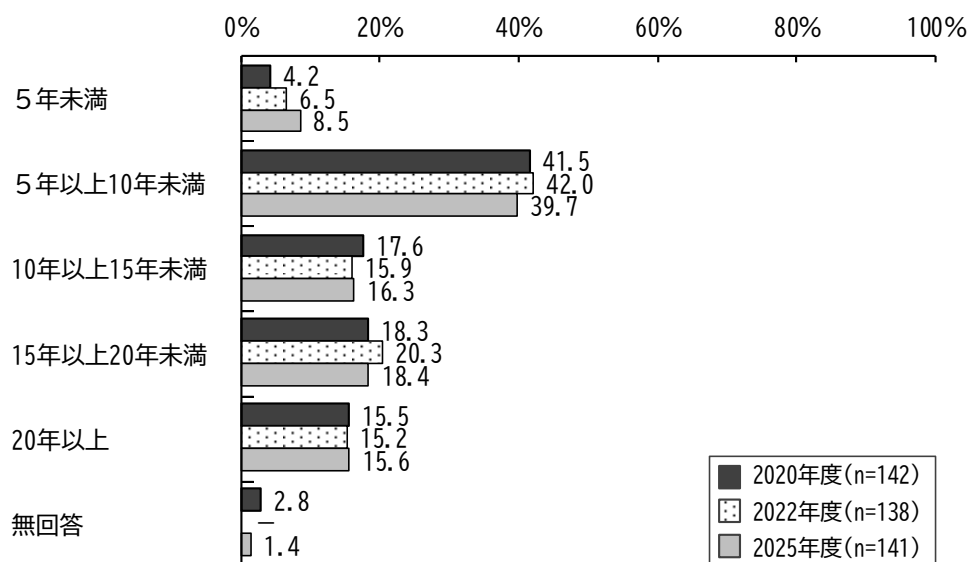
【経年比較】受験資格



<当該職種の従事年数>

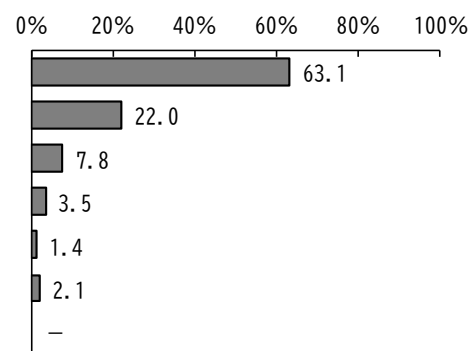


【経年比較】当該職種の従事年数

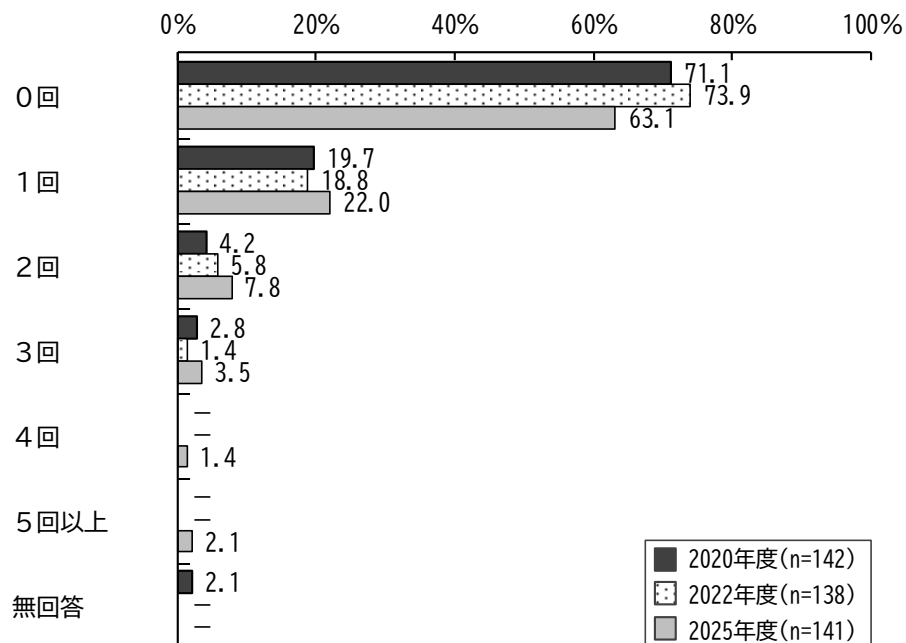


1.7. 過去3年間で、所属事業所を変った回数

	基数	構成比 (%)
0回	89	63.1
1回	31	22.0
2回	11	7.8
3回	5	3.5
4回	2	1.4
5回以上	3	2.1
無回答	0	—
全体	141	100.0

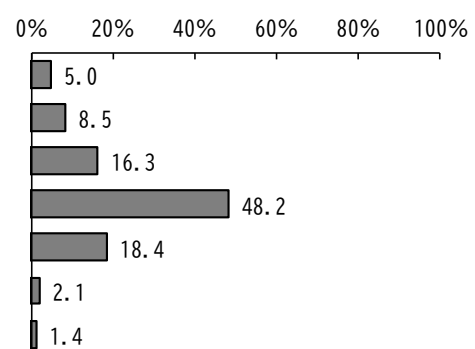


【経年比較】過去3年間で、所属事業所を変った回数

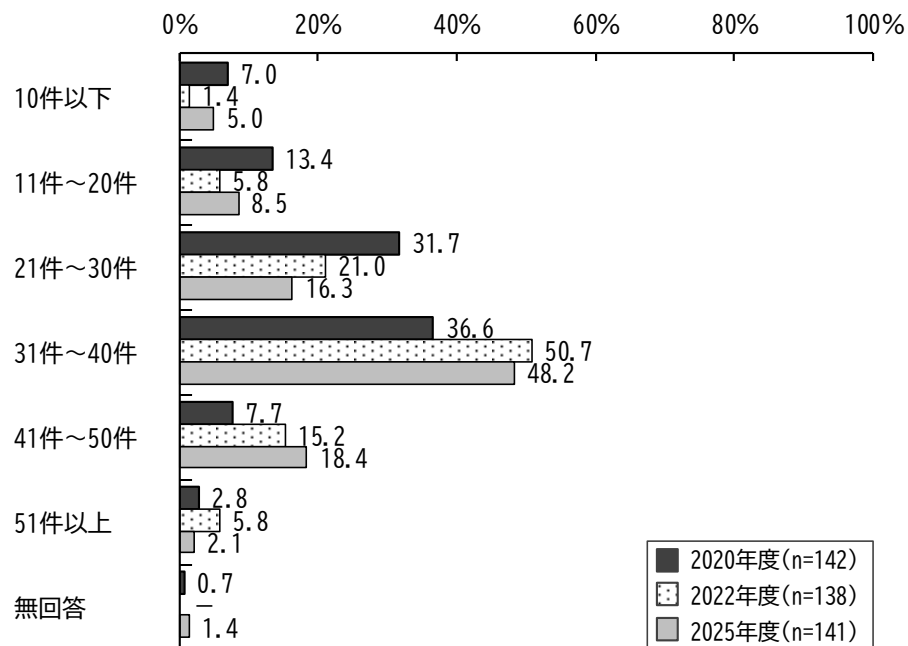


1.8. 給付管理件数

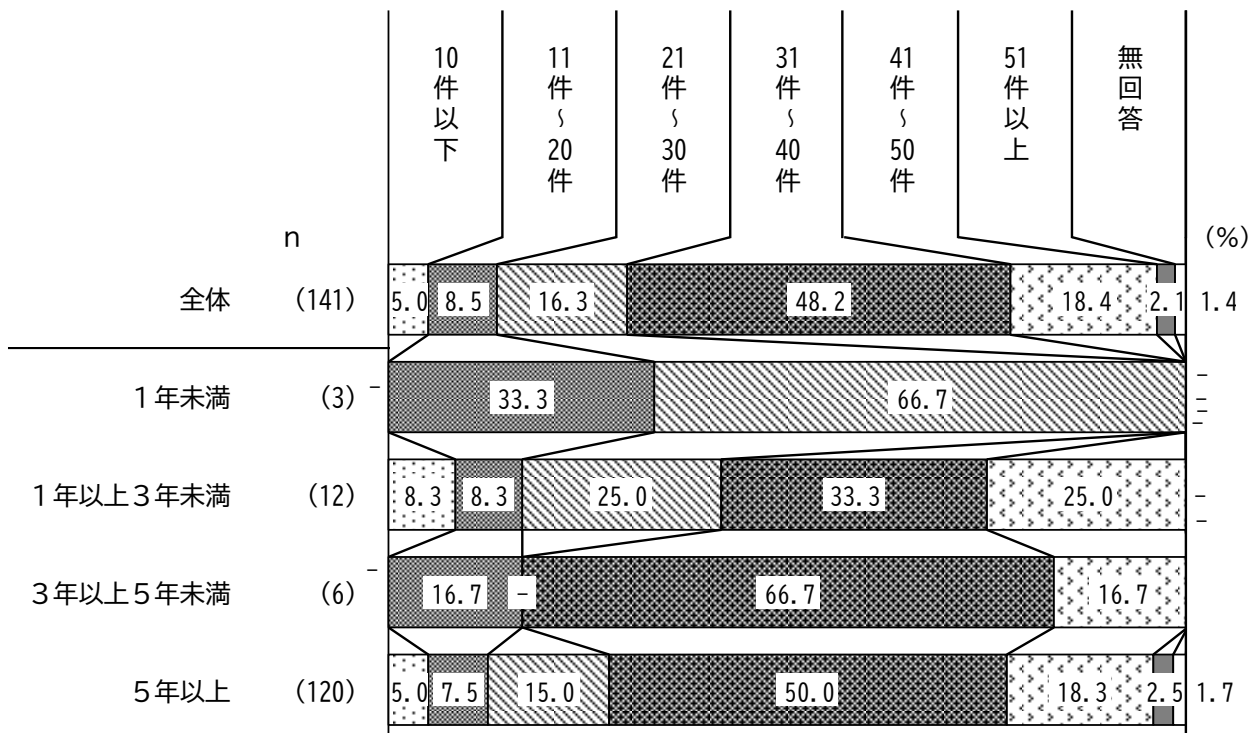
	基数	構成比 (%)
10件以下	7	5.0
11件～20件	12	8.5
21件～30件	23	16.3
31件～40件	68	48.2
41件～50件	26	18.4
51件以上	3	2.1
無回答	2	1.4
全体	141	100.0



【経年比較】給付管理件数

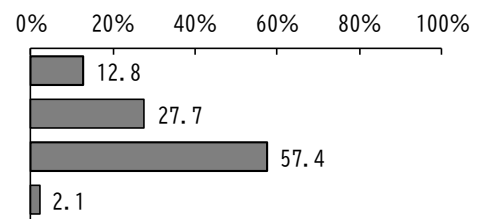


【従事年数】給付管理件数

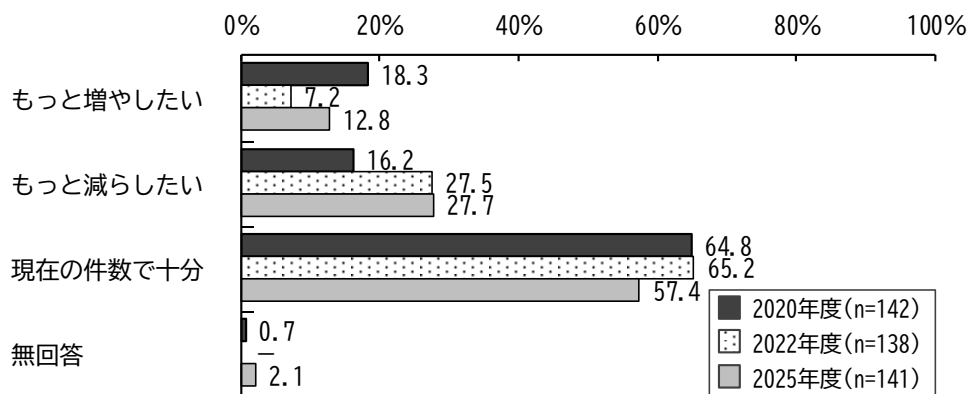


1.9. 作成する居宅サービス計画の件数

	基数	構成比 (%)
もっと増やしたい	18	12.8
もっと減らしたい	39	27.7
現在の件数で十分	81	57.4
無回答	3	2.1
全体	141	100.0

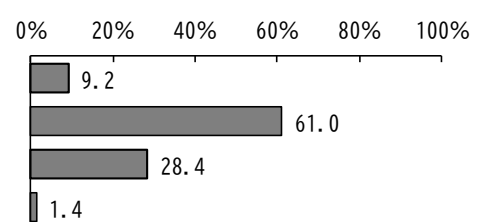


【経年比較】作成する居宅サービス計画の件数

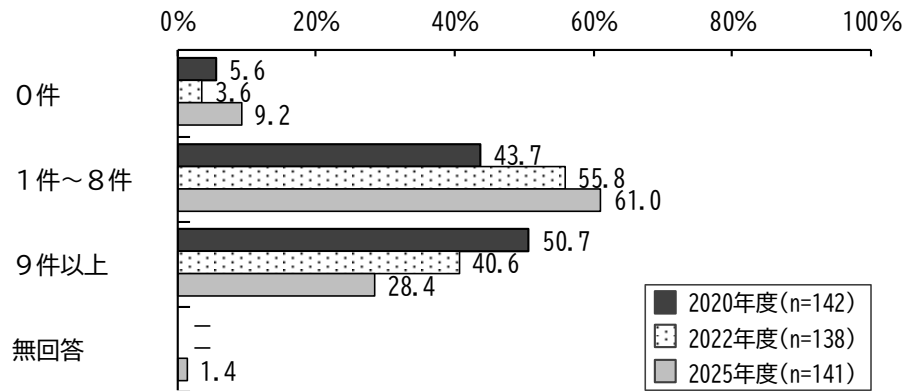


1.10. 介護予防サービス計画の受託または作成人数

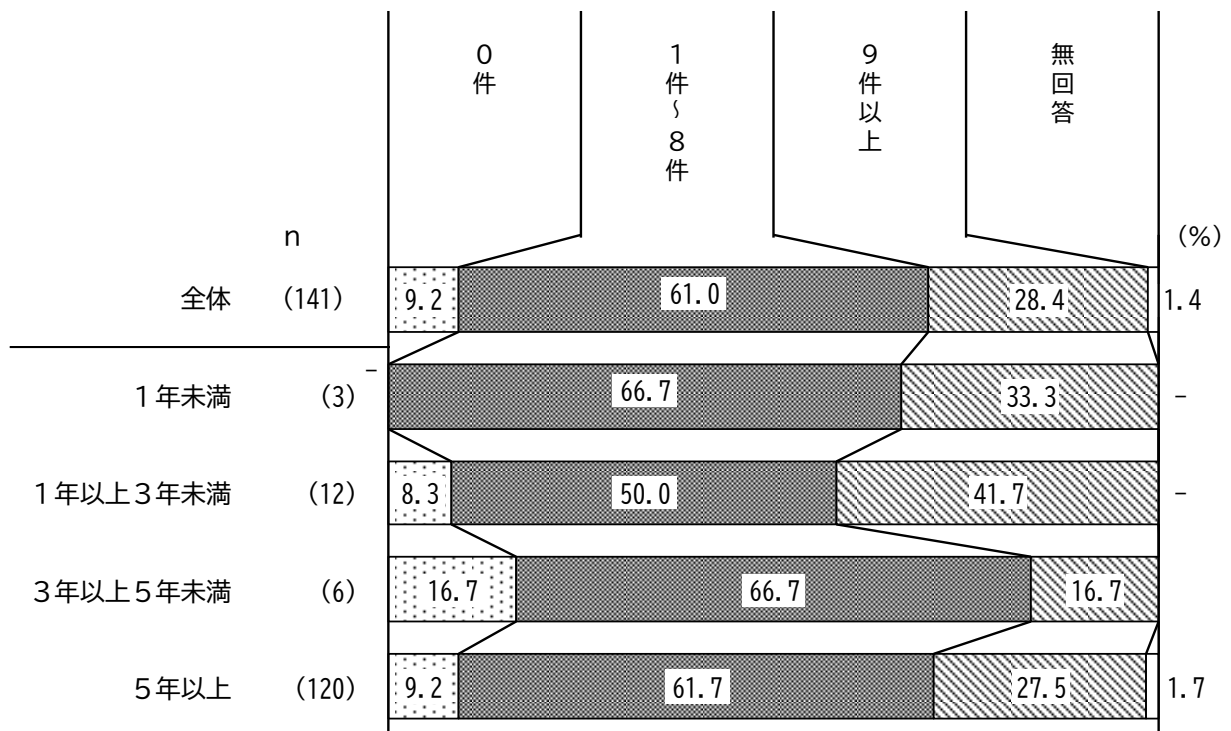
	基数	構成比 (%)
0件	13	9.2
1件～8件	86	61.0
9件以上	40	28.4
無回答	2	1.4
全体	141	100.0



【経年比較】介護予防サービス計画の受託または作成人数



【従事年数】介護予防サービス計画の受託または作成人数



2. ケアプラン・介護予防について

2.1. 作成するケアプランの件数について

◆ 「もっと減らしたい」が5割台半ば

(全員の方に)

問 11 受託または作成する介護予防サービス計画の件数について、次の中から選んでください。(○は1つ)

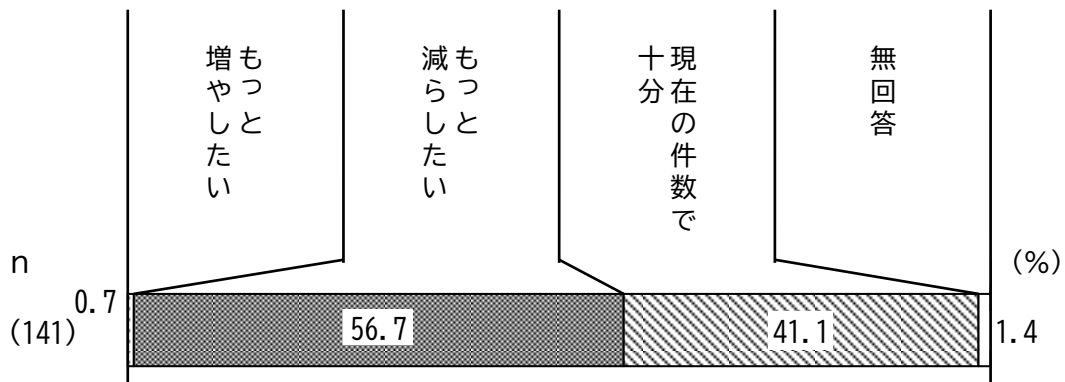


図 2-1 作成するケアプランの件数について

「もっと減らしたい」が5割台半ばを占めている。

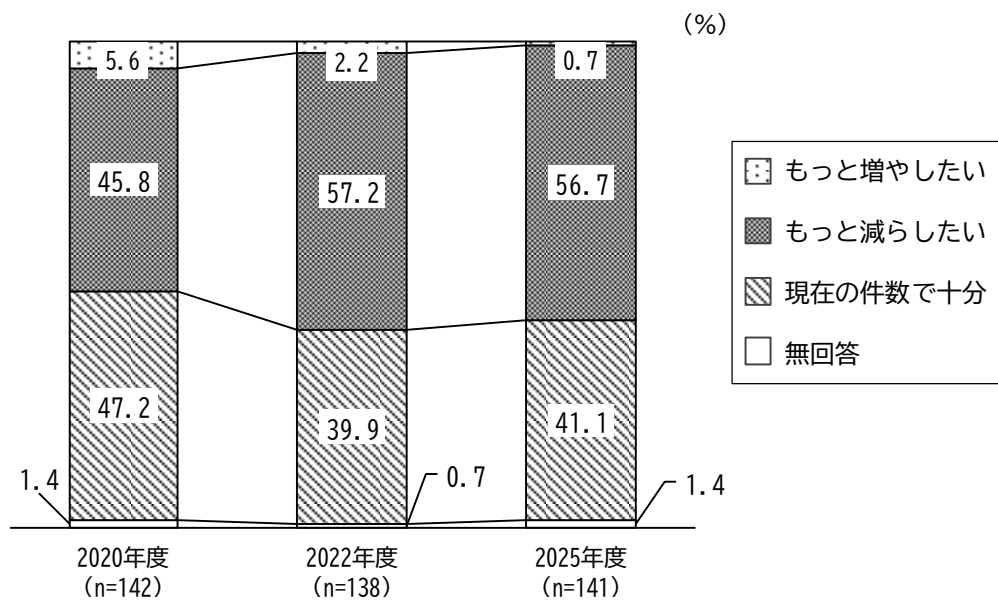


図 2-2 【経年比較】作成するケアプランの件数について

経年比較では、2022年度と比べて、大きな差異はみられない。

2.2. 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割

◆ 「ある程度果たしている」が6割台後半

(全員の方に)

問 12 介護保険制度は要介護者等の自立支援を目的の一つとしていますが、現行の介護サービスはその役割を十分果たしていると思いますか。(〇は1つ)

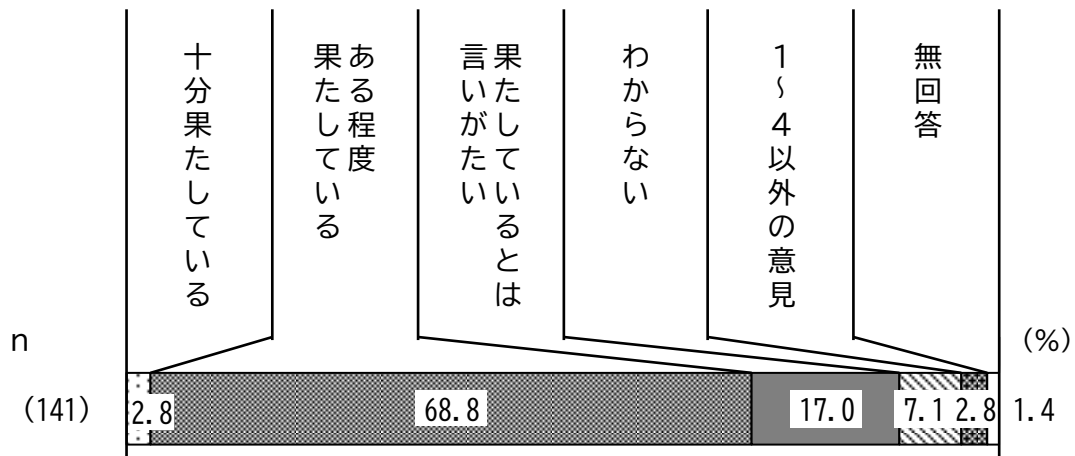


図 2-3 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割

「ある程度果たしている」が6割台後半を占めている。

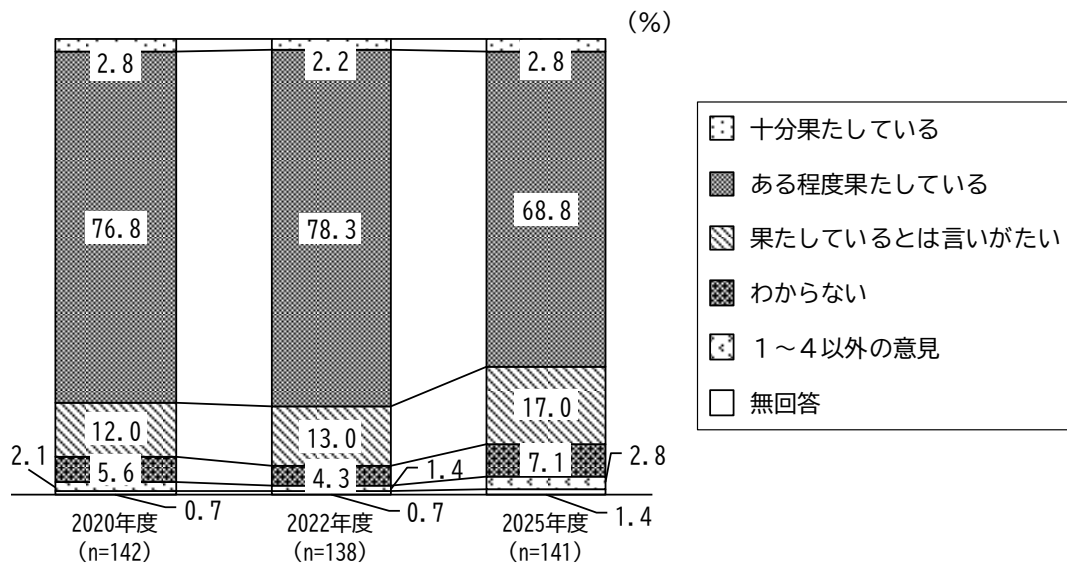


図 2-4 【経年比較】 現行の介護サービスが要介護者等の自立支援に果たす役割

経年比較では、2022年度と比べて、「ある程度果たしている」が9.5ポイント減少している。

2.3. 地域の自主グループをどのくらい知っているか

◆ 「1～5」が6割台前半

(全員の方に)

問 13 地域の自主グループをどのくらい知っていますか。(〇は1つ)

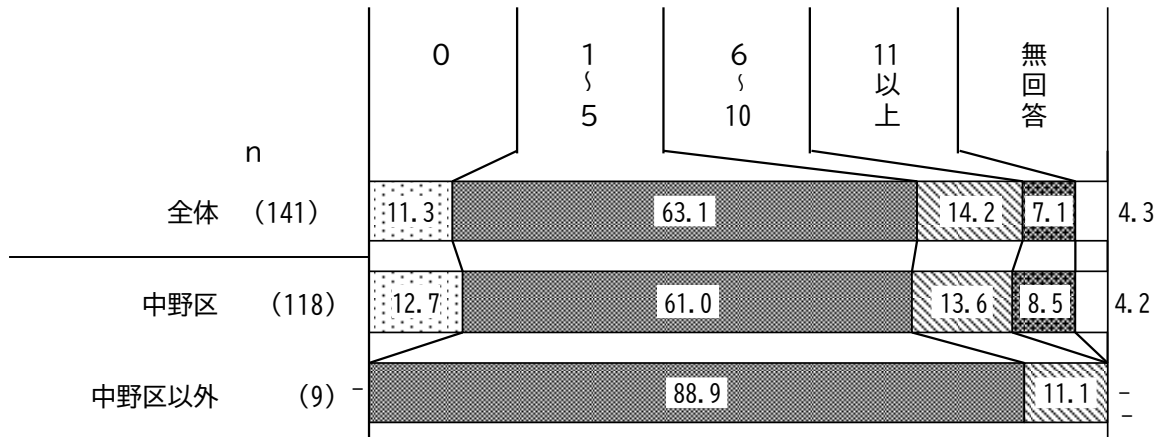
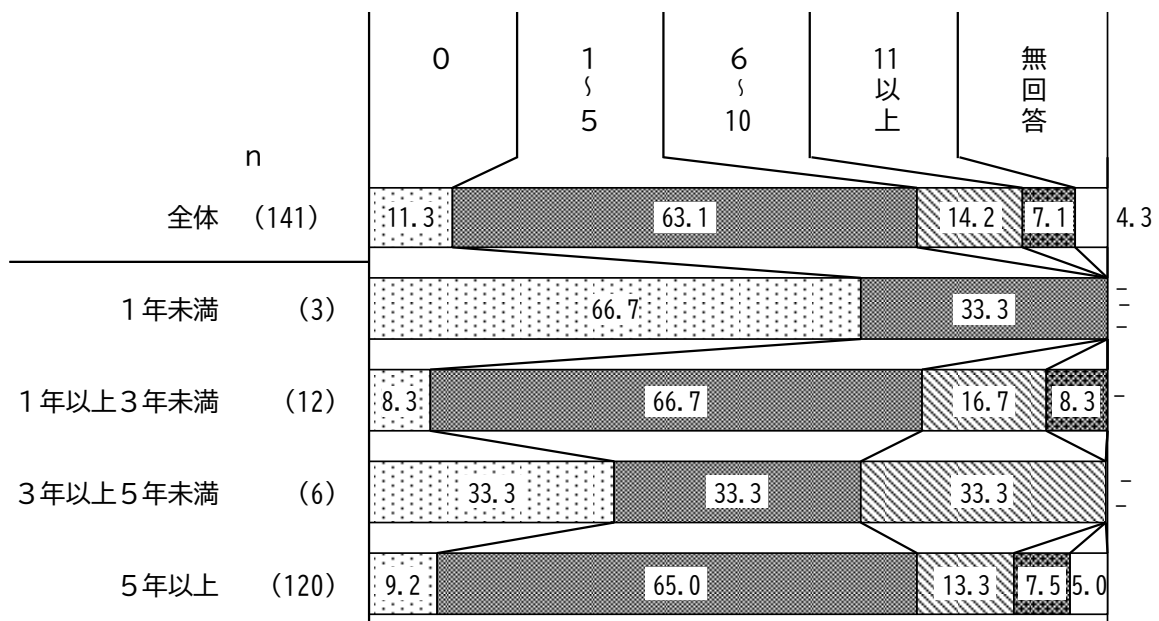


図 2-5 地域の自主グループをどのくらい知っているか

「1～5」が6割台前半を占めている。

事業所の所在地別では、いずれも「1～5」が最も高くなっている。

【従事年数別】地域の自主グループをどのくらい知っているか



従事年数別では、1年以上3年未満と5年以上で「1～5」が6割台半ばを占めている。

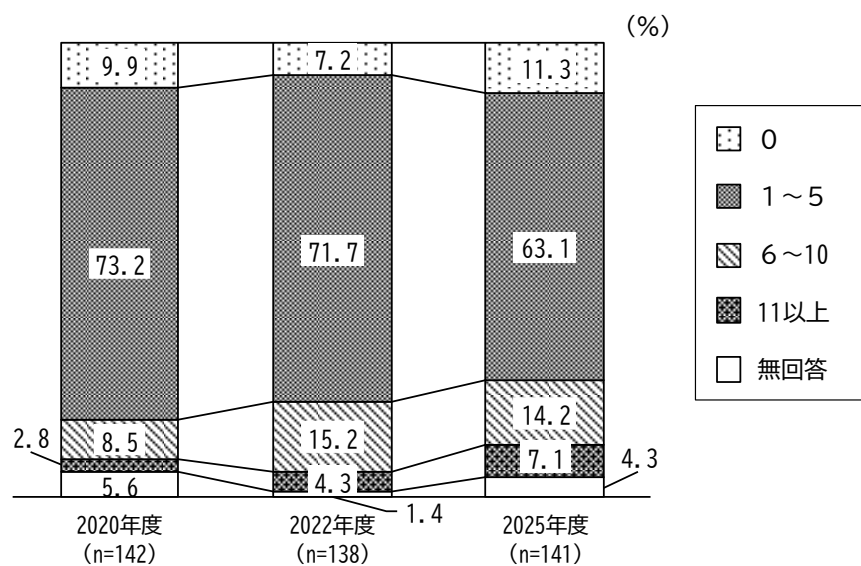


図 2-6 【経年比較】地域の自主グループをどのくらい知っているか

経年比較では、2022 年度と比べて、「1~5」が 8.6 ポイント減少している。

2.4. ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

◆ 「はい」が8割台後半

(全員の方に)

問 14 ケアプランに介護保険外のボランティアや地域活動等の地域資源を盛り込んでいますか。(○は1つ)

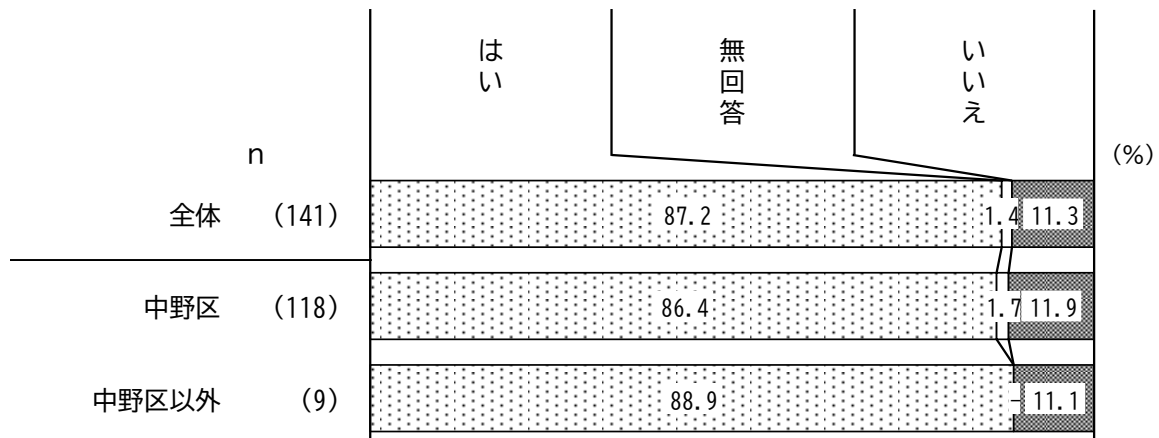
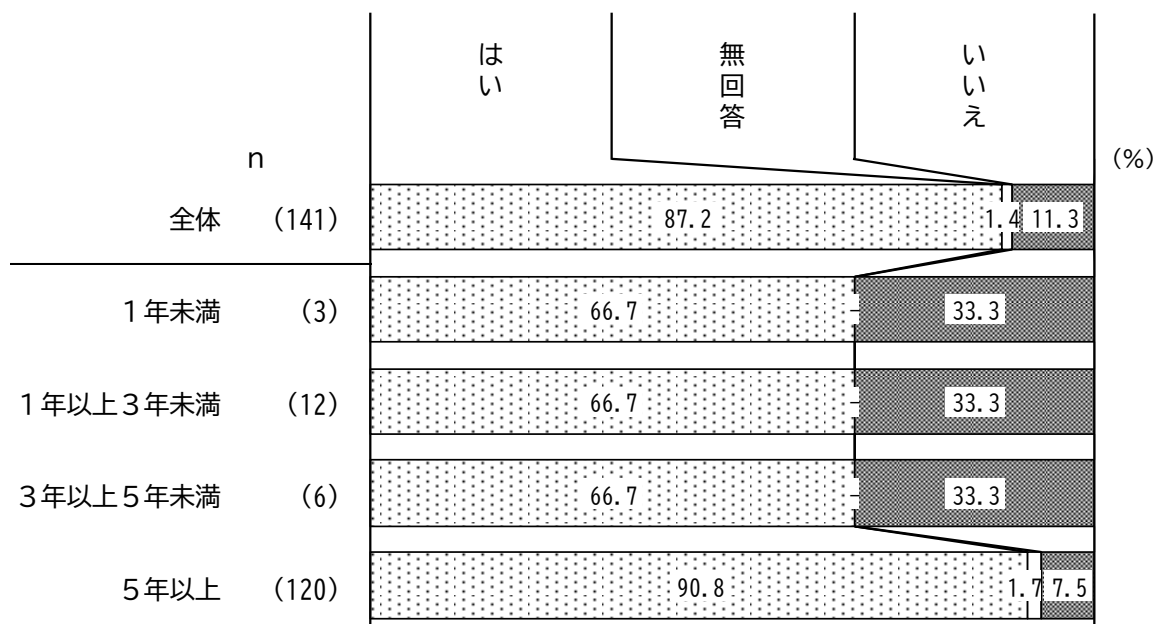


図 2-7 ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

「はい」が8割台後半を占めている。

事業所の所在地別では、中野区で「はい」が8割台半ばを占めている。

【従事年数別】ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか



従事年数別では、5年以上で「はい」が約9割を占めている。

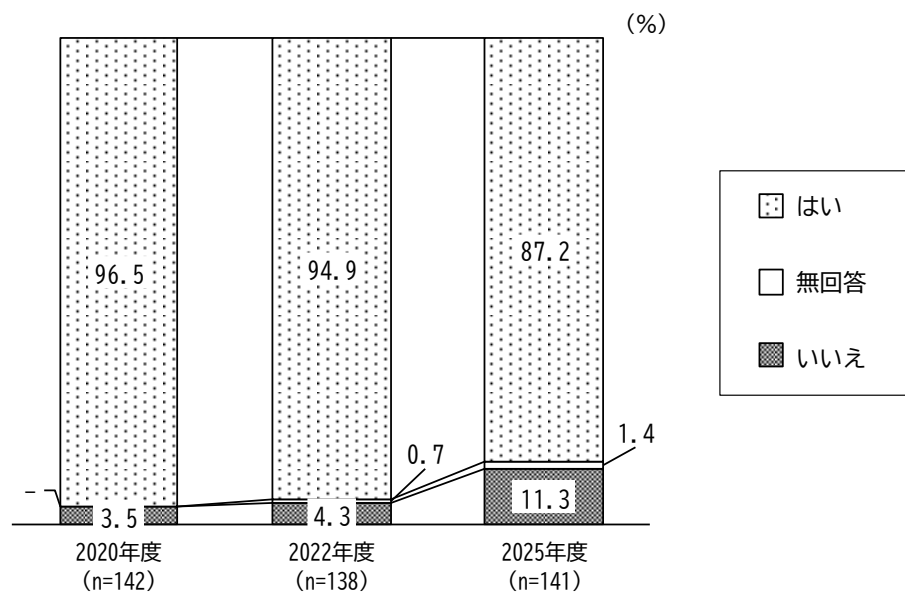


図 2-8 【経年比較】ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

経年比較では、2022 年度と比べて、「いいえ」が 7.0 ポイント増加している。

2.5. ケアプランに盛り込んでいる地域資源

◆ 「民間の配食サービス」が9割台前半

(問14で「はい」と回答した方に)

問14A 具体的にケアプランに盛り込んでいる地域資源はなんですか。
(あてはまるものすべてに○)

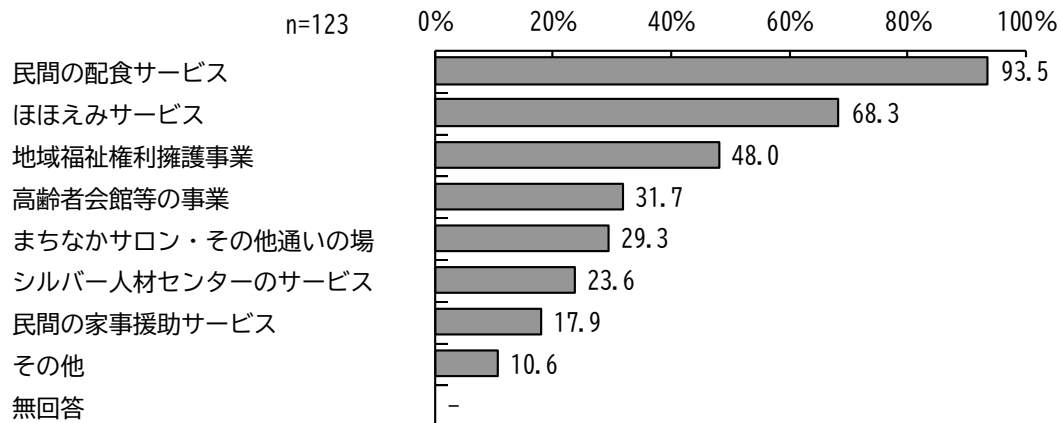


図2-9 ケアプランに盛り込んでいる地域資源

「民間の配食サービス」が9割台前半で最も高く、次いで「ほほえみサービス」が6割台後半となっており、ともに高い割合を占めている。

【事業所の所在地別】ケアプランに盛り込んでいる地域資源

単位：％

	有効回答数(件)	民間の配食サービス	ほほえみサービス	地域福祉権利擁護事業	高齢者会館等の事業	まちなかサロン・その他通いの場	のシルバー人材センター	民間の家事援助サービス	その他	無回答
全体	123	93.5	68.3	48.0	31.7	29.3	23.6	17.9	10.6	-
中野区	102	95.1	71.6	47.1	31.4	30.4	22.5	16.7	10.8	-
中野区以外	8	87.5	25.0	62.5	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	-

【従事年数別】ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか

単位：％

	有効回答数（件）	民間の配食サービス	ほほえみサービス	地域福祉権利擁護事業	高齢者会館等の事業	まちなかサロン・その他通いの場	シルバー人材センターのサービス	民間の家事援助サービス	その他	無回答
全体	123	93.5	68.3	48.0	31.7	29.3	23.6	17.9	10.6	-
1年未満	2	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-
1年以上3年未満	8	100.0	75.0	25.0	50.0	37.5	37.5	12.5	-	-
3年以上5年未満	4	75.0	25.0	75.0	-	50.0	-	-	50.0	-
5年以上	109	93.6	69.7	48.6	32.1	28.4	23.9	19.3	9.2	-

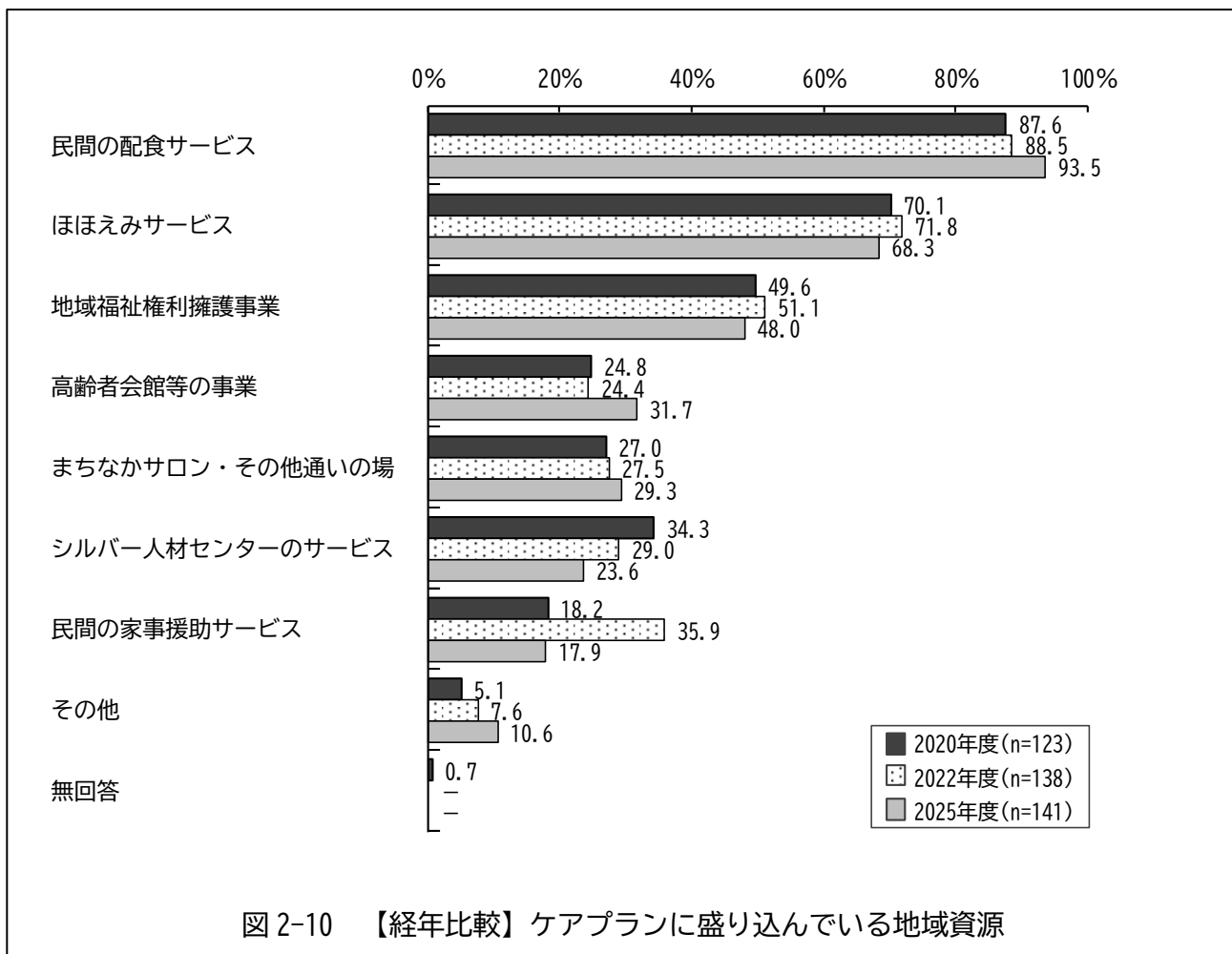


図 2-10 【経年比較】ケアプランに盛り込んでいる地域資源

経年比較では、2022 年度と比べて、「民間の家事援助サービス」が 18.0 ポイント減少しており、反対に「高齢者会館等の事業」が 7.3 ポイント増加している。

2.6. ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題（自由回答）

（全員の方に）

問 15 ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題は何だと思われますか。ご自由にお書きください。

ケアプランに地域資源を盛り込む上での課題について、85 件の回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

- 全ての方にマッチする地域資源がなかなかないこと。
- 独居、見守り支援。独居の人でも、認知症になったとしても、地域で自分らしく幸せに暮らせること。
- 利用までの手続に時間がかかる。認知低下があると利用に結びつけられない。key パーソン不在だと、ケアマネが契約や支払の支援を行う事になる。
- 独居で身寄りがなく、知人もいない、収入の低い方は盛り込みづらい。
- 通いの場まで 1 人行けない方もいる、担い手がない
- 限られた時間内でのケアプラン作成に盛り込んでいくのが大変かもしれません。特に新規の方については細かく説明する必要があるからです。
- サービス利用までに時間を要する。利用要件や種類が限定されてしまう（特に費用面）
- 地域資源のモニタリングまでしなければならないのが負担です。
- ケアプランに記載する以上は、担当者会議召集、声かけすべきと思うが、なかなか実現できない
- ほほえみサービスや民間の家支援、シルバー人材、といった人がいないとサービスに結びつかない。いずれも人手が減っているのが課題と感じる。
- 通いの場合、往復の移動見守り支援ができるインフォーマルSVが無い。生保の場合、自費発生するものは位置づけし辛い。配食がどこも値上がりしている
- 要介護者が受けられる地域資源の少なさ。支援の方でも、外出に介助を要す。出かけるには移動サービスが必要。訪問には、手伝う側の心の余裕。ボランティア的な善意に頼る時代ではないと思う。何らか対価なのか、ポイントなのか活動に見あった何かがなければ、インフォーマルでも成り立たないのでは。
- 知られていない地域資源がある。行きたい地域資源があっても利用者自身がたどりつけない→遠い、迎えが来れば家から出る等
- 地域資源が足りない。地域資源を作り出す為の話し合いをどのように相談していけばいいかわからない。そもそも現在の仕事量では話し合いの時間を作ることも難しい。
- 権利擁護事業はなかなかご理解いただけないことが多い。
- 地域資源側と個人情報どこまで共有するか
- ケアマネ自ら知識を取り入れて頻繁に利用していくべき。それを続けていく事で、必要なサービスや、不要のサービスが分かって来る。
- ケアマネジメントの域を越えてソーシャルワークになっているので、逆に介護サービスを利用しなくても報酬を出せる仕組みが必要だと思う。
- 利用していれば盛り込む上での課題はないが、地域のケアマネジャーがどれだけ地域資源を知っていて利用者に提案できるかが課題。
- 沢山の地域資源を入れ込むと、連携が取りにくい。

2.7. 供給不足のため、利用者に提供できないサービス

◆「介護老人保健施設」が3割台半ば

(全員の方に)

問16 ケアプランを作成する際に、中野区内でサービス供給が不足しているため、利用者に提供できない(しにくい)サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

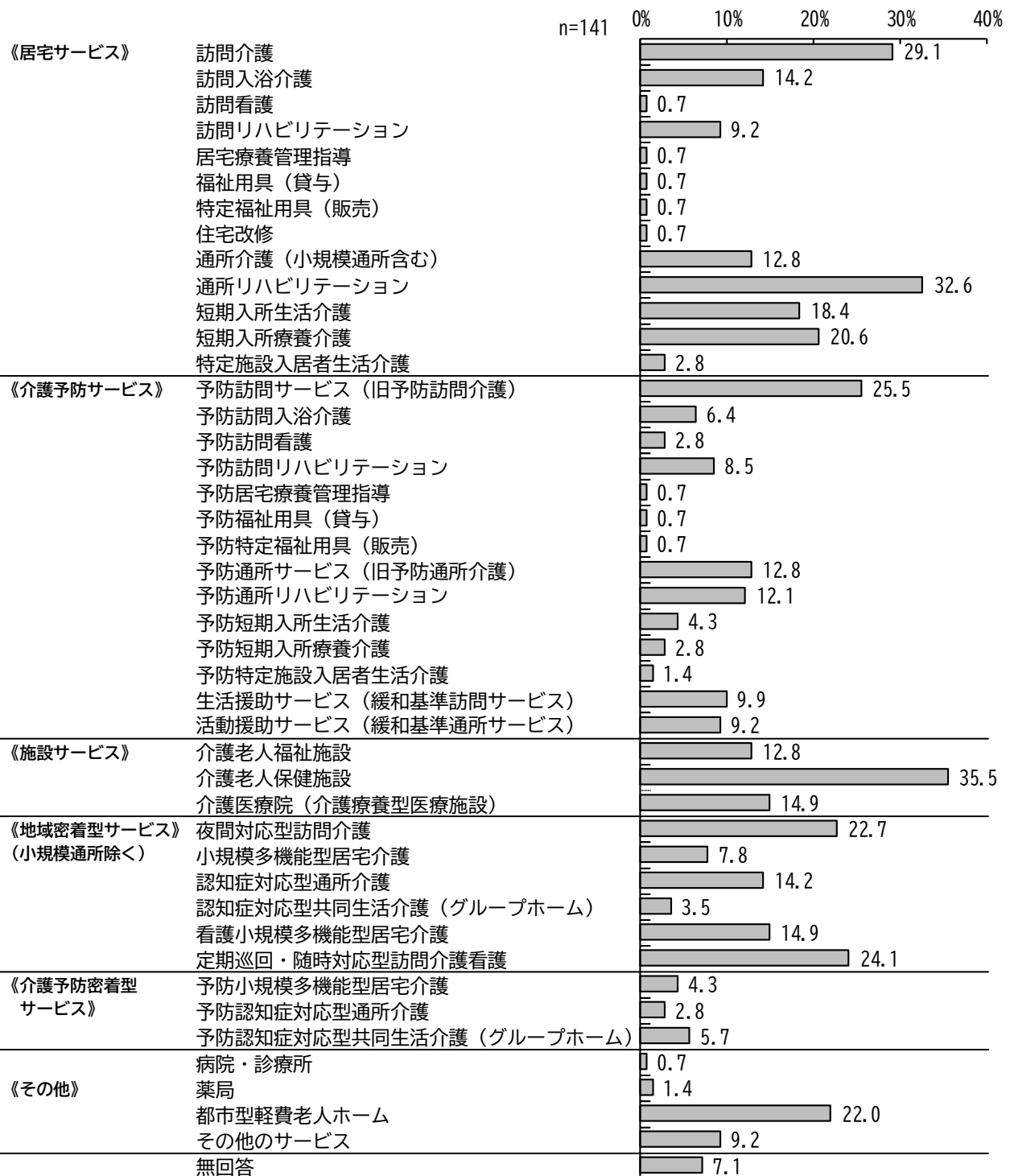


図 2-11 供給不足のため、利用者に提供できないサービス

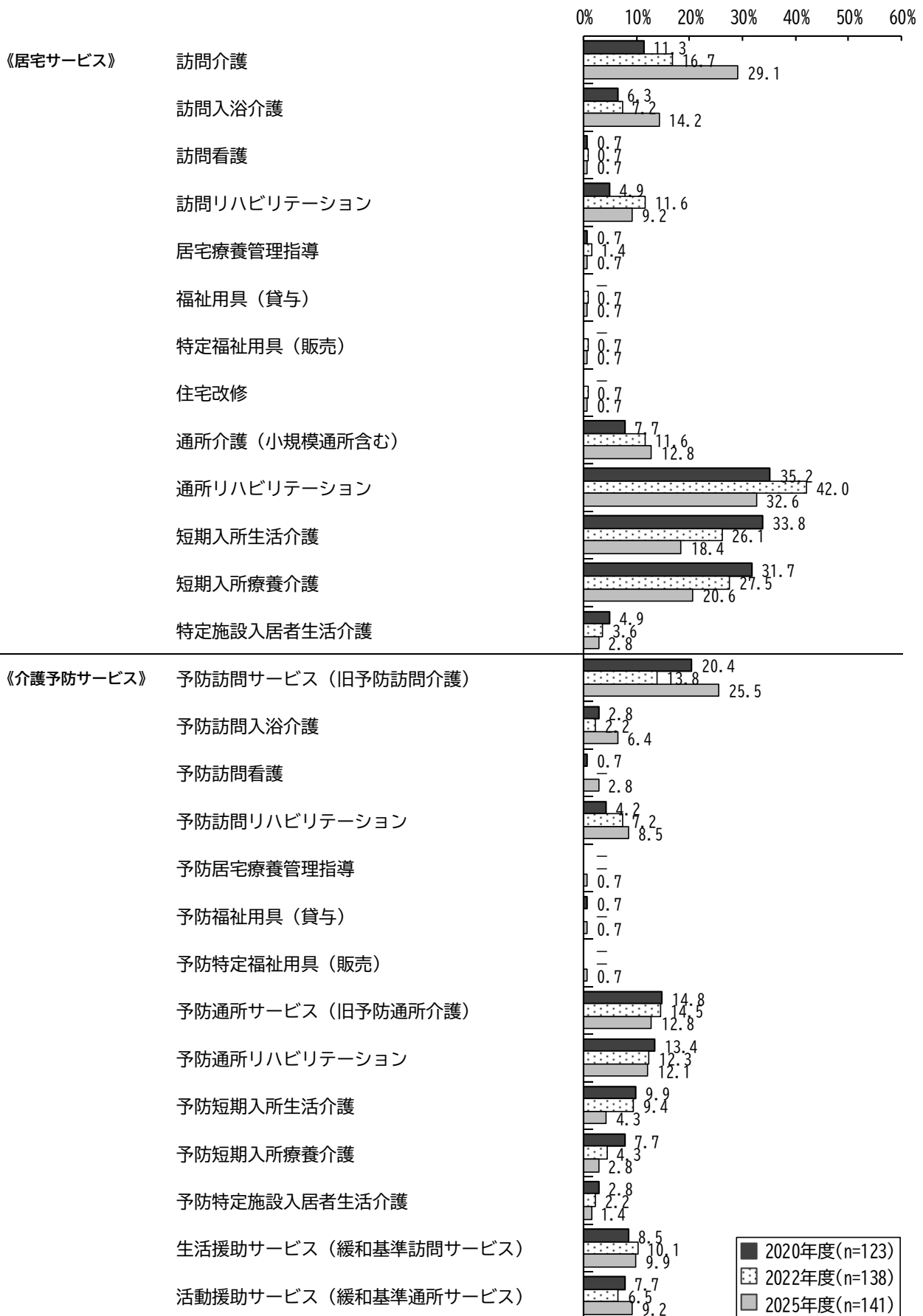
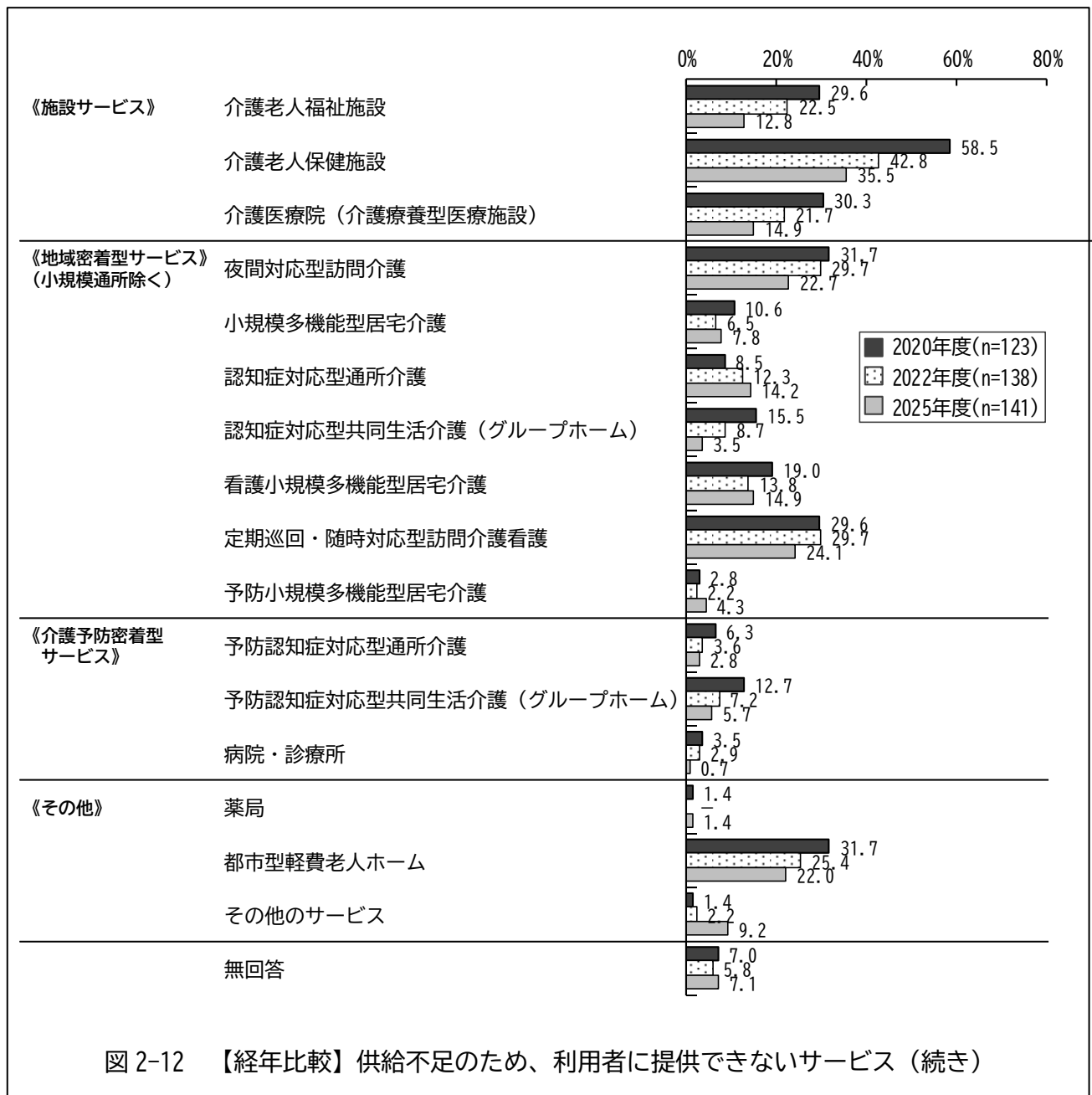


図 2-12 【経年比較】供給不足のため、利用者に提供できないサービス



ケアプランを作成する際に、中野区内でサービス供給が不足しているため、利用者に提供できない（しにくい）サービスは、「介護老人保健施設」が35.5%で最も高く、以下「通所リハビリテーション」、「訪問介護」、「予防訪問サービス（旧予防訪問介護）」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」などとなっている。

経年比較では、2022年度と比べ、「訪問介護」「予防訪問サービス（旧予防訪問介護）」は10ポイント以上の増加となっている。一方、「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」「短期入所療養介護」「予防短期入所生活介護」は5ポイント以上の減少となっている。

2.8. 供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合

◆ 「経済的事情により費用負担が困難」が4割台半ば

(全員の方に)

問 17 供給不足以外に必要なサービスが提供（調整）出来ないのはどのような場合ですか。
(○は1つ)

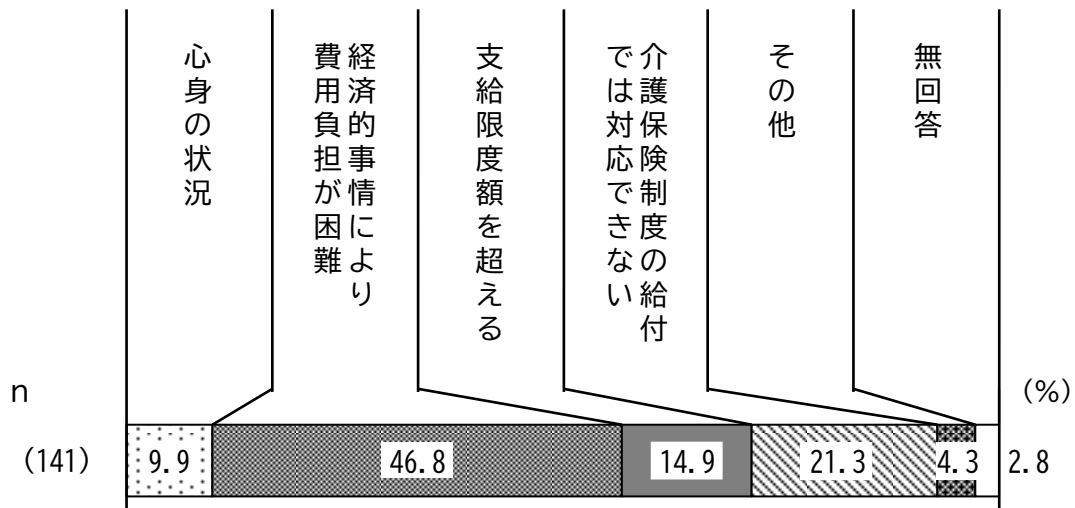


図 2-13 供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合

「経済的事情により費用負担が困難」が4割台半ばで最も高くなっている。

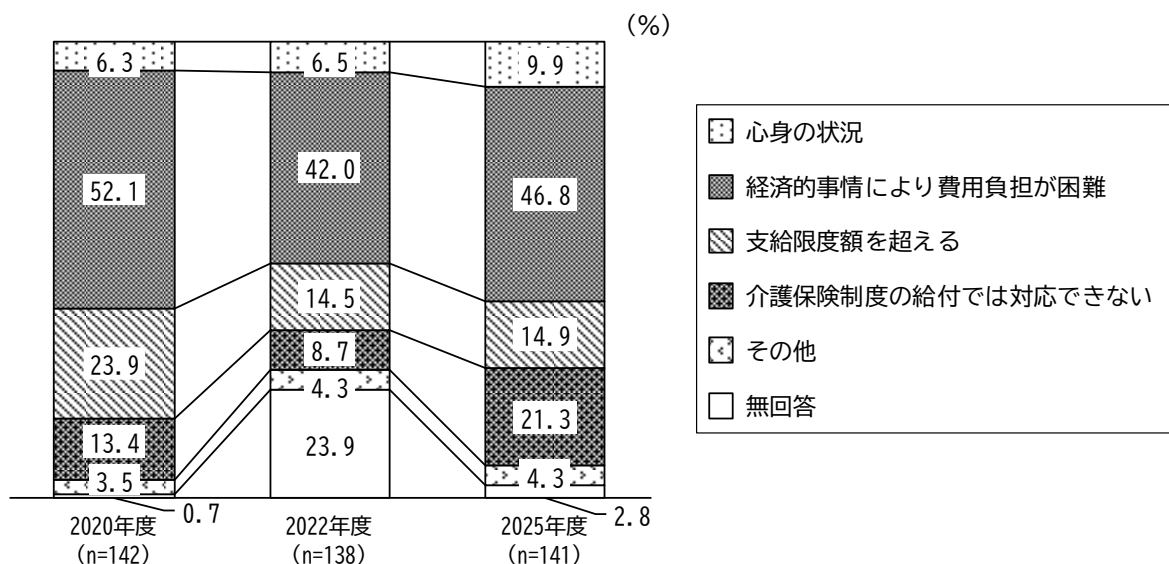


図 2-14 【経年比較】供給不足以外に必要なサービスが提供できない場合

経年比較では、2022 年度と比べて、「介護保険制度の給付では対応できない」が12.6 ポイント増加している。

2.9. 介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか

◆ 「ある程度つながっている」が7割台後半

(全員の方に)

問 18 介護保険サービスは、家族の介護負担軽減につながっていると思いますか。(○は1つ)

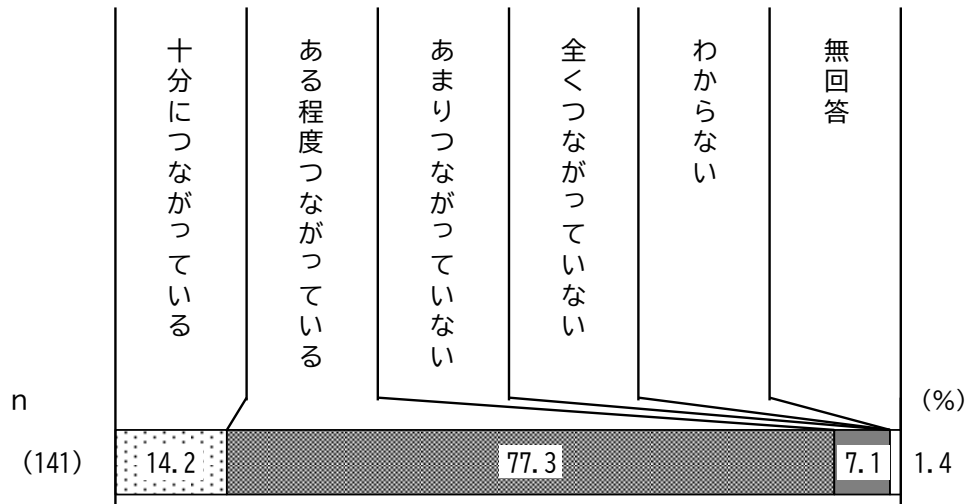
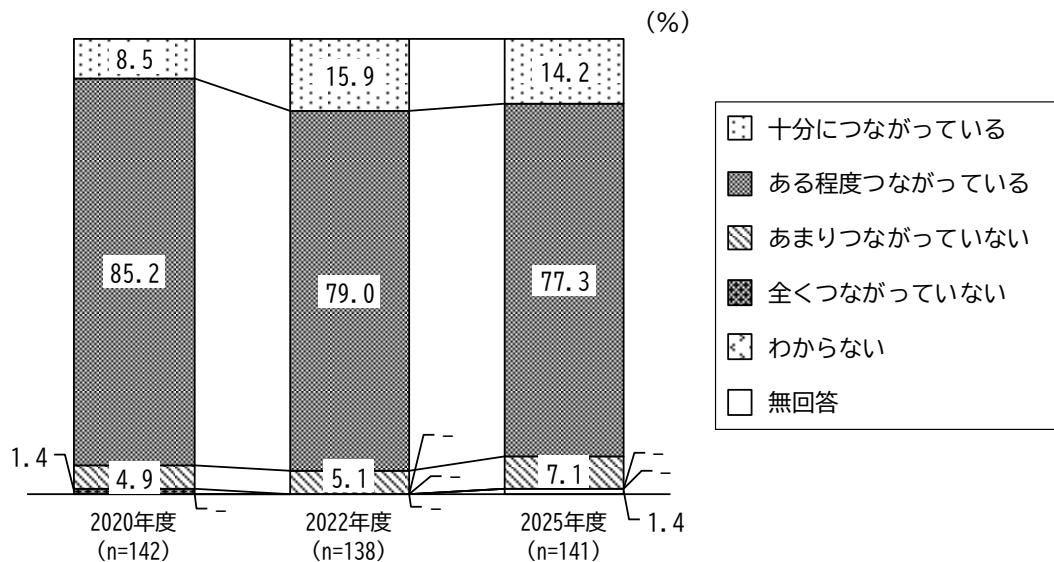


図 2-15 介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか

「ある程度つながっている」が7割台後半を占めている。



※2020 年度は、「あまり繋がっていない」は「さほどでもない」、「全く繋がっていない」は「負担軽減にはつながっていない」として選択肢を作成している

図 2-16 【経年比較】介護保険サービスが家族の介護負担軽減につながっているか

経年比較では、大きな差異はみられない。

2.10. 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業

◆ 「買い物」「通院」が7割台半ば

(全員の方に)

問 19 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

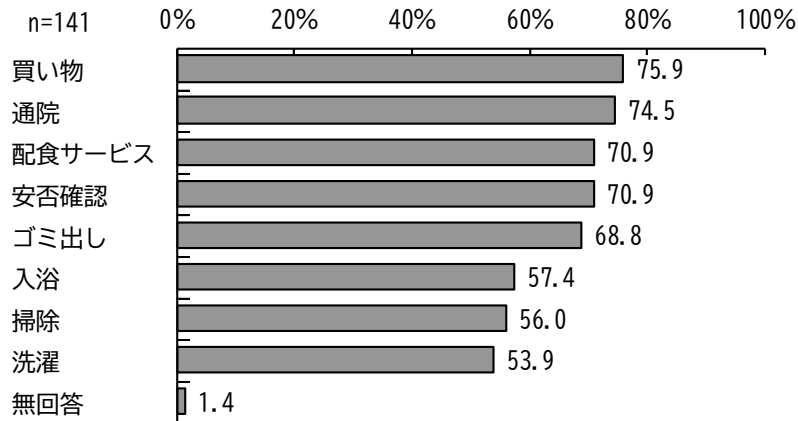


図 2-17 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業

「買い物」と「通院」が7割台半ばで高く、次いで「配食サービス」、「安否確認」が約7割となっている。

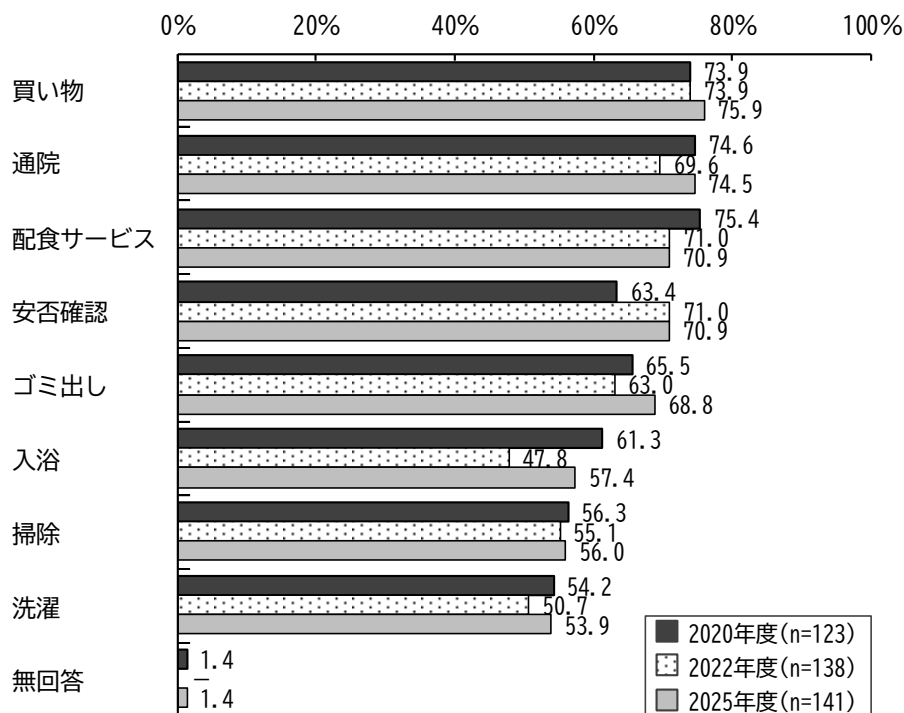


図 2-18 【経年比較】 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業

経年比較では、2022年度と比べて、「入浴」が9.6ポイント増加している。

2.11. 生活に張りを持ってもらうために効果的なもの

◆ 「趣味関係の活動」が7割台後半

(全員の方に)

問 20 生活に張りを持ってもらうために効果的なものは何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

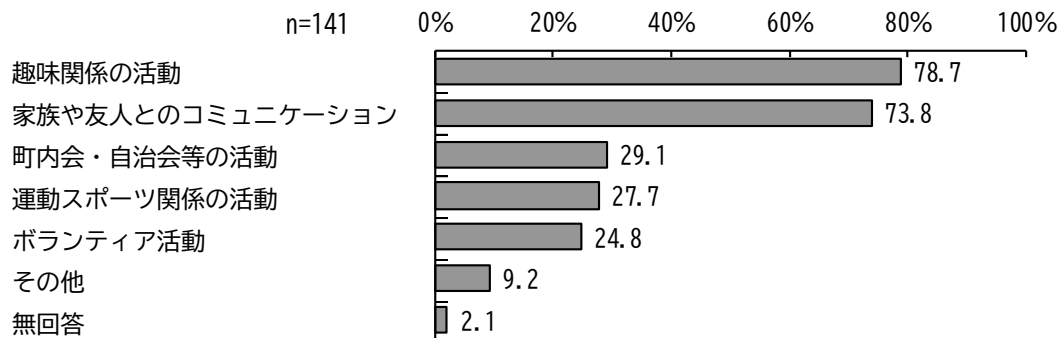


図 2-19 生活に張りを持ってもらうために効果的なもの

「趣味関係の活動」が7割台後半で最も高く、次いで「家族や友人とのコミュニケーション」が7割台前半となっており、ともに高い割合を占めている。

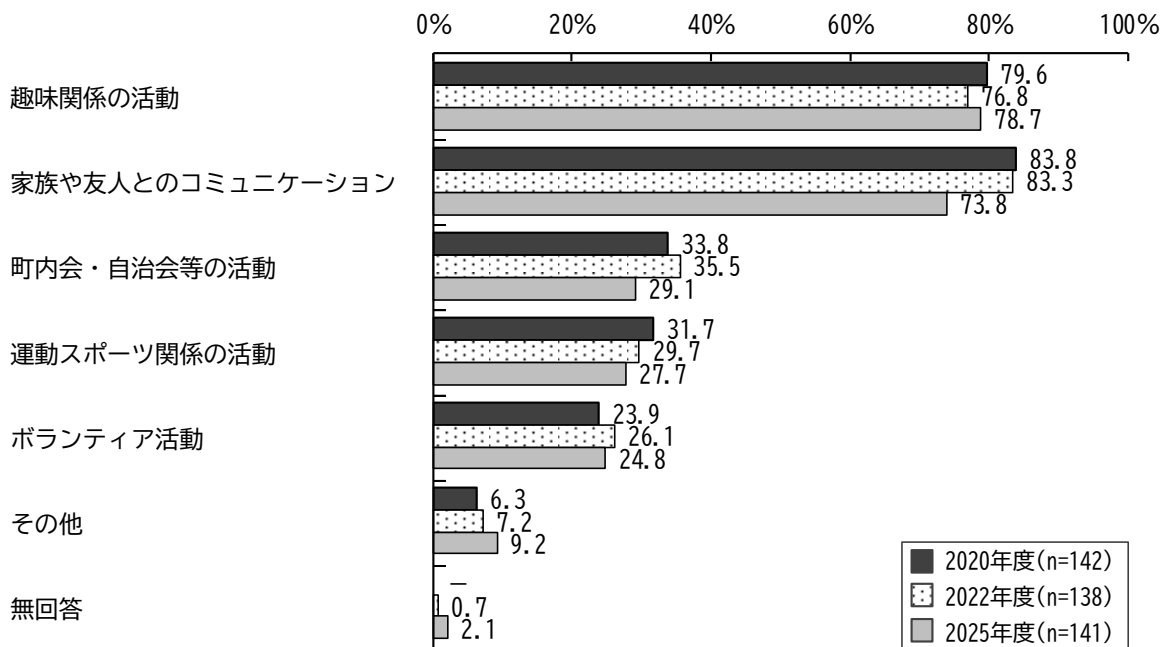


図 2-20 【経年比較】生活に張りを持ってもらうために効果的なもの

経年比較では、「趣味関係の活動」と「家族や友人とのコミュニケーション」とが継続して高い割合を占めている。

また、2022年度と比べて「家族や友人とのコミュニケーション」が9.5ポイント減少している。

2.12. ケアマネジメントを行う際に工夫していること（自由回答）

（全員の方に）

問21 ケアマネジメントを行う際に工夫していることがありましたら、ご自由にお書きください。

ケアマネジメントを行う際に工夫していることについて、68件の回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

- 本人にとって一番大事にしている人物や物事をまず確認し、その部分によりそうこと。又、サービス拒否などある方などは大事に思っている人物も同席して頂くなど一緒に考えてもらうようにしている。
- 家族の介護負担により、虐待になっていないか、等を見極めつつ、本人の尊厳が守られ幸せを感じられるようなプランに努めています。
- 認知症や難聴のある利用者に対しても家族だけでなく、本人とも話をするようにしている。主治医との連携のため、こちらから積極的に連絡するようにしている。
- ケガや今悩んでいる病気が治ったらしてみたい事は何か聞き、プランニーズに入れている。
- できることが多い料用者は、それを活かして生活が継続できるように支援する。本人の意向と家族の負担軽減のバランス。
- ご本人のストロングポイントを高め、生活意欲を高めていただける様、支援をしています
- 業務効率、ケアマネは残業やシャドーワークがあたりまえを解消したい。
- 他の利用者から聞きとった「評判の良いサービス」を別の人にもお勧めして、良い事業所を優先して利用している
- 本人のモチベーションを上げるような目標設定、本人の好きなことに対応できる施設の選定、提案、本人、家族の自立支援に必要な提案、本人、家族が自分で行動できるようにアドバイス
- 利用者の今までの生活、こだわりや習慣を把握し、利用者が前向きに生活出来る様なケアプラン作成を心掛けている。家族、本人の役割もケアプランに載せて受け身では無い、自身のプランの意識を持っていただく様にしている
- シャドーワークはしない。書類に時間かけない。しかし、 이슈ーにはしっかり向き合う。ケアマネは運営指導やケアプラン点検のためにケアプランや支援経過を作成しているわけではない。意味不明な指導やローカルルール等々、利用者に直接メリットにならないことには時間をかけない。
- 様々な社会資源を紹介して、出来るだけ孤立しない事。本人だけでなく家族にも目を向けて、あなた達の事はいつも気にかけていると思わせるように働きかける。
- 傾聴。雑談の中から困りごとや家族の関係性などを聞き出しています。
- 介護保険サービス以外で、本人の生き甲斐や生活の改善に繋がることを組み込むこと。
- 短期目標は実現可能な難しくないものにして、達成感を味わってもらう。

2.13. 要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援

◆ 「認知症高齢者の見守り」と「話し相手」が7割台後半

(全員の方に)

問 22 要介護者等が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるため、近隣や地域の人々からどのような支援や手助けがあったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

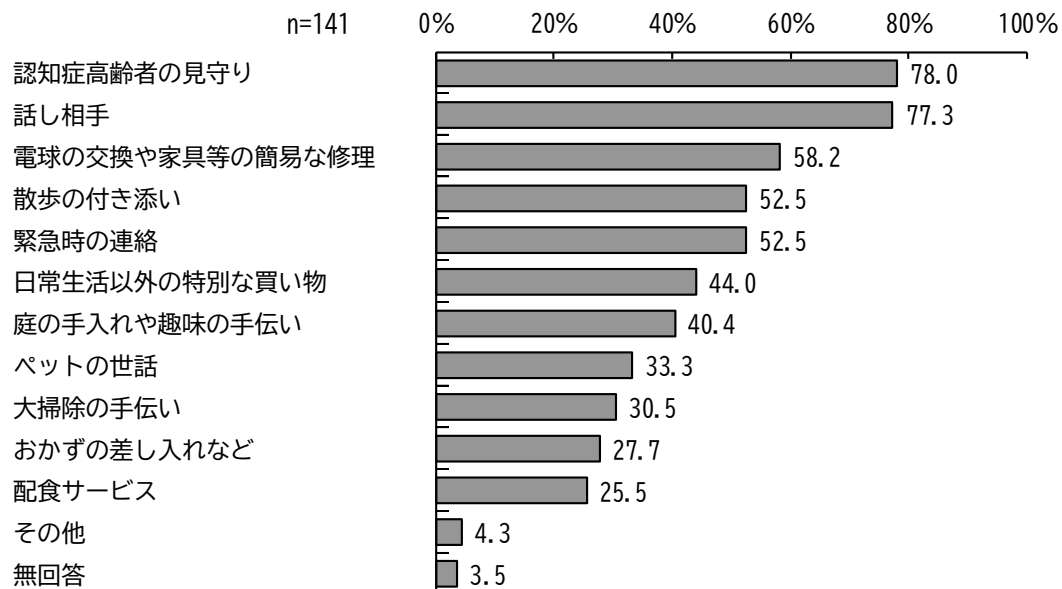


図 2-21 要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援

「認知症高齢者の見守り」と「話し相手」が7割台後半と高くなっている。

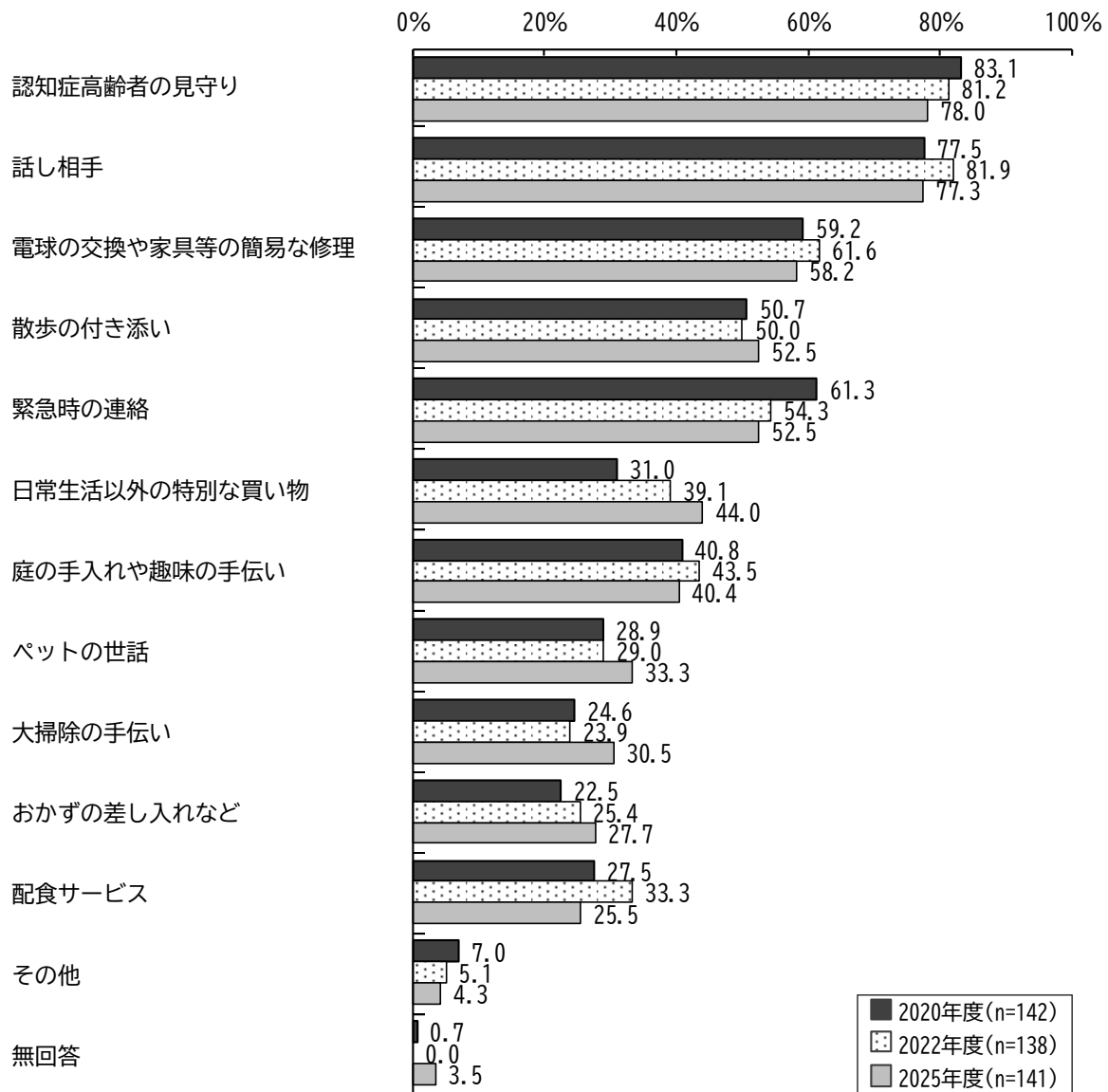


図 2-22 【経年比較】要介護者等が自宅や地域で暮らし続けるために必要な支援

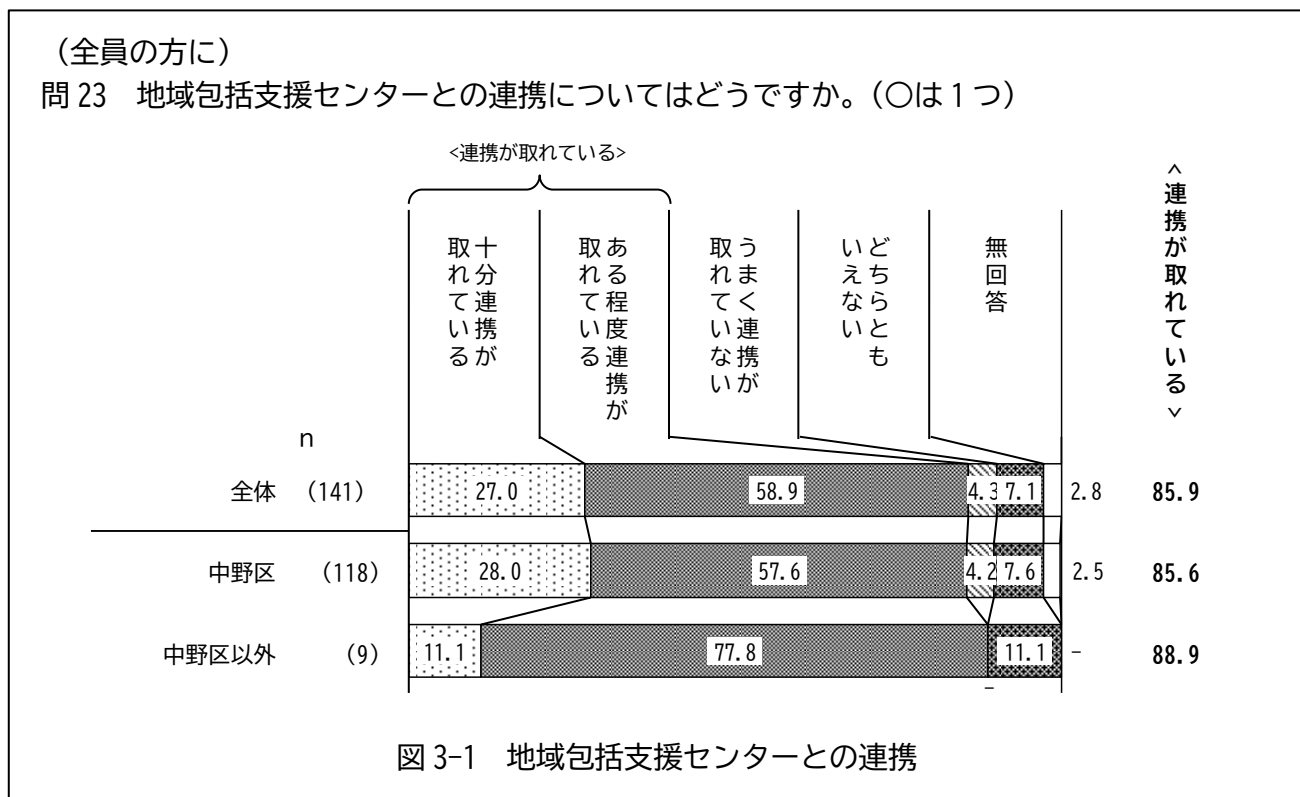
経年比較では、「認知症高齢者の見守り」と「話し相手」が継続して高い割合を占めている。

また、2022年度と比べて「大掃除の手伝い」が6.6ポイント増加しているが、反対に「配食サービス」が7.8ポイント減少している。

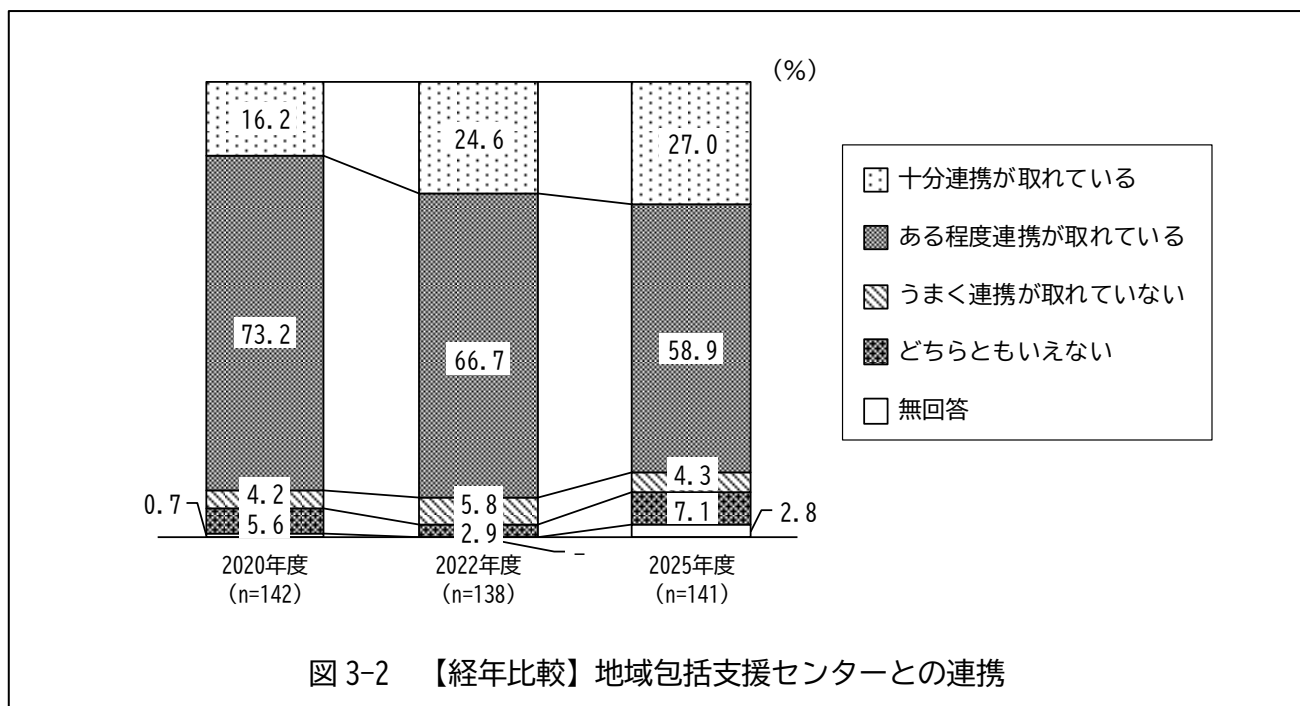
3. 連携について

3.1. 地域包括支援センターとの連携

◆ 「ある程度連携が取れている」が5割台後半



「ある程度連携が取れている」が5割台後半、「十分連携が取れている」が2割台後半で、合わせた<連携が取れている>は8割台半ばとなっている。



経年比較では、2022年度と比べて「ある程度連携が取れている」が7.8ポイント減少している。

3.2. 信頼できる地域包括支援センターの有無

◆ 「ある」が6割台後半

(全員の方に)

問 24 信頼できる地域包括支援センターはありますか。(○は1つ)

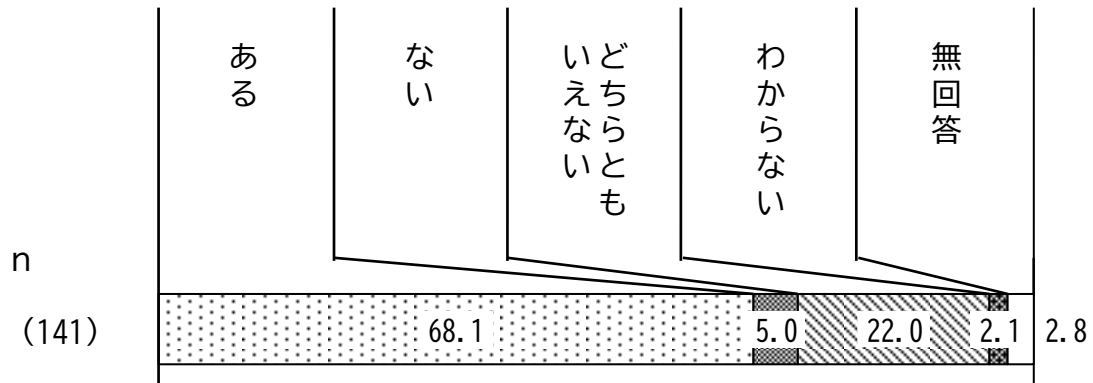


図 3-3 信頼できる地域包括支援センターの有無

「ある」が6割台後半を占めている。

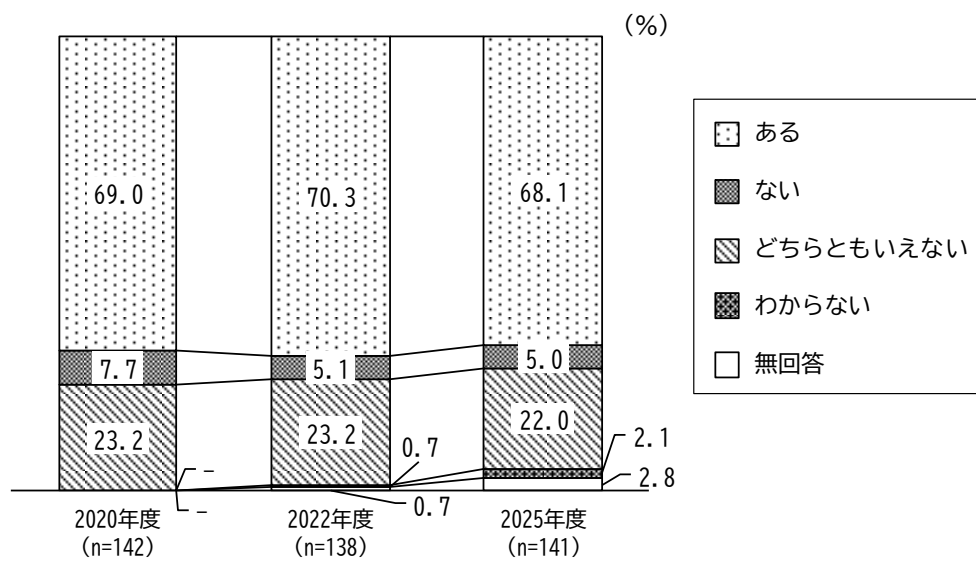


図 3-4 【経年比較】 信頼できる地域包括支援センターの有無

経年比較では、大きな差異はみられない。

3.3. 主治医との連携

◆ 「十分連携が取れている」が約5割

(全員の方に)

問 25 主治医（かかりつけ医）との連携についてはどうですか。(○は1つ)

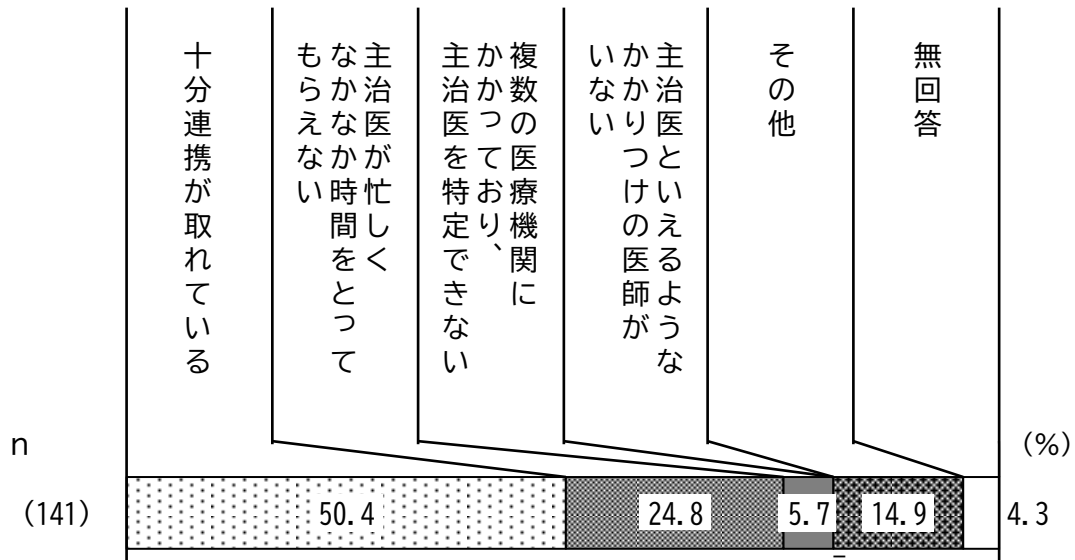


図 3-5 主治医との連携

「十分連携が取れている」が約5割で最も高く、次いで「主治医が忙しゅうなかな時間をとってもらえない」が2割台半ばとなっている。

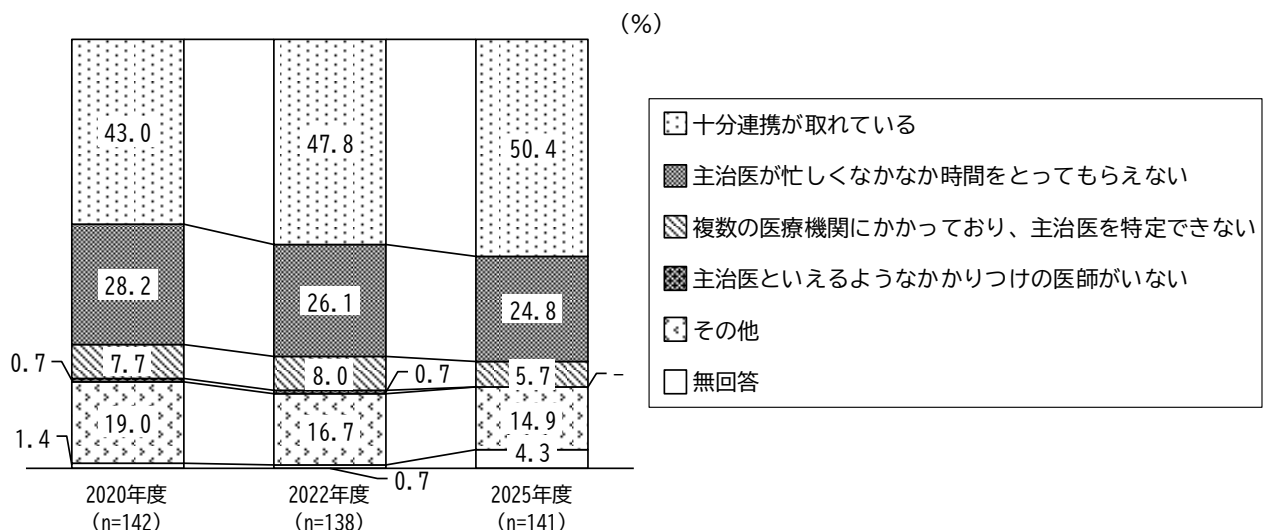


図 3-6 【経年比較】主治医との連携

経年比較では、2022年度と比べて大きな差異はみられない。

3.4. 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源

◆ 「訪問リハビリ」が2割台半ば

(全員の方に)

問 26 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源はなんですか。(複数選択可)

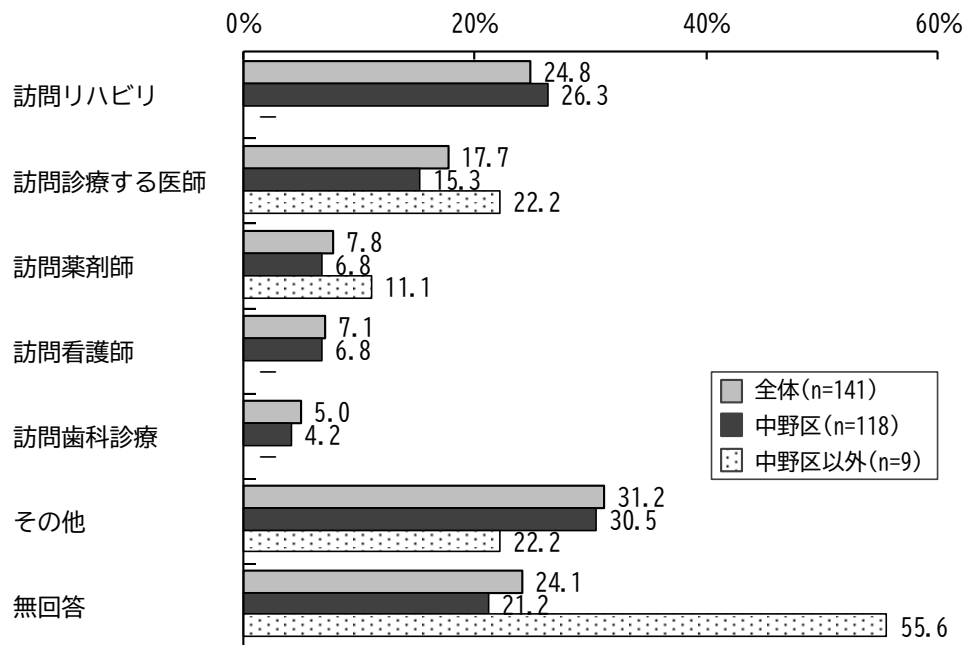


図 3-7 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源

「訪問リハビリ」が2割台半ばで最も高く、次いで「訪問診療する医師」が1割台後半となっている。

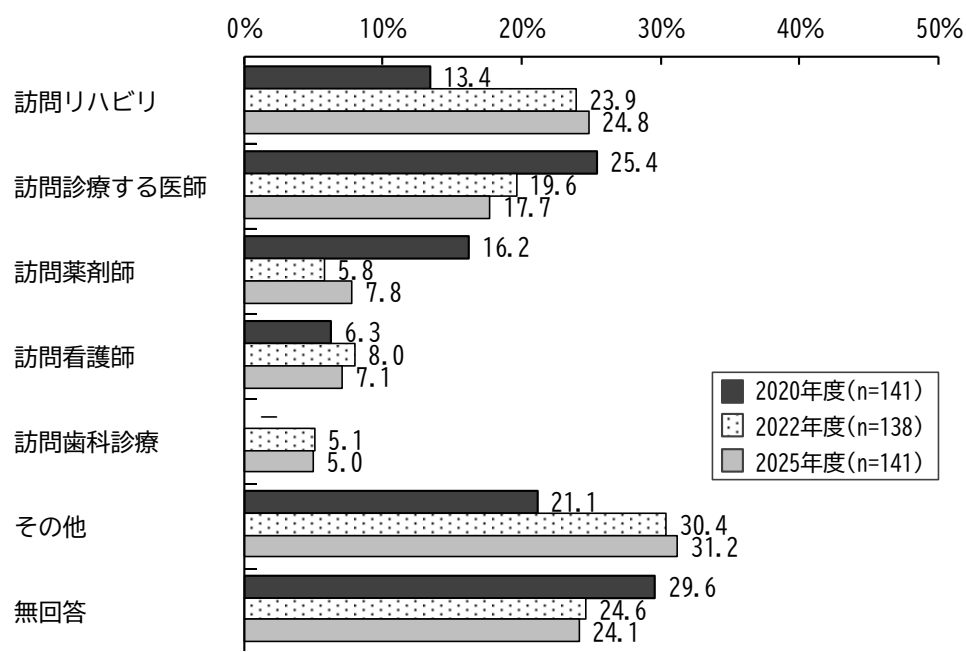


図 3-8 【経年比較】在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源

経年比較では、2022 年度と比べて大きな差異はみられない。

3.5. 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携

◆ 連携が＜取れている＞は約4割

(全員の方に)

問 27 障害者施策を利用できる利用者について、区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携が取れていますか。(○は1つ)

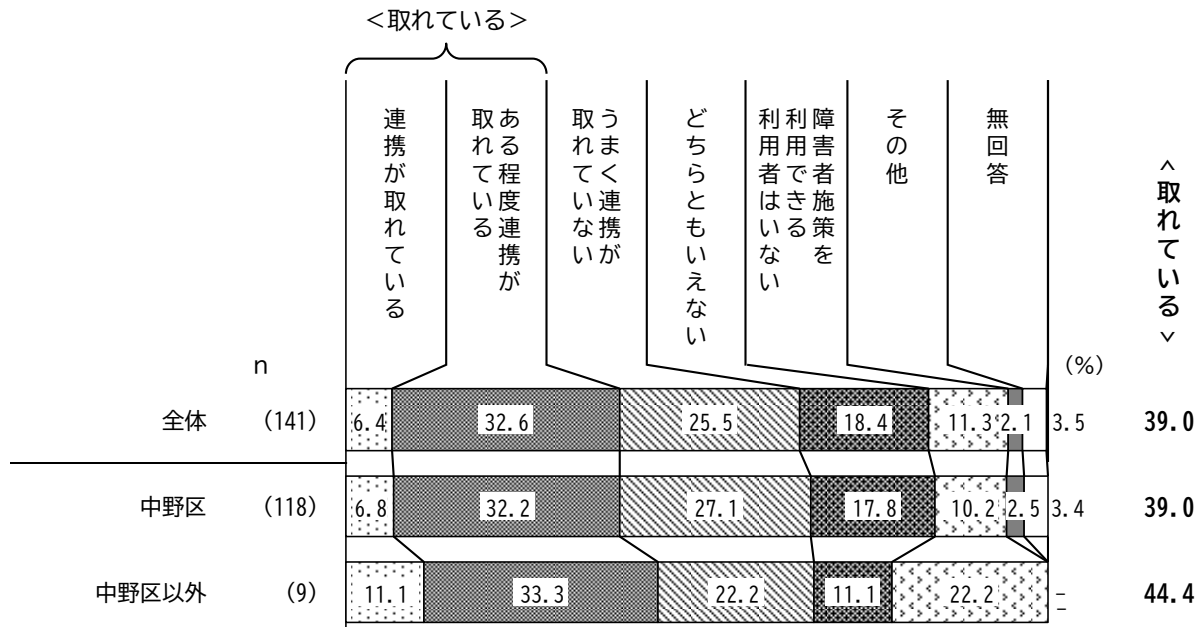
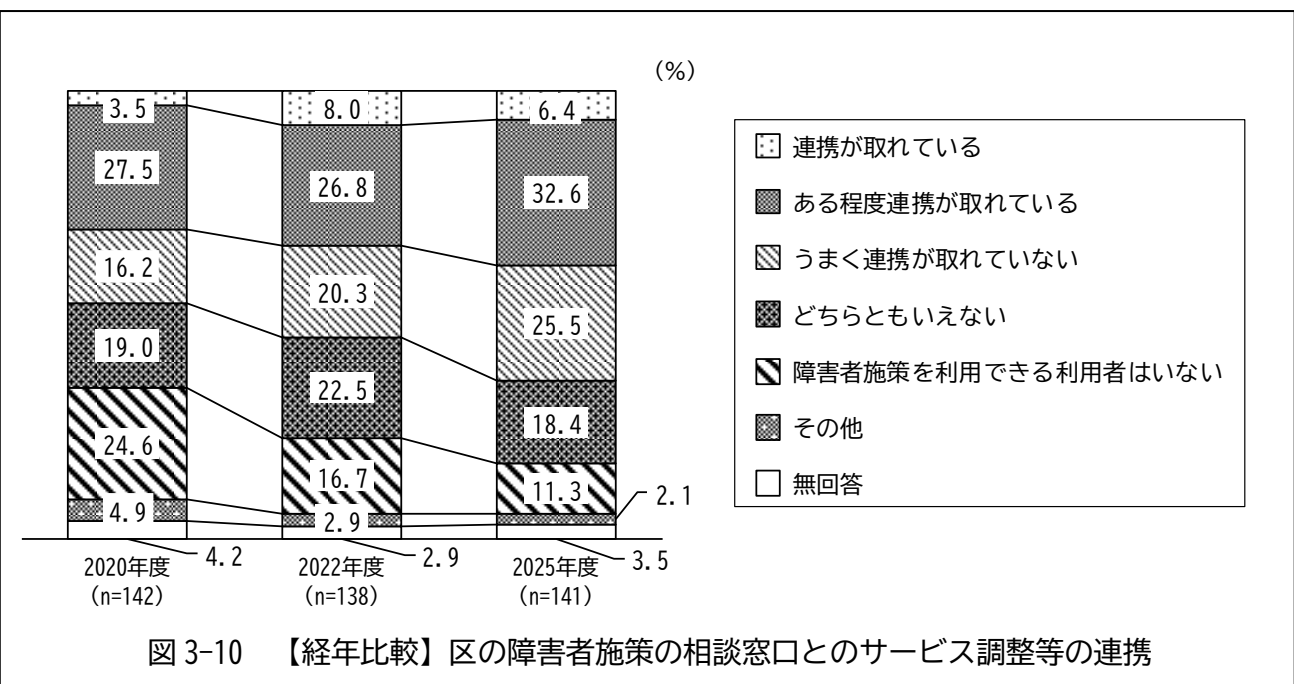


図 3-9 区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携

「連携が取れている」と「ある程度連携が取れている」を合わせた＜取れている＞は約4割となっている。



経年比較では、2022年度と比べて、「ある程度連携が取れている」が5.8ポイント増加しているが、「うまく連携が取れない」も5.2ポイント増加している。

3.6. サービス担当者会議を開催する上での問題点

◆ 「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が約7割

(全員の方に)

問 28 サービス担当者会議を開催する上での問題点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

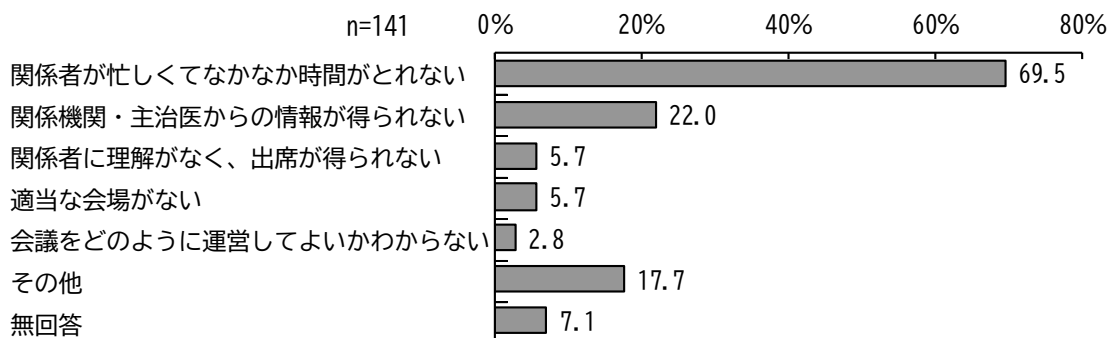


図 3-11 サービス担当者会議を開催する上での問題点

「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が約7割と最も高くなっている。

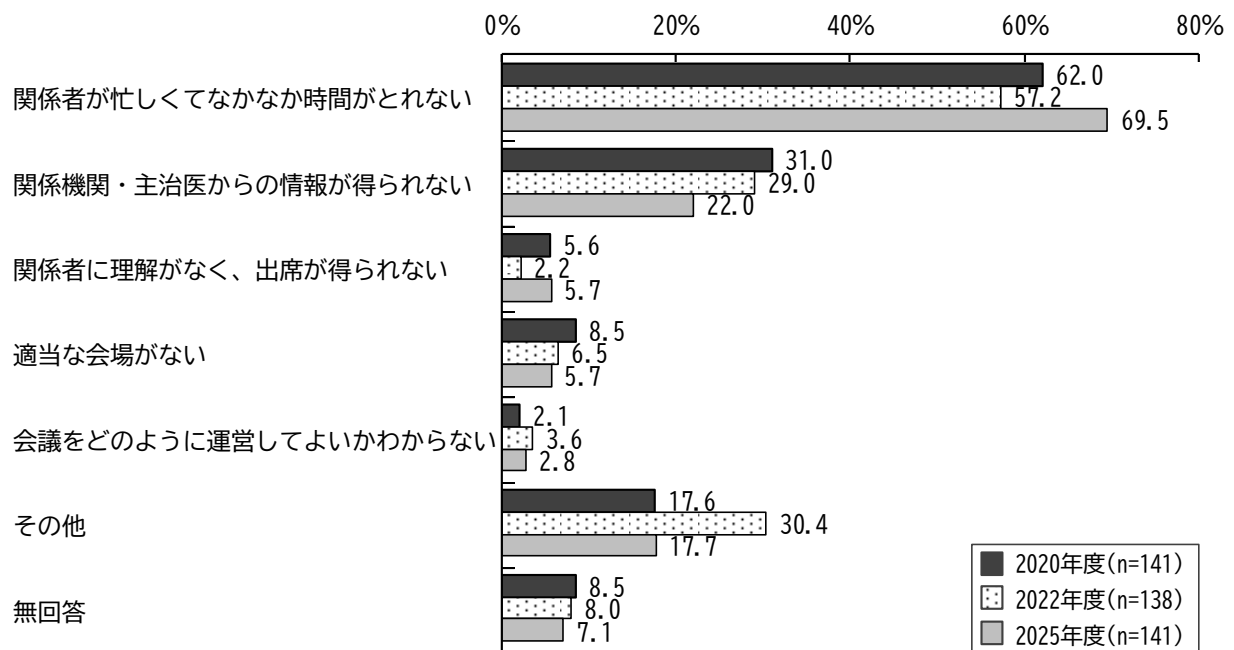


図 3-12 【経年比較】 サービス担当者会議を開催する上での問題点

経年比較では、継続して「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が過半数となっている。

また、2022年度と比べ、「関係者が忙しくてなかなか時間がとれない」が12.3ポイント増加しており、反対に「関係機関・主治医からの情報が得られない」が7.0ポイント減少している。

4. 困難な事例への対応について

4.1. ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース

◆ 「身寄りがいない」が7割台後半

(全員の方に)

問 29 ケアマネジメントを行う際に、特に対応に苦慮するケースはどのようなケースですか。
(あてはまるものすべてに○)

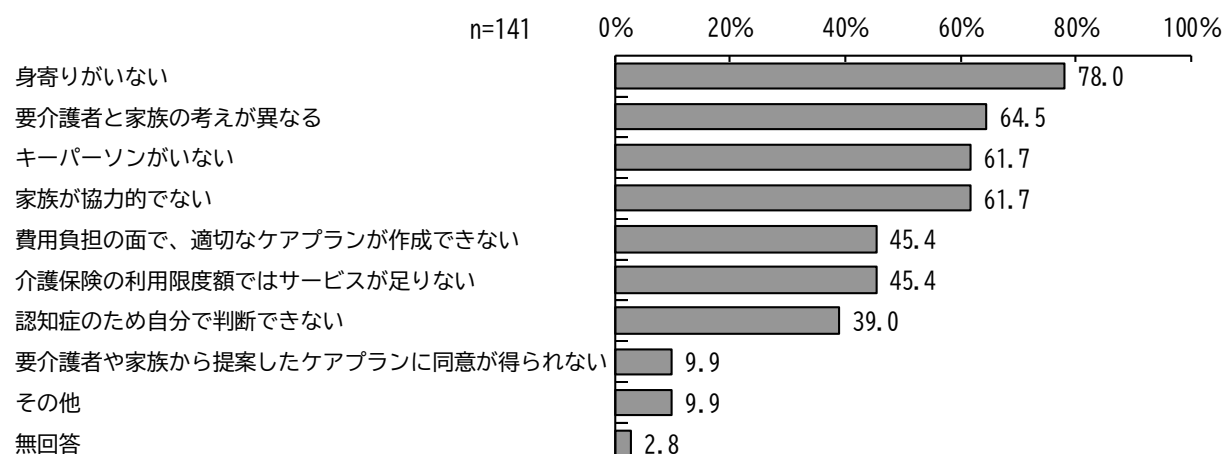


図 4-1 ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース

「身寄りがいない」が7割台後半で最も高く、次いで「要介護者と家族の考えが異なる」、「キーパーソンがいない」、「家族が協力的でない」が6割台となっている。

【年代別】ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース

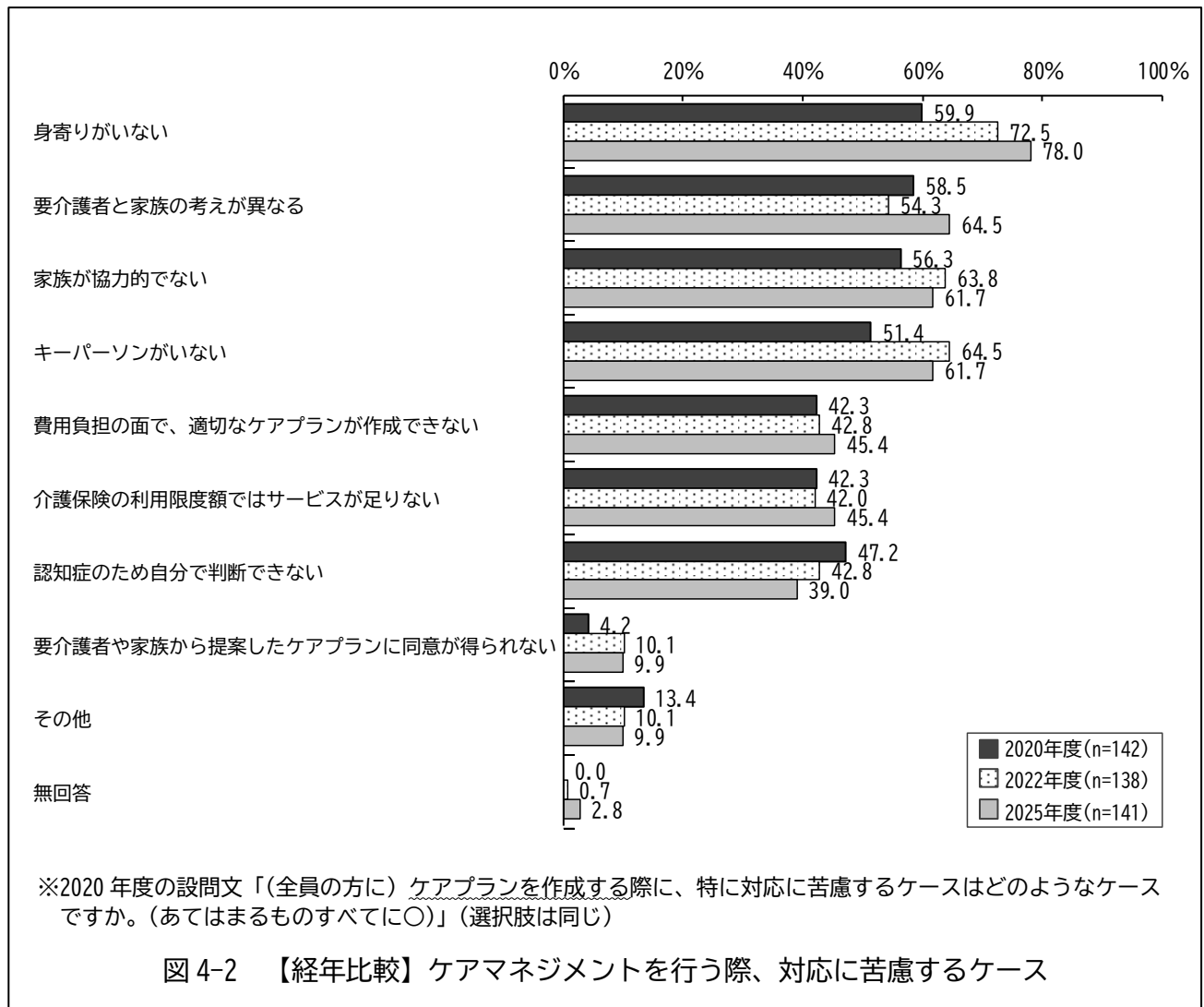
単位：%

	有効回答数(件)	身寄りがいない	要介護者と家族の考えが異なる	キーパーソンがいない	家族が協力的でない	作成できないケアプランが	適切な費用負担の面で、サービスが足りない	介護保険の利用限度額ではサービスが足りない	自分で判断できない	認知症のため自分で判断できない	提案したケアプランに同意が得られない	要介護者や家族から	その他	無回答
全体	141	78.0	64.5	61.7	61.7	45.4	45.4	39.0	9.9	9.9	2.8			
30歳～34歳	1	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
35歳～39歳	4	75.0	100.0	50.0	25.0	50.0	50.0	-	25.0	50.0	-	-	-	-
40歳～44歳	8	87.5	62.5	62.5	75.0	87.5	50.0	50.0	12.5	5.6	5.6	11.1	-	-
45歳～49歳	18	83.3	83.3	44.4	66.7	55.6	55.6	33.3	5.6	5.6	11.1	-	-	-
50歳～54歳	25	88.0	80.0	80.0	68.0	48.0	32.0	36.0	12.0	8.0	-	-	-	-
55歳～59歳	27	74.1	51.9	63.0	55.6	51.9	44.4	48.1	22.2	18.5	-	-	-	-
60歳～64歳	26	65.4	61.5	61.5	50.0	26.9	46.2	38.5	3.8	7.7	7.7	-	-	-
65歳～69歳	20	75.0	55.0	55.0	70.0	35.0	55.0	30.0	5.0	10.0	-	-	-	-
70歳～74歳	6	100.0	83.3	83.3	66.7	33.3	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
75歳以上	6	66.7	-	50.0	66.7	33.3	33.3	50.0	-	-	-	-	-	-

【従事年数別】ケアマネジメントを行う際、対応に苦慮するケース

単位：％

	有効回答数（件）	身寄りがいない	要介護者と家族の考えが異なる	キーパーソンがいない	家族が協力的でない	適切なケアプランが作成できない	費用負担の面で、サービスが足りない	介護保険の利用限度額ではサービスが足りない	認知症のため自分で判断できない	要介護者や家族から提案したケアプランに同意が得られない	その他	無回答
全体	141	78.0	64.5	61.7	61.7	45.4	45.4	39.0	9.9	9.9	2.8	
1年未満	3	100.0	66.7	100.0	66.7	66.7	33.3	33.3	-	-	-	
1年以上3年未満	12	100.0	83.3	58.3	91.7	66.7	66.7	50.0	8.3	-	-	
3年以上5年未満	6	100.0	66.7	66.7	50.0	66.7	66.7	66.7	16.7	-	-	
5年以上	120	74.2	62.5	60.8	59.2	41.7	42.5	36.7	10.0	11.7	3.3	



経年比較では、2022年度と比べて「要介護者と家族の考えが異なる」が10.2ポイント、「身寄りがいない」が5.5ポイント増加している。

4.2. 要介護者や家族からの相談への対応

◆ 「ある程度対応できている」が6割台後半

(全員の方に)

問30 あなたは、要介護者等や家族からの相談を十分に受け止め、対応できていますか。(○は1つ)

<対応できている>

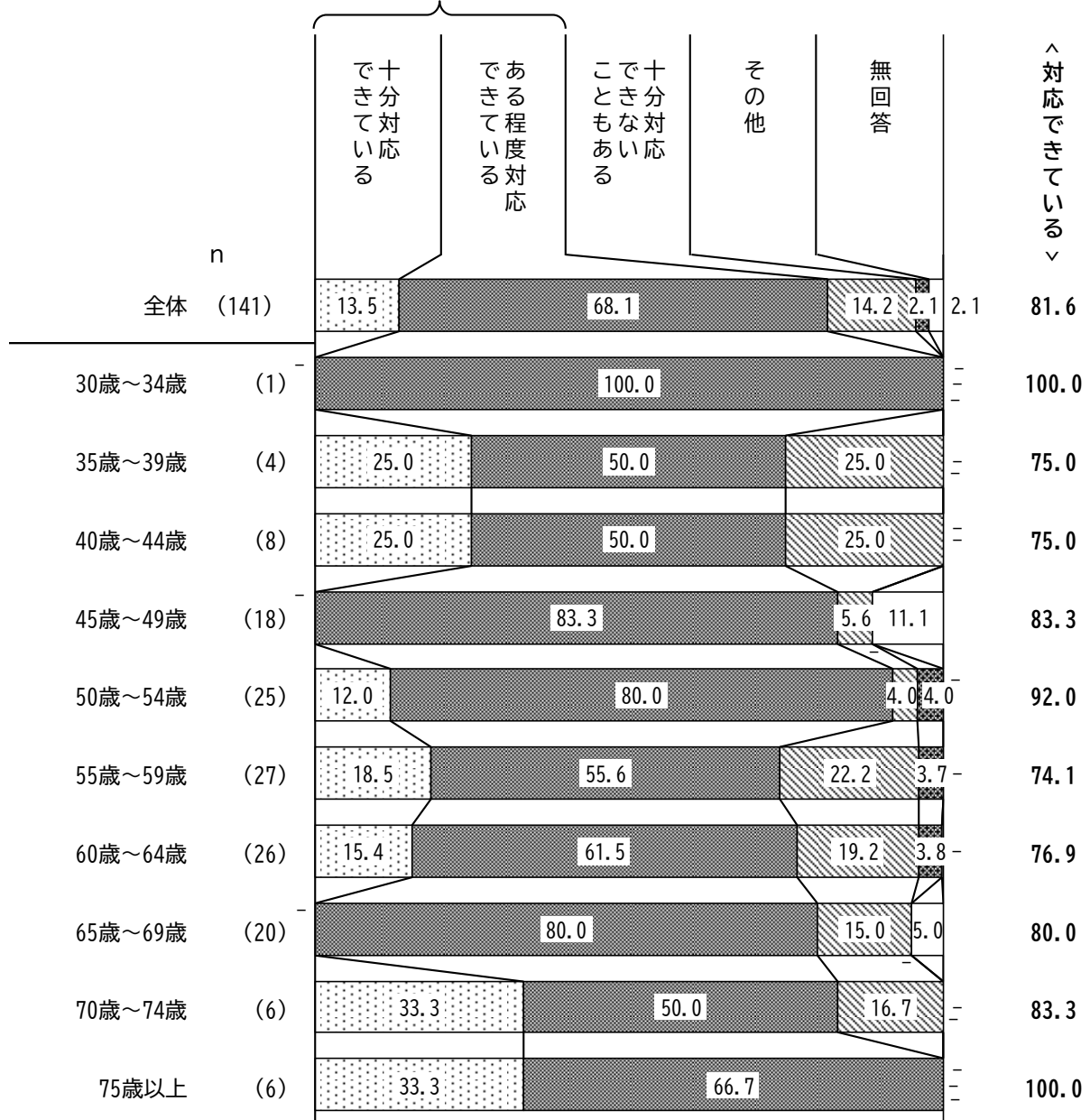


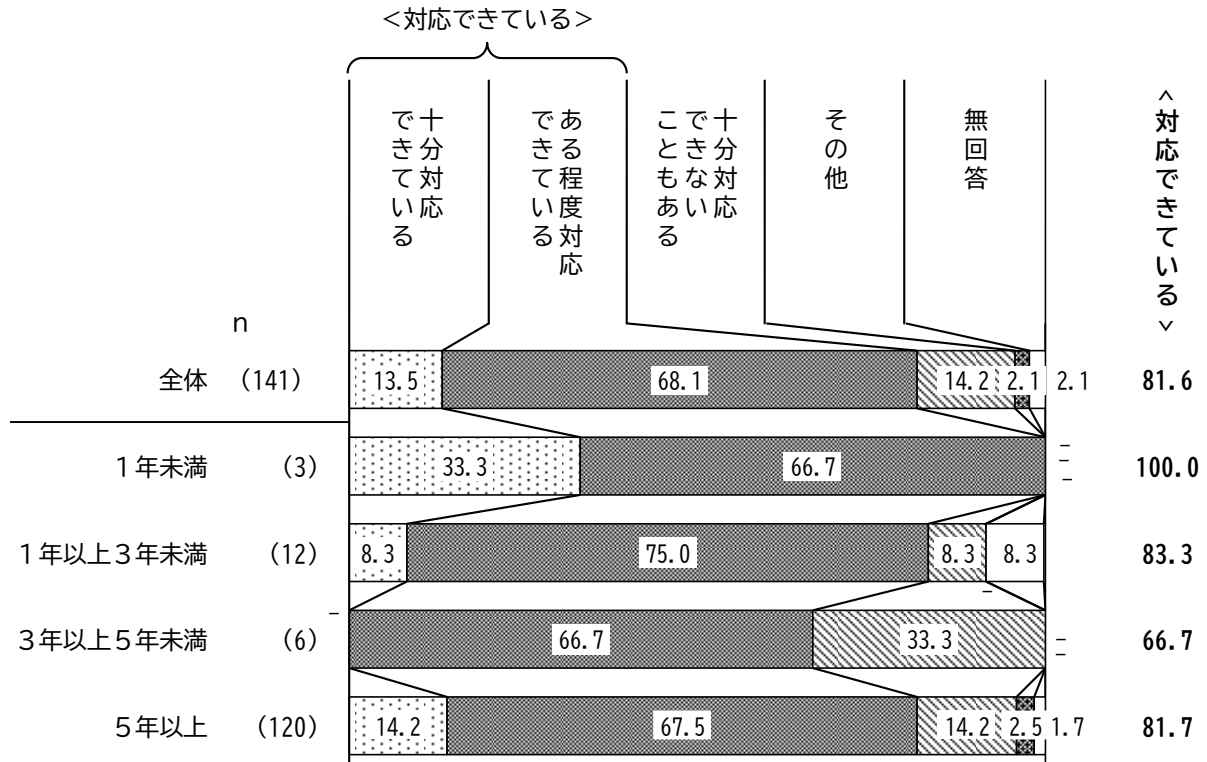
図4-3 要介護者や家族からの相談への対応

「十分対応できている」「ある程度対応できている」を合わせた<対応できている>は、約8割となっている。

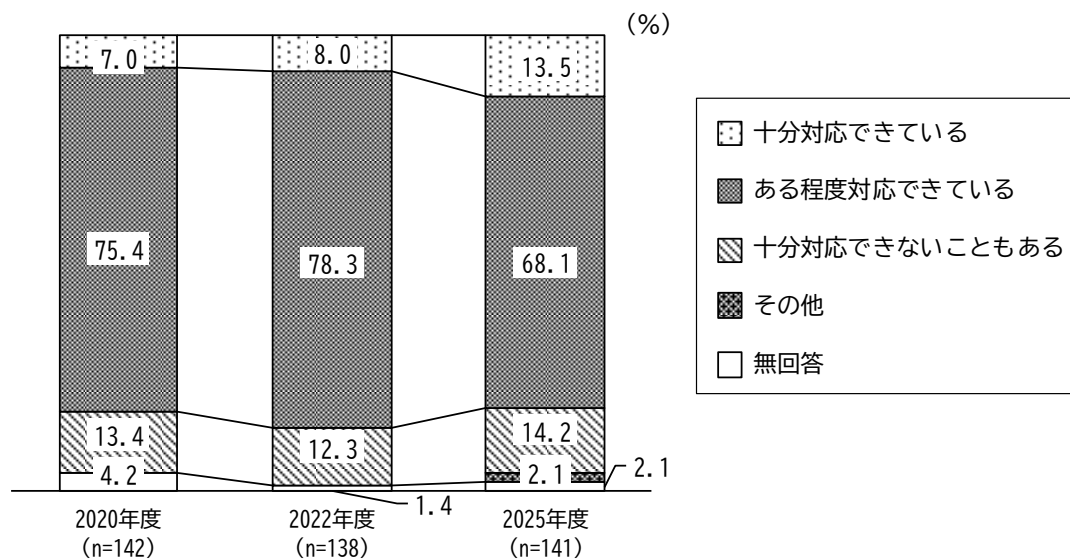
【対応できない具体的な理由（「十分対応できないこともある」と回答した方）】

- ・ケアマネの仕事以外の仕事を頼む人が多い。
- ・必要な支援を助言するが、本人・受けいれないことがある。
- ・希望するサービス内容がコロコロ変わる。
- ・利用者の状態に合わないサービス内容を、家族が希望する。 など

【従事年数別】ケアプランに地域資源を盛り込んでいるか



従事年数別では、すべての従事年数で「ある程度対応できている」が最も高くなっている。



※2022年度以前の選択肢に「その他」はない

図 4-4 【経年比較】要介護者や家族からの相談への対応

経年比較では、2022年度と比べ「ある程度対応できている」が10.2ポイント減少している。

4.3. 相談への対応に苦慮した時の相談先

◆ 「同僚や上司」が7割台半ば

(全員の方に)

問 31 要介護者等や家族からの相談への対応に苦慮した場合、どこへ相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

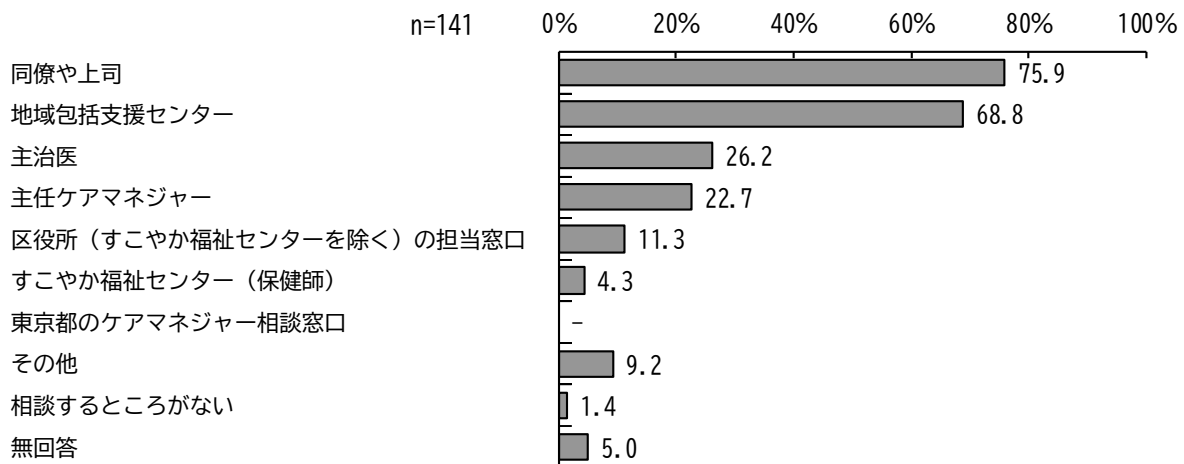


図 4-5 相談への対応に苦慮した時の相談先

「同僚や上司」が7割台半ば、「地域包括支援センター」が6割台後半と高くなっている。

【年代別】相談への対応に苦慮した時の相談先

単位：％

	有効回答数 (件)	同僚や上司	地域包括支援センター	主治医	主任ケアマネジャー	区役所 (すこやか福祉センターを除く) の担当窓口	その他	すこやか福祉センター (保健師)	東京都のケアマネジャー相談窓口	相談するところがない	無回答
全体	141	75.9	68.8	26.2	22.7	11.3	9.2	4.3	-	1.4	5.0
30歳～34歳	1	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
35歳～39歳	4	100.0	75.0	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-
40歳～44歳	8	62.5	62.5	-	62.5	-	-	12.5	-	-	-
45歳～49歳	18	72.2	66.7	22.2	27.8	11.1	5.6	-	-	-	16.7
50歳～54歳	25	88.0	80.0	16.0	36.0	8.0	4.0	4.0	-	-	8.0
55歳～59歳	27	81.5	59.3	29.6	11.1	22.2	22.2	-	-	-	3.7
60歳～64歳	26	84.6	73.1	30.8	11.5	7.7	11.5	15.4	-	3.8	-
65歳～69歳	20	65.0	55.0	20.0	25.0	-	-	-	-	5.0	-
70歳～74歳	6	33.3	83.3	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-	-	16.7
75歳以上	6	50.0	83.3	83.3	-	33.3	-	-	-	-	-

【従事年数別】相談への対応に苦慮した時の相談先

単位：％

	有効回答数 (件)	同僚や上司	地域包括支援センター	主治医	主任ケアマネジャー	区役所（すこやか福祉センターを除く）の担当窓口	その他	すこやか福祉センター（保健師）	東京都のケアマネジャー相談窓口	相談するところがない	無回答
全体	141	75.9	68.8	26.2	22.7	11.3	9.2	4.3	-	1.4	5.0
1年未満	3	100.0	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-
1年以上3年未満	12	91.7	66.7	25.0	33.3	33.3	-	8.3	-	-	8.3
3年以上5年未満	6	100.0	66.7	66.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-
5年以上	120	72.5	70.8	25.0	21.7	10.0	9.2	4.2	-	1.7	5.0

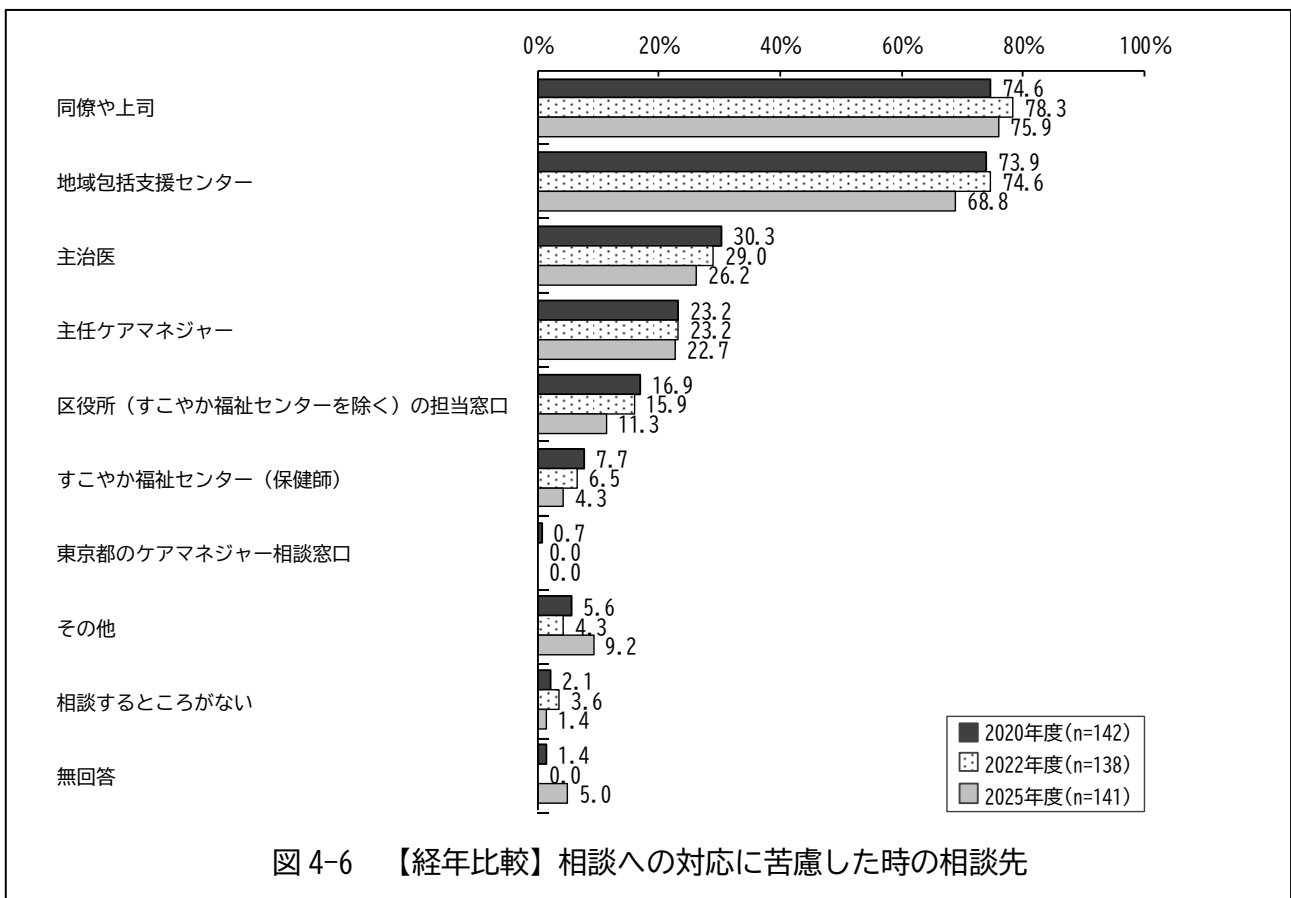


図 4-6 【経年比較】相談への対応に苦慮した時の相談先

経年比較では、「同僚や上司」と「地域包括支援センター」が継続して高い割合を占めている。

4.4. 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数

◆ 「1件～9件」が約8割

(全員の方に)

問 32 ケアマネジャーに従事して以来、高齢者等に対する虐待が疑われるようなケースを発見したり相談を受けたりしたことがどのくらいありますか。(〇は1つ)

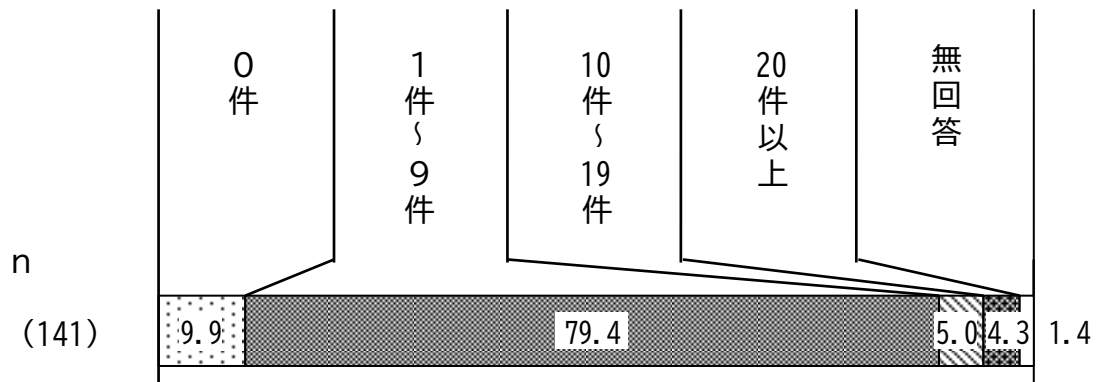


図 4-7 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数

「1件～9件」が約8割を占めている。

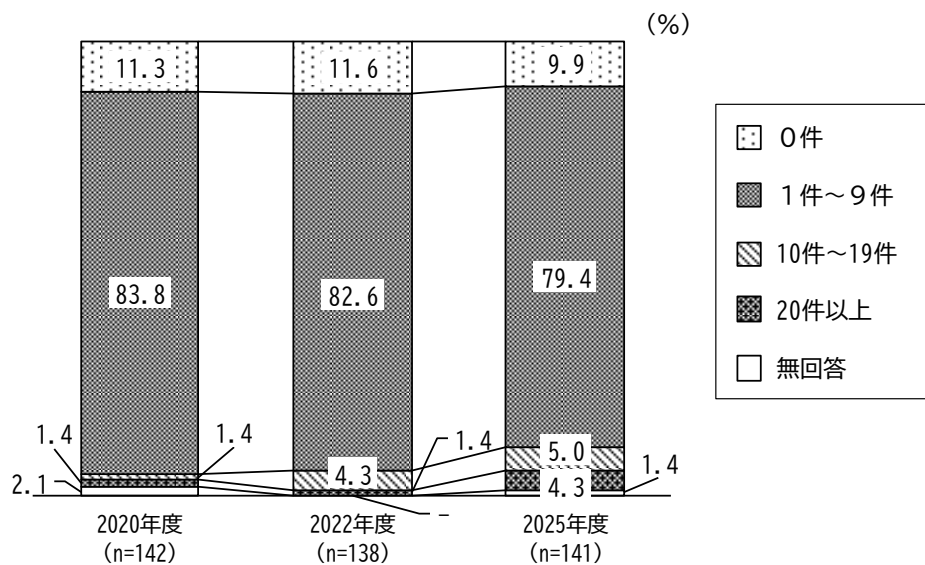


図 4-8 【経年比較】 高齢者等への虐待が疑われるケースの発見や相談の件数

経年比較では、大きな差異はみられない。

4.5. 高齢者虐待対応について強化すべきこと

◆ 「地域包括支援センターとの連携」が約7割

(全員の方に)

問33 高齢者虐待対応について強化すべきと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

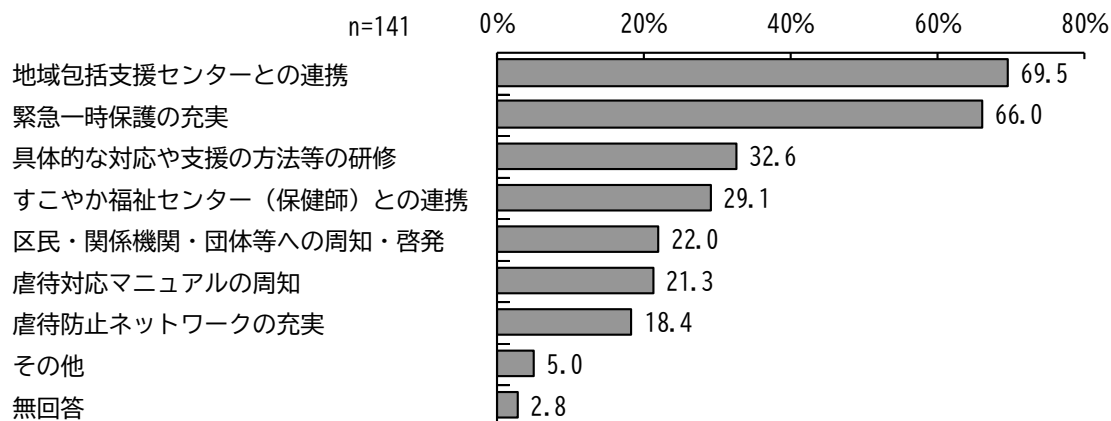


図4-9 高齢者虐待対応について強化すべきこと

「地域包括支援センターとの連携」が約7割で最も高く、次いで「緊急一時保護の充実」が6割台半ばと高くなっている。

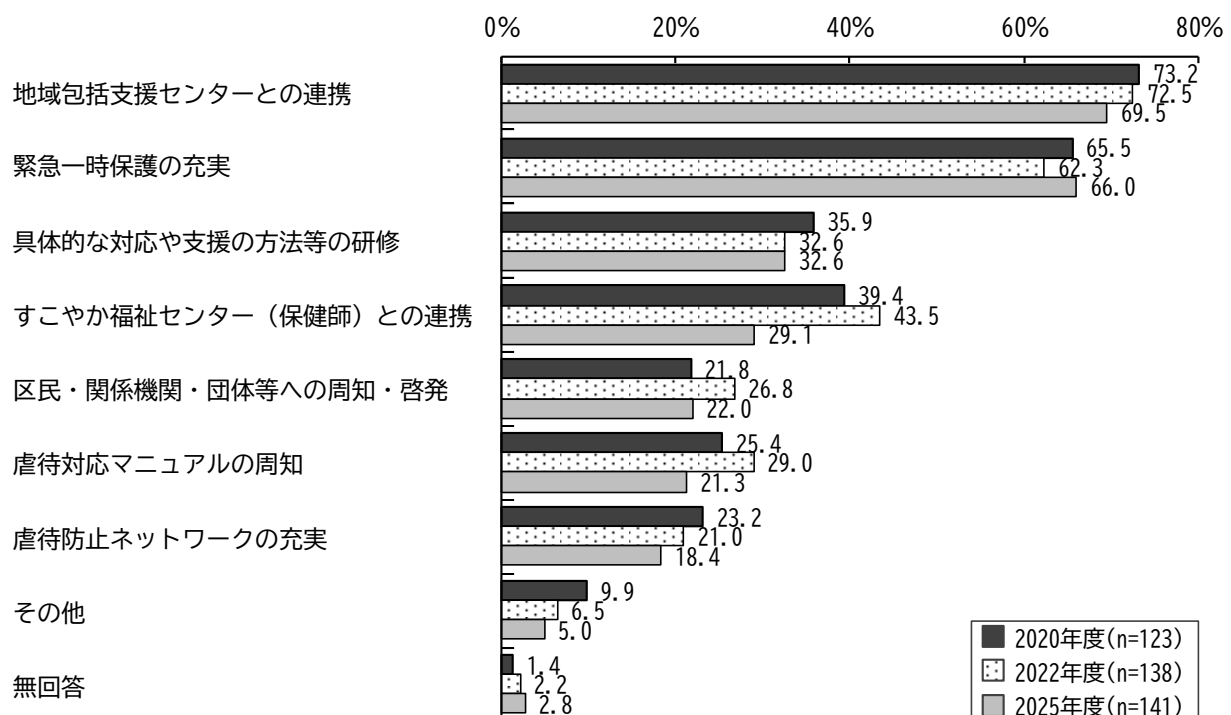


図4-10 【経年比較】 高齢者虐待対応について強化すべきこと

経年比較では、「地域包括支援センターとの連携」と「緊急一時保護の充実」が継続して高い割合を占めている。

また、2022年度と比較すると「すこやか福祉センター（保健師）との連携」が14.4ポイント減少している。

5. 介護予防について

5.1. 充実すべき区の介護予防事業

◆「高齢者会館での健康づくり・生きがいがづくり事業」「転倒予防教室」が5割台半ば

(全員の方に)

問 34 区は介護予防事業として充実すべきと思われる事業を選んでください。

(○は主なもの3つまで)

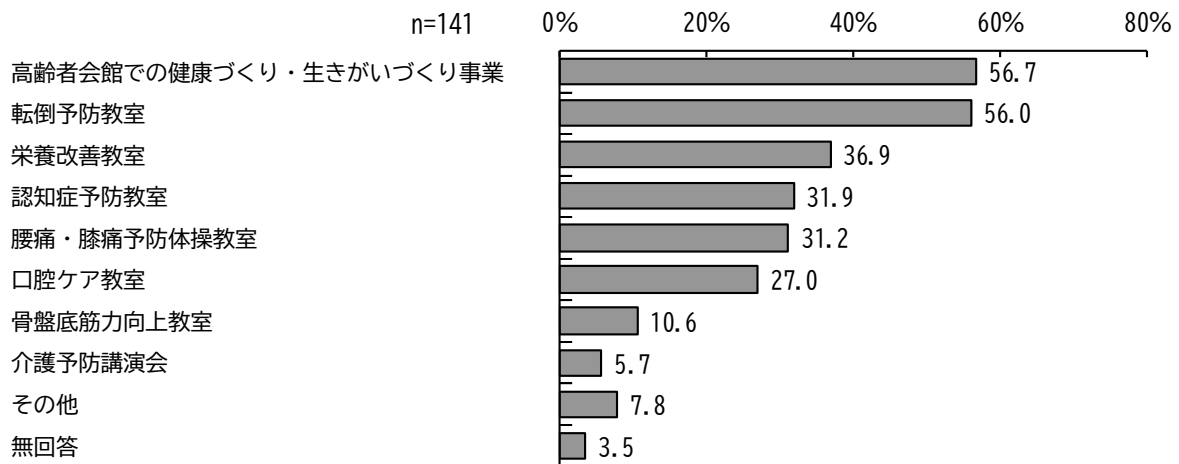


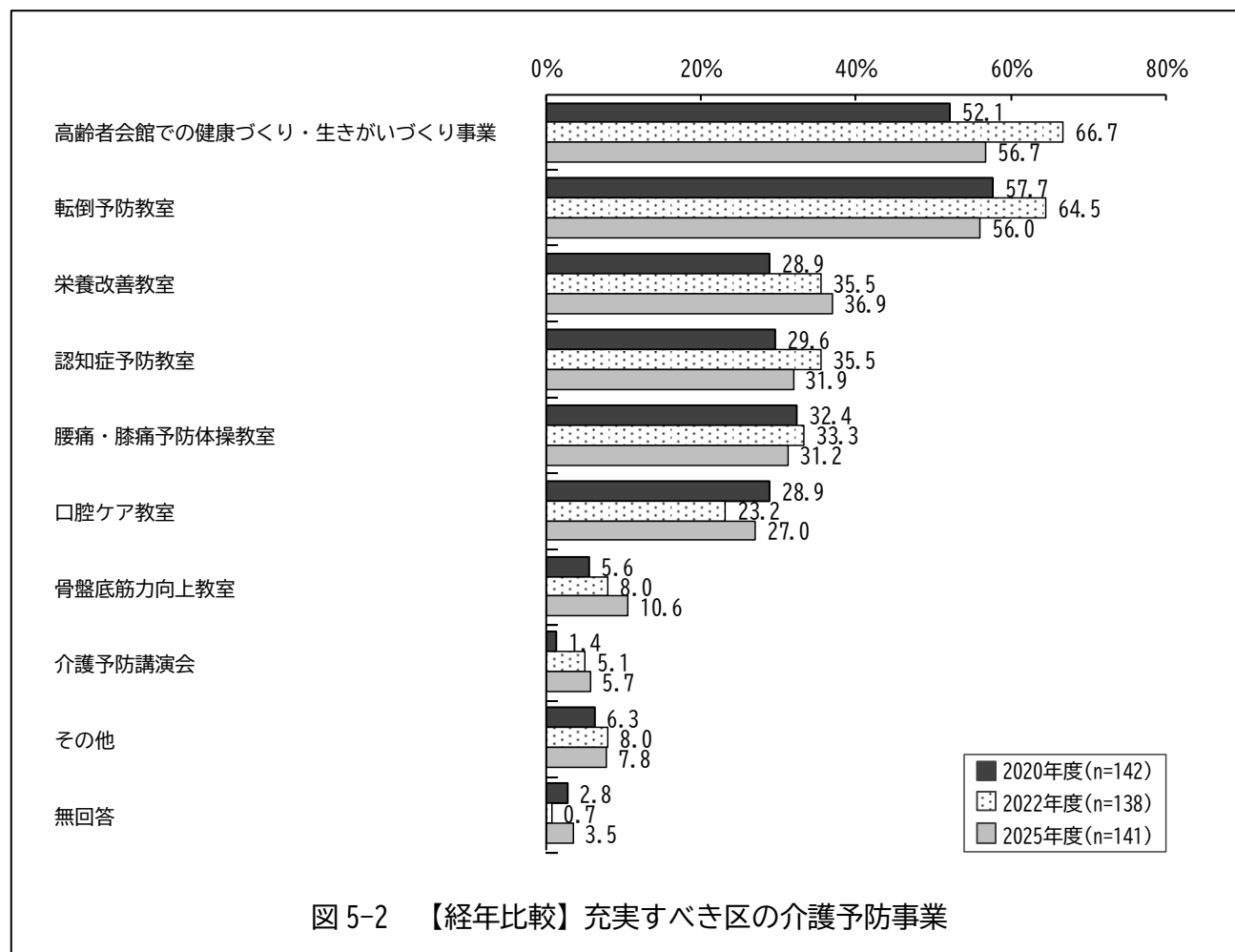
図 5-1 充実すべき区の介護予防事業

「高齢者会館での健康づくり・生きがいがづくり事業」と「転倒予防教室」が5割台半ばを占めている。

【区内外の別】充実すべき区の介護予防事業

単位：％

	有効回答数(件)	高齢者会館での健康づくり・生きがいがづくり事業	転倒予防教室	栄養改善教室	認知症予防教室	腰痛・膝痛予防体操教室	口腔ケア教室	骨盤底筋力向上教室	介護予防講演会	その他	無回答
全体	141	56.7	56.0	36.9	31.9	31.2	27.0	10.6	5.7	7.8	3.5
中野区	118	56.8	54.2	35.6	32.2	31.4	23.7	10.2	4.2	7.6	3.4
中野区以外	9	33.3	77.8	55.6	11.1	33.3	44.4	11.1	11.1	11.1	-



経年比較では、2022 年度と比べて「高齢者会館での健康づくり・生きがいくくり事業」が 10.0 ポイント、「転倒予防教室」が 8.5 ポイント減少している。

6. 成年後見制度について

6.1. 成年後見制度が必要と思われるが使っていない人数

◆ 「0名」が約3割

(全員の方に)

問 35 あなたの担当する認知症日常生活自立度Ⅱ以上の人で成年後見制度が必要と思われるが使っていない人は何名いますか。(○は1つ)

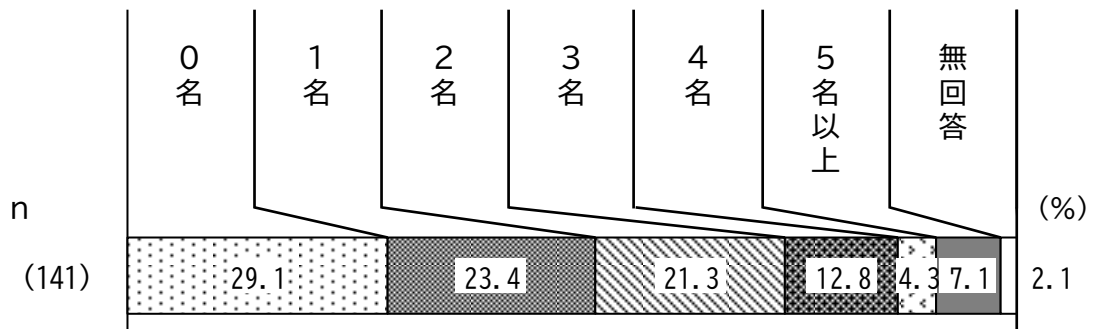


図 6-1 成年後見制度が必要と思われるが使っていない人数

「0名」が約3割で最も高くなっている。

6.2. 成年後見制度を活用する上での課題

◆ 「制度が使いにくい」が3割台前半

(全員の方に)

問 36 成年後見制度を活用する上での課題は何だと思いますか。(○は1つ)

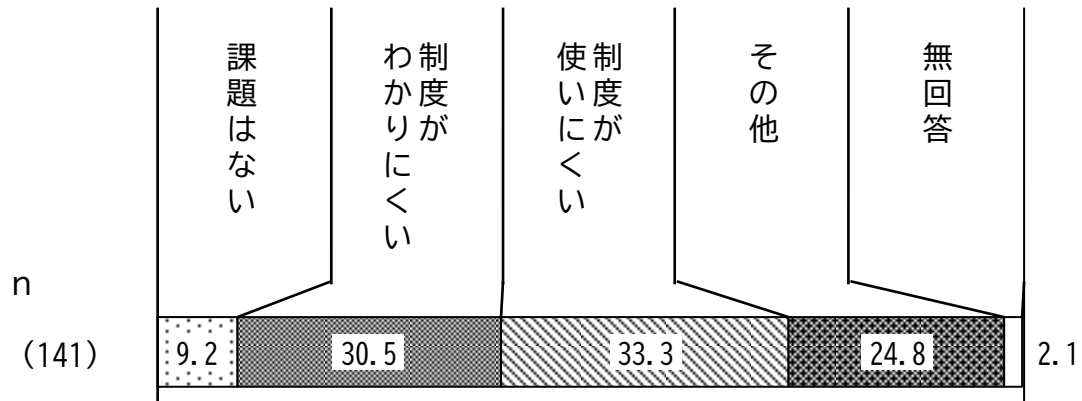


図 6-2 成年後見制度を活用する上での課題

「制度が使いにくい」が3割台前半で最も高く、次いで「制度がわかりにくい」が約3割となっている。

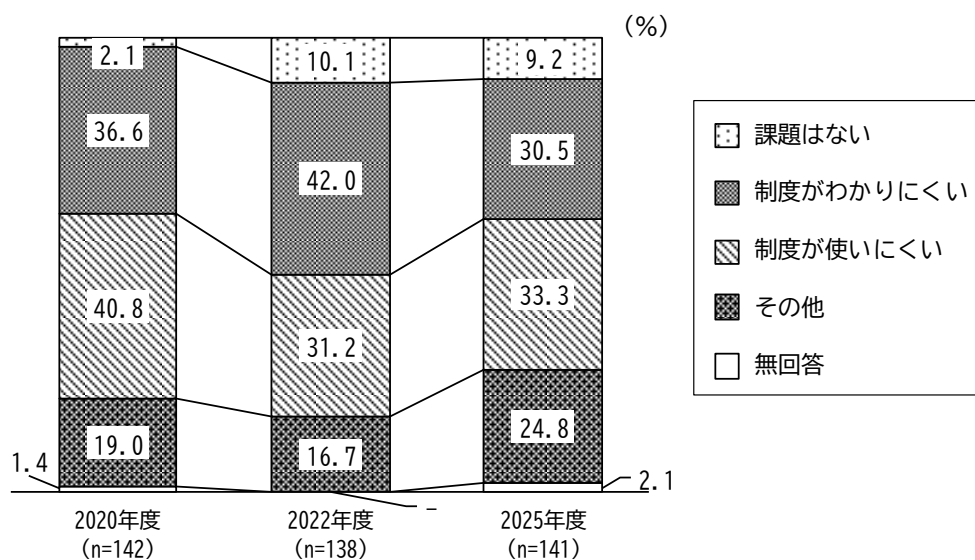


図 6-3 【経年比較】成年後見制度を活用する上での課題

経年比較では、2022年度と比べて「制度がわかりにくい」が11.5ポイント減少している。

7. 認知症に関する課題について

7.1. 「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ

◆ 「すすめたことがある」が約6割

(全員の方に)

問 37 区は認知症の方を抱える家族を支援するために、認知症の方の特性や具体的な介護の仕方などについて学ぶ「認知症に関する家族介護教室」を開催していますが、あなたは家族に参加をすすめたことがありますか。(〇は1つ)

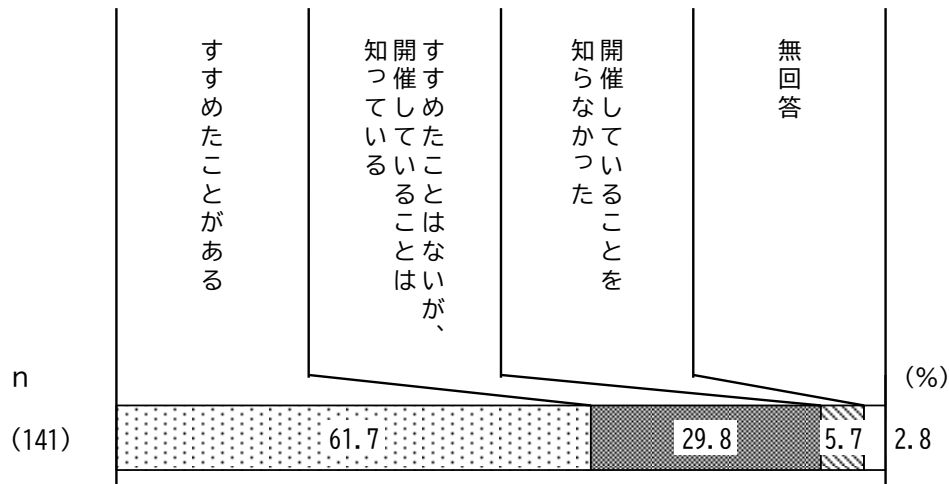


図 7-1 「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ

「すすめたことがある」が約6割を占めている。

【広く周知するための具体的な方法（「開催していることを知らなかった」と回答した方に）】

- ・区のケアマネ研修や、オレンジカフェなどで宣伝する

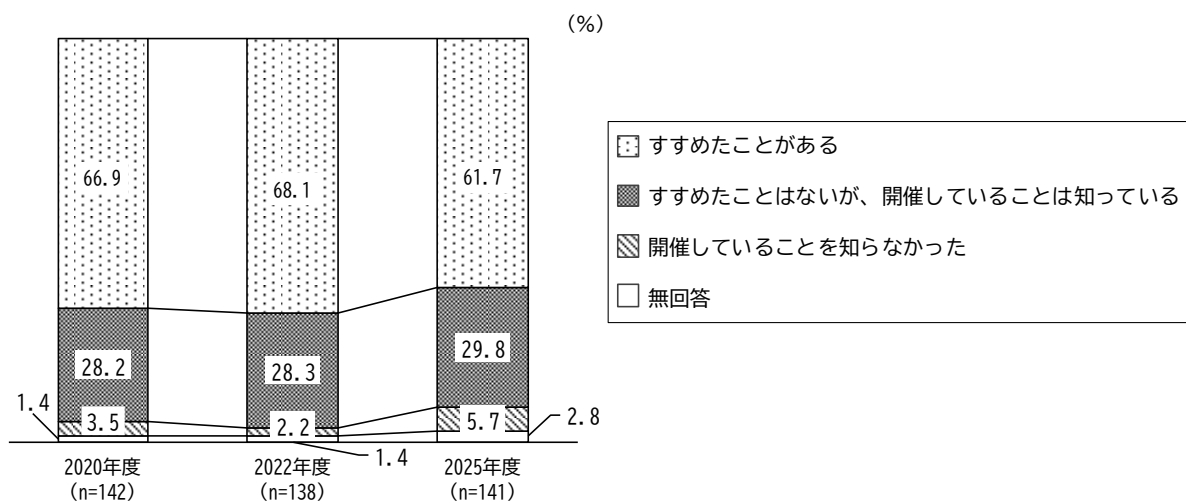


図 7-2 【経年比較】「認知症に関する家族介護教室」への参加のすすめ

経年比較では、2022年度と比べ「すすめたことがある」が6.4ポイント減少している。

7.2. 認知症高齢者に関して必要な施策

◆ 「地域での見守りネットワークの整備」が約6割

(全員の方に)

問 38 認知症高齢者に関してどのような施策が特に必要だと考えますか。
(○は主なもの3つまで)

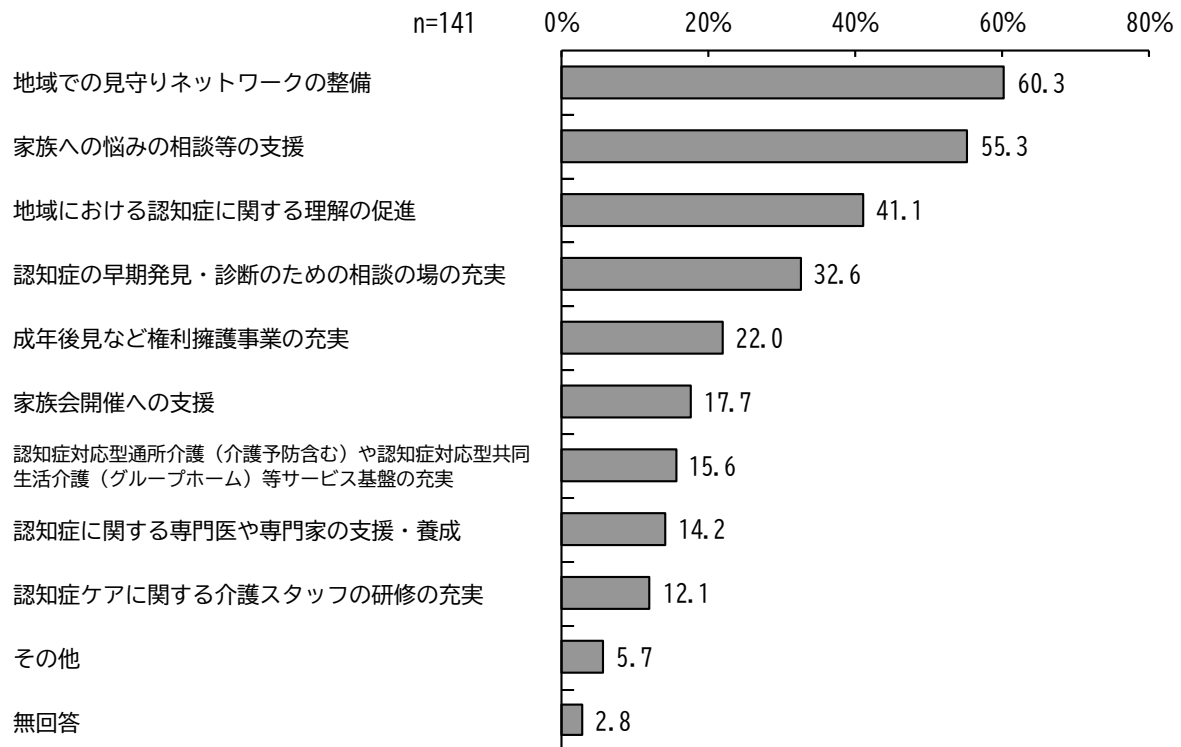
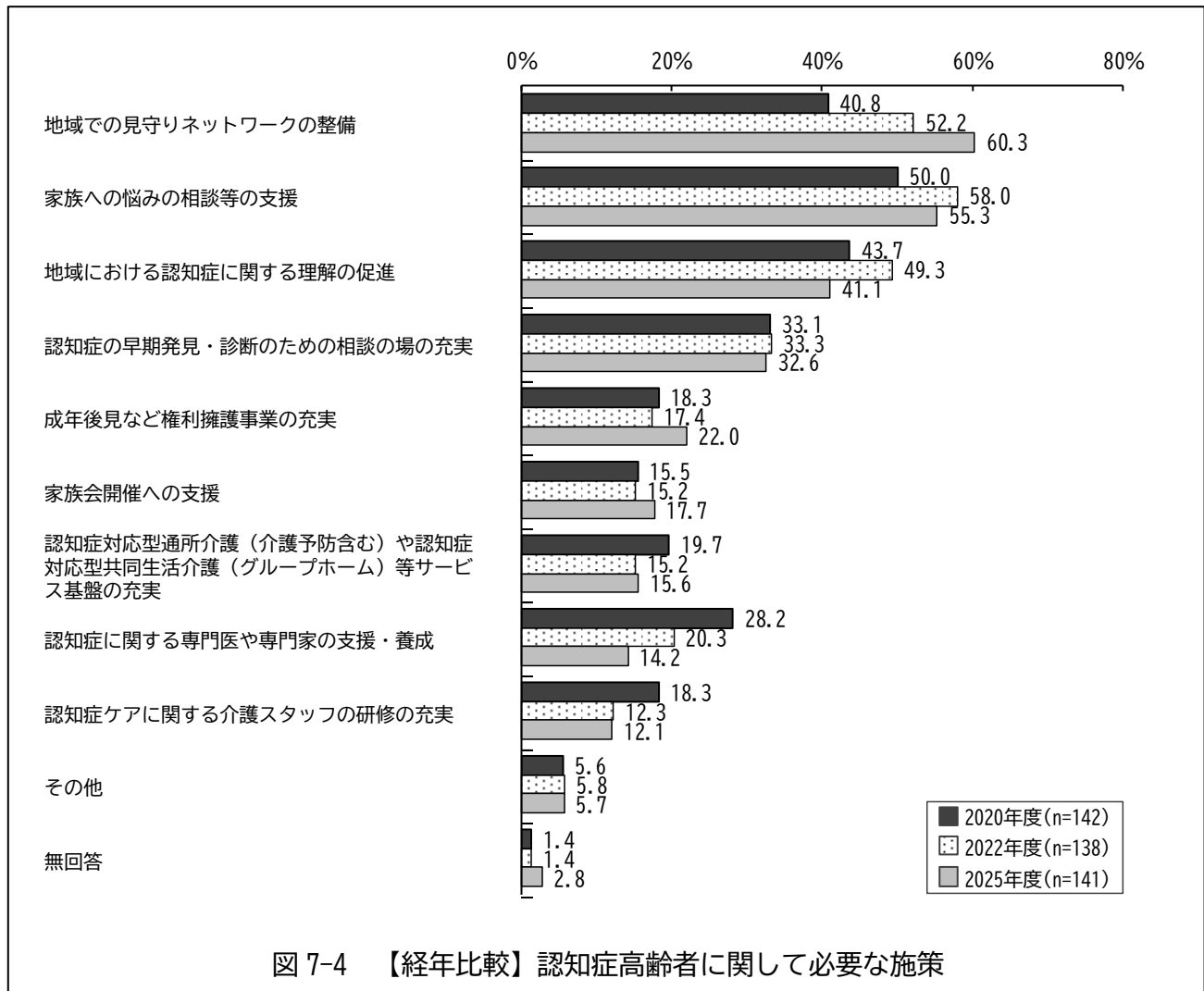


図 7-3 認知症高齢者に関して必要な施策

「地域での見守りネットワークの整備」が約6割で最も高く、次いで「家族への悩みの相談等の支援」が5割台半ば、「地域における認知症に関する理解の促進」が約4割となっている。



経年比較では、2022 年度と比べて「地域での見守りネットワークの整備」が 8.1 ポイント増加しており、反対に「地域における認知症に関する理解の促進」が 8.2 ポイント、「認知症に関する専門医や専門家の支援・養成」が 6.1 ポイント減少している。

8. 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について

8.1. 人生会議（ACP）という言葉や意味を知っているか

◆ 「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」が8割台後半

（全員の方に）

問 39 あなたはこれまでに見たり聞いたりして、「人生会議（ACP）」という言葉や意味を知っていましたか。（○は1つ）

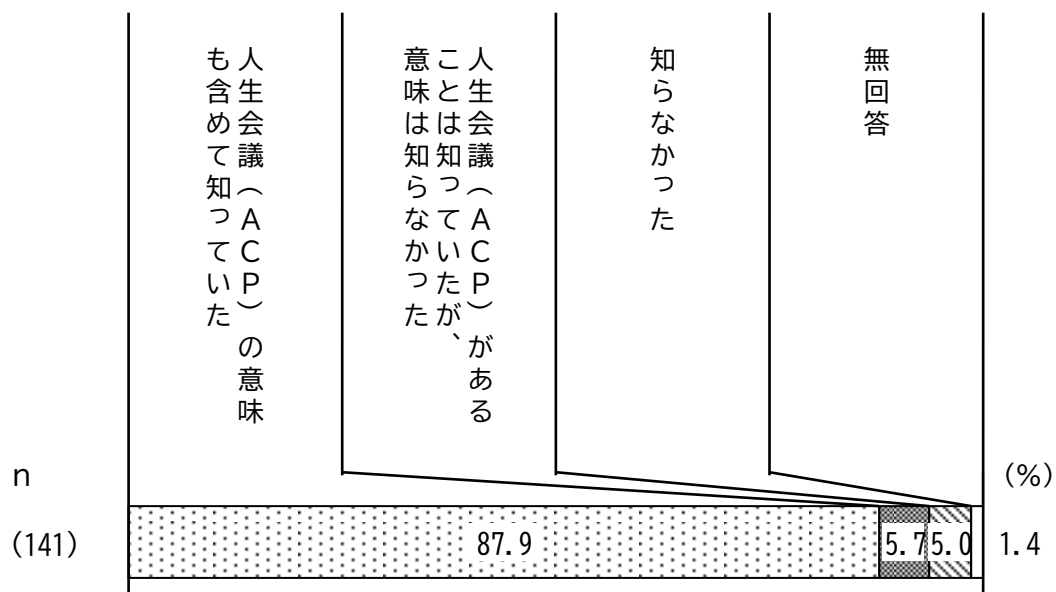


図 8-1 人生会議（ACP）という言葉や意味を知っているか

「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」が8割台後半を占めている。

8.2. 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験の有無

◆ 「支援したことがある」が4割台後半

（問 39 において「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」「人生会議（ACP）があることは知っていたが、意味は知らなかった」に○をつけた方に）

問 40 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験がありますか。（○は1つ）

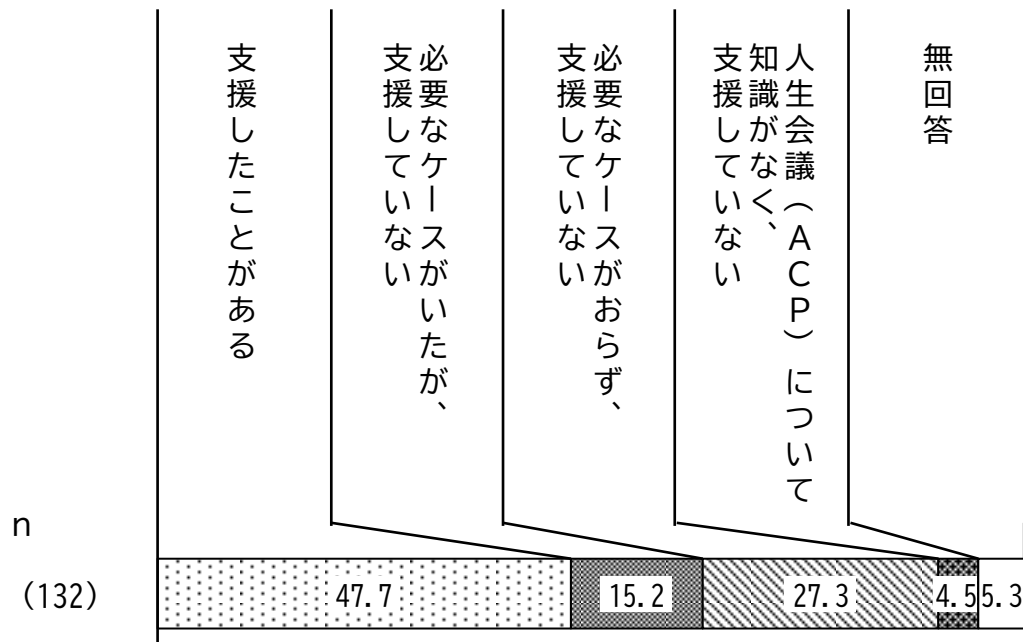


図 8-2 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験の有無

「支援したことがある」が4割台後半で最も高く、次いで「必要なケースがならず、支援していない」が2割台後半となっている。

8.3. 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点

◆ 「本人や家族の人生会議（ACP）についての理解が不足している」が6割台半ば

（問 39 において「人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた」「人生会議（ACP）があることは知っていたが、意味は知らなかった」に○をつけた方に）
 問 41 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点は何ですか。
 （あてはまるものすべてに○）

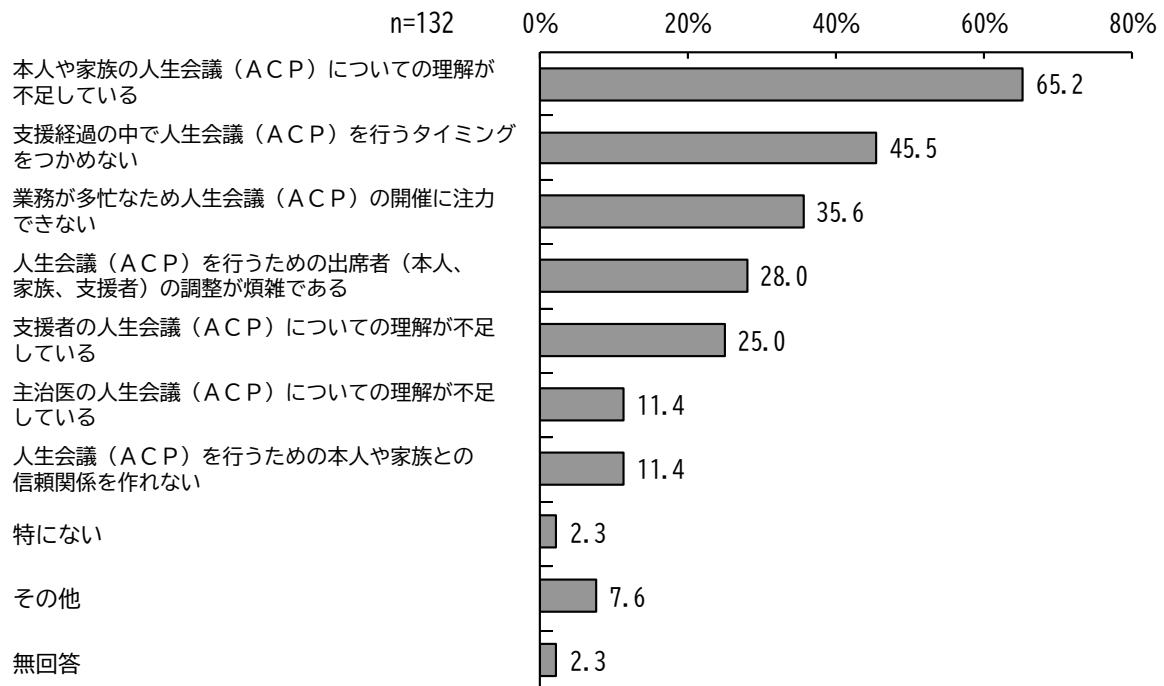


図 8-3 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点

「本人や家族の人生会議（ACP）についての理解が不足している」が6割半ばで最も高くなっている。

9. 在宅介護の可能性の拡大について

9.1. 要介護者等が居宅や地域での生活をするために充実すべき点

◆ 「24時間の緊急時に即応できる体制の整備」が6割台後半

(全員の方に)

問 42 要介護者等について、どのような点が充実すれば居宅や地域での生活をすることができますか。(あてはまるものすべてに○)

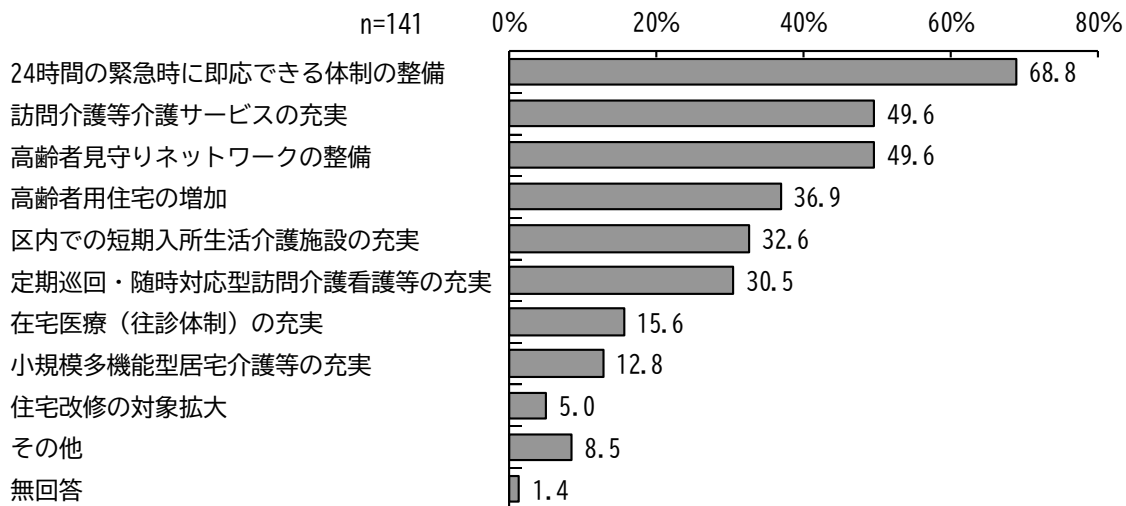


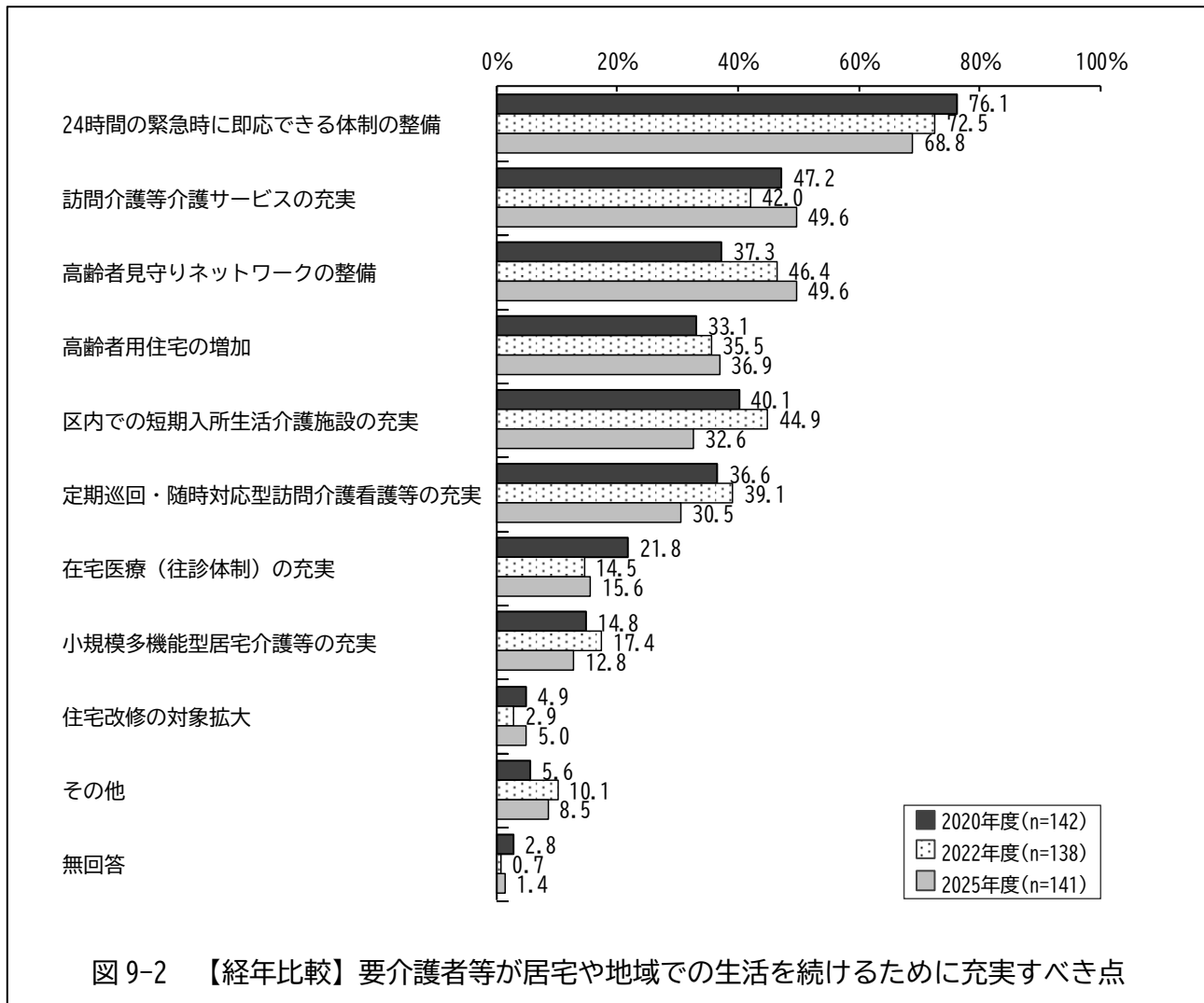
図 9-1 要介護者等が居宅や地域での生活をするために充実すべき点

「24時間の緊急時に即応できる体制の整備」が6割台後半で最も高くなっている。

【区内外の別】要介護者等が居宅や地域での生活をするために充実すべき点

単位：％

	有効回答数（件）	即24時間の緊急時に即応できる体制の整備	訪問介護等介護サービスの充実	高齢者見守りネットワークの整備	高齢者用住宅の増加	区内での短期入所生活介護施設の充実	定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の充実	在宅医療（往診体制）の充実	小規模多機能型居宅介護等の充実	住宅改修の対象拡大	その他	無回答
全体	141	68.8	49.6	49.6	36.9	32.6	30.5	15.6	12.8	5.0	8.5	1.4
中野区	118	70.3	48.3	50.0	36.4	32.2	32.2	16.1	12.7	5.9	8.5	1.7
中野区以外	9	88.9	44.4	44.4	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	-	11.1	-



経年比較では、「24 時間の緊急時に即応できる体制の整備」が継続して最も高くなっているが、割合は年々減少している。

また、2022 年度と比べ「区内での短期入所生活介護施設の充実」が 12.3 ポイント、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の充実」が 8.6 ポイントの減少している。反対に、「訪問介護等介護サービスの充実」は 7.6 ポイント増加している。

10. 業務遂行上の問題について

10.1. 業務遂行上の問題について

◆ 「文書の作成等事務処理に追われる」が6割台後半

(全員の方に)

問 43 業務遂行上、困っていることはどのようなことですか。(○は主なもの3つまで)

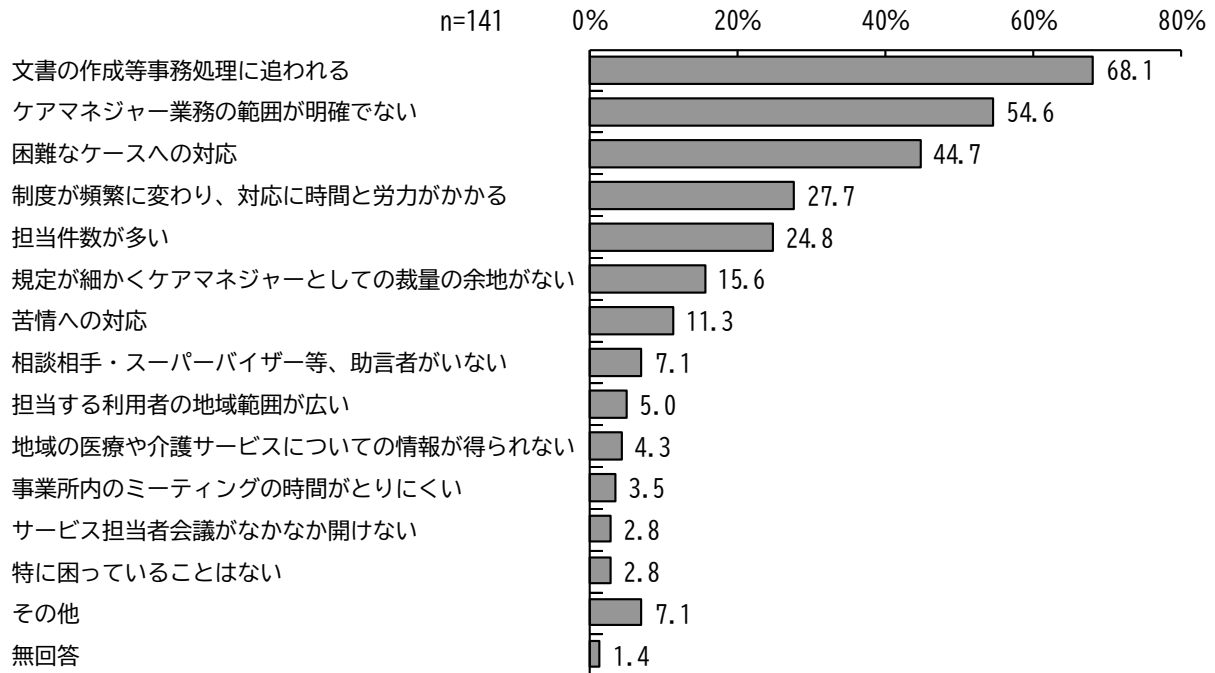


図 10-1 業務遂行上の問題について

「文書の作成等事務処理に追われる」が6割台後半で最も高くなっている。

【従事年数別】相談への対応に苦慮した時の相談先

単位：％

	有効回答数（件）	文書の作成等事務処理に追われる	ケアマネジャー業務の範囲が明確でない	困難なケースへの対応	制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる	担当件数が多い	規定が細かくケアマネジャーとしての裁量の余地がない	苦情への対応	相談相手・スーパーバイザー等、助言者がいない
全体	141	68.1	54.6	44.7	27.7	24.8	15.6	11.3	7.1
1年未満	3	66.7	33.3	66.7	-	-	-	-	-
1年以上3年未満	12	58.3	66.7	75.0	25.0	16.7	25.0	8.3	8.3
3年以上5年未満	6	66.7	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	-
5年以上	120	69.2	51.7	41.7	28.3	25.8	14.2	11.7	7.5

	有効回答数（件）	担当する利用者の地域範囲が広い	地域の医療や介護サービスについての情報が得られない	事業所内のミーティングの時間がとりにくい	サービス担当者会議がなかなか開けない	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	141	5.0	4.3	3.5	2.8	2.8	7.1	1.4
1年未満	3	-	33.3	-	-	-	-	-
1年以上3年未満	12	-	-	-	-	-	33.3	-
3年以上5年未満	6	-	-	-	-	-	-	-
5年以上	120	5.8	4.2	4.2	3.3	3.3	5.0	1.7

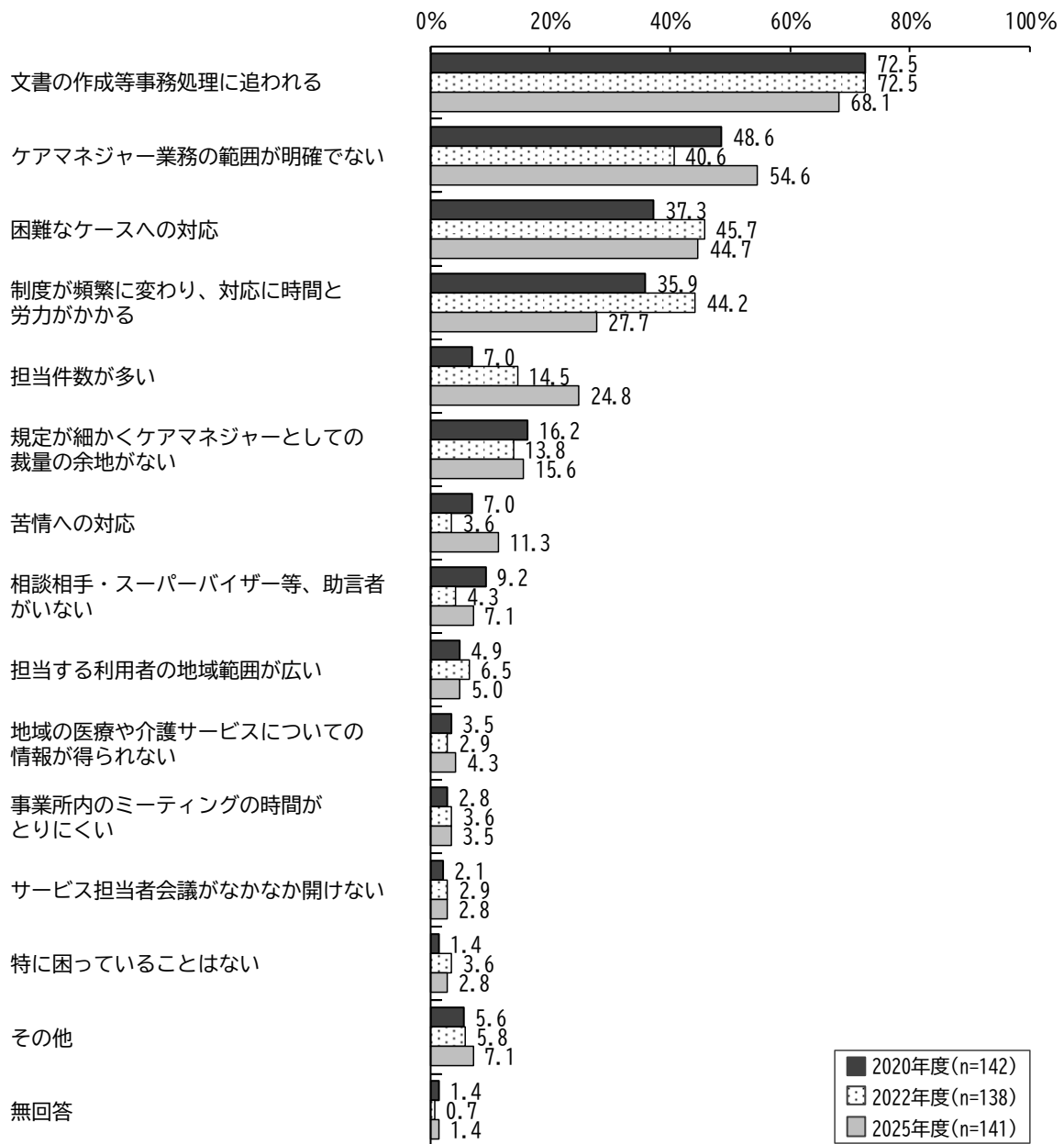


図 10-2 【経年比較】業務遂行上の問題について

経年比較では、「文書の作成等事務処理に追われる」が継続して最も高くなっている。

2022年度と比べて「ケアマネジャー業務の範囲が明確でない」が14.0ポイント増加している。また、「担当件数が多い」も10.3ポイント増加しており、割合は年々増加している。反対に「制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる」が16.5ポイントの減少している。

10.2. 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて

◆ 「ケアマネジャーを切り替えなければならない」が5割台前半

(全員の方に)

問 44 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

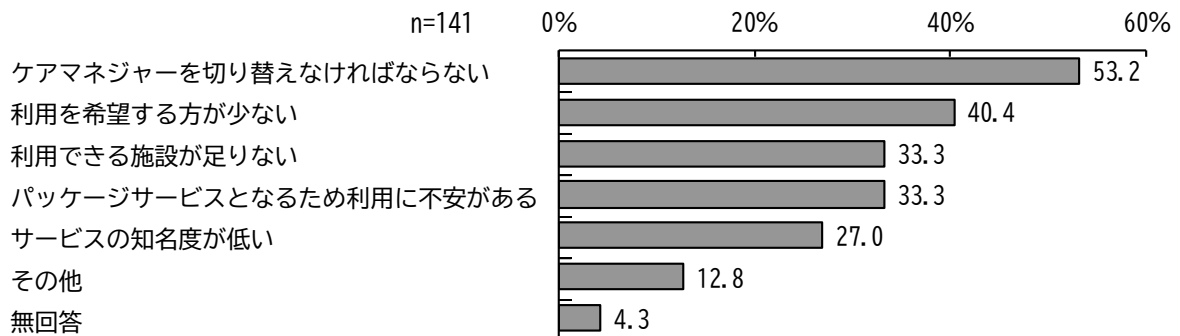


図 10-3 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて

「ケアマネジャーを切り替えなければならない」が5割台前半と最も高くなっている。

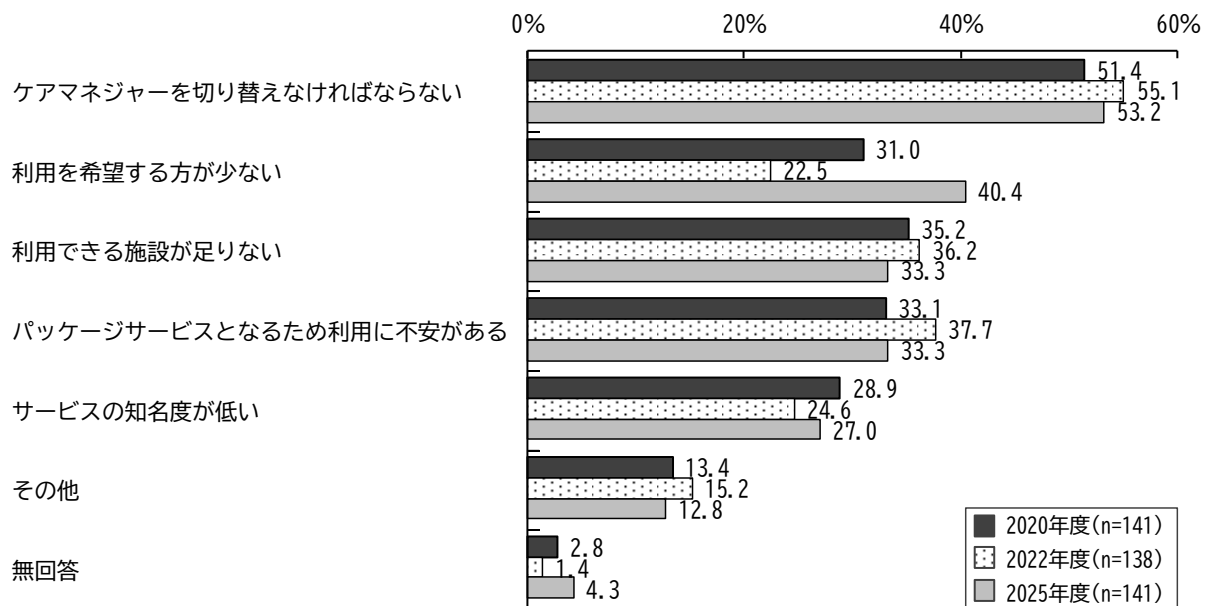


図 10-4 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさについて

経年比較では、2022 年度と比べて「利用を希望する方が少ない」が 17.9 ポイント増加している。

11. その他

11.1. 介護保険制度に関する意見（自由回答）

（全員の方に）

問 45 ケアマネジャー制度に関してご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

介護保険制度に関する意見について、68 件の回答があった。ここでは、その中から代表的な意見を掲載する。

なお、意見は明らかな誤字等の修正を除き、原文のまま掲載している。

制度上の課題・サービス範囲の不足について 27 件

- 制度に関しては、特に不満や利用し辛いという事は、この都市部では今のところ感じませんが、やはり今後、ヘルパーさんの数が減っていったり、ケアマネ資格を更新しない人も増え、そういった面で、制度がきちんと機能しなくなるのではという懸念はあります。
- ケアマネジャーのケアプラン料は利用者負担にするべきでない。訪問介護事業所の経営が悪化しているの、基本報酬を上げるか、区でも補助してほしい。ケアマネジャーにも処置改善加算等必要
- ルールが細かすぎる（裁量しにくい）、行政の対応に時間がかかる、保険料が高額、紙が多すぎる、事務が多すぎる
- ケアマネジャーの業務範囲の明確化が必要。（シャドーワークが多すぎる）ケアマネ不足が進むと思います。
- ケアプラン有料化について反対。ケアマネジメントの利用が抑制され利用者への不利益へつながる。・訪問介護従事者の不足により、質の低下が顕著に感じられている。退職の懸念から事業所側がきちんと指導が行えていない印象がある。
- やりがいのある仕事の割に、制度がころころ変わり、その都度学び、そして研修があり、大変な事が多くなってきており、特にこれから学んで職務につこうと思う人材は少ないのではないのでしょうか。何故国家資格にしないのか、しないのであれば、やはり更新研修をなくすかもっとやりがいにつながる研修にした方がよい。
- 障害支援サービスと比べると制限が多く、障害から介護保険に移行して来た方や、難病で障害支援と介護保険を併用している方のサービス利用に関して、介護保険サービスについての理解が得にくい。利用者家族が生活が不自由になったと感じている面がある。利用者の状態は加齢により悪化する為、柔軟な利用が出来ると良いと考える。
- 老々世帯、認知症世帯が増えており、主介護者として支援内容等の決定のため相談できる方がいないケースが増えている。
- 要支援と要介護を行ったり来たりする利用者が多い。その度に包括とのやり取りや、プランの書式変更が必要で大変。せめて同じ書式にできないか。
- その人それぞれの生活があり、訪問介護の内容がもう少し広い範囲で、利用出来る事で、自立支援に繋がると思います。今後。独居で、身寄りがない方が増えていくと思います。そういう方の対応が出来るサービスが増えると良い。

ケアマネジャーの処遇改善・現場の負担について 24 件

- ケアマネにも処遇改善の分配が好ましい。介護職（現場）の賃上げを行ってもケアマネいなければ介護保険での介入ができない。
- ケアマネジャーの処遇の改善が必要だと思います。人材不足は深刻です。給与面や働く環境の改善が急務です。

- ケアマネジャーの給料が低すぎる。仕事内容に苦痛を伴う為、若手に人気のない仕事となっている。シャドーワークが多すぎる。カスハラの対象になり、精神面で病む人が多く出ている。心身の健康を守るための制度の充実、何より報酬の低さは大問題である。ヘルパーのサビ責の方が注目されやすく報酬が高いのはケアマネの仕事内容が軽んじられているとしか思えない。又、プラン料の設定が「杖一本のみのレンタル」でも「沢山の調整をしたプラン」であっても同じであるのはおかしい。又、プランをさんざん調整したあげく、本人の拒否でプランが発生しなかった場合報酬が『ゼロ』というのはどう考えてもおかしい。
- 保険外のサービス依頼が多い事、書類関係が多い事、少しでも変化等や変更時の担当者会議が負担に感じている事、結果的に負担は変わらない。これでは離職が増えるばかりと思う。更新内容自体も毎回同じで質は同じ、割には研修費用は高い。厚いテキストが同じ物が2冊あります。更新の為、仕方なく受けているが、何かが変わりレベルアップしたと思えない。次の更新はしない方向でいる。(魅力や達成感がないと思うような職業と感じてしまう)
- ケアマネジャーのシャドーワークが多い。何でもケアマネジャーにふられる。介護認定決定が遅く、暫定で動くにも費用やオーバーを考えると必要なサービスを取り入れることができない。
- ケアマネありきの制度設計なのに対し、ケアマネ不足がどんどん進行している。更新制の廃止はもちろんだが、強制的な研修は廃止。処遇改善、わけのわからない指導、文書削減、ICT 推進、ペーパーレス等働きやすい仕事にしないと増加は見込めない
- 利用者に分かりやすく説明するが理解できない人が多い。運営基準で必要とされる書類や決まりが膨れ上がり、余程慣れている人でないとやりきれない。新規でケアマネジャーの仕事をトライしているが、介護職員よりも給与が低く、いずれモチベーションを保てなくなるのではと感じている。

手続きや事務作業の簡素化・改善について

7 件

- 書類作成が多すぎる。運営指導などがあると日々の仕事と書類チェックで大変です。
- 介護、予防ケアプランを同じ様式にして頂きたいです。変更するための事務効率が悪いと感じ、負担が大きいと感じます。
- 書類作成に追われ、本来利用者の声をもっと聞きたいのに時間がさけない。記録などの簡素化をすることにより、よりよいサービスにつながる。ケアマネはシャドーワークが多すぎる。区は、もっと1人をケアマネジメントするには何が必要か足りないのかを把握する必要がある。そして足りない資源を自治体で作り上げていくことが大切。

区への要望・苦情

5 件

- 迅速に対応できる知識を有した職員の相談窓口がありましたら、助かります。
- 後期高齢者が増えているのをひしひしと感じます。法令遵守や運営基準を守ること必要ですが、高齢や障害のある方の支援となります。文書や決まりに縛られるあまり、支援が小さくなるのが心配です。

介護認定について

4 件

- 要介護認定結果が想定より軽く出ることが多く、必要な人に必要な支援が行き渡っていないことを実感します

その他

1 件

Ⅲ 調査票と単純集計

1. 高齢者調査

れい わ ねん ど ねん ど
令和7年度（2025年度）
 こうれい ふく し か い ご ほ け ん い こう ち ょ う さ
高齢福祉・介護保険サービス意向調査
 こうれい しゃ ち ょ う さ
《高齢者調査》

ち ょ う さ き に ゅ う ね が
【調査のご記入にあたってのお願い】

- この調査は、できるかぎりあて名の方ご本人がお答えください。ご本人がお答えにならない場合には、ご家族や介護されている方が、ご本人の立場に立ってお答えください。
- このアンケートは名前・住所を書きいただく必要はありません。
- ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
- 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
- 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的に記入ください。
- 回答方法

ゆうそう かいとう
【郵送による回答】

ほん ち ょ う さ ひ ょ う どう ふ う へん し ん よ う ふ う とう き っ て ふ よ う い ゆうそう
 本調査票を同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

かいとう
【インターネットによる回答】

みぎ に じ げ ん よ と かいとうよう に ゆうりよく
 右の二次元コードを読み取るか、回答用URLを入力して、
 さいしょ が め ん に ゆうりよく
 最初の画面でIDとパスワードを入力し、ログインして
 ください。

に じ げ ん よ と じ どう て き に ゆうりよく
 ※二次元コードを読み取ると、ID・パスワードが自動的に入力されます。

かいとうよう
 ※回答用URL: <https://www.cz-wee.com/if/r7nakanokrs.php>

かいとう き げ ん ゆうそう きょうつう
【回答期限（郵送・インターネット共通）】

れい わ ねん ねん が つ に ち き ん よ う び
令和7年（2025年）12月5日（金曜日）

- 調査報告書は、令和8年7月から図書館、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
- 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記まで
 といあわ
 お問い合わせください。

な か の く ち い き さ さ す い し ん ぶ か い ご ほ け ん か か ん り が か り
中野区 地域支援あい推進部 介護保険課 管理係
 TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-5620
 E-mail kaigohoken@city.tokyo-nakano.lg.jp

質問の上に（全員の方に）と記載のあるものは全員の方が、（～の方に）とその他の記載があるものはその条件に合う方のみお答えください。

（全員の方に）＜回答者数：1,810＞

問1 記入日

れいわ ねん 令和7年		がつ 月		にち 日
----------------	--	---------	--	---------

（全員の方に）＜回答者数：1,810＞

問2 調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。（○は1つ）

1. あて名のご本人が記入(85.7%)
 2. ご家族が記入(6.6%)
 3. その他(0.1%)
- 無回答(7.6%)

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- ・この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、区による介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、区において適切に管理いたします。
- ・ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

1 あなた自身のことについておたずねします

（令和7年10月1日現在の状況をお答えください。）

（全員の方に）＜回答者数：1,810＞

問3 あなたがお住まいの地域はどこですか。（○は1つ）

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 1. 南台(6.7%) | 2. 弥生町(6.7%) | 3. 本町(8.6%) | 4. 中央(7.8%) |
| 5. 東中野(4.8%) | 6. 中野(7.3%) | 7. 上高田(5.9%) | 8. 新井(6.0%) |
| 9. 松が丘(1.6%) | 10. 沼袋(5.0%) | 11. 丸山(1.8%) | 12. 野方(6.6%) |
| 13. 江古田(3.5%) | 14. 江原町(2.7%) | 15. 大和町(4.5%) | 16. 若宮(4.3%) |
| 17. 白鷺(4.8%) | 18. 鷺宮(5.2%) | 19. 上鷺宮(3.8%) | 無回答(2.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問4 丁目を記入してください

() 丁目

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問5 あなたの性別はどちらですか。

1. 男 (42.8%)

2. 女 (56.5%)

無回答(0.7%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問6 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。

1. 65～69歳(11.8%) 2. 70～74歳(16.9%) 3. 75～79歳(25.0%)

4. 80～84歳(21.3%) 5. 85～89歳(15.1%) 6. 90～94歳(7.3%)

7. 95～99歳(1.8%) 8. 100歳以上(0.3%) 無回答(0.5%)

2 あなたのご家族や生活状況について

(令和7年10月1日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問7 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

1. 1人暮らし(39.0%)

2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)(22.9%)

3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(2.5%)

4. 息子・娘との2世帯(19.2%)

5. その他(14.3%)

無回答(2.2%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問8 あなたは要支援認定等を受けていますか。(○は1つ)

1. 要支援認定等を受けていない(84.2%)

2. 要支援1(5.9%)

3. 要支援2(5.2%)

4. 介護予防・生活支援サービス事業対象者(1.0%)

5. わからない(1.8%)

無回答(1.9%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問8-1 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------|
| 1. 介護・介助は必要ない(83.1%) | |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない(7.6%) | |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている(8.2%)
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) | 無回答(1.2%) |

(問8-1において「2」「3」に○をつけた方に) <回答者数：285>

問8-2 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)(6.7%) | 2. 心臓病(12.3%) |
| 3. がん(悪性新生物)(6.7%) | 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)(6.0%) |
| 5. 関節の病気(リウマチ等)(7.7%) | 6. 認知症(アルツハイマー病等)(6.3%) |
| 7. パーキンソン病(2.8%) | 8. 糖尿病(9.5%) |
| 9. 腎疾患(透析)(1.1%) | 10. 視覚・聴覚障害(8.4%) |
| 11. 骨折・転倒(22.5%) | 12. 脊椎損傷(5.6%) |
| 13. 高齢による衰弱(29.8%) | 14. その他(20.4%) |
| 15. 不明(2.1%) | 無回答(7.4%) |

(問8-1において「3」に○をつけた方に) <回答者数：148>

問8-3 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------------|---------------|----------------|
| 1. 配偶者(夫・妻)(17.6%) | 2. 息子(14.2%) | 3. 娘(28.4%) |
| 4. 子の配偶者(6.1%) | 5. 孫(5.4%) | 6. 兄弟・姉妹(1.4%) |
| 7. 介護サービスのヘルパー(34.5%) | 8. その他(13.5%) | 無回答(9.5%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問9 あなたの世帯の昨年の合計収入はいくらですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 収入なし(10.0%) | 2. 200万円未満(26.7%) |
| 3. 200～500万円未満(39.2%) | 4. 500～700万円未満(8.8%) |
| 5. 700～1,000万円未満(5.0%) | 6. 1,000～1,500万円未満(2.3%) |
| 7. 1,500万円以上(2.6%) | 無回答(5.2%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問9-1 あなたの現在の預貯金はいくらですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 貯蓄なし(7.0%) | 2. 50万円未満(6.1%) |
| 3. 50～300万円未満(16.5%) | 4. 300～1,000万円未満(24.8%) |
| 5. 1,000～3,000万円未満(24.1%) | 6. 3,000万円以上(15.7%) 無回答(5.9%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問9-2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-------------------|---------------|
| 1. 大変苦しい(8.5%) | 2. やや苦しい(23.5%) | 3. ふつう(51.3%) |
| 4. ややゆとりがある(11.8%) | 5. 大変ゆとりがある(2.8%) | 無回答(2.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問10 お住まいは戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 持家(戸建て)(57.1%) | 2. 持家(集合住宅)(23.8%) |
| 3. 公営賃貸住宅(6.0%) | 4. 民間賃貸住宅(戸建て)(1.0%) |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)(8.5%) | 6. 借家(0.8%) |
| 7. その他(1.5%) | 無回答(1.3%) |

3 からだを動かすことについて(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|
| 1. できるし、している(54.8%) | 2. できるけどしていない(20.9%) | 3. できない(23.0%) | 無回答(1.3%) |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|
| 1. できるし、している(72.4%) | 2. できるけどしていない(12.4%) | 3. できない(14.1%) | 無回答(1.0%) |
|---------------------|----------------------|----------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問13 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------|-----------|
| 1. できるし、している(80.0%) | 2. できるけどしていない(9.9%) | 3. できない(9.1%) | 無回答(1.0%) |
|---------------------|---------------------|---------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問14 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------------|----------------|--------------|-----------|
| 1. 何度もある(8.8%) | 2. 1度ある(24.9%) | 3. ない(65.4%) | 無回答(0.9%) |
|----------------|----------------|--------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問15 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-------------------|-----------|
| 1. とても不安である(20.7%) | 2. やや不安である(42.2%) | |
| 3. あまり不安でない(22.5%) | 4. 不安でない(13.5%) | 無回答(1.0%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問16 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|-----------------|-----------|
| 1. ほとんど外出しない(5.8%) | 2. 週1回(9.0%) | |
| 3. 週2～4回(42.9%) | 4. 週5回以上(41.3%) | 無回答(1.0%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------|------------------|-----------|
| 1. とても減っている(4.9%) | 2. 減っている(24.4%) | |
| 3. あまり減っていない(33.3%) | 4. 減っていない(36.5%) | 無回答(1.0%) |

(問17で「1」「2」に○をつけた方に) <回答者数：530>

問17-1 外出が減っている理由は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 病気(14.0%) | 2. 障害(脳卒中の後遺症など)(2.8%) |
| 3. 足腰などの痛み(51.9%) | 4. トイレの心配(失禁など)(15.7%) |
| 5. 耳の障害(聞こえの問題など)(6.2%) | 6. 目の障害(6.8%) |
| 7. 外での楽しみがない(18.1%) | 8. 経済的に出られない(7.0%) |
| 9. 交通手段がない(3.8%) | 10. 同行してくれる人がいない(9.4%) |
| 11. 家族等から止められている(2.1%) | 12. その他(21.3%) |
| | 無回答(2.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問18 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 徒歩(82.2%) | 2. 自転車(32.4%) |
| 3. バイク(1.7%) | 4. 自動車(自分で運転)(14.8%) |
| 5. 自動車(人に乗せてもらう)(9.6%) | 6. 電車(60.7%) |
| 7. 路線バス(60.0%) | 8. 病院や施設のバス(1.5%) |
| 9. 車いす(1.4%) | 10. 電動車いす(カート)(0.3%) |
| 11. 歩行器・シルバーカー(3.9%) | 12. タクシー(23.4%) |
| 13. その他(1.2%) | 無回答(1.9%) |

4 食べることについて

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問19 身長・体重

身長 () c m	②体重 () k g
1. やせ(11.0%) 2. 標準(67.2%)	3. 肥満(18.4%) 無回答(3.3%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問20 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい(30.6%)	2. いいえ(68.3%)	無回答(1.2%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問21 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

1. はい(30.3%)	2. いいえ(68.7%)	無回答(1.0%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問22 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

1. はい(31.0%)	2. いいえ(67.8%)	無回答(1.1%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問23 歯磨き(人にやってもらう場合を含む)を毎日していますか。(○は1つ)

1. はい(93.0%)	2. いいえ(5.9%)	無回答(1.1%)
--------------	--------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問24 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○は1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用(13.7%)

2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし(37.8%)

3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用(33.9%)

4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし(10.8%)

無回答(3.9%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問24-1 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

1. はい(69.2%)

2. いいえ(17.0%)

無回答(13.8%)

(問24で「1」「3」に○をつけた方に) <回答者数：861>

問24-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

1. はい(89.4%)

2. いいえ(6.9%)

無回答(3.7%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問25 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

1. はい(12.4%)

2. いいえ(85.3%)

無回答(2.3%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問26 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある(42.3%)

2. 週に何度かある(13.0%)

3. 月に何度かある(19.2%)

4. 年に何度かある(12.7%)

5. ほとんどない(11.3%)

無回答(1.5%)

5 毎日の生活について

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問27 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい(40.3%) 2. いいえ(58.2%) 無回答(1.5%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問28 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか。(○は1つ)

1. はい(11.7%) 2. いいえ(86.8%) 無回答(1.5%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問29 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

1. はい(83.9%) 2. いいえ(14.9%) 無回答(1.2%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問30 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

1. はい(26.6%) 2. いいえ(72.0%) 無回答(1.4%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問31 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)

1. できるし、している(84.5%) 2. できるけどしていない(8.1%) 3. できない(6.2%) 無回答(1.2%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問32 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(86.1%) 2. できるけどしていない(8.4%) 3. できない(4.1%) 無回答(1.4%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問33 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(78.6%) 2. できるけどしていない(14.8%) 3. できない(5.2%) 無回答(1.3%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問34 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(85.6%) 2. できるけどしていない(9.2%) 3. できない(3.3%) 無回答(1.9%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問35 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している(87.9%) 2. できるけどしていない(7.2%) 3. できない(3.3%) 無回答(1.5%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問36 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)

1. はい(91.3%) 2. いいえ(7.1%) 無回答(1.6%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問37 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

1. はい(66.6%) 2. いいえ(31.7%) 無回答(1.8%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問38 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

1. はい(71.0%) 2. いいえ(27.4%) 無回答(1.6%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問39 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

1. はい(89.1%) 2. いいえ(9.4%) 無回答(1.5%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問40 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

1. はい(37.0%) 2. いいえ(61.3%) 無回答(1.8%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問41 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

1. はい(69.0%) 2. いいえ(29.0%) 無回答(2.0%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問42 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

1. はい(80.4%) 2. いいえ(17.1%) 無回答(2.5%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問43 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

1. はい(72.2%) 2. いいえ(25.6%) 無回答(2.2%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問44 趣味はありますか。(○は1つ)

1. 趣味あり(74.9%) 2. 思いつかない(22.2%) 無回答(2.9%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問45 生きがいがありますか。(○は1つ)

1. 生きがいあり(62.7%) 2. 思いつかない(33.6%) 無回答(3.7%)

6 地域での活動について(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問46 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～③それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

① ボランティアのグループ

1. 週4回以上(1.2%) 2. 週2～3回(2.2%) 3. 週1回(2.5%)
4. 月1～3回(6.5%) 5. 年に数回(3.8%) 6. 参加していない(78.2%) 無回答(5.7%)

② スポーツ関係のグループやクラブ

1. 週4回以上(4.6%) 2. 週2～3回(8.9%) 3. 週1回(7.2%)
4. 月1～3回(5.2%) 5. 年に数回(2.3%) 6. 参加していない(67.4%) 無回答(4.4%)

③ 趣味関係のグループ

1. 週4回以上(2.1%) 2. 週2～3回(5.5%) 3. 週1回(7.8%)
4. 月1～3回(11.5%) 5. 年に数回(6.8%) 6. 参加していない(62.9%) 無回答(3.4%)

④ 学習・教養サークル

1. 週 4 回以上(0.3%) 2. 週 2～3 回(2.0%) 3. 週 1 回(3.8%)
4. 月 1～3 回(5.2%) 5. 年に数回(4.0%) 6. 参加していない(79.9%) 無回答(4.7%)

⑤ 体操や軽運動など介護予防のための通いの場

1. 週 4 回以上(3.7%) 2. 週 2～3 回(7.2%) 3. 週 1 回(8.3%)
4. 月 1～3 回(3.6%) 5. 年に数回(1.1%) 6. 参加していない(72.2%) 無回答(3.9%)

⑥ 老人クラブ

1. 週 4 回以上(0.3%) 2. 週 2～3 回(1.0%) 3. 週 1 回(1.2%)
4. 月 1～3 回(2.5%) 5. 年に数回(1.3%) 6. 参加していない(89.5%) 無回答(4.1%)

⑦ 町内会・自治会

1. 週 4 回以上(0.3%) 2. 週 2～3 回(0.6%) 3. 週 1 回(1.2%)
4. 月 1～3 回(5.2%) 5. 年に数回(9.4%) 6. 参加していない(79.4%) 無回答(3.8%)

⑧ 収入のある仕事

1. 週 4 回以上(14.6%) 2. 週 2～3 回(6.9%) 3. 週 1 回(1.9%)
4. 月 1～3 回(2.9%) 5. 年に数回(2.1%) 6. 参加していない(68.0%) 無回答(3.6%)

(問46①～⑧でひとつでも「6」に○をつけた方に) <回答者数：1,749>

問46-1 地域での活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域活動の情報がないため(17.4%) 2. 知り合いがいないため(19.5%)
3. やりたい活動がないため(14.6%)
4. 費用が掛かるため(3.3%)
5. 近所での活動には参加したくないため(19.0%)
6. その他(36.3%) 無回答(9.8%)

(全員の方に) <回答者数：1,810>

問47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい(5.1%) 2. 参加してもよい(48.8%)
3. 参加したくない(38.1%) 4. 既に参加している(4.4%) 無回答(3.6%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問48 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------|
| 1. 是非参加したい(2.2%) | 2. 参加してもよい(28.5%) | |
| 3. 参加したくない(61.7%) | 4. 既に参加している(3.5%) | 無回答(4.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問49 あなたは、お住まいの地域のひとから何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど)(〇は1つ)

- | | | |
|---------------------|--------------------|-----------|
| 1. そう思う(8.7%) | 2. ややそう思う(17.7%) | |
| 3. あまりそう思わない(32.6%) | 4. 全くそう思わない(37.7%) | 無回答(3.3%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問50 現在のあなたの就労状態はどれですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | | |
|----------------------|---------------------------|-----------|
| 1. 職に就いたことがない(10.6%) | 2. 引退した(49.7%) | → 問50-1へ |
| 3. 常勤(フルタイム)(6.2%) | 4. 非常勤(パート・アルバイト等)(12.7%) | |
| 5. 自営業(12.6%) | 6. 休職中(1.8%) | |
| 7. その他(8.9%) | | 無回答(4.4%) |

(問50で「2」に〇をつけた方に) <回答者数：899>

問50-1 あなたはいつ引退しましたか。(〇は1つ)

- | | | |
|--|--|-----------|
| 1. 昭和 <input type="text"/> <input type="text"/> 年(11.1%) | 2. 平成 <input type="text"/> <input type="text"/> 年(57.3%) | |
| 3. 令和 <input type="text"/> 年(25.9%) | | 無回答(5.7%) |

7 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数: 1,810>

問51 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 配偶者(30.1%) | 2. 同居の子ども(22.5%) |
| 3. 別居の子ども(31.4%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(32.4%) |
| 5. 近隣(8.5%) | 6. 友人(47.1%) |
| 7. その他(4.3%) | 8. そのような人はいない(6.8%) 無回答(2.7%) |

(全員のの方に) <回答者数: 1,810>

問52 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者(29.5%) | 2. 同居の子ども(20.1%) |
| 3. 別居の子ども(27.7%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(33.4%) |
| 5. 近隣(9.8%) | 6. 友人(48.7%) |
| 7. その他(2.8%) | 8. そのような人はいない(10.6%) 無回答(3.0%) |

(全員のの方に) <回答者数: 1,810>

問53 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者(31.1%) | 2. 同居の子ども(26.6%) |
| 3. 別居の子ども(30.9%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(17.6%) |
| 5. 近隣(2.7%) | 6. 友人(9.0%) |
| 7. その他(3.8%) | 8. そのような人はいない(11.9%) 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数: 1,810>

問54 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 配偶者(34.6%) | 2. 同居の子ども(22.8%) |
| 3. 別居の子ども(22.5%) | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫(22.0%) |
| 5. 近隣(2.7%) | 6. 友人(11.9%) |
| 7. その他(3.3%) | 8. そのような人はいない(19.0%) 無回答(3.5%) |

(全員のの方に) <回答者数: 1,810>

問55 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ(5.9%) | 2. 社会福祉協議会・民生委員(7.6%) |
| 3. ケアマネジャー(9.2%) | 4. 医師・歯科医師・看護師(32.8%) |
| 5. 地域包括支援センター・区役所(19.7%) | 6. その他(7.4%) |
| 7. そのような人はいない(39.7%) | 無回答(4.7%) |

問56～問58 では、家族や親戚などについて伺います。

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問56 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする家族や親戚は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(14.7%) | 2. 1人(16.5%) | 3. 2人(24.4%) |
| 4. 3～4人(31.3%) | 5. 5～8人(7.1%) | 6. 9人以上(2.7%) 無回答(3.3%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問57 あなたが個人的な事でも話することができるくらい気楽に感じられる家族や親戚は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(10.1%) | 2. 1人(15.5%) | 3. 2人(26.9%) |
| 4. 3～4人(34.1%) | 5. 5～8人(8.7%) | 6. 9人以上(1.8%) 無回答(2.9%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問58 あなたが助けを求めることができるくらい親しく感じられる家族や親戚は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(8.7%) | 2. 1人(14.4%) | 3. 2人(29.5%) |
| 4. 3～4人(36.3%) | 5. 5～8人(7.3%) | 6. 9人以上(0.9%) 無回答(2.8%) |

問59～問61 では、近くに住んでいる人を含むあなたの友人全体について伺います。

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問59 少なくとも月に1回、会ったり話をしたりする友人は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(29.6%) | 2. 1人(10.4%) | 3. 2人(16.5%) |
| 4. 3～4人(25.1%) | 5. 5～8人(9.8%) | 6. 9人以上(5.2%) 無回答(3.3%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問60 あなたが個人的な事でも話することができるくらい気楽に感じられる友人は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(24.6%) | 2. 1人(14.7%) | 3. 2人(22.3%) |
| 4. 3～4人(27.5%) | 5. 5～8人(6.3%) | 6. 9人以上(1.9%) 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問61 あなたが助けを求めることができるくらい親しく感じられる友人は何人いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 1. いない(37.7%) | 2. 1人(14.0%) | 3. 2人(21.6%) |
| 4. 3～4人(19.3%) | 5. 5～8人(3.3%) | 6. 9人以上(1.2%) 無回答(3.0%) |

8 健康について

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問62 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|----------------|-----------|
| 1. とてもよい(14.1%) | 2. まあよい(64.0%) | |
| 3. あまりよくない(17.0%) | 4. よくない(3.2%) | 無回答(1.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問63 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

- | <div> <div>とても不幸 ←</div> <div>→ とても幸せ</div> </div> | | | | | |
|--|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 0点(0.3%) | 1点(0.6%) | 2点(0.6%) | 3点(2.0%) | 4点(3.5%) | 5点(17.3%) |
| 6点(9.6%) | 7点(14.0%) | 8点(21.4%) | 9点(12.7%) | 10点(15.4%) | 無回答(2.7%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問64 ここ2週間、毎日の生活に充実感がない気がしましたか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(22.4%) | 2. いいえ(74.9%) | 無回答(2.7%) |
|--------------|---------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問65 ここ2週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめない気がしましたか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(18.0%) | 2. いいえ(78.9%) | 無回答(3.1%) |
|--------------|---------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問66 ここ2週間、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられることがありましたか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(36.0%) | 2. いいえ(62.0%) | 無回答(1.9%) |
|--------------|---------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問67 ここ2週間、自分が役に立つ人間だとは思えない気がしましたか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. はい(19.9%) | 2. いいえ(77.6%) | 無回答(2.5%) |
|--------------|---------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問68 ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがしましたか。(○は1つ)

1. はい(30.5%)	2. いいえ(67.3%)	無回答(2.2%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問69 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つ)

1. はい(32.5%)	2. いいえ(65.6%)	無回答(1.9%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問70 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

1. はい(21.9%)	2. いいえ(75.7%)	無回答(2.3%)
--------------	---------------	-----------

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問71 お酒は飲みますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む(21.6%)	2. 時々飲む(19.7%)	
3. ほとんど飲まない(26.9%)	4. もともと飲まない(30.2%)	無回答(1.7%)

(全員のの方に) <回答者数：1,810>

問72 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている(8.5%)	2. 時々吸っている(1.3%)	
3. 吸っていたがやめた(28.0%)	4. もともと吸っていない(60.4%)	無回答(1.7%)

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,810>

問73 現在^{いま}治療^{りょうちゅう}中^{ちゅう}、または後遺症^{こういしやう}のある病気^{びやうき}はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. ない(15.9%) | 2. 高 ^{こう} 血 ^{けつ} 圧 ^{あつ} (41.6%) |
| 3. 脳 ^{のう} 卒 ^{そつ} 中 ^{ちゅう} (脳 ^{のう} 出 ^{しゅつ} 血 ^{けつ} ・脳 ^{のう} 梗 ^{こう} 塞 ^{そく} 等 ^{とう})(3.8%) | 4. 心 ^{しん} 臓 ^{ぞう} 病 ^{びやう} (11.4%) |
| 5. 糖 ^{とう} 尿 ^{りょう} 病 ^{びやう} (13.6%) | 6. 高 ^{こう} 脂 ^し 血 ^{けつ} 症 ^{しやう} (脂 ^し 質 ^{しつ} 異 ^い 常 ^{じやう})(13.6%) |
| 7. 呼 ^こ 吸 ^{きゅう} 器 ^き の病 ^び 気 ^き (肺 ^{はい} 炎 ^{えん} や気 ^き 管 ^{かん} 支 ^し 炎 ^{えん} 等 ^{とう})(6.1%) | 8. 胃 ^い 腸 ^{ちやう} ・肝 ^{かん} 臓 ^{ぞう} ・胆 ^{たん} のうの病 ^び 気 ^き (5.4%) |
| 9. 腎 ^{じん} 臓 ^{ぞう} ・前 ^{ぜん} 立 ^り 腺 ^{つせん} の病 ^び 気 ^き (8.6%) | |
| 10. 筋 ^{きん} 骨 ^{こつ} 格 ^{かく} の病 ^び 気 ^き (骨 ^{こつ} 粗 ^そ しやう ^{しやう} 症 ^{しやう} 、関 ^{かん} 節 ^{せつ} 症 ^{しやう} 等 ^{とう})(12.7%) | |
| 11. 外 ^{がい} 傷 ^{しやう} (転 ^{てん} 倒 ^{とう} ・骨 ^{こつ} 折 ^{せつ} 等 ^{とう})(4.0%) | 12. がん(悪 ^{あく} 性 ^{せい} 新 ^{しん} 生 ^{せい} 物 ^{ぶつ})(5.4%) |
| 13. 血 ^{けつ} 液 ^{えき} ・免 ^{めん} 疫 ^{えき} の病 ^び 気 ^き (2.2%) | 14. うつ ^{びやう} 病 ^{びやう} (1.2%) |
| 15. 認 ^{にん} 知 ^ち 症 ^{しやう} (アルツハイマー ^{びやう} 病 ^{びやう} 等 ^{とう})(1.0%) | 16. パーキンソン ^{びやう} 病 ^{びやう} (0.6%) |
| 17. 目 ^め の病 ^び 気 ^き (18.1%) | 18. 耳 ^{みみ} の病 ^び 気 ^き (4.3%) |
| 19. その他 ^た (11.5%) | 無 ^む 回 ^{かい} 答 ^た (6.3%) |

9 認^{にん}知^ち症^{しやう}にかか^かる相^{そう}談^{だん}窓^{まど}口^{ぐち}の把^は握^{あく}について (記^き入^{にゅう}日^{びげん}現^{ざい}在^{じやう}の状^{じやう}況^{きやう}を^{こた}お答^{こた}え^えく^えだ^えさ^えい。)

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,810>

問74 認^{にん}知^ち症^{しやう}の症^{しやう}状^{じやう}がある、又^{また}は家^か族^{ぞく}に認^{にん}知^ち症^{しやう}の症^{しやう}状^{じやう}がある人^{ひと}がいますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|--|
| 1. はい(10.6%) | 2. いいえ(86.3%) | 無 ^む 回 ^{かい} 答 ^た (3.1%) |
|--------------|---------------|--|

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,810>

問75 認^{にん}知^ち症^{しやう}に關^{かん}する相^{そう}談^{だん}窓^{まど}口^{ぐち}を^し知^しつて^しい^しますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|--|
| 1. はい(28.3%) | 2. いいえ(68.3%) | 無 ^む 回 ^{かい} 答 ^た (3.4%) |
|--------------|---------------|--|

10 成年後見制度について

(記入日現在の状況をお答えください。)

(全員の^{ぜんいん}方に^{かた}) <回答者数：1,810>

問76 あなたは成年後見制度についてどの程度知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている(13.7%)

2. だいたい知っている(26.6%)

3. あまりよくわからない(36.6%)

4. 全く^{まった}わからない(18.3%)5. その他^た(0.2%)

無回答(4.5%)

(問76で「1」「2」に○をつけた^{かた}方に) <回答者数：730>問76-1 今後、成年後見制度を利用^{りよう}したい^{おも}いますか。(○は1つ)

1. したい(14.7%)

2. したくない(84.5%)

無回答(0.8%)

(問76-1で「2」に○をつけた^{かた}方に) <回答者数：617>問76-2 利用^{りよう}したくない理由^{りゆう}をおしえてください。(○は2つ)1. 後見人^{こうけんじん}でなくても家族^{かぞく}がいるから(83.6%)2. 他人^{たにん}(家族^{かぞく}・親族^{しんぞく}を含む^{ふく})に財産^{ざいさん}などを任せ^{まか}ることに不安^{ふあん}があるから(14.6%)3. 後見人^{こうけんじん}になってほしい人^{ひと}が見あたら^みないから(8.6%)4. 家族^{かぞく}・親族^{しんぞく}の信頼^{しんらい}関係^{かんけい}が壊^{こわ}れる恐れ^{おそ}があるから(3.1%)5. 手続き^{てつづ}が大変^{たいへん}そうだから(3.7%)6. 費用^{ひよう}がどのくらいかかるか心配^{しんぱい}だから(3.7%)7. 家庭裁判所^{かていさいばんしょ}に申立^{もうした}てることに抵抗^{ていこう}があるから(2.6%)8. どういうときに利用^{りよう}していいかわからないから(3.2%)9. その他^た(7.9%)

無回答(1.8%)

《その他》

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問77 ^{けんこうふくしきぎょうせいぜんたい}健康福祉行政全体について、^{ようぼう}ご要望や^{いけんとう}ご意見等ありましたら、^{じゆう}ご自由^かにお書きください。

^{きょうりよく}
ご協力ありがとうございました

2. 介護サービス利用調査

れ い わ ね ん ど ね ん ど
令和7年度（2025年度）

こう れ い ふ く し か い ご ほ け ん い こ う ち ェ う さ
高齢福祉・介護保険サービス意向調査
《介護サービス利用調査》

ち ェ う さ き に ェ う ね が
【調査のご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できるかぎりあて名の方ご本人がお答えください。ご本人がお答えにならない場合には、ご家族や介護されている方が、ご本人の立場に立ってお答えください。
2. このアンケートは名前・住所を書いていただく必要はありません。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的に記入してください。
7. 回答方法

け う そ う か い と う
【郵送による回答】

ほんち ェ う さ ひ ェ う だ う ふう へ ん し ェ ん よ う ふう と う き っ て ふ よ う い け う そ う
本調査票を同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

か い と う
【インターネットによる回答】

み ぎ に じ げ ん よ と か い と う よ う に ゆ う り よ く
右の二次元コードを読み取るか、回答用URLを入力して、
さいし ェ ん が め ん に ゆ う り よ く
最初の画面でIDとパスワードを入力し、ログインして
ください。

に じ げ ん よ と じ どう て き に ゆ う り よ く
※二次元コードを読み取ると、ID・パスワードが自動的に入力されます。

か い と う よ う
※回答用URL: <https://www.cz-wee.com/if/r7nakanoser.php>

か い と う き げ ん け う そ う き ェ う つ う
【回答期限（郵送・インターネット共通）】

れ い わ ね ん ね ん が つ に ち き ェ ん よ う び
令和7年（2025年）12月5日（金曜日）

8. 調査報告書は、令和8年7月から図書館、区ホームページなどでご覧になれる予定です。
9. 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記まで
お問合せください。

な か の く ち い き さ さ す い し ェ ん ぶ か い ご ほ け ん か か ん り が か り
中野区 地域支えあい推進部 介護保険課 管理係
TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-5620
E-mail kaigohoken@city.tokyo-nakano.lg.jp

【個人情報^{こじんじょうほう}の取り扱い^{とあつか}について】

個人情報^{こじんじょうほう}の保護^{ほご}及び活用^{かつよう}目的^{もくてき}は以下のとおりですので、ご確認^{かくにん}ください。

なお、本調査票^{ほんちようひょう}のご返送^{へんそう}をもちまして、下記^{かき}にご同意^{どうい}いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報^{こじんじょうほう}の保護^{ほご}及び活用^{かつよう}目的^{もくてき}について】

- この調査^{ちようさ}は、効果^{こうか}的な介護^{かいご}予防^{よぼう}施策^{しやく}の立案^{りつあん}と効果^{こうか}評価^{ひやうか}のために 行^{おこな}うものです。本調査^{ほんちようさ}で得^えられた情報^{じょうほう}につきましては、区^くによる介護^{かいご}保険^{ほけん}事業^{じぎょう}計画^{けいかく}策定^{さくてい}と効果^{こうか}評価^{ひやうか}の目的^{もくてき}以外^{いがい}には利用^{りよう}いたしません。また当該^{とうがい}情報^{じょうほう}については、区^くにおいて適切^{てきせつ}に管理^{かんり}いたします。
- ただし、介護^{かいご}保険^{ほけん}事業^{じぎょう}計画^{けいかく}策定^{さくてい}時に本調査^{ほんちようさ}で得^えられたデータ^{データ}を活用^{かつよう}するにあたり、厚生^{こうせい}労働^{ろうどう}省^{しょう}の管理^{かんり}する区外^{くがい}のデータベース^{データベース}内に情報^{じょうほう}を登録^{とうろく}し、必要^{ひつよう}に応じて集計^{しゅうけい}・分析^{ぶんせき}するなど、個人^{こじん}が識別^{しきべつ}されない形^{かたち}で利用^{りよう}することがあります。

質問^{しつもん}の上に（全員^{ぜんいん}の方に）と記載^{きざい}のあるものは全員^{ぜんいん}の方が、（～の方に）とその他の記載^{たきざい}があるものはその条件^{じょうけん}に合う方^{あかた}のみお答え^{こた}ください。

（問1^{とい}から6は、令和^{れいわ}7年^{ねん}10月^{がつ}1日^{にち}時点^{じてん}の状^{じょう}況^{きやう}をお答え^{こた}ください。）

（全員^{ぜんいん}の方に）＜回答者数^{かたうた}：1,687＞

問1^{とい} 現在^{げんざい}、この調査票^{ちようさひょう}にご回答^{かいとう}を頂^{いただ}いているのは、どなたですか。（複数^{ふくすう}選択^{せんたく}可^か）

- | | |
|---|---|
| 1. 調査対象者 ^{ちようさたいしやうしやほんにん} 本人 ^{ほんにん} (47.4%) | 2. 主な介護者 ^{おもかいごしや} となっている家族 ^{かぞく} ・親族 ^{しんぞく} (37.6%) |
| 3. 主な介護者 ^{おもかいごしや} 以外の家族 ^{かぞく} ・親族 ^{しんぞく} (1.7%) | 4. その他 ^た (0.9%) |
| | 無回答 ^{むかたう} (16.7%) |

A票^{ひょう} ご本人^{ほんにん}について、お伺^{うかが}いします

（全員^{ぜんいん}の方に）＜回答者数^{かたうた}：1,687＞

問2^{とい} あなたがお住^すまいの地域^{ちいき}はどこですか。（1つ^{せんたく}を選択^{せんたく}）

- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 南台 ^{みなみだい} (6.6%) | 2. 弥生町 ^{やよいちやう} (7.4%) | 3. 本町 ^{ほんちやう} (7.9%) | 4. 中央 ^{ちゆうやう} (6.9%) |
| 5. 東中野 ^{ひがしなかの} (5.5%) | 6. 中野 ^{なかの} (7.7%) | 7. 上高田 ^{かみたかだ} (4.9%) | 8. 新井 ^{あらい} (4.0%) |
| 9. 松が丘 ^{まつおか} (2.5%) | 10. 沼袋 ^{ぬまぶくろ} (4.7%) | 11. 丸山 ^{まるやま} (1.2%) | 12. 野方 ^{のがた} (6.0%) |
| 13. 江古田 ^{えごた} (4.8%) | 14. 江原町 ^{えはらちやう} (3.7%) | 15. 大和町 ^{やまとちやう} (3.7%) | 16. 若宮 ^{わかみや} (3.8%) |
| 17. 白鷺 ^{しらさぎ} (4.6%) | 18. 鷺宮 ^{さぎのみや} (4.5%) | 19. 上鷺宮 ^{かみさぎのみや} (4.3%) | 無回答 ^{むかたう} (5.3%) |

《丁目^{ちやうめ}を記入^{きにゆう}してください》

（ ）丁目^{ちやうめ}

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問3 家族構成について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|----------------|------------------|-----------|
| 1. 単身世帯(38.2%) | 2. 夫婦のみ世帯(21.5%) | → 問3 Cへ |
| 3. その他(39.2%) | → 問3 ABCへ | 無回答(1.1%) |

(問3で「3」と回答したの方に) <回答者数：662>

問3 A ご本人を含めて何人で暮らしていますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 2人(37.5%) | 2. 3人(36.3%) | 3. 4人(14.2%) |
| 4. 5人(7.3%) | 5. 6人以上(3.0%) | 無回答(1.8%) |

問3 B 同居されている方はどなたですか。(複数選択可)

- | | | |
|----------------|-----------------|-------------|
| 1. 子(85.2%) | 2. 子の配偶者(22.2%) | 3. 孫(19.0%) |
| 4. 兄弟・姉妹(4.4%) | 5. その他(10.3%) | 無回答(3.3%) |

(問3で「2」「3」と回答した方に) <回答者数：1,024>

問3 C 日中ひとりになることがありますか。(1つを選択)

- | | | | |
|----------------|-----------------|--------------|------------|
| 1. よくある(28.7%) | 2. たまにある(41.2%) | 3. ない(14.5%) | 無回答(15.6%) |
|----------------|-----------------|--------------|------------|

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問4 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. 男性(35.2%) | 2. 女性(63.8%) | 無回答(1.0%) |
|--------------|--------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問5 ご本人の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | | |
|------------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. 65歳未満(1.8%) | 2. 65～69歳(2.2%) | 3. 70～74歳(6.2%) | |
| 4. 75～79歳(12.7%) | 5. 80～84歳(21.6%) | 6. 85～89歳(27.8%) | |
| 7. 90～94歳(20.4%) | 8. 95～99歳(5.4%) | 9. 100歳以上(1.2%) | 無回答(0.7%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 要支援 1 (22.8%) | 2. 要支援 2 (21.9%) | 3. 要介護 1 (15.9%) |
| 4. 要介護 2 (15.4%) | 5. 要介護 3 (7.7%) | 6. 要介護 4 (6.8%) |
| 7. 要介護 5 (3.7%) | 8. わからない (2.3%) | 無回答 (3.6%) |

(問6で「5」「6」「7」と回答した方に) <回答者数：1,687>

問6A 介護・介助が必要となった主な原因はなんですか。(複数選択可)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) (23.5%) | 2. 心臓病 (10.5%) |
| 3. がん (悪性新生物) (6.5%) | 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎) (7.2%) |
| 5. 糖尿病 (8.2%) | 6. パーキンソン病 (5.2%) |
| 7. 関節の病気 (リウマチ等) (3.3%) | 8. 骨折・転倒 (26.5%) |
| 9. 視覚・聴覚障害 (2.3%) | 10. 認知症 (アルツハイマー病等) (26.1%) |
| 11. 脊椎損傷 (5.9%) | 12. 高齢による衰弱 (19.0%) |
| 13. その他 (19.0%) | 14. わからない (0.7%) |
| | 無回答 (1.0%) |

(問7以降は、記入日現在の状況を教えてください。)

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問7 お住まいは次のどれにあたりますか。(1つを選択)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 持ち家 (一戸建て) (53.8%) |
| 2. 持ち家 (分譲マンションなどの集合住宅) (19.9%) |
| 3. 公営の賃貸住宅 (区営・都営住宅、公社など) (8.1%) |
| 4. 民営の賃貸住宅 (12.7%) |
| 5. 社宅・社員寮・公務員住宅 (0.2%) |
| 6. その他 (3.9%) |
| 無回答 (1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問7 A お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。（1つを選択）

1. はい(53.5%)

2. いいえ(44.8%)

無回答(1.7%)

(問7 Aで「1」と回答した方に) <回答者数：903>

問7 B お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか。（1つを選択）

1. はい(43.3%)

2. いいえ(54.9%)

無回答(1.8%)

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問8 ご本人はどこで介護を受けたいと思っていますか。（1つを選択）

1. 自宅(67.0%)

2. 自宅近くのサービス付き高齢者住宅(5.4%)

3. 自宅近くの入所施設(8.9%)

4. 自宅から遠くても、出身地等、好きな土地の住宅や施設(1.7%)

5. その他(2.8%)

6. わからない(11.4%)

無回答(2.9%)

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問8 A 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

1. 入所・入居は検討していない(73.1%)

2. 入所・入居は検討している(17.7%)

3. すでに入所・入居申し込みをしている(4.6%)

無回答(4.5%)

(問8 Aで「2」「3」と回答した方に) <回答者数：377>

問8 B 施設等への入所・入居を検討した理由は何ですか。（複数選択可）

1. 介護する家族の心身の負担が大きい(63.4%)

2. 介護をする家族・親族がいない(17.8%)

3. 在宅に戻るための専門的なリハビリ等が必要となっている(6.1%)

4. 現在入院している病院を退院しなければならない(4.8%)

5. 認知症の症状があり、在宅での介護が難しい(27.6%)

6. 在宅サービスの利用による経済的な負担が大きい(8.0%)

7. 現在の住まいの機能上、在宅での介護が難しい(26.3%)

8. その他(9.8%)

無回答(3.7%)

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問9 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中)(10.1%) | 2. 心疾患(心臓病)(16.7%) |
| 3. 悪性新生物(がん)(6.5%) | 4. 呼吸器疾患(8.1%) |
| 5. 腎疾患(透析)(2.7%) | |
| 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)(20.0%) | |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む)(3.6%) | 8. 変形性関節疾患(11.6%) |
| 9. 認知症(20.0%) | 10. パーキンソン病(3.7%) |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く)(2.7%) | 12. 糖尿病(13.8%) |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)(16.8%) | |
| 14. その他(16.5%) | 15. なし(6.6%) |
| 16. わからない(2.4%) | 無回答(4.5%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問10 以下の介護保険サービスでサービス内容を知らない又はわからないサービスはどれですか。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 訪問介護(ホームヘルプサービス)(6.9%) | 2. 訪問入浴介護(4.7%) |
| 3. 訪問看護(6.0%) | 4. 訪問リハビリテーション(7.6%) |
| 5. 通所介護(デイサービス)(5.9%) | |
| 6. 通所リハビリテーション(デイケア)(6.8%) | |
| 7. 夜間対応型訪問介護※(22.6%) | |
| 8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護※(25.3%) | |
| 9. 小規模多機能型居宅介護※(34.1%) | |
| 10. 看護小規模多機能型居宅介護※(36.2%) | |
| 11. ショートステイ(9.2%) | |
| 12. 居宅療養管理指導※(29.8%) | 無回答(43.5%) |

※7 夜間対応型訪問介護：夜間にホームヘルパーが定期的に利用者の居宅を訪問して介護を行うサービス

※8 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：ホームヘルパーによる訪問介護と看護師による訪問看護を、定期的又は随時に24時間365日の体制で必要なサービスを提供するサービス

※9 小規模多機能型居宅介護：小規模な施設ですが、利用者のニーズに応じて訪問介護、通所介護、短期入所など多種類の居宅介護サービスを提供するサービス

※10 看護小規模多機能型居宅介護：小規模多機能型居宅介護に、看護師による訪問看護を加えたサービス

※12 居宅療養管理指導：医師・歯科医師・薬剤師などが居宅を訪問し、薬の飲み方、食事などの管理・指導を行うサービス

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問11 令和7年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

1. 利用した(65.4%)

問12Aへ

2. 利用していない(32.9%)

問12Cへ

無回答(1.7%)

(問11で「1」と回答した方に) <回答者数：1,103>

問12A 以下の介護保険サービスについて、令和7年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない、0日)」を選択してください。(それぞれ1つを選択)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)						無回答
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	
A 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	(18.5%)	(12.1%)	(8.1%)	(3.1%)	(1.8%)	(7.4%)	(49.0%)
B 訪問入浴介護	(27.1%)	(6.3%)	(5.6%)	(1.1%)	(0.4%)	(0.5%)	(58.9%)
C 訪問看護	(20.5%)	(15.7%)	(5.7%)	(0.9%)	(1.5%)	(1.2%)	(54.5%)
D 訪問リハビリテーション	(20.9%)	(13.0%)	(8.6%)	(2.0%)	(1.2%)	(1.2%)	(53.2%)
E 通所介護 (デイサービス)	(16.9%)	(11.3%)	(14.5%)	(7.1%)	(3.9%)	(4.8%)	(41.5%)
F 通所リハビリテーション (デイケア)	(24.8%)	(10.2%)	(9.6%)	(1.5%)	(1.6%)	(0.8%)	(51.5%)
G 夜間対応型訪問介護 ※ (訪問のあった回数を回答)	(33.5%)	(0.2%)	(0.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.5%)	(65.8%)

※G 夜間対応型訪問介護：夜間にホームヘルパーが定期的に利用者の居宅を訪問して介護を行うサービス

	利用の有無（それぞれ1つに○）		無回答
H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護※	1. 利用していない(57.2%)	2. 利用した(10.6%)	(32.2%)
I 小規模多機能型居宅介護※	1. 利用していない(60.3%)	2. 利用した(3.4%)	(36.4%)
J 看護小規模多機能型居宅介護※	1. 利用していない(60.4%)	2. 利用した(3.2%)	(36.4%)

※H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：ホームヘルパーによる訪問介護と看護師による訪問看護を、定期的又は随時に24時間365日の体制で必要なサービスを提供するサービス

※I 小規模多機能型居宅介護：小規模な施設ですが、利用者のニーズに応じて訪問介護、通所介護、短期入所など多種類の居宅介護サービスを提供するサービス

※J 看護小規模多機能型居宅介護：上記I. 小規模多機能型居宅介護に、看護師による訪問看護を加えたサービス

	1か月あたりの利用日数（1つに○）					無回答
	利用していない	つき1～7日 程度	つき8～14日 程度	つき15～21日 程度	つき22日 以上	
K ショートステイ	(61.1%)	(9.2%)	(1.5%)	(0.8%)	(0.6%)	(26.7%)

	1か月あたりの利用日数（1つに○）					無回答
	利用していない	つき1回 程度	つき2回 程度	つき3回 程度	つき4回 程度	
L 居宅療養管理指導※	(58.5%)	(4.0%)	(6.2%)	(0.2%)	(2.3%)	(28.9%)

※L 居宅療養管理指導：医師・歯科医師・薬剤師などが居宅を訪問し、薬の飲み方、食事などの管理・指導を行うサービス

（問11で「1」と回答した方に）＜回答者数：1,103＞

問12B あなたが、ケアプランについて不満と思うことを次の中から選んでください。（複数選択可）

1. 希望するサービスが利用できない(5.3%)	
2. 希望しないサービスがケアプランに含まれている(0.6%)	
3. 希望する事業者が利用できない(1.4%)	
4. サービスの利用回数や時間が少ない(8.4%)	
5. サービスの利用料金が安い(7.0%)	
6. 要介護認定による給付の枠内では使いたいサービスが十分に受けられない(7.3%)	
7. 介護保険制度の導入以前は使えていたサービスが使えなくなった(0.2%)	
8. レンタル用品に利用したい物品がない(1.0%)	
9. ケアマネジャーから説明がない、もしくは説明がよくわからない(3.7%)	
10. その他(5.4%)	11. 不満な点はない(51.9%)
	無回答(22.1%)

(問11で「2」と回答した方に) <回答者数: 555>

問12C 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. まだ必要でない(37.3%) | 2. 家族の介護で間に合っている(17.8%) |
| 3. 医療サービスを受けているため(9.4%) | 4. 他人を家に入れたくない(6.8%) |
| 5. 利用したいサービスがない(3.2%) | 6. サービスの利用方法がわからない(7.4%) |
| 7. 他人に介護してもらいたくない(2.9%) | 8. 利用料の負担が大きい(4.9%) |
| 9. ケアマネジャーへの依頼方法がわからない(5.0%) | |
| 10. 利用したいサービスの日・時間帯などが合わない(1.8%) | |
| 11. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため(4.0%) | |
| 12. その他(11.7%) | 13. 特別な理由はない(6.1%) |
- 無回答(20.0%)

(全員のの方に) <回答者数: 1,687>

問13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、
ご回答ください。(複数選択可)

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 配食(5.7%) | 2. 調理(2.6%) |
| 3. 掃除・洗濯(9.8%) | 4. 買い物(宅配は含まない)(6.6%) |
| 5. ゴミ出し(4.7%) | 6. 外出同行(通院、買い物など)(5.2%) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)(4.8%) | |
| 8. 見守り、声かけ(3.5%) | 9. サロンなどの定期的な通いの場(2.1%) |
| 10. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(1.6%) | |
| 11. その他(3.6%) | 12. 利用していない(57.1%) |
- 無回答(14.6%)

(全員のの方に) <回答者数: 1,687>

問14 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる
充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. 配食(15.0%) | 2. 調理(10.0%) |
| 3. 掃除・洗濯(17.8%) | 4. 買い物(宅配は含まない)(14.3%) |
| 5. ゴミ出し(9.8%) | 6. 外出同行(通院、買い物など)(17.8%) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)(19.0%) | |
| 8. 見守り、声かけ(13.2%) | 9. サロンなどの定期的な通いの場(6.8%) |
| 10. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(5.3%) | |
| 11. その他(3.3%) | 12. 特になし(34.7%) |
- 無回答(12.0%)

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問15 ご本人(調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

- | | | |
|------------------|-------------------|-----------|
| 1. 利用している(22.8%) | 2. 利用していない(73.6%) | 無回答(3.6%) |
|------------------|-------------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問16 ご本人(調査対象者)は、現在、その他の訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 訪問歯科診療を利用している(5.8%) | 2. 訪問薬剤師を利用している(5.2%) |
| 3. 「1」と「2」の両方を利用している(1.4%) | |
| 4. 利用していない(81.9%) | 無回答(5.7%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問17 地域包括支援センターに相談したことはありますか。(1つを選択)

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| 1. 相談したことがある(61.8%) | |
| 2. 地域包括支援センターを知っているが、相談したことはない(26.7%) | |
| 3. 地域包括支援センターを知らなかった(6.8%) | 無回答(4.6%) |

(全員のの方に) <回答者数：1,687>

問18 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 1. ない(37.5%) | → アンケートは終了です。 |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない(8.1%) | |
| 3. 週に1～2日ある(9.8%) | |
| 4. 週に3～4日ある(4.1%) | |
| 5. ほぼ毎日ある(34.1%) | |
- B票(次のページ)に進みください。
- | |
|-----------|
| 無回答(6.5%) |
|-----------|

(A 票 問18で「2～5」を回答した方に) <回答者数：946>

B 票 主な介護者の方について、お伺いします

(問1から3は、令和7年10月1日時点の状況をお答えください。)

問1 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

- | | | |
|---------------|----------------|------------------------|
| 1. 配偶者(28.5%) | 2. 子(57.6%) | 3. 子の配偶者(5.4%) |
| 4. 孫(1.2%) | 5. 兄弟・姉妹(3.3%) | 6. その他(2.9%) 無回答(1.2%) |

問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. 男性(27.7%) | 2. 女性(70.6%) | 無回答(1.7%) |
|--------------|--------------|-----------|

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

- | | | |
|----------------|-----------------|--------------------------|
| 1. 20歳未満(0.0%) | 2. 20代(0.5%) | 3. 30代(1.4%) |
| 4. 40代(5.4%) | 5. 50代(28.0%) | 6. 60代(29.1%) |
| 7. 70代(18.2%) | 8. 80歳以上(16.4%) | 9. わからない(0.2%) 無回答(0.8%) |

(問4以降は、記入日時点の状況をお答えください。)

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)(8.4%) |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)(0.4%) |
| 3. 主な介護者が転職した(2.3%) |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した(0.3%) |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない(71.0%) |
| 6. わからない(4.2%) 無回答(13.5%) |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

《身体介護》

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 日中の排泄(15.3%) | 2. 夜間の排泄(13.0%) |
| 3. 食事の介助(食べる時)(14.9%) | 4. 入浴・洗身(20.0%) |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)(20.9%) | 6. 衣服の着脱(23.9%) |
| 7. 屋内の移乗・移動(15.2%) | 8. 外出の付き添い、送迎等(59.5%) |
| 9. 服薬(44.7%) | 10. 認知症状への対応(25.5%) |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)(8.9%) | |

《生活援助》

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)(66.1%) | 13. その他の家事(77.7%) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(66.9%) | (掃除、洗濯、買い物等) |

《その他》

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------|
| 15. その他(7.0%) | 16. わからない(0.3%) | 無回答(3.0%) |
|---------------|-----------------|-----------|

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

《身体介護》

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 日中の排泄(21.5%) | 2. 夜間の排泄(25.4%) |
| 3. 食事の介助(食べる時)(8.1%) | 4. 入浴・洗身(22.3%) |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)(7.2%) | 6. 衣服の着脱(7.1%) |
| 7. 屋内の移乗・移動(11.6%) | 8. 外出の付き添い、送迎等(27.2%) |
| 9. 服薬(11.9%) | 10. 認知症状への対応(32.7%) |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)(7.6%) | |

《生活援助》

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)(22.8%) | 13. その他の家事(24.0%) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き(20.7%) | (掃除、洗濯、買い物等) |

《その他》

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 15. その他(7.8%) | 16. 不安に感じていることは、特にない(14.1%) |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない(2.1%) | 無回答(6.1%) |

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

1. フルタイムで働いている(25.6%)

2. パートタイムで働いている(22.1%)

3. 働いていない(45.2%)

4. 主な介護者に確認しないと、わからない(1.5%)

問8～問10へ

アンケートは終了です。

無回答(5.6%)

(B票問7で「1」「2」と回答した方に) <回答者数：451>

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていいますか。(複数選択可)

1. 特に行っていない(30.2%)

2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている(37.7%)

3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている(20.6%)

4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている(14.2%)

5. 介護のために、「2」～「4」以外の調整をしながら、働いている(15.3%)

6. 主な介護者に確認しないと、わからない(1.8%)

無回答(2.9%)

(B票問7で「1」「2」と回答した方に) <回答者数：451>

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない(10.9%)

2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実(27.1%)

3. 制度を利用しやすい職場づくり(22.4%)

4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)(27.7%)

5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)(16.4%)

6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供(8.6%)

7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置(8.2%)

8. 介護をしている従業員への経済的な支援(20.6%)

9. その他(2.0%)

10. 特にない(18.8%)

11. 主な介護者に確認しないと、わからない(6.0%)

無回答(6.7%)

(B 票 問7で「1」「2」と回答した方に) <回答者数：451>

問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 1. 問題なく、続けていける(20.4%) | |
| 2. 問題はあるが、何とか続けていける(51.2%) | |
| 3. 続けていくのは、やや難しい(12.4%) | |
| 4. 続けていくのは、かなり難しい(6.0%) | |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない(4.4%) | 無回答(5.5%) |

ご協力ありがとうございました

3. ケアマネジャー調査

れ い わ ね ん ど ね ん ど
令和7年度（2025年度）
 こう れ い ふ く し か い ご ほ け ん い こ う ち ょ う さ
高齢福祉・介護保険サービス意向調査
 ち ょ う さ
《ケアマネジャー調査》

ち ょ う さ き に ゆ う ね が
【調査のご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
2. 令和7年10月1日現在の状況でお答えください。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他（ ）」に○印をつけられた方は、お手数ですが具体的にご記入ください。
7. 回答方法

ゆうそう かいとう
【郵送による回答】

ほんちょうきひょう どうふう へんしんようふうとう きってふよう い ゆうそう
 本調査票を同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

かいとう
【インターネットによる回答】

みぎ にじげん よ と かいとうよう にゅうりよく
 右の二次元コードを読み取るか、回答用URLを入力して、
 さいしよ がめん にゅうりよく
 最初の画面でIDとパスワードを入力し、ログインして
 ください。

※二次元コードを読み取ると、ID・パスワードが自動的に入力されます。

※回答用URL: <https://www.cz-wee.com/if/r7nakanocam.php>

かいとうきげん ゆうそう きょうつう
【回答期限（郵送・インターネット共通）】

れ い わ ね ん ね ん が つ に ち き ん よ う び
令和7年（2025年）12月5日（金曜日）

8. 調査報告書は、令和8年7月から図書館、区ホームページ
 などでご覧になれる予定です。
9. 調査の内容や記入の方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記まで
 といあわ
 お問い合わせください。

な か の く ち い き さ さ す い し ん が か い ご ほ け ん か か ん り が か り
中野区 地域支援あい推進部 介護保険課 管理係
 TEL. 03-3228-5629 FAX. 03-3228-5620
 E-mail kaigohoken@city.tokyo-nakano.lg.jp

《基本的事項について》

(全員の^{ぜんいん}に^{かた}) <回答者数：141>

問1 あなたの所属する事業所の所在地は次のどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|----------------|-----------|
| 1. 中野区(83.7%) | 2. 中野区以外(6.4%) | 無回答(9.9%) |
|---------------|----------------|-----------|

(全員の^{ぜんいん}に^{かた}) <回答者数：141>

問2 あなたの所属する事業所はどのような介護サービス等を行っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

《居宅サービス》

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 訪問介護(53.9%) | 2. 訪問入浴介護(2.8%) |
| 3. 訪問看護(22.0%) | 4. 訪問リハビリテーション(9.2%) |
| 5. 居宅療養管理指導(5.7%) | 6. 福祉用具(貸与)(7.8%) |
| 7. 特定福祉用具(販売)(5.7%) | 8. 住宅改修(5.7%) |
| 9. 通所介護(小規模通所含む)(24.8%) | 10. 通所リハビリテーション(8.5%) |
| 11. 短期入所生活介護(17.0%) | 12. 短期入所療養介護(3.5%) |
| 13. 特定施設入居者生活介護(2.8%) | |

《介護予防サービス》

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 14. 予防訪問サービス(旧予防訪問介護)(25.5%) | 15. 予防訪問入浴介護(0.7%) |
| 16. 予防訪問看護(14.2%) | 17. 予防訪問リハビリテーション(7.1%) |
| 18. 予防居宅療養管理指導(4.3%) | 19. 予防福祉用具(貸与)(6.4%) |
| 20. 予防特定福祉用具(販売)(4.3%) | 21. 予防通所サービス(旧予防通所介護)(9.9%) |
| 22. 予防通所リハビリテーション(4.3%) | 23. 予防短期入所生活介護(10.6%) |
| 24. 予防短期入所療養介護(1.4%) | 25. 予防特定施設入居者生活介護(0.7%) |
| 26. 生活援助サービス(緩和基準訪問サービス)(2.1%) | |
| 27. 活動援助サービス(緩和基準通所サービス)(0.0%) | |

《施設サービス》

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 28. 介護老人福祉施設(16.3%) | 29. 介護老人保健施設(2.8%) |
| 30. 介護医療院(介護療養型医療施設)(1.4%) | |

《地域密着型サービス(小規模通所除く)》

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 31. 夜間対応型訪問介護(0.7%) | 32. 小規模多機能型居宅介護(5.0%) |
| 33. 認知症対応型通所介護(9.9%) | 34. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(1.4%) |
| 35. 看護小規模多機能型居宅介護(0.0%) | 36. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(0.7%) |

《介護予防地域密着型サービス》

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 37. 予防小規模多機能型居宅介護(2.1%) | 38. 予防認知症対応型通所介護(0.7%) |
| 39. 予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(0.0%) | |

《その他のサービス》

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 40. 病院・診療所(8.5%) | 41. 薬局(2.8%) |
| 42. 都市型軽費老人ホーム(4.3%) | 43. その他のサービス(9.2%) |
| 44. 併設事業なし(5.7%) | 無回答(12.1%) |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問3 あなたの年代を次の中から選んでください。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------------|--------------------|-------------------|
| 1. 20歳未満(0.0%) | 2. 20歳～24歳(0.0%) | 3. 25歳～29歳(0.0%) |
| 4. 30歳～34歳(0.7%) | 5. 35歳～39歳(2.8%) | 6. 40歳～44歳(5.7%) |
| 7. 45歳～49歳(12.8%) | 8. 50歳～54歳(17.7%) | 9. 55歳～59歳(19.1%) |
| 10. 60歳～64歳(18.4%) | 11. 65歳～69歳(14.2%) | 12. 70歳～74歳(4.3%) |
| 13. 75歳以上(4.3%) | 無回答(0.0%) | |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問4 あなたの現在の勤務体系を次の中から選んでください。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 常勤で専従(71.6%) | 2. 常勤で兼務(16.3%) |
| 3. 非常勤(11.3%) | 無回答(0.7%) |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問5 あなたはケアマネジャーとして、何年間従事していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 1年未満(2.1%) | 2. 1年以上3年未満(8.5%) |
| 3. 3年以上5年未満(4.3%) | 4. 5年以上(85.1%) |
| 無回答(0.0%) | |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問6 あなたのケアマネジャー受験資格と当該職種の従事期間を教えてください。

(1) 受験資格 (〇は1つ)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 社会福祉士(8.5%) | 2. 薬剤師(0.0%) |
| 3. 介護福祉士(74.5%) | 4. 理学療法士・作業療法士(1.4%) |
| 5. 看護師・保健師(5.0%) | 6. ホームヘルパー(6.4%) |
| 7. 医師・歯科医師(0.0%) | 8. その他(4.3%) |
| 無回答(0.0%) | |

(2) 従事期間 (ケアマネジャーになる前の従事期間で複数の受験資格を持つ場合は通算してください) (〇は1つ)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 5年未満(8.5%) | 2. 5年以上10年未満(39.7%) |
| 3. 10年以上15年(16.3%) | 4. 15年以上20年未満(18.4%) |
| 5. 20年以上(15.6%) | 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数: 141>

問7 過去3年間で、所属事業所を変った回数は何回ですか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 0回(63.1%) | 2. 1回(22.0%) | 3. 2回(7.8%) |
| 4. 3回(3.5%) | 5. 4回(1.4%) | 6. 5回以上(2.1%) |
| 無回答(0.0%) | | |

《ケアプラン・介護予防について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問8 あなたの^{きゅうふかんりけんすう}給付管理件数は何件ですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|--------------------------|
| 1. 10件以下(5.0%) | 2. 11件～20件(8.5%) | 3. 21件～30件(16.3%) |
| 4. 31件～40件(48.2%) | 5. 41件～50件(18.4%) | 6. 51件以上(2.1%) 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問9 作成する^{きょたく}居宅サービス計画の件数について、次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. もっと増やしたい(12.8%) | 2. もっと減らしたい(27.7%) |
| 3. 現在の件数で十分(57.4%) | 無回答(2.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問10 あなたは現在、何件の^{かいごよぼう}介護予防サービス計画の受託または作成をしていますか。
(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|-----------------|----------------|-----------|
| 1. 0件(9.2%) | 2. 1件～8件(61.0%) | 3. 9件以上(28.4%) | 無回答(1.4%) |
|-------------|-----------------|----------------|-----------|

(全員のの方に) <回答者数：141>

問11 受託または作成する^{かいごよぼう}介護予防サービス計画の件数について、次の中から選んでください。
(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. もっと増やしたい(0.7%) | 2. もっと減らしたい(56.7%) |
| 3. 現在の件数で十分(41.1%) | 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問12 ^{かいごほけんせいど}介護保険制度は^{ようかいごしやとう}要介護者等の^{じりつしえん}自立支援を目的の一つとしていますが、^{げんこう}現行の^{かいご}介護サービスはその^{やくわり}役割を^{じゅうぶん}十分果たしているとおもいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 十分果たしている(2.8%) | 2. ある程度果たしている(68.8%) |
| 3. 果たしているとはいいがたい(17.0%) | |
| 4. わからない(7.1%) | |
| 5. 1～4以外の意見(2.8%) | 無回答(1.4%) |

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数: 141>

問13 ^{ちいき}地域の^{じしゅ}自主グループをどのくらい^し知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|--------------------------------|------------|
| 1. 0 (11.3%) | 2. 1～5 (63.1%) | |
| 3. 6～10 (14.2%) | 4. 11以上 ^{いじょう} (7.1%) | 無回答 (4.3%) |

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に) <回答者数: 141>

問14 ケアプランに^{かいごほけんがい}介護保険外のボランティアや^{ちいきかつどうとう}地域活動等の^{ちいきしげん}地域資源を^も盛り込んでいますか。
(○は1つ)

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| 1. はい (87.2%) | 2. いいえ (11.3%) | 無回答 (1.4%) |
|---------------|----------------|------------|

(問14で「1. はい」と回答した方に) <回答者数: 123>

問14A ^{ぐたいてき}具体的にケアプランに^も盛り込んでいる^{ちいきしげん}地域資源はなんですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. ほほえみサービス (68.3%) | 2. ^{ちいきふくしけんりようごじぎょう} 地域福祉権利擁護事業 (48.0%) |
| 3. ^{じんざい} シルバー人材センターのサービス (23.6%) | 4. ^{みんかん はいしょく} 民間の配食サービス (93.5%) |
| 5. ^{みんかん かじえんじょ} 民間の家事援助サービス (17.9%) | 6. ^{こうれいしゃかいかんとく} 高齢者会館等の事業 (31.7%) |
| 7. まちなかサロン・その他 ^{たかよ} 通いの場 ^ば (29.3%) | 8. その他 ^た (10.6%) 無回答 (0.0%) |

(^{ぜんいん}全員^{かた}の方に)

問15 ケアプランに^{ちいきしげん}地域資源を^も盛り込む上での^{うえ}課題は^{かだい}何だ^{なん}と思いますか。^{おも}ご自由^{じゆう}にお書き^かください。

(全員の^{ぜんいん}の方に^{かた}) <回答者数: 141>

問16 ケアプランを作成する際に、中野区内でサービス^{さくせい} 供^{さい} 給^{なかのくない} が不足しているため、利用者^{きようきゆう} に^{ふそく} 提供^{りようしゃ} できない(しにくい)サービスは何^{なん}ですか。(あてはまるものすべてに○)

《^{きやたく}居宅サービス》

- | | |
|--|---|
| 1. ^{ほうもんかいご} 訪問介護(29.1%) | 2. ^{ほうもんにゆうよくかいご} 訪問入浴介護(14.2%) |
| 3. ^{ほうもんかんご} 訪問看護(0.7%) | 4. ^{ほうもん} 訪問リハビリテーション(9.2%) |
| 5. ^{きやたくりようようかんりしどう} 居宅療養管理指導(0.7%) | 6. ^{ふくしょうぐ} 福祉用具(貸与)(0.7%) |
| 7. ^{とくていふくしょうぐ} 特定福祉用具(販売)(0.7%) | 8. ^{じゅうたくかいしゅう} 住宅改修(0.7%) |
| 9. ^{つうしょかいご} 通所介護(小規模通所含む)(12.8%) | 10. ^{つうしょ} 通所リハビリテーション(32.6%) |
| 11. ^{たんきにゆうしよせいかつかいご} 短期入所生活介護(18.4%) | 12. ^{たんきにゆうしよりようようかいご} 短期入所療養介護(20.6%) |
| 13. ^{とくていしせつにゆうきよしやせいかつかいご} 特定施設入居者生活介護(2.8%) | |

《^{かいごよぼう}介護予防サービス》

- | | |
|--|---|
| 14. ^{よぼうほうもん} 予防訪問サービス(旧 ^{きゅうよぼうほうもんかいご} 予防訪問介護)(25.5%) | 15. ^{よぼうほうもんにゆうよくかいご} 予防訪問入浴介護(6.4%) |
| 16. ^{よぼうほうもんかんご} 予防訪問看護(2.8%) | 17. ^{よぼうほうもん} 予防訪問リハビリテーション(8.5%) |
| 18. ^{よぼうきやたくりようようかんりしどう} 予防居宅療養管理指導(0.7%) | 19. ^{よぼうふくしょうぐ} 予防福祉用具(貸与)(0.7%) |
| 20. ^{よぼうとくていふくしょうぐ} 予防特定福祉用具(販売)(0.7%) | 21. ^{よぼうつうしょ} 予防通所サービス(旧 ^{きゅうよぼうつうしょかいご} 予防通所介護)(12.8%) |
| 22. ^{よぼうつうしょ} 予防通所リハビリテーション(12.1%) | 23. ^{よぼうたんきにゆうしよせいかつかいご} 予防短期入所生活介護(4.3%) |
| 24. ^{よぼうたんきにゆうしよりようようかいご} 予防短期入所療養介護(2.8%) | 25. ^{よぼうとくていしせつにゆうきよしやせいかつかいご} 予防特定施設入居者生活介護(1.4%) |
| 26. ^{せいかつえんじよ} 生活援助サービス(緩和 ^{かんわ} 基準 ^{きじゆん} 訪問 ^{ほうもん} サービス)(9.9%) | |
| 27. ^{かつどうえんじよ} 活動援助サービス(緩和 ^{かんわ} 基準 ^{きじゆん} 通所 ^{つうしょ} サービス)(9.2%) | |

《^{しせつ}施設サービス》

- | | |
|--|--|
| 28. ^{かいごろうじんふくししせつ} 介護老人福祉施設(12.8%) | 29. ^{かいごろうじんほけんしせつ} 介護老人保健施設(35.5%) |
| 30. ^{かいごいりょういん} 介護医療院(介護 ^{かいご} 療養 ^{りよう} 型 ^{がた} 医療 ^{いりょう} 施設 ^{しせつ})(14.9%) | |

《^{ちいきみつちやくがた}地域密着^{しようきぼつうしよのぞ}型サービス(小規模通所除く)》

- | | |
|---|--|
| 31. ^{やかんたいおうがたほうもんかいご} 夜間対応型訪問介護(22.7%) | 32. ^{しようきぼたきのうがたきやたくかいご} 小規模多機能型居宅介護(7.8%) |
| 33. ^{にんちしょうたいおうがたつうしょかいご} 認知症対応型通所介護(14.2%) | 34. ^{にんちしょうたいおうがたきようどうせいかつかいご} 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(3.5%) |
| 35. ^{かんごしょうきぼたきのうがたきやたくかいご} 看護小規模多機能型居宅介護(14.9%) | 36. ^{ていきじゆんかい} 定期巡回・随時 ^{ずいじ} 対応型訪問 ^{ほうもん} 介護 ^{かんご} 看護(24.1%) |

《^{かいごよぼうちいきみつちやくがた}介護予防地域密着^し型サービス》

- | | |
|--|--|
| 37. ^{よぼうしようきぼたきのうがたきやたくかいご} 予防小規模多機能型居宅介護(4.3%) | 38. ^{よぼうにんちしょうたいおうがたつうしょかいご} 予防認知症対応型通所介護(2.8%) |
| 39. ^{よぼうにんちしょうたいおうがたきようどうせいかつかいご} 予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(5.7%) | |

《^たその他のサービス》

- | | |
|--|---|
| 40. ^{びやういん} 病院・診療 ^{しんりょうじよ} 所(0.7%) | 41. ^{やつきよく} 薬局(1.4%) |
| 42. ^{としがたけいひろうじん} 都市型 ^し 軽費 ^{けい} 老人 ^{らうじん} ホーム(22.0%) | 43. ^た その他のサービス(9.2%) 無回答(7.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問17 供給不足以外に必要なサービスが提供(調整)出来ないのはどのような場合ですか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 心身の状況(9.9%) | 2. 経済的事情により費用負担が困難(46.8%) |
| 3. 支給限度額を超える(14.9%) | 4. 介護保険制度の給付では対応できない(21.3%) |
| 5. その他(4.3%) | 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問18 介護保険サービスは、家族の介護負担軽減につながっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 十分につながっている(14.2%) | 2. ある程度つながっている(77.3%) |
| 3. あまりつながっていない(7.1%) | 4. 全くつながっていない(0.0%) |
| 5. わからない(0.0%) | 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問19 家庭生活を維持するために役立つと思う生活支援事業は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|---------------|----------------|
| 1. 配食サービス(70.9%) | 2. 買い物(75.9%) | 3. 通院(74.5%) |
| 4. 掃除(56.0%) | 5. 洗濯(53.9%) | 6. ゴミ出し(68.8%) |
| 7. 安否確認(70.9%) | 8. 入浴(57.4%) | 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問20 生活に張りを持ってもらうために効果的なものは何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 町内会・自治会等の活動(29.1%) | 2. ボランティア活動(24.8%) |
| 3. 運動スポーツ関係の活動(27.7%) | 4. 趣味関係の活動(78.7%) |
| 5. 家族や友人とのコミュニケーション(73.8%) | 6. その他(9.2%) |
| | 無回答(2.1%) |

(全員のの方に)

問21 ケアマネジメントを行う際に工夫していることがありましたら、ご自由にお書きください。

(全員のの方に) <回答者数：141>

問22 要介護者等が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるため、近隣や地域の人々からどのような支援や手助けがあったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 話し相手(77.3%) | 2. 認知症高齢者の見守り(78.0%) |
| 3. 散歩の付き添い(52.5%) | 4. 電球の交換や家具等の簡易な修理(58.2%) |
| 5. 日常生活以外の特別な買い物(44.0%) | 6. 大掃除の手伝い(30.5%) |
| 7. ペットの世話(33.3%) | 8. 緊急時の連絡(52.5%) |
| 9. 庭の手入れや趣味の手伝い(40.4%) | 10. おかずの差し入れなど(27.7%) |
| 11. 配食サービス(25.5%) | 12. その他(4.3%) |
| | 無回答(3.5%) |

《連携について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問23 地域包括支援センターとの連携は取れていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 十分連携が取れている(27.0%) | 2. ある程度連携が取れている(58.9%) |
| 3. うまく連携が取れていない(4.3%) | 4. どちらともいえない(7.1%) |
| | 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問24 信頼できる地域包括支援センターはありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. ある(68.1%) | 2. ない(5.0%) |
| 3. どちらともいえない(22.0%) | 4. わからない(2.1%) |
| | 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問25 主治医(かかりつけ医)との連携は取れていますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 十分連携が取れている(50.4%) |
| 2. 主治医が忙しくなかなか時間をとってもらえない(24.8%) |
| 3. 複数の医療機関にかかっており、主治医を特定できない(5.7%) |
| 4. 主治医といえるようなかかりつけの医師がいない(0.0%) |
| 5. その他(14.9%) |
| 無回答(4.3%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問26 在宅医療を進めるうえで、不足する医療資源は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------------|----------------|------------|
| 1. 訪問診療する医師(17.7%) | 2. 訪問看護師(7.1%) | |
| 3. 訪問歯科診療(5.0%) | 4. 訪問薬剤師(7.8%) | |
| 5. 訪問リハビリ(24.8%) | 6. その他(31.2%) | 無回答(24.1%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問27 障害者施策を利用できる利用者について、区の障害者施策の相談窓口とのサービス調整等の連携が取れていますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------------------|------------------------|-----------|
| 1. 連携が取れている(6.4%) | 2. ある程度連携が取れている(32.6%) | |
| 3. うまく連携が取れていない(25.5%) | 4. どちらともいえない(18.4%) | |
| 5. 障害者施策を利用できる利用者はいない(11.3%) | 6. その他(2.1%) | 無回答(3.5%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問28 サービス担当者会議を開催する上での問題点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1. 関係者が忙しくてなかなか時間がとれない(69.5%) | |
| 2. 関係機関・主治医からの情報が得られない(22.0%) | |
| 3. 関係者に理解がなく、出席が得られない(5.7%) | |
| 4. 会議をどのように運営してよいかわからない(2.8%) | |
| 5. 適当な会場がない(5.7%) | 6. その他(17.7%) |
| | 無回答(7.1%) |

《困難な事例への対応について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問29 ケアマネジメントを行う際に、特に対応に苦慮するケースはどのようなケースですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1. 身寄りがいない(78.0%) | 2. キーパーソンがいない(61.7%) |
| 3. 家族が協力的でない(61.7%) | 4. 認知症のため自分で判断できない(39.0%) |
| 5. 要介護者と家族の考えが異なる(64.5%) | |
| 6. 要介護者や家族から提案したケアプランに同意が得られない(9.9%) | |
| 7. 費用負担の面で、適切なケアプランが作成できない(45.4%) | |
| 8. 介護保険の利用限度額ではサービスが足りない(45.4%) | |
| 9. その他(9.9%) | 無回答(2.8%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問30 あなたは、要介護者等や家族からの相談を十分に受け止め、対応できていますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 十分対応できている(13.5%) | 2. ある程度対応できている(68.1%) |
| 3. 十分対応できないこともある(14.2%) | 4. その他(2.1%) 無回答(2.1%) |

【3に○をつけた方に】対応できない具体的な内容をあげてください。

()

(全員のの方に) <回答者数：141>

問31 要介護者等や家族からの相談への対応に苦慮した場合、どこへ相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. 同僚や上司(75.9%) | 2. 主任ケアマネジャー(22.7%) |
| 3. 地域包括支援センター(68.8%) | 4. すこやか福祉センター(保健師)(4.3%) |
| 5. 主治医(26.2%) | 6. 東京都のケアマネジャー相談窓口(0.0%) |
| 7. 区役所(すこやか福祉センターを除く)の担当窓口(11.3%) | |
| 8. その他(9.2%) | |
| 9. 相談するところがない(1.4%) | 無回答(5.0%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問32 ケアマネジャーに従事して以来、高齢者等に対する虐待が疑われるようなケースを発見したり相談を受けたりしたことがどのくらいありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 0件(9.9%) | 2. 1件～9件(79.4%) |
| 3. 10件～19件(5.0%) | 4. 20件以上(4.3%) 無回答(1.4%) |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問33 高齢者虐待対応について強化すべきと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 地域包括支援センターとの連携(69.5%) | |
| 2. すこやか福祉センター(保健師)との連携(29.1%) | |
| 3. 緊急一時保護の充実(66.0%) | 4. 虐待防止ネットワークの充実(18.4%) |
| 5. 虐待対応マニュアルの周知(21.3%) | 6. 具体的な対応や支援の方法等の研修(32.6%) |
| 7. 区民・関係機関・団体等への周知・啓発(22.0%) | |
| 8. その他(5.0%) | 無回答(2.8%) |

《介護予防について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問34 区が介護予防事業として充実すべきと思われる事業を選んでください。

(○は主なもの3つまで)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. 転倒予防教室 (56.0%) | 2. 口腔ケア教室 (27.0%) |
| 3. 腰痛・膝痛予防体操教室 (31.2%) | 4. 骨盤底筋力向上教室 (10.6%) |
| 5. 栄養改善教室 (36.9%) | |
| 6. 高齢者会館での健康づくり・生きがいづくり事業 (56.7%) | |
| 7. 介護予防講演会 (5.7%) | |
| 8. 認知症予防教室 (31.9%) | |
| 9. その他 (7.8%) | 無回答 (3.5%) |

《成年後見制度について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問35 あなたの担当する認知症日常生活自立度Ⅱ以上の人で成年後見制度が必要と思われるが使っていない人は何名いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. 0名 (29.1%) | 2. 1名 (23.4%) | 3. 2名 (21.3%) |
| 4. 3名 (12.8%) | 5. 4名 (4.3%) | 6. 5名以上 (7.1%) |
| 無回答 (2.1%) | | |

(全員のの方に) <回答者数：141>

問36 成年後見制度を活用する上での課題は何だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 課題はない (9.2%) | 2. 制度がわかりにくい (30.5%) |
| 3. 制度が使いにくい (33.3%) | 4. その他 (24.8%) |
| 無回答 (2.1%) | |

《認知症に関する課題について》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問37 区は認知症の方を抱える家族を支援するために、認知症の方の特性や具体的な介護の仕方などについて学ぶ「認知症に関する家族介護教室」を開催していますが、あなたは家族に参加をすすめたことがありますか。(○は1つ)

1. すすすめたことがある(61.7%)
 2. すすすめたことはないが、開催していることは知っている(29.8%)
 3. 開催していることを知らなかった(5.7%)
- 無回答(2.8%)

↓

【3に○をつけた方に】広く周知されるには、どのような方法が必要だと思いますか。
()

(全員のの方に) <回答者数：141>

問38 認知症高齢者に関してどのような施策が特に必要だと考えますか。
(○は主なもの3つまで)

1. 地域における認知症に関する理解の促進(41.1%)
 2. 地域での見守りネットワークの整備(60.3%)
 3. 家族への悩みの相談等の支援(55.3%)
 4. 家族会開催への支援(17.7%)
 5. 認知症ケアに関する介護スタッフの研修の充実(12.1%)
 6. 認知症の早期発見・診断のための相談の場の充実(32.6%)
 7. 認知症に関する専門医や専門家の支援・養成(14.2%)
 8. 成年後見など権利擁護事業の充実(22.0%)
 9. 認知症対応型通所介護(介護予防含む)や認知症対応型共同生活介護
(グループホーム)等サービス基盤の充実(15.6%)
 10. その他(5.7%)
- 無回答(2.8%)

《人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）について》

※人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）とは、要介護者等の将来の変化に備えて、これまで大切にしてきたことや、これから誰とどのように過ごしたいか、希望する医療や介護のことなどについて、要介護者等および家族や大切な人、医療・介護関係者とあらかじめ考え、繰り返し話し合い、要介護者等の決定をサポートするプロセスです。平成30年度、厚生労働省はACPの愛称を「人生会議」と決め普及・啓発を行っています。

（全員の方向に）＜回答者数：141＞

問39 あなたはこれまでに見たり聞いたりして、「人生会議（ACP）」という言葉や意味を知っていましたか。（○は1つ）

- | | |
|--|-----------|
| 1. 人生会議（ACP）の意味も含めて知っていた(87.9%) | |
| 2. 人生会議（ACP）があることは知っていたが、意味は知らなかった(5.7%) | |
| 3. 知らなかった(5.0%) | 無回答(1.4%) |

（問39において「1」「2」に○をつけた方に）＜回答者数：132＞

問40 人生会議（ACP）を活用した支援を行った経験がありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1. 支援したことがある(47.7%) | |
| 2. 必要なケースがいたが、支援していない(15.2%) | |
| 3. 必要なケースがおらず、支援していない(27.3%) | |
| 4. 人生会議（ACP）について知識がなく、支援していない(4.5%) | 無回答(5.3%) |

（問39において「1」「2」に○をつけた方に）＜回答者数：132＞

問41 人生会議（ACP）を実践する上で難しいと思う点は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|--------------|
| 1. 本人や家族の人生会議（ACP）についての理解が不足している(65.2%) | |
| 2. 支援者の人生会議（ACP）についての理解が不足している(25.0%) | |
| 3. 主治医の人生会議（ACP）についての理解が不足している(11.4%) | |
| 4. 支援経過の中で人生会議（ACP）を行うタイミングをつかめない(45.5%) | |
| 5. 人生会議（ACP）を行うための本人や家族との信頼関係を作れない(11.4%) | |
| 6. 業務が多忙なため人生会議（ACP）の開催に注力できない(35.6%) | |
| 7. 人生会議（ACP）を行うための出席者（本人、家族、支援者）の調整が煩雑である(28.0%) | |
| 8. 特にない(2.3%) | 9. その他(7.6%) |
| | 無回答(2.3%) |

《その他》

(全員のの方に) <回答者数：141>

問42 要介護者等について、どのような点が充実すれば居宅や地域での生活を続けることができるとおもいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護等介護サービスの充実(49.6%)
 2. 24時間の緊急時に即応できる体制の整備(68.8%)
 3. 区内での短期入所生活介護施設の充実(32.6%)
 4. 高齢者見守りネットワークの整備(49.6%)
 5. 住宅改修の対象拡大(5.0%)
 6. 高齢者用住宅の増加(36.9%)
 7. 在宅医療(往診体制)の充実(15.6%)
 8. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の充実(30.5%)
 9. 小規模多機能型居宅介護等の充実(12.8%)
 10. その他(8.5%)
- 無回答(1.4%)

(全員のの方に) <回答者数：141>

問43 業務遂行上、困っていることはどのようなことですか。(○は主なもの3つまで)

1. 担当件数が多い(24.8%)
 2. 担当する利用者の地域範囲が広い(5.0%)
 3. 困難なケースへの対応(44.7%)
 4. 苦情への対応(11.3%)
 5. 相談相手・スーパーバイザー等、助言者がいない(7.1%)
 6. 事業所内のミーティングの時間がとりにくい(3.5%)
 7. サービス担当者会議がなかなか開けない(2.8%)
 8. 制度が頻繁に変わり、対応に時間と労力がかかる(27.7%)
 9. 地域の医療や介護サービスについての情報が得られない(4.3%)
 10. ケアマネジャー業務の範囲が明確でない(54.6%)
 11. 文書の作成等事務処理に追われる(68.1%)
 12. 規定が細かくケアマネジャーとしての裁量の余地がない(15.6%)
 13. 特に困っていることはない(2.8%)
 14. その他(7.1%)
- 無回答(1.4%)

(全員のの方に) <回答者数：141>

問44 小規模多機能型居宅介護サービスの活用しづらさはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 1. ケアマネジャーを切り替えなければならない(53.2%) | |
| 2. サービスの知名度が低い(27.0%) | |
| 3. 利用できる施設が足りない(33.3%) | |
| 4. パッケージサービスとなるため利用に不安がある(33.3%) | |
| 5. 利用を希望する方が少ない(40.4%) | |
| 6. その他(12.8%) | 無回答(4.3%) |

(全員のの方に)

問45 介護保険制度に関してご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

令和7年度（2025年度）
高齢福祉・介護保険サービス意向調査
報告書

発行日／令和8年（2026年）3月

発行／中野区健康福祉部 福祉推進課 健康福祉企画係
中野区地域支えあい推進部 介護保険課 管理係
〒164-8501

東京都中野区中野 4-11-19

電話 03-3228-5629（直通）

編集分析／株式会社アイアールエス

〒160-0004

東京都新宿区四谷 3-1-3 第1 富澤ビル7F

電話 03-3357-7181（代表）